

演劇ぶっく第17巻第6号通巻100号 平成14年11月9日発行(隔月9日発行)

演劇ぶっく100号記念特集 第3弾

12 2002 DEC.

ENTERTAINMENT PHOTO MAGAZINE
演劇
ぶっく
●● 演劇ぶっく



1000

演劇ぶっく 号

総力特集 ◇ 作・演出家100人。

今、演劇を考える。

DEC.2002 no.100 PRICE ¥750

SHOWA COLLEGE OF MUSIC 昭和音楽大学短期大学部

ミュージカル コース

冬期講習会

ミュージカル講座
開催

12月23日 祝・月
～12月25日 水

- ☐ 対象:中学生及び高校生
(既卒者を含む)
- ☐ 会場:昭和音楽大学
- ☐ 内容:ミュージカル講座
(演技、ダンス、歌、ステージング)
受験相談

※個人レッスン(ピアノ、声楽)や副科ピアノの受講も可能です。詳細はお問い合わせ下さい。

●お申し込み・お問い合わせ:広報室 ☎ 0120-86-6606 FAX.044-955-5724

.....
舞台を創造する人材を育成します。

昭和音楽大学
短期大学部
舞台スタッフ
コース



昭和音楽大学短期大学部

ミュージカル/舞台スタッフ/バレエ/ピアノ/電子オルガン
/弦・管・打楽器(クラシックギター導入)/吹奏楽/声楽
/音楽芸術/電子音楽/ポピュラー音楽(2003年度新設予定)
〒243-8521 神奈川県厚木市関口808
Phone:046-245-1055(代) FAX.046-245-4400

併設校 昭和音楽芸術学院

ミュージカル科(3年制) ○体験入学申込受付中
○実施日:12/21(土) ○申込締切:12/13(金)

※学校説明会、受験診断も実施しています。詳細はお問い合わせ下さい。
昭和音楽芸術学院 Phone:044-953-1230(代)
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6

●お申し込み・お問い合わせ:

学校法人 東成学園 企画広報室

☎ 0120-86-6606

[URL] <http://www.tosei-showa-music.ac.jp>

[E-mail] info@tosei-showa-music.ac.jp

The Kiss of an Invisible Man

透明人間の蒸気

Cast
寛 利夫、小西真奈美、村上信五(関西ジャニーズJr.)、宮本裕子、康 喜福、中本奈奈、武田義晴、鶴水瑠衣
青木隆敏、赤塚篤紀、岡田良治、伊達 暁、豊川紫穂、布川美生、平沼紀久、宮内佳奈子、松澤一之

Staff
作 野田秀樹 演出 岡村俊一
舞台美術 川口夏江 照明 松林克明 音響 山本能久 衣裳 黒沢彰乃 操持 川崎悦子 演出助手 豊田めぐみ 舞台監督 瀬崎将孝
宣伝美術 永瀬祐一 宣伝写真 西村 淳 宣伝ヘアメイク 宮内直人 植村タケヒサ(小西真奈美) 制作協力 石井智士 制作 大金ふみよ プロデューサー 菅野重郎
主催 TOKYO フジテレビジョン OSAKA 関西テレビ放送 製作 アル・ユー・ビー

11	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12
Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu
13:00	○	休	休	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
14:00	○	休	休	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
19:00	○	休	休	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

●チケットぴあ 03-5237-9989-9966 (Pコード409-405)
●ローソンチケット 0570-00-9905 (Lコード55058) 0570-00-0403 (オペレーター対応)
●DNPレジャー 03-5802-9999
●e+ (イープラス) <http://eee.eplus.co.jp/>

TOKYO 11.16sat — 12.1sun 青山劇場
TOKYO/OSAKA S席 ¥8,500 A席 ¥7,500 (全席指定・税込)
OSAKA 12.13fri — 12.18wed 厚生年金会館芸術ホール
お問い合せ TOKYO/アル・ユー・ビー 03-3372-6207 OSAKA/キョードー大阪 06-6233-8888



Only One Actors Gym

夢はブロードウェイ『本物の俳優』募集!

2002年に開設し、その半年後には所属者全員が舞台・映像作品でデビューを果たす。さらにその半年後には主演・準主演俳優を次々と産みだし、その本人でさえ信じられない俳優人生を歩き出している。

2002年度出演作品リスト

映画

「PEACH」(ゲスト出演/ロサンゼルス・モスクワ映画祭にて2部門受賞)
「Peach Maker」(ゲスト出演/ハワイ国際映画祭出品)
「Land[e]scape」(主演)

Vシネマ

「喧嘩の極意」(主演)
「コードネームNAVI」(ゲスト主演)
「LIB」(ゲスト主演)

CF

「AC広告機構・関東版」(メイン/共演:「TOKIO」の山口達也さん)
「AC広告機構・東北版」(主演)/他

舞台

「ミサイルという名の少年」(主演/東京芸術劇場)
「白恋抄」(ゲスト出演/シアター・サンモール)
「極天の戦魂」(主演・準主演/六行会ホール)
「FOOT LOOSE」(アーリー役/ACTシアター)
「Life is Love」(主演他出演/東AST GALLERY)
「はなになったねこ」(主演/清瀬市民センターホール)

TV

「旅行キング」(メイン・パーソナリティ/現在レギュラー出演中)
「ウルトラマン・コスモス」(ゲスト出演)
「おとうさん」(TBS/出演中)
「金曜エンタテイメント・歌姫探偵 天草こすえ」



養成所やワークショップとは一線を画すプロモーションを前提としたActorsGym

LESSON

「考えず、まず感じる」そのナチュラルな感性を持つことが表現者として一番大切なことだと思います。時間との戦いである現場では考え込むことが何よりも大敵。「出来る出来ない」は「まず演ってみる」ことの答えであるはず。当所では俳優(表現者)として大切な豊かな感性を育む為に豊富なカリキュラムと第一線で活躍中の俳優・演出家・監督・プロデューサーもラインナップしました。

カリキュラム

①演技 ②ヴォイス・トレーニング ③ダンス ④インド古典舞踊 ⑤パントマイム ⑥アクション ⑦演劇概論 ⑧映像演技 ⑨ガンアクション ⑩映像演技(カメラテスト) ⑪歌舞伎観賞 ⑫オーディション講座 ⑬特別講座(7講座) / 他

POINT

- I. ステップアップ制レッスン! 講師はすべて現役で活躍中のアーティストであり、指導者としてのキャリアも豊富。また入所後すぐの取材撮影でマネージメント開始。
- II. 制作会社だから現場やオーディションがたくさん! 母体が制作会社だからオーディション情報は豊富。しかも一般オーディションではなく推薦形式だから合格率はかなり高位置。
- III. 自社・関連製作作品中心、出演チャンスは随時! 年1本の劇場公開映画と3本の舞台を毎年自社製作。またTVドラマやCFのキャスティングを行う為、随時出演者を募集。
- IV. 営利主義ではなく、本気だから出来るロープライス! 豊富なカリキュラムと週3回のトレーニング。プロモーションも平行しての低額設定は「俳優遊戯」の最大の特徴です。

コース ※ステップ・アップ制

- ①基礎コース…週3回/半年(30名) ②上演コース…週3回/半年(30名) ③実践コース…週2回/無期限(若干名)
※実践コースからは上演・撮影が中心となります。

費用

助成金制度を導入しています。優秀者は月謝免除。レッスン料:19,000円/月 他

参加方法

プロモーションを前提とする為、簡単なオーディションを行います。希望者は電話にてお申込の上、資料をご請求下さい。オーディション&資料請求は無料です。

オーディション日

第1回	12/15(日)	第2回	1/19(日)
第3回	2/2(日)	第4回	2/11(火)
第5回	2/23(日)	第6回	3/16(日)



川本淳市

「大きな野望に向かい、ファイナル・バロックで毎年映画を製作します。一緒に出来る仲間を待っています。」



飛野悟志

「確かな技術に身付け、憧れの俳優を目指して欲しい。スター無き時代だからこそ今がチャンスだ!」

役者を志す皆さんにとって徹底した実践主義の「俳優遊戯」はチャンスに満ちています。監督から「スタート」の音が掛かる役者になるための、最初のスタートはあなた自身が自分に掛ける声だ。現場でお会いしましょう!



高橋玄/映画監督

舞台
「極天の戦魂」
12月3日~8日
六行会ホール
演出:飛野悟志



映画
「ISO SOLDIER」
(久里耕介監督)
クランクイン間近!



SETに入団してから今に至るまで15年間数え切れないほどの役を演じ、同時に役者も演出してきた。私が自信を持って言える事は役者を職業にできる人間には必ずその環境が整われ、そしてそれを自ら求めていく。集え「俳優遊戯」に!



水木英昭

Only One Actors Gym
俳優遊戯

03-5287-2905

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町74 オアシスビル2F

E-MAIL baroque@titan.ocn.ne.jp UCL WWW6.ocn.ne.jp/~baroque/

CONTENTS

- 006《特集》今、演劇を考える。
- 008いのうひでのり×松尾スズキ
- 011野村萬斎
- 012三谷幸喜
- 014つかこうへい
- 015鴻上尚史
- 016宮藤官九郎
- 017みのすけ・三宅弘城・大倉孝二/KERA
- 018永井愛
- 019土田英生
- 020おかしな二人 鈴木裕美
- 023松村武×八嶋智人
- 024クラブ・オブ・アリス 白井晃・高泉淳子
- 026太平洋序曲 宮本亜門
- 028エリザベート/モーツァルト! 小池修一郎
- 030嵐になるまで待って/賢治島探検記 成井豊
- 032今村ねずみ
- 033大島早紀子
- 034栗山民也 鶴山仁 宮田慶子
- 035謝珠栄
- 036【月影十番勝負】愛の嵐 河原雅彦
- 037【涙目銀座】これはあけぼの 福島三郎

- 038検察側の証人 山田和也
- 039[AGAPE store] BIG BIZ 62
- 040横内謙介
- 041加納幸和
- 042長塚圭史
- 043後藤ひろひと
- 044嶽本野ばら/松本雄吉
- 045近藤良平×伊藤千枝
- 046BACK STAGE TALK 15 木の実ナナ
- 048中島かずき
- 049倉森勝利
- 050クラウス・バイマン ラブディ・イングラム
- 052宮沢章夫×谷井一郎
- 053佐野史郎/竹内統一郎
- 054村上大樹 Or.エクアドル 田辺茂範
- 056千葉雅子×江本純子
- 057平田オリザ・前田司郎・岩崎裕司
- 05880年代~90年代、演劇人の系譜 扇田昭彦
- 062作・演出家のスタイルをさぐれ!
- 066津々浦々、地域発演劇マップ
- 067この作・演出家に注目!
- 069演劇ぶっくに一言!

- 072【連載】ラーメンズのメイキングオブ座長! 最終回「good day house」レポート
- 074[MUSICAL St.] 11 保坂千寿
- 075【歌舞伎に行こう】11
- 076[NEO TAKARAZUKA] 月の燈影 大野拓史 影吹真央・蘭寿とむ
ヴィンターガルテン 齋藤吉正 朝澄けい・真飛聖
- 078[PERFORMANCE FILE] 大竹秀子
- 079[re-view from WEST] 激突☆灼熱の瞬間 PM/飛ぶ教室 劇団そとばこまち
- 080【情報番長】
- 081【芸人大図鑑】9 パナナマン
- 082【演劇の正しい作り方】最終回 安田雅弘
- 083うにたもみいちの なんちゅうか、劇中歌。第2回 むっちりみえっぱり
- 084オーディションニュース
- 085[re-view] 王立劇場
- 086[STAGE BOMB] 井上二郎
- 087【連載】西川浩幸の素晴らしきギャグ人生 21
- 088【FROM・リーダーズ プレゼント大作戦】
- 089[ENBUゼミニュース] 読むゼミ
- 090【徹底的公演情報コーナー】コヨミ! (02年11月9日~03年1月10日)

【連載コラム】栗根まこと/ひさうちみちお

【連載漫画】古屋兎丸

【連載コラム】極楽観客席vip 16 久住昌之



2002
no.100

12
DEC.



1986年4月25日に創刊した「演劇ぶっく」も、
ついに100号を迎えることになりました。
2カ月に一度というゆっくりした歩みながら、
気がつけば、17年という時間と99冊の「演ぶ」が、
そこには積み重なっていました。
その時間とページの中に数え切れない演劇と、
数え切れない人たちが生きています。

舞台——

瞬きをする間にそれは消えていきますが、
心揺るがした輝きは残ります。
そんな幻にも似た一瞬を追い求めての誌面づくりは、
これからも続きます。

100号までの「演劇ぶっく」を、どうもありがとうございました。
101号からの「演劇ぶっく」を、どうぞよろしくお願いいたします。

「演劇ぶっく」編集部一同



演劇ぶっく100号。
みなさま本当にありがとうございます。

作・演出家100人

今、演劇を考える。

舞台に生命が吹き込まれ、人物が、物語が、世界が動き出す。ここではないもう一つの世界を私たちの目の前に出現させる、演劇の創造主とも言うべき

根源的な役割を果たす劇作家・振付家・演出家たち。演劇ぶっく100号を記念して、作・演出家の百人百様のクリエイティブな方法論から、現代の演劇を読み取る。

松尾スズキ



いのうへい

劇団☆新感線のいのおひでのりと、大人計画・松尾スズキ。演劇界で現在「勢いがある人」と言ったら、この2人の名前が必ず挙がるだろう。共に劇団を率い、作・演出家としてプロデュース公演などでも活躍している彼ら。演劇界の第一線を走り続ける彼らが、今考えていることは?

劇団を続けてきたわけ

松尾 新感線の「20年」ってすごいですが、大人計画はまだ「途中」っていう感じがするんですけど、20年だともうそういう段階は過ぎてる気がします。

いのう えでも、最初から今のメンバーではないですから。初期の寛利夫とか渡辺いっけいとかいた頃があって、その後に古田新太とかが入ってきたわけで。そこからだと15、6年くらいです。

松尾 やつぱり、役者が売れ始める頃からなんとなく劇団の質が変わってきますよね。本堂に作・演出家として独裁してる状態はもうとっくの昔に過ぎてるわけで(笑)。

いのう え劇団の形態も変わりつつありますよね。例えば遊眠社の場合とかはちゃんと終わらせないとスタートできなかつた訳ですけど、僕等の場合は割と自由で、なんとなくというか……例えば日本総合悲劇協会にしても、大体出るメンバーが決まっています。そこ今回の『葉音』みたいに荻野目慶子さんと、外部の人が参加するわけですよね? そういうところがウチとも似てますよね。

松尾 ウチの奴らより、片桐はいりさんの方が色んな芝居と一緒に出てたり(笑)。

いのう え新感線の芝居に池田成志が出てるようなもんです(笑)。

松尾 要するに、劇団って最初は北朝鮮的な状態があるわけじゃないですか(笑)。俺個人も外の世界を知らない、ベースを固めていく時代がまずあって、そこに何かしら注目されるのと比例して、よその人たちがもたらされてきて、大人計画じゃない人とか役者達が付き合いたって。そうすることによってまた違う力を持ってくるという。まあ、引き抜かれたりする可能性もあるわけですけど(笑)。

いのう えでもある時期までは、そういう独裁制が必要ですよ。昔は「劇団」ってそういう独裁制のものだけ

を言っていた気がするんですよ。いまだにそういう思いこみがある人はいて、アンケートとかで「新感線は劇団じゃない」って書かれたり(笑)。まあ本人は劇団のつもりでやっていますし。

松尾 役者が自活できていく段階で、何となく変わってきますよね。

いのう え昔は、運命共同体的な感じのものでしたね……でもそういう部分もあるのかな。僕はできるだけ自分に責任がないようにしたいので、できるだけ人の人生を背負いたくないと言った(笑)。まあどっちにしろもう関わっちゃってるんですけどね。

松尾 だから逆に今の状態に、ちょっとホッとしている部分がありますよね。僕も好きなことをやらしてもらうよ、みたいな。

時代を映すということ

松尾 今、中村勘九郎さんが主役の『ニンゲン御破産』という芝居を書いてるんですよ。時代劇なんですけど、それは「勘九郎さんだから」という単純な動機で(笑)。歌舞伎の話を書きたかったんですよ。幕末の頃歌舞伎が弾圧を受けてた時代があって、でもアングラというか、地下活動のように芝居を続けてた。そういう昔に、大人計画みたいな奴らがいたらどういう芝居を作るんだろう、と

思っています。

いのう え面白そうですね。幕末って、ひどい時代だったみたいですね。話にすると面白いんですけど、とうとう一つの時代が終わる、世紀末の匂いがして……色々なところで焼き討ちとかあって、体制が終わる気配がしているという。

松尾 『幕末気分』という本を読んだんですけど、やっぱり今の時代に少し似てますよね。世界的な現象というか、もう飽和状態になっている、限界が見えちゃってるというか。最初はニンゲンじゃなくて、『ニンポン御破産』にしようかと思ったんですけど、あまりにも生々しいから(笑)。



野村萬斎

interview

知恵の宝庫を共有したい

さる8月、世田谷パブリックシアターに新芸術監督・野村萬斎が誕生した。狂言という伝統芸能をベースに、このポストに座った異例の若きディレクターは、果たして今後の活動に、どんな着地点を見据えているのだろうか。



劇団☆新感線「直撃!ドラゴンロック3〜轟天対エイリアン」01年 撮影◆野住智恵子

いのうえ シャレにならないかもしれない(笑)。時代性とかは僕の場合、具体的作品のなかでどうしようというのには無いんですけどどこかで意識しようとは多分してますね。でもお客さんに「こうだ」って押しつけちゃうのもどうかね、とお話はお話として創って、何となくそういう風に見えてほしいかな、と思ってますね。

松尾 僕の場合は具体的に意識するということより、一つだけ外せないのは、普遍的な話を書きたい、という所なんです。神話に通じるというか、人はこうなってるってことをええ生き物なんだというのが、神話の時代からの人間の根底に流れるドラマツルギーみたいなもので、すごく不条理なことがあっても、それはなんか一貫してる。だから他のことにはこだわらずにいろいろという。だから新感線みたいに、人を殴る時の音を出すのって昔は「それはやっちゃいかんだろ」と思ってたんだけど、今は入ってたり(笑)。

いのうえ そういえば最近入ってますね(笑)。

松尾 タイミング合わないことも多い



「デジタル」に 対抗するには?

松尾 いのうえさんは「デジタル化社会」に対して、演劇の演出家としてどうしたいか、ってあります? ほら、映画ってほとんどCGとかのクオリティが上がってきてますよね。

いのうえ そうですね。でも逆に何でもかんでもCGだったりのから、もうそれは驚かないじゃないですか。だから生身を見た方がぜんぜん驚くと思うんですよ。もしかしたら俺だけなのかもしれないですけど。

松尾 でもフィルムの仕上げとかデ

ジタルを導入することによって明らかにクオリティが上がってきていて、じゃあ演劇はどうかと言われれば、相変わらずお金がないわけ(笑)。そこを何とかしなきゃならん、と。それで考えたんですけど、どうにかするのにはもう「役者の心を入れ替える」しかない、と(笑)。

松尾 僕もいんだけど、それには限界があるし。役者でも肉体的な限界はある。それをデジタル映像に慣れたお客に対抗するためには、精神的なもので勝負するしかないのかな、と。俺に打たれてこい、とか(笑)。

いのうえ あはは。

松尾 だから従来まで「できません」で済んだことが、溶まなくなっちゃうとか。だから大人計画で言えば、うちの連中ってみんなダンスとかできないんですけど、プレイクダンスでも習ってこい、とかね(笑)。

いのうえ いやあでも確かに思いますよ。面白い役者さんなのに、歌えなかったり踊れなかったり。歌えて踊れて面白いことも出て、という役者さんが欲しいんですけど、それはありますね。日本ってすごく棲み分けがありますよね、ミュージカルでも



ダンサーはダンサー、歌える人は歌だけでいいとか。でも本当は全部できて方がいいんですよ。

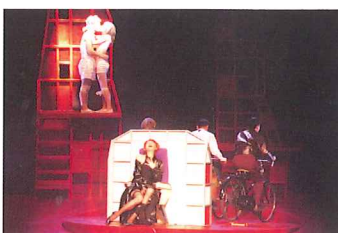
松尾 「ムーランルージュ」観てビックリしましたもん。ニコル・キッドマンがガンガン踊って歌ってますしね。歌って踊れなくてもいい人がこんなやつって、そりや何億も貰うやつ。

いのうえ 日本にはやっぱりあいうレベルの人がいないです。だから日本で言えば松たか子ちゃんが重宝されるのはそういう所なんです。うね、まあ、あの一家はちよつと特別ですけど(笑)。

松尾 そういう人しか生き残っていかない気がします。やっぱり人間って面白いし、生身のものを見るのは重要なんだけど、そこで映画とかテレビで出てくるのと同じような人を見ても仕方ないですもんね。

いのうえ やっぱ、そういうのを生で見ると感動しますから。

松尾 ……でも難しいのが、そういう鍛え上げられた人って大体面白くないらしい(笑)。不真面目な奴ほど面白いんですよ。その辺がジレンマなんですけど(笑)。



大人計画「エロスの果て」01年 撮影◆佐渡谷威梨

松尾 デジタルへ対抗するには、役者の心を入れ替える(笑)

まつおすすき ◆62年福岡県生まれ。88年大人計画を旗揚げ、以降ほとんどの作品の作・演出を手掛ける。96年「ファンキー」で第41回岸田戯曲賞受賞。先日の日本総合悲劇協会「葉音」では萩野目慶子を主役に、まさに休当りの芝居を繰り広げ話題に。役者として様々な映画・CMなどに出演する一方、連載コラム・小説なども多数。個人HP「松尾」も絶賛開設中。http://www.5e.biglobe.ne.jp/matsuo/ 次回予定 ◆「ニンゲン御破産」03/2/4〜24 Bunkamuraシアターコクーン

今後の展望を決めるキーワードとして「この辺りの者でござる」という言葉を打ち出した野村萬斎。これは特定の人物でも、特定の場所でもなく、舞台が常にその日、劇場に足を運んだお客さんと同じ目線で作られることを約束する狂言の決まり文句だ。萬斎は、6000年間変わらぬこの言葉を表すと共に、現代劇にもその歴史ある知恵を生かそうと、この言葉を放った。

新作でも伝統になる

僕ら伝統芸能の世界では「いつの時代にも受け入れられるもの」というのが、創作の基本スタンスなんです。だから例え新作であっても、それがいずれば伝統になるだろう、という考えのもとで作品を作る。その場にしかないものというの、本物でないという意識なんです。だからテレビアイドルのように、その時だけ売れて、ワツと消費されて、消えていってしまうものの対極に伝統芸能はある……と、言ってから、じゃあ今流行りの「伝芸アイドル」ってなに、と思ったりするんですけどね(笑)。でもまあ、僕らの創作活動というのは、時代を超えたものを作る行為、あるいは時代を超えてきたものを再現する行為なんです。つまり分かりますか? 言うなら……、同じうどんを食べるのでも、ボリの容器で食べるのとキチツとした器で食べるのでは全然気分が違ったりして、僕らはいつも器が同じ。ずーっと受け継がれてきた器を使って、新しいうどんを食べているんです。で、僕はこの狂言の一種独特の方法論を持って、芝居の本質を表していければなと思っています。それが芸術監督としての、僕の興味のあることなんです。具体的に言うと、狂言には「型」という絶対的に信用できるものがありますけれど、僕はまず、それと同じくらい信用に足るものを、現代劇の役者さんとも共有できればと思っているんです。例えば、「感情が伝わらない

んじゃないか」とか「音が伝わらないんじゃないか」という余計な心配をしなくて演技に徹することができると、役者は舞台上で無になれるんです。とりえあず狂言の舞台に関しては、そうなんです。だから現代劇でも再演を重ねていって、初演で0から5に築き上げたものを、5から10にしていく……、どんどん舞台を良くしていきたい。一歩一歩、それを足利幕府の時代から続けてきた狂言と同じようにね(笑)。

アイデアの宝庫

ピーター・ブルックが以前「何かを言いたくて舞台をやってるわけじゃない」と言っていたんだけど、僕は何か伝えたいことがあって舞台をやっているわけではなくて、書かれていることを一番分かります。よく見せるには、どうすればいいのかな、と考える。だから「まちがいの狂言」「まちがいの喜劇」を原案にした狂言版「シエクスピアー」にしろ、「電光掲示板狂言」(掲示板を「ゲイジくん」と称し、語句の解説はもとより、舞台と客席のコミュニケーションを担当させるという斬新な舞台)にしろ、あれは別に狂言を壊したいとは思ってやっていると、僕ではないんですよ。単純に狂言を、極力お客さんに親しみやすいものにしようと思ってるだけなんです。だってやっぱり、いきなり能舞台を差し出して「はい、見て下さい」と言っても、お客さんも見方が分からないだろうから。その手助けとして、あいつた演出をしたわけなんです。そこから狂言の面白さを、お客さんと共有していければと思ってるんですけどね。

能狂言は先日、世界文化遺産に指定されましたけれど、本当に様々な知恵が詰まってるんです。僕は、その財産をみんな分かってほしいと思う。僕らの鍛えられた技術を、現代劇の人にも多いに活用して、欲しいんです。芸術監督としてそういった能狂言の知恵の宝庫を授けていきたいと思っています。

のむらまさい ◆66年東京都生まれ。狂言師・野村万作の長男。狂言の枠を超え活躍する表現者として注目を浴びる。最近の活動には、ロンドン・グローブ座などでの「まちがいの狂言」、映画「陰陽師」、徳川幸雄「オディブス王」など。世田谷パブリックシアター芸術監督。シアター・テレビジョンでは、野村萬斎演出「RASHOMON」(01年11月シアター・コクーン)を11月に放送予定。 次回予定 ◆電光掲示板「森羅万象」狂言会12/18〜20 アートスフィア



『彦馬がゆく』02年 撮影◆佐渡谷威利



再々演とロングランの
『彦馬がゆく』

いうことへの心配は？



三谷幸喜

「わからない」時代に

「第三舞台10年間封印」というニュースが演劇界を駆けめぐったのもまだ記憶に新しいが、鴻上尚史は確実に、更なる段階へその思いを巡らせている。「今」やらなくてはいけないこと。「今」だからこそできること。常に時代を映してきた彼が「今」思うこととは――。



構成・文◆川口有紀 撮影◆小坂真

鴻上尚史

interview

大学で教えるということ

3年前から早稲田大学で講師をやっていたんだけど、今年から客員教授というのになりました。あんまり偉くないんだけどね(笑)。引き受けた理由？ 40歳になった時だったかな、イギリスから帰ってきた時に思ったんだけど、イギリスでは演劇人がちゃんと、地域のコミュニケーションのために演劇人が何ができるかを考えてるんだよね。例えばそれは演劇人が得たワークショップとかの技術を、学校でやることで学校に“かえす”ことだったり。そういう関係の結びつき方をするのはとても正しいことだな、と思ったんですよ。それは演出家の別の「務め」かな、と思ったから。で、半年だけのつもりだったんだけど、3年続けちゃった(笑)。

学生を教えるすごく感じるのは、男がへなちょこ。みんななナイーブで傷つきやすくて内気で繊細なの。10年くらい前からその傾向があったんだけど、着々と進んでるね。女の子の方がどんどん元気になってる(笑)。

内的変化、外的変化

20年、基本は変わってないと思うなあ。方法論は変わってくるんだけど、時代の認識の根本的な原理は変わらない。それはなぜかという、時代の方向性としては僕の想像した方向――僕は旗揚げから一貫して「時代は崩壊へ向かっている」「時代の精神の奥底はどんどん病んでいってる」と思ってるんだけど、その方向に進んでると思うし、そこは変わってないと思うので。でも方法論や作品の手触りは変わるだろうね。今変わりつつある真っ最中。

今はウェルメイドなものが受け入れられる時代になっていて、これは喧嘩を売る訳じゃないんだけど、ウェルメイドなものが流行る時代というのは、観客の想像力が減退してる時代なんだよね。でもそれを嘆いてるわけじゃなくて、そういう時代だと、ちょっと丁寧に説明した作品の手触りにしなくちゃならない。でも第三舞台で説明を飛ばすようなことをたくさんやってたんで、封印してる間くらいはその逆のことをやろうかな、と。

これは色んなところで言ってるんだけど、オウムの事件や阪神淡路大震災、去年の9.11のテロ事件や、この間の北朝鮮の拉致事件、そういう社会で起こった事件が、その傾向に大いに関係してると思うよ。それまでは「分からないことを考えること」にワクワクしてたのが、例えば震災で家は曲がったりとか、国家が人間をさらっちゃうとか、そういう経験をすると「世の中分からないことだらけで、いくら考えても無駄じゃないか」と。それで考えるのをやめるのは、想像力の減退だよ。そうなると、せめて芝居くらいは分かるものを見よう、となったんじゃないかな。でも、今「演劇ぶっく」は100号でしょ？ 200号でどういものが流行ってるか分からないよね。もしかしたら、どうせ分からないんだから、って「もっと分からないもの」が流行ってるかもしれない(笑)。

クラシックシリーズ

第三舞台を封印してから思ってるのは、第三舞台はその時代を映したものをやってたわけだけど、構造自体は普遍的なものだと思ってるんだよね。今でも高校生とかが『天使は瞳を閉じて』とか上演してくれてるんだけど、中に出てくる単語とかが当時のままだから申し訳なくて。だから一回全部の戯曲を……クラシックシリーズと呼んでるんだけど、時代に関係なくいつ上演しても普遍的な構造が立ち上がる戯曲に書き換えるというプランがあるんです。来年の『ビルグリム』はその第一段。あとに残すためと言うよりは、前にも言ったように、封印したからこそ逆のことをやれたら、と思ってる。でもそれをやったあと、どういう方向に行くのかはまだ分からないけどね。

構成・文◆高橋涼子 撮影◆アラカワヤスコ

「今」の「熱海殺人事件」

『熱海殺人事件』モンテカルロイリュージョン」初演の阿部寛は若くて肌が美しかったね。今年の『熱海』はそれから10年過ぎたわけだから、それ相応に歳を重ねて、若干肉だつてついてくるじゃないか。その今の状態で創らないと。出世魚のようになんか成長していきものであつて、そうじゃないとウソになるから。その辺が難しかったね。

内田有紀は、まったく先入観のない子だった。発声なんて教えたことなんてないんだ、最初から出来る子だった。俺はずっと二人を組ませたいと思ってたんだ。内田有紀ってこない、女の人の手口を使わない。その

俺たちの若い頃にはまだ、強烈なものがあったんだ。ビートルズとか、学生運動のような戦うものが。だけど今はそれがなくなっちゃったからどうしたらいいんだろうと。向かって行くものがないんだよね。

劇団には、銀行辞めて来たなんていう子がいっぱいいるんだよ。辞めなくてもいいじゃないかって思うけど、不況だから逆に自分の生き方を探したのかね。医者だつて子もくるんだぜ。何かむなしくなつて来た、っていうんだけど。とにかく出来るだけチャンスを広げていてあげないことにはさ。きれいな子は渋谷なんかに行けばスカウトされるけど、そういうやつだけじゃないかな。

唯一無二の魅力を引き出す

その独自のスタイルが、多くの演劇人に影響を与えたつかこうへい。けれども彼は、「小劇場の一演出家」にこだわり続ける。迷い、葛藤し、何かをつかもうと、多くの若者が北区つかこうへい劇団のドアをたたく。



つかこうへい

役者に触発される

の冷たさが阿部寛のストイックさにすごく合ったんだよね。伝兵衛が阿部寛で水野婦警が内田有紀だったから、速水刑事は山本亨じゃなくて春田純一だろ、それなら大山金太郎は小川岳男だろ、そこで役者の組立が出来てくる。それが一番いい。天ぷらを塩で食べるのか、つゆで食べるのかっていうことなんだ。

戯曲っていうのは文学作品ではないと思ってるんだよね。書斎で書けるのは4割で、あとの6割は役者に触発されて書かされてるんだ。だから、最初は、どう芝居を創ろうっていうイメージが俺にはないんだよ。

うちの劇団のオーディション、まずは多数決で決めるんだ。歯医者、税理士、テレビ局の人間、いろんなやつが審査員で来るんだよ。すごいぞ、多数決は。突出して意見が分かれるってことがなくて、大抵ビツタリ一緒なんだよね。それで残るやつはちゃんと残るから。それからだね、そのものもつるものを1年半くらいかけて探していくんだよ。

例えば「ハムレット」としたら普通一番いい男がハムレットじゃないか。俺のところは誰だつていいんだ。たまたまその役者と出会って、っていうことなんだよ。北海道で生まれたやつと九州で生まれたやつと雪のイメージは違う。そういう個々人の生活史やひとつひとつの言葉に対しての人間の姿勢が出るんだよね。それを見て、この子にはこれがいいんじゃないか、この子のハムレットは何なのかって考えていくんだ。役者ってカッコつけたがるけど、その人はその人以外の何者でもないわけだから。

いい役者ってのは、素直で正直なやつだね。性格がひん曲がったやつはやっぱりダメ。2時間の舞台ってテクニクだけではもたない、その人間性でしかもたないもの。だからあさみちゃんとかインチキなやつは、それがバレちゃう。客席の目からは逃れられないんだよ。

つかこうへい ◆48年福岡県生まれ。作・演出家。74年劇団つかこうへい事務所を立ち上げ、同年『熱海殺人事件』で第18回岸田國士戯曲賞を受賞。82年劇団を解散し演劇活動を休止していたが89年活動を再開。現在は日本初の行政バックアップによる北区つかこうへい劇団を拠点に本格的な役者・劇作・演出家の育成に取り組み精力的な活動を続ける。 次回予定 ◆『スリッパ物語』03/3/6～11 ◎紀伊國屋ホール

こうかみしろう ◆58年愛媛県生まれ。作・演出家。81年『朝日のような夕日をつれて』で第三舞台を旗揚げ。以後『デジャ・ヴュ』や『天使は瞳を閉じて』をはじめとする数々の作品で、80年代から90年代の演劇の最前線を走り続けるが、01年『ファントム・ペイン』をもって劇団公演は10年間の封印を宣言。現在はプロデュースユニットKOKAMI@networkや、外部作品の演出等で活躍。 次回予定 ◆『ビルグリム』03/1/14～2/2 ◎新国立劇場



リズムとテンポの共通言語

NYLON100℃主宰・ケラリーノ・サンドロヴィッチ。その知られざる素顔を探るべく、初秋のある日、エンゲキの街・下北沢にナイロン役者三人衆が集結。次々に飛び出すあんなコト、こんなコト。本人不在で、大放談!?

外部出演の舞台について話されたりしますか。
みのすけ 仕事としてやる大きな舞台ではなくて、自分がやりたくて出る小さな舞台とかに関しては出る覚悟やこだわりがハッキリしてないと嫌みたいですね。
大倉 何でか忘れちゃったけど、KERAさんがスタッフや出演者に「大倉がスママセン」って謝って回ったことがあります(笑)。あと、思うようにいかずにかなり戦っていた芝居があつて、たまたまKERAさんが通し稽古を見にきたんです。フツとKERAさんを見たら盛んに首を横に振っていた(笑)。その初日、二人で飲んでたら「稽古の時よりはるがい

不器用な親心

三宅 打ち上げで本読んでましたもんね。自分では飲みには誘わないのに、こっちは誘わないと怒ったり(笑)。みのすけ 場を共有したいというか、さみしがり屋などところがあるんですよ。
三宅 俺は結構、芝居の話しますね。あと、ちよつと女性の話とかしたことありますよ(笑)。待ち合わせをしてセックス・ピストルズの映画行ったり、別々に来るのに映画館でばったり会って、こちそうしてもらったこともあります。
みのすけ そういうのは三宅が一番多いかもね。
稽古場にて
三宅 KERAさんの状態は稽古場に入ってきた時にわかります。
大倉 本、書いてねえよ!? 逆ギレして入ってきたり(笑)。
みのすけ 子供っぽい、わかりやすい人です。でも作品の言葉とかに関しては、すごく大人ですね。
大倉 あと、あれはやりづらい、髪立てたまま稽古されるの(笑)。
みのすけ 取材なんかがある時だけ立てるんだよね。
三宅 だから髪が立つてると、何かあつたなとすぐわかる(笑)。
演出の仕方はどうですか。
三宅 すごく音楽的です。こういうリズムで言ったら面白いとか、手をたたきながら演出したりするし。それ

さみしがり屋?
—— 昔のKERAさんの印象は?
みのすけ 劇団健康旗揚げ当時はバンドの延長線上って感じだったし、本人もいっぱい出演してたから作家、演出家というイメージは全然なかった。そういえば昔は飲み屋が大嫌いでした。
三宅 打ち上げで本読んでましたもんね。自分では飲みには誘わないのに、こっちは誘わないと怒ったり(笑)。みのすけ 場を共有したいというか、さみしがり屋などところがあるんですよ。

どんな話をされるんですか。
大倉 KERAさんとはネガティブなところが似ていて、二人だけだとよく話がマイナスな方向にいってしまいます(笑)。
みのすけ 昔はやっぱ芝居の話が多かったですが、最近はお互いナイロン以外の仕事も多いし「映画なに観た?」とか、芝居以外の話もしますね。日常生活につつまんだ話はあまりしらないですね。
三宅 俺は結構、芝居の話しますね。あと、ちよつと女性の話とかしたことありますよ(笑)。

ありますよ(笑)。待ち合わせをしてセックス・ピストルズの映画行ったり、別々に来るのに映画館でばったり会って、こちそうしてもらったこともあります。
みのすけ そういうのは三宅が一番多いかもね。
稽古場にて
三宅 KERAさんの状態は稽古場に入ってきた時にわかります。
大倉 本、書いてねえよ!? 逆ギレして入ってきたり(笑)。
みのすけ 子供っぽい、わかりやすい人です。でも作品の言葉とかに関しては、すごく大人ですね。
大倉 あと、あれはやりづらい、髪立てたまま稽古されるの(笑)。
みのすけ 取材なんかがある時だけ立てるんだよね。
三宅 だから髪が立つてると、何かあつたなとすぐわかる(笑)。
演出の仕方はどうですか。
三宅 すごく音楽的です。こういうリズムで言ったら面白いとか、手をたたきながら演出したりするし。それ

から「動きの演出がダメな代わりに言葉にはすくこだわりがある」って言ってますよね。
みのすけ KERAの芝居は会話の妙とかが成立していることが前提の台本だから、言葉のインテンションや言い回しにはすく敏感です。
三宅 でも「こういうのもあると思うんです」って言えば、それもちよつとみようって余地もあるし、全部が細かく決まってる訳じゃないんですよ。
みのすけ ナイロンの人間にはKERA演出の共通言語が、感覚でなんとなくわかってますからね。
大倉 そうそう。「動きは自分で作って」っていうKERAさん式でやってきたから、外の舞台では立ち位置や動きを決められちゃう演出が一番困ります。
三宅 あと、ごくまれに自分でやってみせてくれる時があるよね。
大倉 髪を振り乱して、急に倒れたり(笑)。
みのすけ すごくいい声出したりね。
三宅 たまにだからこそ、面喰らってビックリしちゃうんですけど。
大倉 言葉を細かく書いて説明する演出家が多いけど、KERAさんは「そういう感じじゃん?」って。だからそれが周囲に伝わらないとわあ、うって動いちゃうんでしょうね。

ん戦って良くなってるけど」ってKERAさん、段々大声になってきて、すく困ったことが(笑)。
三宅 大人計画の「春子ブックスンター」の時には「みんな強硬で大変ですよ」って言ったら、手に三つぐらいダメ出しを書いて初日の楽屋に来て(笑)。「こうしたらもっとよく見える」とか、すく個人的で誰も気づかないようなことなんですけど、「いろいろあるけど良かったんじゃない?」って言ってくれて、ありがたかったですね。
みのすけ 不器用なんだけど、基本的にはすく優しい人なんですって、まとめたりして(笑)。

三宅 弘城
みやけひろき ●(左)68年神奈川県生まれ。88年より劇団健康に参加。KERAさんに一言:「この間の『雲の上田五郎一座』で久々にやったけれど、KERAさんのコントってやっぱ面白い!」笑いやりましょう! 次回予定 ◆「東京のSF」 ドラマ「真夜中の雨」TBS系木曜22:00〜レギュラー出演中
みのすけ
みのすけ ●(中央)65年東京都生まれ。85年の劇団健康旗揚げメンバー。高校の後輩にしてバンド仲間でもある。KERAさんに一言:「究極を言えば、健康には気を付けてほしい。KERAはアップアップしながらやり続けることが好きなんだけど、もう40歳だし(笑)、無理しない仕事量を」 次回予定 ◆「東京のSF」
大倉 孝二
おおくらこうじ ●(右)74年東京都生まれ。95年よりNYLON100℃に参加。KERAさんに一言:「稽古場で死にそうな時がたまにあるのでそれだけは勘弁してほしい。あと、やっている俺らが楽しいような無駄なモノもまたやって下さい」 次回予定 ◆「東京のSF」 ドラマ「リポート」日本テレビ系土曜21:00〜レギュラー出演中



宮藤 官九郎

日常と地続きの。

いろんな要素や小ネタをリズムよく盛り込みながら、時代の空気感を鮮やかに描き出す宮藤官九郎の世界。むしろカッコ悪め、ゆるかったり時々切なかつたりしつつも生まれる会話の気持ちのいいグルーブが、どこか爽快感を感じるその作風の原点、そのほんの少しのヒント。

- 劇作のアイデアの源は?
その時によって変わりますね。例えばバイトがもたらしたこともあったし、「キラークイーン666」は映画とか実体験がもとになっている。断片的なアイデアが一つにつながる時があるから、自分でムリにひねり出してる感じはないですね。
- 最近読んでおもしろかった本
竹まゆみの完全自白本「愛の地獄」は相当おもしろかったですね。一日で読みました。それをこないだテレビで再現ドラマをやって、竹まゆみを高部知子がやってたのが最高に良かった。
- 今までの作品で一番気に入っているセリフ
気に入っているセリフは一言じゃなくて、会話のやりとりですね。気のきいたこと言ってるやつっていうのはない。状況を説明しないとかわからないけど、最近のだと「春子ブックスンター」で支配人役の皆川(猿時)くんがみんなと別れるシーンで、さくらっていう子に「さくらもち」って、すごい深刻なシーンなのに言っちゃったって(笑)。
- 作品のタイトルはどんなふうにつけますか?
深い意味のあるタイトルって好きじゃないんです。タイトルつけたら変えたくないしひねりたくない。候補を23つ思いついた時はもうダメで、「これだ!」っていうものが出てくるまで決めたくないですね。
- 資料は参考にしますか?
まずしないです。ツッコまれたりするの嫌だから、一応本を読んだりするのは嫌です。グレイプフルーツちようだい」の時にちよつとアル中の本を読んだぐらいかな。最初と最後の曲をどれにしよっていうことが重要だったりする。
- 最近みたおもしろい夢
夢は最近みてないですね。よくみるのは、楽屋から舞台ソデに急いで行かなきゃいけないのに、その道のりがものすごく遠くってしかもいろいろな人に話しかけられて全然たり着けないっていう夢。
- 小さいころなりたかったもの
漫才師になりたいと思った前は漫画家になりたいと思ってたし、刑事になりたいと思ったこともある。刑事は「殉職したくないな」と思ってたから、漫画家としてのもっとこれだから。
- 作家と演出家、どちらが選ぶとしたら?
みんな褒めてくれないんだけど、舞台の演出は僕こそできるはずなんです(笑)。作家としての需要が今のところ多いですけど、バランスをとりたい。演出家をもう少し作家に追いつかせたいとか、作家としてもまだまだこれからなんですけど、演出家としてはもっとこれから。
- 演出するのが苦手なシーンは?
女優さんを演出するのが苦手だと思ってたんだけど、「春子」で僕なりに克服した感があつて。それ以外だと、強い言うなら皆川くんが出てくるシーン(笑)。僕が皆川くんのことおもしろがって彼しか見てないから、他に目がいかない(笑)。
- 演出に欠かせないもの
フリスク。気が散るんだけど、フリスク食べると落ち着くんです。でも、4時間で2箱ぐらい食べたらお腹ですわした(笑)。青が好きだったんですけど、最近出た薄い青のがいいですね。

10 questions

漱石の喜劇性

永井さんと言えば、時代そのものや、時代と個人の関係、女性の生き方などを、庶民の日常風景を通して喜劇として描いてこられました。漱石の「明暗」をどう捉えて、現代版「新明暗」を描かれるのでしょうか。「明暗」って私には可笑しいんですよ。ある男が痔をきつかけに人生を振り返るなんて、状況として変でしょう。で、結局は、痔の療養という目的で、昔の女がいる温泉に自分を振った理由を訊きに行く。そのバカバカしい話を、漱石は重々しく展開しています。それに、人の心理の滑稽さを十分承知していますね。女もの下駄があった。お延は猛烈に下駄を見た「なんて、私」どうやって猛烈に見るんだろう？「って思った笑。人間の嘘のない姿を非常に深刻に描いていて、それ自体がすごく笑えます。だから、これを喜劇と捉える距離感が私は好きですね。また、漱石は非常に鋭利に男女を観察しています。男が女を理解不能な神秘的な他者として見る目と同時に、女が男を他者として切実に見る目も描き込んでいる。そして現代でも解決し得ない男の辛さや女の鬱屈を描いています。

時代と自分への問いかけ

劇作家であり演出家の永井愛の快進撃は素晴らしい。本人曰く、「40代にして芽が出た。遅咲きの花」は、今や、演劇界の賞という賞を総なめ。今回、夏目漱石の未完の長編小説「明暗」を劇化し、永井流の読み取りで結末も加えて上演するという。その初日直前の彼女に話を聞いた。

に、人物の想念の中に人がボンと出てきて語りだすというリアリズムを超えた設定があり、構成が飛ぶんです。だから、これまでの作品が等身大の世界だとすれば、今回は少しデフォルメされた世界になります。場面もかなり変わりますので、装置を初めて抽象的にするという実験もしています。その中で、8人のキャストが21役を演じ分けます。私「明暗」のテーマは「照らしあい」だと思うんです。明と暗の悲喜こももともという意味。それに人は、他人に照らして初めて自分を知ることでもあります。だから1人の俳優に、ギャルソンと安酒場の主人というふうに対照的な役を演じてもらい、演出も少々誇張してみます。

人間は和解できるのか

「ここまで来られた永井さんの、これからは？」
私、今年で51歳になります。この歳になり「今、私はこれを書きたい」というよりは、まず今の時代と、後の半生を生きる私を考えるんです。この世の中は、どんな不幸な人の存在が私の胸にも刺さってくるくらい、すごいことになっていきます。私たちの地盤は脆いですが、そんな時に、先行きと関係なく自分の書くものが出てくるわけではないと思います。それは関係なく、女性や、時代と個人を追うなんてできない。「人間は和解できるのか」といった根源的な問いに向かわざるを得ないんです。その中に、女性や家族の問題の解決もあるのかなと思いますね。

永井愛

interview



『戦後生活史劇三部作・パパのデモクラシー』00年



『萩家の三姉妹』00年



『こんにちは、母さん』01年

ながいあい ◆ 東京都生まれ。作家・演出家。81年、大石静と二兎社を旗揚げ、92年より主宰、プロデュース公演を続ける。生活者としての視点から見据えた現代日本の現実を、鋭い笑いと批評精神で描く。戦後生活史劇三部作、「萩家の三姉妹」をはじめとする作品群で数々の賞を受賞。次回予定 ◆ 『ゴロウリョフの人々』03年6月 ◎ 新国立劇場



『ボーイズ・タイム』99年～00年 撮影 ◆ 青木司



『なにもしない冬』01年 撮影 ◆ 青木司



『ヴォイス〜私が愛するほどに私を愛して〜』02年 撮影 ◆ 田中画紀

多くのことをゆつくりと

東京進出を果たし、「関西期待の星」と呼ばれていた3年前から、今や演劇ファンで知らない者はないほどの人気作家となった土田英生。主宰する劇団MONOから未知のジャンルまで、多彩な場所を歩き回った彼女「学んだこと」とは？

やっていることはわからない

この数年は、劇団以外のいろいろな所で芝居を書かせてもらっているようになって、確かに社会的には恵まれていました。でも自分の中では、そんなに衝撃的なことや劇的に変化したことっていいのはないんです。何が変ったかと聞かれると「いつの間にか風呂付きのアパートに住んでいた」とか、その程度で。

MONOを旗揚げた頃の話ですが、水沼(健)に「売れたら楽になるよ」って言うとした時に、彼が「楽も何も、芝居やってる以上やることは一生変わらないんじゃない？」みたいな、何かカッコいいこと言われて(笑)その言葉はずっと残ってます。実際の現場に入っても、やっていることの基本はずっと同じなんですよ。

「学びっぱなし」だった

東京進出からの3年間にテーマを付けるとすると、「学びっぱなしの3年間」(笑)。たとえば「ボーイズ・タイム」では、ミュージカルの仕事、今までやってたストレート・プレイ以外のジャンルの関わったことで、まず自分の視野が広がった。同年のMONOの「錦鯉」では劇団も僕も大劇場での見せ方を鍛えられたし、昨年の新劇での仕事は自分の倍の年齢層が中心の芝居を書くことが新鮮だった。ここでは「ゆつくりしたテンポでもお客さんは笑うんだ」と、演出面でも学びました。今年の「ヴォイス」でも、オペラ界のスタッフさんたちと一緒に仕事をして、自分の知らない

MONOは絶対必要なんです

MONOも年数を経て大人になりましたよね、僕も皆も僕にとっても劇団は絶対必要なんです。お互いにそれに頼り切ってはダメという意識が出てきたと思うんです。やはり劇団って皆それなりに自分を保たせたいで活動しない、という風に考えが変わりました。

これからはMONOの公演も、ちよつとペースを落とそうと思ってるんですよ。もうこうなると一生この仕事やっていくと思うんですけど、自分はどういう形でやっていくのかというのを一度ゆつくり、真剣に考えたい。次の3年間は、もっといい3年間にしたいです(笑)。

土田英生



interview

多目的ミニスタジオ
自由が丘 スタジオショコラ
 自由が丘駅より徒歩2分

小劇場 ☆ 芝居・舞台・ライブ
 展示会・各種発表会

1日 ¥ 40,000
 2日 ¥ 75,000
 3日 ¥ 100,000
 仕込み・ゲネ ¥ 28,000

暗幕・電動幕・平台・パンチ・椅子・スクリーン
 音響・照明・冷暖房完備

貸スタジオ ☆ 各種教室・稽古場

11:00~22:00 平日(1h) ¥2,000~
 土・日(1h) ¥3,000~
 (定期使用) 平日のみ(2h) ¥3,000~

鏡張り・全床フローリング・テーブル
 椅子・更衣室・CDデッキ・冷暖房完備
 ※通信カラオケ有り(別途使用料)

演劇教室 ☆ 生徒募集

未経験の人、趣味の人、現在劇団やプロダクションに所属している人、オーディションを受けた人など、資格は問いません。ベテラン講師陣による本格的な演技・日舞ダンスのレッスンをセットで受けられます!

演技・日舞・ダンス(月6回)

◆ ジュニアクラス(4才~)

◆ 青年クラス(16才~)

入会金 ¥15,000 月謝 ¥14,000

◆ 趣味の朗読劇クラス(月4回)

入会金 ¥10,000 月謝 ¥8,000



目黒区自由が丘1-26-1 地下1階

問合せ・申し込み

(有) ダンデ・ライオン

(事務所) TEL 03-5499-9987

FAX 03-5499-6248

(スタジオ) 03-5729-2241

<http://homepage3.nifty.com/dande-l/>



おかしな2人

作◆ニール・サイモン 演出◆鈴木裕美 ダイアログ◆飯島早苗
 出演◆男編・陣内孝則 段田安則 八崎智人 高橋克実 手塚とおる 浅野和之/女編・小泉今日子 小林聡美 池津祥子 歌川権子 深浦加奈子 広岡由里子
 8/31~10/14 © PARCO劇場、10/19~30 ©シアター・ドラマシティ

喜劇王ニール・サイモンによって65年に書き上げられた男編。そして、85年に誕生した女編。その両方を現代に置き換えて演出し、バルコ劇場で同時上演という今回の試み。人物設定は似て非なるもの、同じプロットでも全く違う爆笑が生まれる。スカッとする男編、しんみりする女編と、まったく肌触りの違う舞台に仕上がった。

毎週末には6人の友達仲間が、無精者のオスカー(段田安則・小林聡美)の家に集まってボーカー・ボードゲームを楽しむのが習慣。だが今日はいつもと少し違い、神経質なフリックス/フローレンス(陣内孝則・小泉今日子)が、離婚のショックで自暴自棄になってやって来た!心配したオスカー・オリブは彼/彼女に同居を持ち込む。そこから、おかしな2人のおかしな生活が始まっていく。



構成◆石本真樹 文◆岩城京子 撮影◆田中亜紀(舞台・男編) 佐渡谷成規(舞台・女編) アラカワヤスコ(人物)

松村 早稲田の演劇倶楽部の新人公演の時に、脚本を書いたのが一番最初の作品。ものを書くのは嫌いじゃなかったし、文学部俺だけだったから、という理由で(笑)。

八嶋 僕は中高と一緒にだったから、文章とかも書ける頭のいい人というイメージがあったんですよ。何となくみんな「書くんでしょ?」っていうイメージだったし。

松村 でも中高生の頃はこっち(八嶋)の方は番長タイプで、僕は物静かな、運動が出来ない人だったんで(笑)、あんま接点なかったんですよ。でも中高一貫で一学年120人しかいないのに、毎年クラス替えがあるんですよ。だから大体全員と同じクラスに当たる。それでも喋ったこと無い奴が3人くらいはいるんですけど。

八嶋 俺はおれへんぞ(笑)。

松村 それで中3の時に同じクラスになって、文化祭の時に奇数の学年は展示発表、偶数の学年は舞台発表って決められて、高2、高3は好きな方を選べるんですけど、二人とも舞台を選んでたんです。

八嶋 演劇が盛んな高校だったんで、あと、ちょうどそのころ小劇場ブームだったしね。

松村 それで大学入って色々演劇サークルを回って、居やすい感じの所に決めたという。

——八嶋さんから見られた、最初の作品の感想はどうでしたか。

八嶋 言葉の感じとかギャグとかは、そりゃ今から見たら恥ずかしい部分はたくさんあるだろうけど、その時はあんまり感じませんでしたね。多分、中高時代に培われたものが一緒というのもあった、僕は入りやすかった。あと、頭いい人だと思ってたから、よく分からないことが書いてあっても、何かあるんだろうと(笑)。——それから劇団旗揚げになるわけですが、作風の変化とかは感じられますか?

松村 ……僕は一作ごとに変わってて思うんですけどね。最初の何作品とか今観れないですよ。なんかね、今よりもっと……学生演劇っぽい(笑)。ここはギャグ、ここはマジなシーンってはっきり分かれてる感じという意味で。

八嶋 大学の終わりくらいの時「そういうのがはっきり分かれてるのってどうよ?」って言ったら、「そういう方

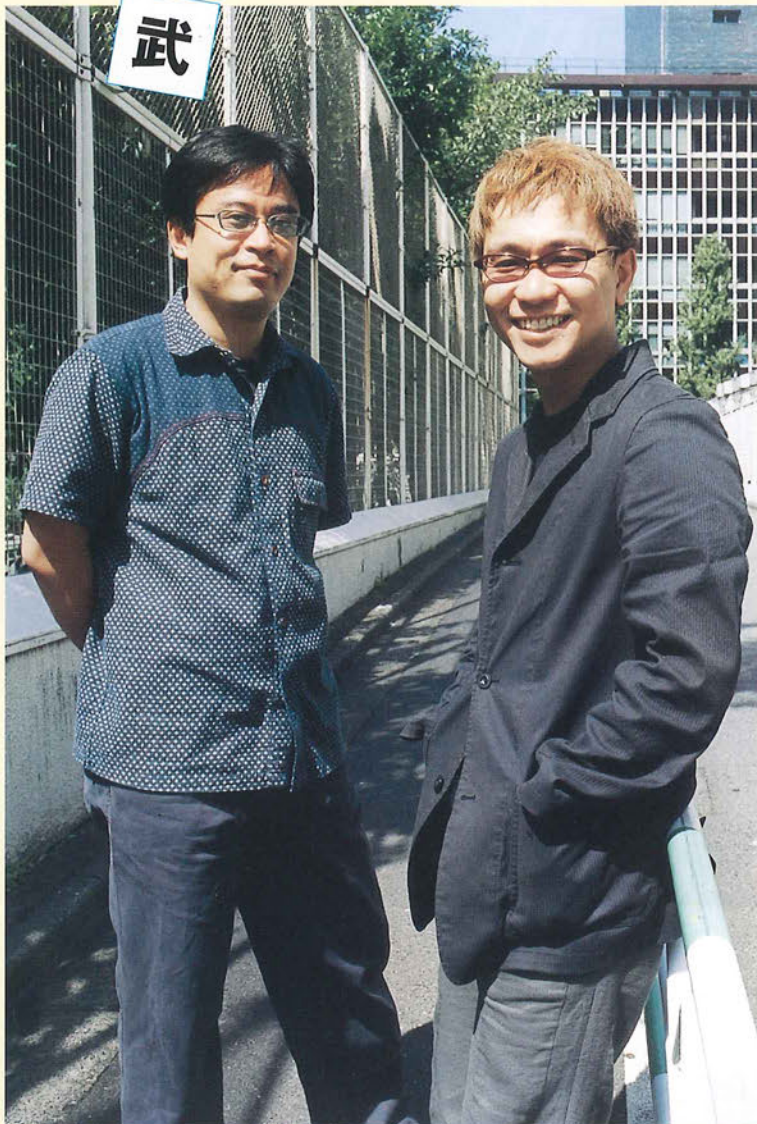
変化というメリット

コンスタントな公演活動をしているかと思えば、「1日1話24日間連続」とか、「6時間年越し公演」とか常に新鮮な試みと、その独特の世界観で私達を楽しませてくれるカムカムミニキーナ。

看板俳優・八嶋智人と作・演出の松村武。付き合いの長いこの二人に劇団のこれまで、そして「松村作品」についてあらためて語ってもらった、ちょっと“素”な感じの対談です。

cross talk

松村武



八嶋智人

がわかりやすくていいんだ」ってものすごく怒られた思い出があるんですけど(笑)。

松村 いやほら、まだ最初の方だから(笑)。まあ3作くらい書くとか自分のテイストに飽きるんですよ。で、大体3年くらい……3部作を3つやると大きな展開があって、言っていることが180度変わるっていう(笑)。だから時期「アドリブができない奴は駄目だ」みたいなこと言ってたのがしばらくすると揺り戻しで「一語一句ちゃんと書え」ってなるし。長くなると思うんですけどね。

八嶋 俺はもともとあまり細かく言えないせいか、とまどう感じはなくて。最近では、外の仕事やって劇団に帰ってきたりすると「今こうなのか?」って思うし。ただ、それぞれの時期に劇団に入ってきた、違うグループの演技体をまとめるの、ねえ。まあ自分で蒔いた種やけど。

松村 グループが4種類くらいある(笑)。

八嶋 ずっと居るとなんとなくこっちもそういうのが見えてきて、俯瞰してみてもそれも面白かったりするし。劇団続けて11年になりますけど、劇団って多分固まらない方が続くと思うんですよ。それを考えると、一番上の人がよく変化するのが、かえっていいのかなあ、と。まあむかつくこともあるんですけどね(笑)。——カムカムといえば、「鈴木大地」の連続公演ですとか、年越し6時間公演など、公演自体で様々な試みを行うイメージも強いんですが。

松村 あれは確かに大変でしたけど、やって「大変だったー」って言うたいんですよ(笑)。一回一回の公演を際立たせたいというのがあるんですよ。情性になってるわけじゃないんだけど、その「一回にかけるエネルギー」というのを常に出していきたいんです。だからそういう色を付けたり。

八嶋 あとは、そういう色を付けないとお客さんが来ないんじゃないかという不安感もあるんだけどね(笑)。でも参加してる側としてはやっぱり面白い所の方がいいわけで。だからそういうことを常にやってる劇団が、自分の劇団でありホームグラウンドであるということは嬉しいですけどね。

カムカムミニキーナ次回公演「エメラルド」

松村「顔ぶれ的にエネルギーな、攻撃的な人たちがばりなので。今回は、サッカーでいえばディフェンスがいらないとか……全然具体的じゃないんですけど、キャラクター強い人が、次々と一杯出てくる感じで」八嶋「学生演劇みたいなの?」松村「初心に戻る、ということ(笑)」12/5～8シアターアプル、12/21・22近鉄小劇場



まつむらたけし ●70年奈良県生まれ。90年、早稲田大学演劇倶楽部を母体に、八嶋智人らとともにカムカムミニキーナを旗揚げ、以降作・演出・主宰をつとめる。外部プロデュース公演の作・演出も多数のほか、役者としての客演も多い。
やしまのりこ ●70年奈良県生まれ。カムカムミニキーナ旗揚げメンバー。そのハイテンションでコミカルな演技で、数々の舞台・テレビで活躍中。先日の「おかしな二人 女編」での反則フザケも言うべきベイン人兄弟役も記憶に新しい。

男と女と作家と飲み会
演出している男女編とどちらかのほうがやりやすい、っていうことはなかったですね。まあ、個人的な好みから言うと私は男を演出してるほうが好きなんですけど(笑)。でもほら、男

ただ今回の各パージョンにあえてテーマをつけるなら「男編が再生」、女編が「新生」ということとなります。つまり、見た人ならすぐ分かると思うんですけど、男編の別れた相手っていうのは、すごくちゃんとした人たちなんですよ。ダメなのは男のほうだから最後の場面で、もしかしたら、相手と寄り添っていかなくても関係性は続けていけるかもしれない、っていう希望を抱かせるような展開で終わる。今から再び人生を取り戻す、っていう意味で再生なんです。で、逆に女編の方は別れた相手がダメ人間なんです(笑)。だから、そんな男たちへの未練を捨てて、もう一回新しく生きていこうよっていう話にしようと思っただけです。

以前、私は自転車キンクリートSTOREの「純爛とか爛漫とか」という芝居でニール・サイモンの「おかしな二人」をまねて、男女両パージョンを同時上演したことがあったんですけど、その時の経験からいっても、今回も、特に意図しなくとも男女パージョンそれぞれが、全く別の芝居に仕上がってると思っていいんです。生理的に言っても男女は全く違う生き物だし、役者さんのキャラクターの違いもある。だから演出家が「男はこうだ、女はこうだ」って決めつけるようなことさかしくないマネをしなくても、役者さんと向き合っただけでコミュニケーションを取っていけば、それぞれが面白くなると思って稽古をしていました。

芝居の構造はすべて同じ

今回の「おかしな二人」であれ、あとは「マクベス」とか「第十七捕虜収容所」とかでもそうなんですけど……、翻訳物はいつも、観客が親近感を持てるようにというには気を遣いますね。それは単純に日本に設定を置き換えるとかいうことではなくて、まず第一に、私が演出する作品を決めるポイントには「愚かしくて美しさ」両方を備えている人物が本の中に発見できるかってことなんです。マクベスとかは、まさにその典型ですよ。この二つの要素があれば翻訳物でも大丈夫って思える。あとは、細かい笑いとか状況説明に終始せず、人物の気持ちの流れが通るかどうかを見ていくんです。絶対に門を開けるためだけに出てくる役っていうのはないですから。なぜその人物はそこにいるのか、っていう筋道を整理していくことによって、自分

とするシーンがあると思いますよ。で、その筋道の中にパンツ一丁の間男がいたら(笑)、主人公が後ろから呼び止められて「ん?」って振り向いて扉を開けないと、そこで笑いが起きるんです。でも筋道の中にチェインソーを持ったジェインソンがいたとしたら、同じ芝居をしても観客は「ああ、良かった」っていう気持ちになる。だから芝居って構造自体は全部同じで、どの扉を開けるかで見え方が違ってくるものなんだと思うんですよ。だから逆に「すべての演劇はサスペンスだ」とも言えるんですけどね。



鈴木裕美



再生する男たち、新生する女たち

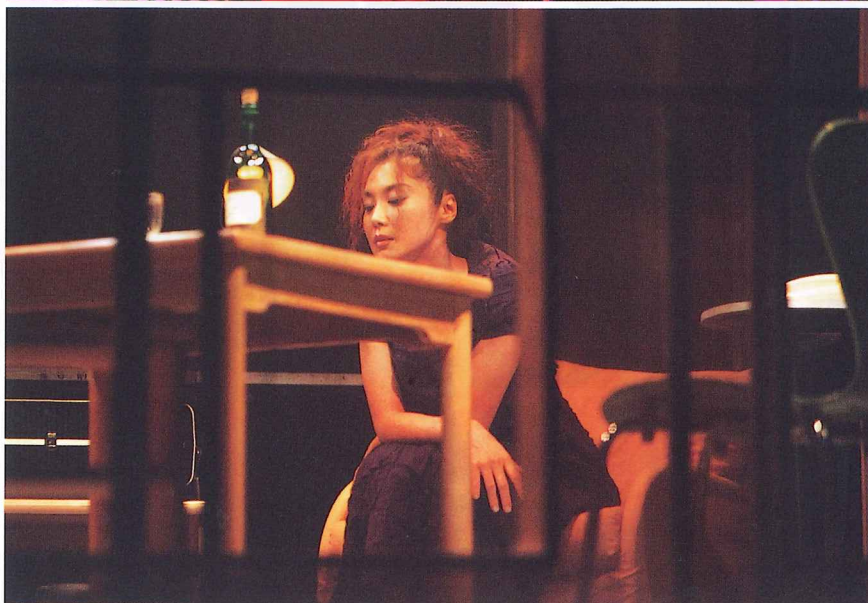
ピンスポットを浴びれる役者ばかりが勢揃いしたこの舞台。男編、女編を同時に演出する、という大役を担ったのは、演出家・鈴木裕美。翻訳劇のおもしろさと現代の感覚をとりまぜ、連日連夜、観客の体温をヒートアップさせた。

すずきゆみ ●東京都生まれ。日本女子大学在学中の82年に自転車キンクリートを結成。以降、ほとんどの作品の演出を担当。「奇跡の人」、「ピーターパン」、「おやすみ、母さん」など、劇団以外の外部演出作品も多数。「高き彼物」、「OUT」の演出で、第35回伊園屋演劇賞個人賞と第8回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。いま最も輝く女性演出家である。 次回予定 ◆自転車キンクリートSTORE「ダイアナ教師の大穴」11/30～12/8◎スペース・ゼロ

クラブ・オブ・アリス

作・出演◆高泉淳子 演出・出演◆白井晃 出演◆浅野温子 宇沢智 小林隆 富岡弘 北村岳子 富浜寛
10/3～24◎青山円形劇場
シアター・テレビジョンでは、特集「遊●機械／全自動シアターの軌跡」と題し、
高泉作・白井演出の4作品と撮り下ろしインタビューを11月に放送予定。

構成・文◆石本真樹 撮影◆田中亜紀(舞台) 宮本慶香(人物)



誕生日だというのに、自分で自分のために買ったドレスを身にまとい、寂しくお酒をあおる女性がひとり。彼女の部屋にかかってきた、一本の奇妙な電話からは、「早くこっちにおいでよ」と誘う声がある。そこに突然現れたのは、「昔、私はアリスだった」という、アリス。そこからアリスと女の不思議な旅が始まっていく……。

時間軸を超えてくりひろげられるファンタジーで、多くのファンに支持されてきた「遊●機械／全自動シアター」が、劇団としての活動に終止符を打つ。遊機械ワールドを紡ぎ続けた白井晃と高泉淳子は、いま何を思う？

Stage
photo
with
interview



高
泉

淳
子

しょうけど、根は役者だから本を壊したい。変な話、結構作家に対しては私がいちばんアンチですよ。ね。悲しい言葉なのに、笑って言ったりとか、あえてしちゃって。

最終公演ということに決まってから、演出プランは変わりました？
白井 浅野さんから遊●機械でやりたいとおっしゃっていただいて、高泉から7年前の「独りの国のアリス」だったやれないかなと言われて、「それは面白い」と直感的に思いました。それで大改訂が行われたんですけど、浅野さんが持っている肉体的リアリティと、われわれが作ってきた遊●機械ワールドと言われるような虚構の世界が接触した時に、どんな風になるのかって考えたんですよ。だから彼女がいる世界の現実感を視点においてやることによって、作品の内容がより明確になるんじゃないかな。一応ラストステージということにはしたんですけど、でもそれはゆるやかに変化してきた僕たちの何か大きく変わったというわけではないんです。劇団員制を廃してプロデュース形態になったし、いわゆる劇団解散というのにつきまとう感覚はなく、ラストショウという名前にしたのも、束縛されたカタチでしか出せないものではなくて、もっと可能性を探りたいなと思ったからなんです。

高泉さんは女性を初めて描いた作品が、偶然にもラストになったわけですが、

高泉「不思議の国のアリス」という物語は、私のベースになっているんですよ。ね。どの本を作る時も、この穴ぼこ落っこちたワールドは全部もたになっていると言ってしまうのもいいかもしれない。「ラ・ヴィータ」にしても、その主人公は老人で、老人が時間の穴ぼこに落ちてこちて何を見たかっていうお話です。そういう意味では最後がこれになったっていう偶然さの不思議っていうのは、「なんだやっぱアリスがやっていうところろが大きいですね。書き直すためにもう一度「不思議の国のアリス」を読み直しているというその偶然がなんか面白いというか。

これからの活動はどうなっていくんですか？
白井 またスベシャルというカタチで二人でやる可能性もあるかもしれない。でもその時に自分たちがやりたい状態でやるというですね。劇団って始まった時は何かをやりたいと思って集団を組むわけですよ。それは最初の表現衝動だと思うんです。でもそれをキープするためにはナンセンスですよ。だからそのカタチを取るだけなんです。高泉が新たな展開を見せている時にやりたいと思ったら一緒にやるかもしれない。いっつも表現衝動に正直でいたい。それだけなんです。



白
井
晃

今回で遊●機械／全自動シアターはラストということですが、高泉 遊●機械／全自動シアターという名前を最後にしようかと白井が言い出してたんですけど、「クラブ・オブ・アリス」に浅野温子さんが出るといことはそれより前に決まっていたんです。だから妙なたち



高泉さんの作品はすべて白井さんが演出されていますが、作家としての魅力はどんなところですか？
白井 高泉の本質的なところは、人と人がコンタクトを取る瞬間の微妙な揺れに、情緒というものを言葉に揺れ出してくれているので、そのあたりが魅力ではないかなと思っています。きっちりとした展開や大きなドラマがあるというものではなくて、人が生きていく上で人に接する時とか、日常生活の中で自分の中に起こる不安や喜び、切なさというように想いを書くのがとても上手いんですよね。

高泉さんは自分で作・演出までしたいと思ったことはないんですか？
白井 あると思いますよ(笑)。

高泉でも私はどっちかというと作家というよりも役者。本質的には役者だから私は決して自分から書きたーって言ったおぼえはなかったんです(笑)。大学の時は作家だけは絶対にやるまいと思ってたし(笑)。だから書いたものをすべてこうしたいっていうようなものはないです。もちろん、こだわりのありますけど、現場主義です。作家だから私がやっているような人物だったら、もっと自分の本をシビアに見れて「こうだ！」って言えるんで

たかいみづみつ◎宮城県生まれ。早大在学中に白井晃・吉澤耕一と出会い、遊●機械／全自動シアターの結成に参加。以来すべての公演に出演。戯曲も担当。生と死、家族とのコミュニケーション、などといったテーマで独自の世界を広げている。役者としても幅広い年齢層を演じ分ける抜群の演技力を持つ。ジャズ歌手としても積極的な活動中。次回予定◆「ア・ラ・カルト」～役者と音楽家のいるレストラン2002

しらいあきら◎57年京都市生まれ。遊●機械／全自動シアター代表。'83年の結成以来、すべての作品に出演している。繊細で独特な存在感で、客演はもちろん、CM、テレビドラマなどのでもその実力を発揮している。自身で演出を手がけるプロデュース公演での活動もさかん、[ピッチフォークディズニ-]などを上演し好評を得ている。次回予定◆「ア・ラ・カルト」～役者と音楽家のいるレストラン2002/12/6～26◎青山円形劇場



エイヴリー・フィッシャー・ホールの熱狂。



初日のレセプションにて、宮本亜門、S・ソンドハイム、J・ワイドマン。

ニューヨーク・タイムズ紙



Stage photo with interview



宮本亜門

「客観的な視点を持ちつつ、僕らなり
の愛情を持って、アメリカという国
に何かを伝えられたんだ」と感じ
ました。

——辛口で知られるニューヨーク・
タイムズ紙の劇評家を初め、批評家
もおしなべて絶賛しました。

新聞評が出た日の夜から、観客の反
応は出演者もついていけないほどに
なり、楽日まで突進していったとい
う感じがですね。

今回ニューヨーク・タイムズが相当
な紙面を割いて評を載せてくれました
。それを読んでいて、僕は、劇評家

と客観的に話をさせてもらっている
ような気分になったんです。それが
嬉しかった。特に、9・11以降の
ニューヨークの事情に見事に重ね合
わせた論点は、「一回ご覧になっただ
けなのに、どうしてここまで理解で
きるんだろう」と、驚きさえ感じたほ
です。そして先ほどの観客の反応
も含めて、今のニューヨークに僕達
日本人がこの作品を持ってきた意味
があったことを実感できたのが、何
より嬉しかったです。

——その実感が大きかったのだしょ
うか、亜門さんは来年しばらく
ニューヨークで暮らされると伺い
ました。

——「おめでどう」と言っても
もらえる結果が出たのですから、お
としく日本に戻って活動をすればい
いのですが(笑)。なんだか僕いろん

な価値観が入り交じって混沌とした
状況にあるニューヨークを、自分の
中で無視して進めなくなってしまう
んです。さまざまな価値観がぶつ
かると、そこで人は考えざるを得な
いじゃないですか。「考えたい、感じ
たい」と意識することから湧き起
るものであるでしょう。今はそう
いう場所、何かを創りたいと思っ
たんです。でもそれがバフォーマンス
という形なのかどうかは、具体的に
はまだ分かりません。ただ、もう44歳
だし、自分に正直な歩み方をしたい
なと思うんです。

——そういう今だからこそ、ソンド
ハイム氏と懇意になれて良かった
ですね。

——本当に僕にとっていいタイミングに
知り合えたと思います。20代の僕
だったら、こんな関係になれなかつ

たと思う。今だから、お互いに敬意を
払いながら客観的に意見を交わし、
「なるほどね」とって興奮し合えるんだ
と思います。彼は僕に「対等であるこ
とを望んでいます。その喜びは僕に
とって、たまらないものです」。

彼はこの作品の脚本家であるワイド
マンさんと一緒に、初日の4日前か
ら字幕をチェックしてくれました。
以前から彼は、会場のエイヴリー・
フィッシャー・ホールが、もともと演
劇ではなくコンサート用の空間であ
ることを心配していました。でも劇
場に入り、花道に立ち、完成した舞台
を見て感動したみたいです。2人と
も無言で20分ぐらい立っていました
よ。ほかのアメリカ人スタッフがそ
んな幸せそうな2人を見て、成功の
確信を得たらしいです(笑)。



太平洋序曲

作詞・作曲◆スティヴン・ソンドハイム

台本◆ジョン・ワイドマン

演出◆宮本亜門

出演◆国本武春 越智則英 樋浦勉 佐山陽規 大島宇三郎 岡岡新太郎 他

7/4~13◎ニューヨーク・リンカーンセンター内エイヴリー・フィッシャー・ホール

9/3~8◎ワシントン・ケネディ・センター内アイゼンハワー・シアター

初日から楽日までの興奮

一昨年、新国立劇場で上演した『太平洋序曲』。偶然、来日していた産みの親、スティヴン・ソンドハイム氏が観劇、氏の強い勧めで、今年、ニューヨークとワシントン公演が実現した。それは演出の宮本亜門にとって、長年の夢の実現でもあったのだ。まずは大成功をおさめたニューヨークの公演について。



——亜門さんは、10代後半にはすで
に、ニューヨークで活動したいとい
う夢を持たれたと伺いました。その
願いが叶った今回、感慨もひとしお
だったのでは。

——やっぱり嬉しかったんでしょうね、
公演期間中、僕は客席や袖にいたり、
時折、ロビーに行ってお客さんの顔
を見たりと落ち着かなかった(笑)。

初日は客席の後ろのほうで観ていま
したが、まだ心配が残っていました。
すると、オープニングの「太平洋の浮
島」が終って、出演者はみんな袖に退
場しているのに、拍手が鳴り止まな
かった。演出家として覚めているべ
き僕は、横にいた演出助手の手を
握ったらしいです(笑)。観客の反応
は予想以上でした。出演者の一言一
句、かすかな表情まで全部見えてい
るぞという気持ちが、ため息や歓声、拍
手といった反応で素早く返ってきま

す。舞台に向かってコミュニケーション
しようとする力を感じましたね。出
演者もそのエネルギーにのって、ま
すます活気づきました。

——この作品では、黒船で来航した
アメリカ人を、日本に対する侵略者
としてかなり誇張して描いていま
す。劇中、巨大な星条旗が揺らめき
ながら天井を覆い尽くす場面など
は圧巻ですね。

——星条旗については、9・11以降、
その意味がますます多様化したよう
に思います。連帯の象徴であること
はもちろん、タクシーの外人運転
手などは、自分の身を守るために星
条旗を立てている。捉え方によると
とても危険ですよね。僕には「国旗つ
て何だろう」という思いが常にあっ
て、今回は、ユーモアを交えながら
も、それが威圧であることを明確に
出したかったんです。そんな働きか



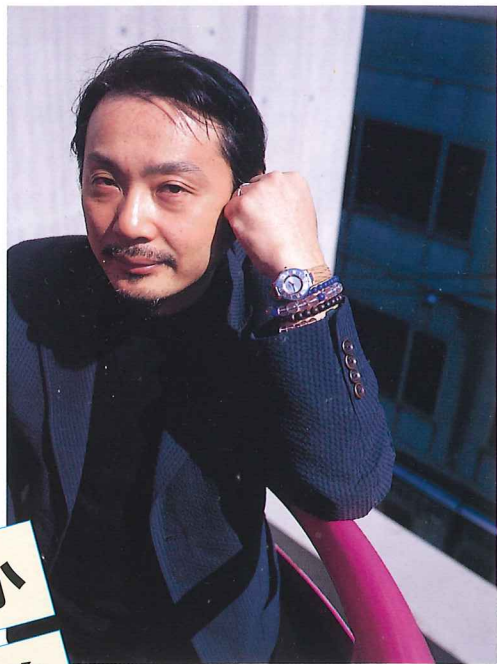
東宝 モーツァルト!

脚本・作詞◆ミヒャエル・クンツェ 作曲◆シルベスター・リーヴァイ
演出・訳詞◆小池修一郎 出演◆井上芳雄／中川晃教(ダブルキャスト) 市村正親 山口祐一郎 松たか子 高橋由美子 久世星佳 他
10/5～11/18◎日生劇場 11/5～20◎シアタードラマシティ 12/3～29◎帝国劇場

1768年、ウィーン。ザルツブルクの音楽家レオポルト・モーツァルトは息子が貴族たちの前でピアノを弾くのを目撃している。作曲の才が5歳にして花開いたその子は“奇跡の子”と呼ばれた。時が流れ、息子ヴォルフガングに“奇跡の子”と呼ばれた頃の分身アマデがよりそい、作曲にそそいでいる。しかしヴォルフガングは、領主コロレド大司教と父の支配から逃れて、自由に生きたいと願う。



こいけしゅういちろう●東京生まれ。77年宝塚歌劇団入団。86年『ヴァレンチノ』で演出家デビュー。以後『華麗なるギャツビー』『Puck』などの演出で話題に。96年ウィーンミュージカル『エリザベート』を宝塚で日本初上演、大ヒット・ロングランさせる。さらに東宝版『エリザベート』も手がけこちらも大成功。そのほかにも外部で『ジャン・コクトー〜随天使の恋』『パタフライはフリー』などの作品を発表している。



小池 修一郎

た。ラストでヒロインを原作よりちょっと感傷的にしたんです。その部分が僕の潤色であり演出なんです。が、焦点の当てかたで物語の見えかたが違ってくる。『モーツァルト!』は、2幕は日本人の知識ではわかりにくい部分もあるので、それを埋めるための作業をしました。『エリザベート』の経験が大きく役に立っていますね。

『モーツァルト!』のタイトルロールを演じるのは、井上芳雄、中

川晃教という、まだ若い2人ですが。音楽性が大事なんです。それぞれドラマ性のある歌になっているし、うまいだけではなくちゃんと感情の頂点を歌にもつていっています。これはいわば青春劇の要素が大きい作品で、まだ若いけれど未完であることの良さを生かせるようにと考えています。そういう面では、僕はやはりベイスが宝塚の演出家だとなじみじみ思います。宝塚はまだ形づく

れていないスターの卵たちがたくさんいて、うまくはないけどキラキラしたものがある。そういう未熟な魅力が、外の人にも伝わる。それが大事なんです。『モーツァルト!』も、主役のふたりだけでなくアマデという子役をお客様はハラハラしながら見ていると思います。そういう要素をふくめて、モーツァルトの生涯と一緒に駆け抜けていく感覚を、お客様に味わってもらえると思います。

——宝塚と外部の仕事という両輪は

これからは続きますか? ロンドンの友人に言われたのですが、外の作品もやっていると宝塚の作品もやっていることに意義がある。これまでの作品づくりに獲得したノウハウは外の仕事に役立っている、もちろんアンドパンテーラにもなれば弱みにもなるけれど、それを認識しつつ楽しんでいきたいと思っています。

——ウィーン・ミュージカルが日本で受けるわけはどこにあるのでしょうか? ウィーンのミュージカル全部が人気あるというわけではないので、やはり脚本と作詞のミヒャエル・クンツェ、そして作曲のシルベスター・リーヴァイというコンビならではの妙だと思っています。彼らは70年代に、コンビでデイスコ・ヒットを一曲飛ばしているなど、とてもユニークな経歴を持っているんです。クンツェは哲学者で学術書も出していて、『モーツァルト!』の台本の初めにも『ヨーハン・ハウエル』の『全ての子どもは天才である』という言葉が出てくるのですが、難解な抽象性に富ん

だテーマを作品に掲げている面白さがあります。リーヴァイの音楽は変拍子が多くてそれが個性なんです。が、ハンガリー人ですからかなり東洋的な資質で、そこが日本人の感性と合うのだと思います。——それをさらにソフィスティケートして提出するのが小池さんの演出ですね。『エリザベート』の場合は、すでに宝塚の観客に受ける要素が非常に多かったんです。トートという男役トップスターにぴったりの役があった。しかもリアルな歴史物のなかにファンタジックで超人的な存在として出てくることで意表をつく。人間の苦悩を描くシリアスな作品にそう

いう存在を持ち込むことは面白いし、キャラクターとして宝塚の男役という表現になじませやすいんです。『モーツァルト!』では、アマデという彼の子どもの時代の姿をした、才能がいつも成長したヴォルフガングについている。そういう存在の面白さは僕の得意分野だと言われるんですが、昔からヴァンパイアとか妖精とかよく出しましたからね、僕の世界観やスタイルとうまくシンクロしたものが、クンツェ・リーヴァイの作品にはあるんです。——この2作品もそうですが、小池さんのオリジナルの多くにも、いま目の前の世界に対する懐疑とか不安が、潜んでいますね。

それがないと逆に僕は不安になるんです。そういうものは、たぶん観に来るお客様たちも感じているんですよ。うね。それが、ある種の非現実的な存在への憧れとか畏れにもつながって、とても共感を持って舞台を見てくれていると思います。——アレンジする場合、日本という土壌や嗜好を計算しているのですか? それとも自分の見たい表現を選んでいくとそうなる?僕は、観客と自分の好みを観客化しているし、確認して作っています。宝塚で以前『華麗なるギャツビー』を演出した時に、原作者のエージェントが観にきて「たいへん日本的な感性で作られている」と驚いていまし

19世紀末、ヨーロッパ随一の美貌を謳われたオーストリア＝ハンガリー帝国の皇后エリザベートが、イタリア人アナキストのルイジ・ルキニに殺害された。彼は独房の中で自殺を図る。そして煉獄の裁判で、エリザベートは死=トートと恋仲だったと証言、彼女自身が死を望んでいたと証言する。そして夫のフランツ・ヨーゼフや皇子のルドルフなどハプスブルク家の崩壊に立ち会った人々とともに死=トートが、姿を現す。

世界への不安と懐疑をベイスに

ミュージカルという響きの明るさとはうらはらに、死への誘惑や破滅への願望がひそみ、不協和音が甘く不気味な旋律を奏でるウィーン・ミュージカル。その代表的な2作が宝塚と東宝で上演され連日満員の観客を集めている。この2作の日本バージョンを手がけた演出家が小池修一郎。現代日本のミュージカル界の巨匠である。



宝塚歌劇花組 エリザベート 愛と死の輪舞

脚本・歌詞◆ミヒャエル・クンツェ 作曲◆シルベスター・リーヴァイ
潤色・演出◆小池修一郎 演出◆中村一徳
出演◆花組／春野寿美礼 大島れい 潮奈じん 他 専科／樹里咲穂 他
10/4～11/18◎宝塚大劇場 03/1/2～2/9◎東京宝塚劇場

Stage
photo
with
interview



演劇団キャラメルボックス 2002サマーツアー 嵐になるまで待つて

作・演出◆成井豊 出演◆岡内美喜子 細見大輔 岡田達也 忍足亜希子 大内厚雄 畑中智行 中村亮子 佐藤仁志 三浦剛 西川浩幸
7/25~8/7◎新神戸オリエンタル劇場、8/15~9/16◎サンシャイン劇場
シアター・テレビジョンでは、演劇団キャラメルボックス「裏切り御免!」の11/23東京初日を11/28に達攻オンエア。
12/25東京千秋楽を生中継、みんなで観る生中継「クロード・サーキットinOSAKA」も開催予定



声優学校に通うユウリ(岡内)は、初めて挑戦したテレビアニメのオーディションに合格。翌日、番組の顔合わせに行き、不思議な体験をする。作曲家・波多野(岡田)の「死んでしまえ」という心の声がユウリに聞こえてきたのだ。数日後、ユウリは波多野が泊まっているホテルに呼び出される。そして、商売道具である声を失ってしまうが……。

その先にあるもの

2002年、キャラメルボックスは1年で6本もの芝居を上演した。作・演出の成井豊は、そのすべての作品に関わるキーマン。7月~9月に上演された2本は、ほぼ同時期に稽古していたという。芝居のクオリティを常に保ちながら、コンスタントに作品を生み出す秘密とは?



まだまだ青春。
数年前までは1人で作・演出をすべてやっていたけれど、今は真柴あずきや石川寛美という、一緒にやってくれる人がいるのでそれほど大変ではないです。でも、今年6本は去年の春に募集して、演出助手を2人採用しました。あとは、役者の細見大輔に、「そろそろ役者から足を洗って脚本を書いて演出をしないか?」と言ってるんですけど、なかなか「うん」と言ってくれなせん(笑)。彼は学生時代に作・演出をやったらしいんですよ。ちょうど僕と12歳違うんで、次の作・演出家にいいんじゃないかと思ってたんですけど、さうで、彼の笑いのセンスは抜群で、役者としても面白いので、ホームページに書いてる文章も非常におもしろいですしね。

僕はやっぱり青春の物語を書きたいんですよ。40代の僕も未だに青春だとは思ってるんですが、僕の生活の上での問題って、子供もいますし、どうしてもそういうことになってきちゃう。でも僕は物語の主人公は20代か30代で行きたいと思ってるんで、若手に上手くやらせてもらわないと困るんです。「賢治島探検記」はオムニバスにしようと思いましたが、本公演で主役は無理ですけど、小さな話だったら思い切っちゃっててもいいだろうと思って積極的に若手を抜擢しました。これは宮沢賢治さんの言葉だから、うちの新人がやっても大丈夫だろうと(笑)。70年以上前の作品だから通じない言葉もあるかもしれないけど、絶対に変えないでやろうって思ってたんです。「しごきをしろ」とか、若い子はわからないかもしれないけど、賢治さんの言葉でやりたかった。話のあらすじだけ借りて僕の言葉にしちゃったという意味がないと思ってる。

演劇を志すひとびとへ

僕は旗揚げのころ、宮崎駿さんの「天空の城ラピュタ」のようなお芝居がやりたいと思ってたんですけど、それから演劇界で浮いてたと思うんですよ。でもそういうアマチュア感覚といえいいのかな、それを大事にしたいと思ってるんです。いまだに「ラピュタ」みたいなお芝居がやりたいと思ってるから、あんまり他の劇団のことを気にしないで、やりたいことをやって欲しいですね。でも技術的には勉強が必要だと思います。今はそんなににお芝居を見なくなりましたけど、30過ぎくらいまでは一生懸命見てましたよ。僕と唐十郎さんのお芝居って正反対と思われるかもしれませんが、唐十郎さんのお芝居が大好きで、10年くらいずっと見てました。唐!とこつて声かけてましたもん(笑)。あとは脚本を読むことです。旗揚げのころ野田秀樹さんの脚本を一生懸命読んで、構成を分析したりしました。キャラメルさんの5回目の脚本は「彗星の使者」を参考にしましたからね。あとは読書。読書しない人が平気で劇

なるいゆたか ◆61年埼玉生まれ。早大時代の演劇サークル「てあとろ50」のメンバーを中心に85年「演劇団キャラメルボックス」を旗揚げ。以来、すべての作・演出を手がけている。わかりやすいエンターテインメント性で、幅広い年齢層のハートをキャッチ。宮沢賢治のみならず、違う作家でも今回のような試みをしてみたいとのこと。 次回予定 ◆2002クリスマスツアー「裏切り御免!」11/6~18◎新神戸オリエンタル劇場、11/23~12/25◎サンシャイン劇場

構成・文◆石本真樹 撮影◆伊東和則(舞台) アラカワヤスコ(人物)

Stage photo with interview



成井豊

作家を目指すんですよ。僕ごときが読書しるなんて本当は口はばつたいんですけど、物語を作る人は、物語とキャラクタのストックがたくさん必要ですよ。僕は収集癖があるので、同じ作家の本を集めて並べたりしてます(笑)。あとは新書とかミステリー。参考になるのは、北村薫さん、宮部みゆきさん、桐野夏生さんとか。そういう方たちの作品は基本的に読んでますね。「嵐になるまで待つて」は、オーディリー・ヘプバーンの映画「暗くなるまで待つて」をもじったものだから、映画はもちろん参考にしてます。それ以外は、まあ、一貫してミステリーは好きなんです。何か影響は受けてるかもしれ

ないですね。

作戦を練りながら

今回は宮沢賢治さんでしたけど、芥川龍之介も、太宰治も、新見南吉さんもやりたい。それを2、3年にいっぺんずつやっていくと、ストックがたくさんできましょね。それで何か事件が起きて被災地にいった時に、いろいろなものをやるようにしたいんですよ。お芝居は癒しじゃなくて、励ましになればいいと思うんです。ちょっとした手助けでも、フレッシュでもいいんです。エンターテインメントっていうのは、見る側のエネルギーの消費量の大きさでおもしろさが決まると思うんで

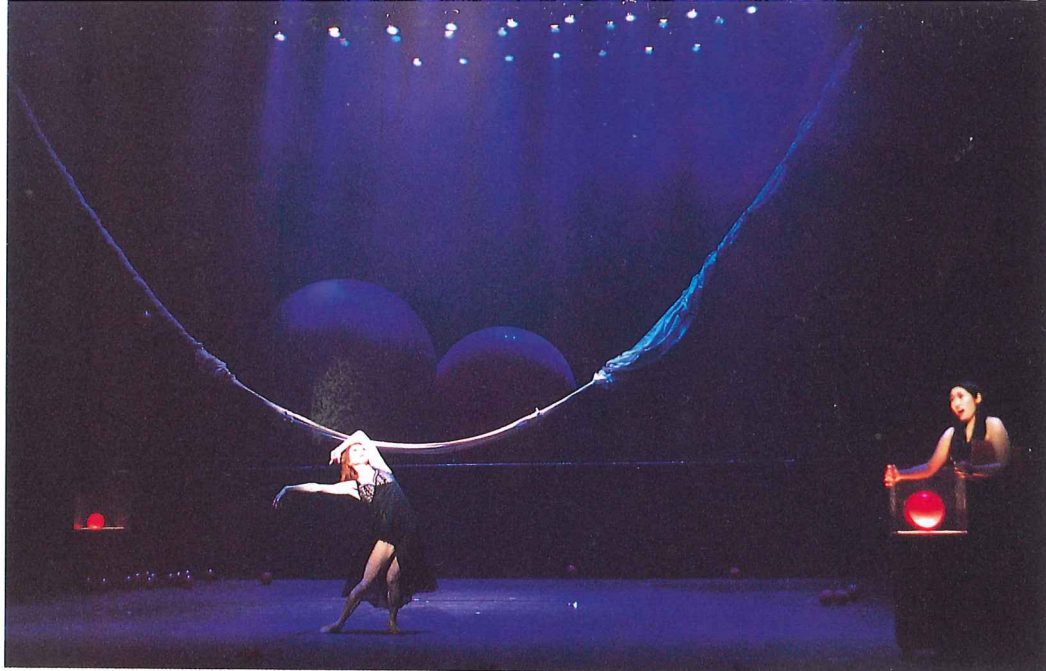
すけど、とにかくエネルギーを放出して、その何分の一かが伝わってお客さんがパワーアップしてくれたらと思うんですよ。来年は全部で99ステージもあるジャパネットがあるんで、それをどう乗り切るか。また2本立てですからね。それを乗り切ると、3年後が20周年なんです。それとも考え始めないといけない。でも先のことを考えるのは楽しいからいいんですよ(笑)。作戦を練るのは本当に楽しいです。僕は出欠で人見知りだから、ひとりでも本を読んだり考えたりするのが好きなんです。この仕事は本当に性にあってるんでしょ

篠田セミに通う学生たちは、授業の一貫として「賢治島」を探しに新宿は歌舞伎町にやってきた。そこで繰り広げられるのは、「銀河鉄道の夜」「セロ弾きのゴーシュ」。「風の又三郎」などの、宮沢賢治の童話の世界。学生たちがそこで見たものは?果たして賢治島は存在するのだろうか……。「路上でもできる芝居を」ということからスタートした作品。

2002チャレンジシアターVOL.2 賢治島探検記

原作◆宮沢賢治 構成・演出◆成井豊 出演◆菅野良一 篠田剛 坂口理恵 岡田さつき 前田綾 小川江利子 中村恵子 藤岡宏美 青山千洋 温井摩耶 大木初枝 大浦理美恵 他9/20~30◎シアターアプル 次回予定 ◆2002クリスマスツアー「裏切り御免!」11/6~11/18 ◎新神戸オリエンタル劇場、11/23~12/25◎サンシャイン劇場





単一の性

H・アール・カオスという集団が女性ばかりなのは、まずさまざまな先入観を取り払うのに有効だからです。たとえば暴力や愛を扱っても、男対女の問題ではなく人間対人間の問題に普遍化できます。観ているかたたちが既成の概念から離れて、自由に舞台を観てくれることが大切です。そして白河直子というダンサーが両性具有的な要素を持った人なので、それを生かせるということも大きいですね。彼女の才能とスター性は傑出しています。ただ作品を作るときは彼女も集団の中の一人として考えます。まず、ダンサーたちと空間そのものを動かしていくエネルギー、そういうものに呼応して振付けていきますから。そのプロセスで、こういうものを表現したいと伝えるときに、白河さんという才能によって変化するのはもちろん大きいものがありますね。白河さんとはほとんど話し合わないで作っていくんですよ。まるで双子か、お互いの頭と身体を共有しているような感覚なんです。

カンパニー

集団としては境界線をあいまいに、毎回多少の流動性は残していきたいし、固まりたくないと思っているのですが、やはりあるレベルのセンスと技術がないと世界に通用していかないので、メンバーがある程度固定するのは重要なことだと思います。いいダンサーとの共同作業は、私の作品世界には欠かせないです。メンバーに一番必要な能力は想像力ですね。私が表現しようとしているものは抽象的な発想の中から見つけて、ひとりひとりが構築していかれること。あとは根性(笑)。ダメかもしれないというギリギリのところでも「無理です」と一言を言わないでがんばれる力ですね。カオスの舞台は水や砂の中で踊ったり、吊られている道具の揺れを計算しながら踊るし。美しいものは身体の極限からです。

死生観

H・アール・カオスの表現の原点になっている私の死生観は、まだ本当に幼かった時に、ある日、不意に世界を認識してしまったときの感覚から始まっているんです。子どもって、みんなそういうことがあるはずなんですけど、「今、私が見ているこの1つの石ころとは、今、この瞬間しか出会わないんだ」という、そういう無常観みたいなもの。そして自分の身体、たとえば目という穴ばかり外側という世界を見ていることの不思議さを、言葉ではなく感覚で知ってしまうんです。そういう、自分と世界への問いかけみたいなものを、ダンスという表現を核にして、私はずっと続けているのかもしれません。

贅沢な空間

美術や音楽のアーティストとのコラボレーションは、自分たちへの刺激でもあり、同時にエンタテインメント性を追求するうえでも必要な試みですね。私はアートはコミュニケーションだと思っていますし、他者に向かって発信するものだと思うんです。演出家の自分と振付家の自分が乖離するということは全くないです。どういう背景でどういう音楽、どんな空気感ということは、振付けるときにすでにあって、それがなくて逆に私は振付けられないですから。演出現場での苦しみは、頭の中ではイメージが溢れていて、ああもしたいこうもしたいという欲求はあるのに、現実の問題として可能性をしばっていかなければならないのがつらいですね。なにしろ「欲望の過剰な女」とスタッフから呼ばれているぐらいですから(笑)。



『エラン・ヴィタルーEveの群舞』02年©世田谷パブリックシアター



大島
早紀子

interview

おもしろさ◎東京都出身。コンテンポラリーダンスでグローバルに活動を展開しているH・アール・カオスの主宰であり演出・振付家。音楽や美術とのコラボレーションも多く独自の美意識・死生観に彩られたその舞台は国内・外でニューヨーク・タイムズ2000年のダンス・オブ・ザ・イヤー、第29回舞踊批評家協会賞大賞、第1回朝日舞台芸術賞など数々の賞を受賞している。次回予定◆新作・3月下旬©世田谷パブリックシアター



『THE CONVOY SHOW』9月©日生劇場(提供:コンボイハウス)



ね
今
ず
村
み

「走り出したら止まらない」を合い言葉に繰り広げられるノンストップエンターテインメント『THE CONVOY SHOW』。そのすべての鍵をにぎる作・演出家にしてコレオグラファーの今村ねずみが語る集団、そして創作への想い。

スポーツのようなハードさ
僕が作る舞台は今、ノンストップで2時間半はやってるし、その間全員出づっぱりだからどちらかというと演劇と違うよりスポーツの試合みたいな感覚じゃないかな(笑)。稽古場に置いてあるドリンクや、ワンステージ終わってからのケアも、ほんとにサツカ一選手なみ(笑)。だからお客さんともどっちが先に倒れるか勝負(笑)。みたいなところもあるんだけど、観る方だって体力いるでしょ。

コンボイ・ショウってやりたいことをやるその思い一つでやってきただけ。出来るか出来ないかじゃなくて、まずやるかやらないか。そこがハッキリしないと次には進めないですから。ばくらの作り方は、まずドラマがあつてその中に詰め込むだけ。色々なエンターテインメントを詰め込んで、そこから、ベーシックなたき台はきつと作っていきませんが、目安となるのは出てくる人が素敵に見えるかというのがポイントかな。作品を人に近づけていくのではなく、やってくる人が僕の作品をどんな風に楽しんでいるか、そこを見たいですね。なんでもありの舞台だからたいへんだけれども、僕にとってエンタテインメントすること、それはなんでもやってみよう、ということ。そこをみんながいかに楽しむかでしょうね。

集団でない集団

僕は劇団じゃないし、メンバーもここ何年かそだたい固定しているけど、15年やってきた中では、様々に入れ代わってるんです。組織として束縛しようと思わないし、むしろそうするべきじゃないと思う。ただ、今村ねずみのプロデュース公演なのかと言われるなら、それも違って、とにかく稽古から公演が終わるまでの期間、コンボイ・ショウが一番好きで、コンボイ・ショウが一番やりたい。そう思ってくれる人間だけが集まってそんなスタンスでやっています。

もともとコンボイ・ショウは最初に

Tap Danceというショー・バブから始めたんですけど、そこはショー・バブだから僕らもウエイターや接客をしながらショーをやっていた。でももうじゃなくてショーだけでやるようにしたいって思いが、自分たちで場を作る形になっていったんです。だから食うために始めたことじゃないし、正直言ってこれで食えるなんてことも考えていなかった(笑)。でもそれがあがりたこと、いつからか、これで食えるようになって、一つのショーが終わった後も、次の準備にかかるといって……となっていた時に、ちよつと集団として煮詰まった時期もありましたね。それでお互い少し頭ひやしてみようかということで、女性だけのコンボイ・ショウをやってみたら、その人達にも通じる、ああ、僕のもの作りのスタイルはやっぱりこれなんだと再認識出来たのは大きかったですね。その後、またなじみのメンバーと作った舞台は、お互いちょっと離れた、互いの意味の緊張感があり、でも変な力は抜けていて、また新しい作品が出来たかなと思います。コンボイは期間限定の集団として、毎回毎回お互いに「初めまして」という気持ちでやっています。

劇場から明日へ

僕は脚本にしろ演出にしろ、自分でそれほど突出した才能があるとは思ってないんです。ただ、人との出会いがあって、作品が生まれる。だからまず人ありきだし、今後も色々な人との出会いで、色々なコンボイ・ショウが出来ればいいと思っています。男だけにこだわることもないし、恋愛を描いてもみたくない。ミュージカルを作ってみたくしダンス公演も作ってみたく(笑)。

ただ、一番最初に、自分の思いが形になったのが劇場だったんで、そこところは大切にしながら、様々な活動をやっていきたくですね。あくまでも自分の活動のベースは劇場なんだから。

いまむらねずみ◎58年北海道生まれ。身長180cm以上の男達が踊って歌って芝居する究極のエンターテインメント『THE CONVOY SHOW』のすべてを生み出す作・構成・演出家。その興味の対象は多岐にわたる。15年に渡る創作活動で常に観客を歓呼・興奮・驚きの世界に誘っている。次回予定◆THE CONVOY SHOW VOL.22『PENGUINZA』03/3/5〜28©日生劇場



謝 珠 栄



TSミュージカル・ファンデーション「天翔ける風に」01年
撮影◆鷺尾倫夫



TSミュージカル・ファンデーション「フォーチュンクッキー」02年
撮影◆吉原朱美

私流オリジナルミュージカル

手作りと言ってもいい感覚で、オリジナルのミュージカルを上演し観客を引きつける謝珠栄。エネルギーが溢れる個性が際立つその舞台は、大劇場での大作とはまた違った魅力が溢れている。その舞台作りのポリシーと、ミュージカルへの思いは？

原作の面白いものを

——最近、次々にオリジナルミュージカルを作っていますが、創作上の苦労は？
台本探しが一番たいへんです。昨年夏に演出した「天翔ける風に」は、野田秀樹さんの「鷹作・罪と罰」という大好きな作品の脚本を使う事ができたので、ラクに作れました。見たい世界が頭の中にあっても、その思いを作家のかたにそのまま書いてもらうことは難しいですから。最近上演した「フォーチュンクッキー」は、高平哲郎さんの台本で、テーマである中国人の家族観をうまく書いてくれました。基本的に原作本を読んで気に入った作品を舞台化したいと思っています。

——香寿たつき、湖月わたるといって、現役の宝塚のスターを起用していましたが、そのわけは？
歌、踊り、芝居をクリアしていてスター性があって、という条件を考えると、よく知っています。宝塚の人になつてしまふんです。笑。男役であるよさを殺さず外でも仕事することとは、彼女たちにとってもプラスになるのではないかと考えてますし、他の生徒たちの活動の場を広げることになればいいなと。演出していても、共通語があるのでやりやすいんですよ。

人間を見つめていきたい
——謝さんの仕事は、人間的なつな

がりをとても大事にしていますね。自分がプロダクトする公演は、技術はもちろん人間性が信頼できる人でないと一緒に作れませんね。宝塚の舞台を演出するときは、全員をちゃんと見てあげたい。約80名近くいる生徒の中で、スター級の人はスポンサーを受けていますが、隅にいる人たちにも張りのある舞台を作ってあげたいと思うのですが……。それから、いろいろなジャンルの人とミュージカルの舞台を作りたい。芝居の人も歌ってみたい。演技という心動かすものに挑戦して変わってくる。表現として上を目指したい。このことではすべて一緒ですもんね。

——そうして出来上がった公演は、ほどよい規模と個性的な出演者と手作り感覚で、フットワークよくミュージカル界に切り込んでいますね。

今の世の中に合うものっていつも考えるんです。振付も音楽も新しいものを取り入れたいし。ミュージカルって、なんかちょっと古き良き時代のもので思われている面もあるけど、もっと現代の若い子たち、たとえば舞台関係ではない若者たちにもいい意味での期待を裏切り、興味を持って、劇場に足を運んでもらえるような舞台を作りたい。古いものも新しいものもミックスした、私のミュージカルを作っていきたいですね。

しゃたまえ ●兵庫県生まれ。演出家・振付家。TSミュージカル・ファンデーション主宰。宝塚歌劇団で初舞台を踏み、退団後ニューヨーク留学。78年より東京キッドブラザースや夢の遊園社の舞台を振り付けて注目される。やがて演出も手がけるようになり、99年宝塚宙組「激情」で芸術祭最優秀賞を受賞。他にも数々の受賞歴を持つ。次回予定 ●宝塚星組公演「ガラスの風景」11/21～2/24 ◎宝塚大劇場、03/21/14～3/23 ◎東京宝塚劇場

くりやまたみ ●53年東京都生まれ。フリーの演出家。もとは木村光一氏に師事というから、骨太のどっしりした作品の演出に手腕を発揮するのはもちろんのこと、ミュージカルもこなせば商業演劇もお手の物。上記のほか、主な演出作品に、「GHETTO」、「ブッダ」、「ワーニャ叔父さん」、「国語元年」、「太鼓たいて笛吹いて」などがある。次回予定 ●「ビギン・ザ・ビギン」11/1～28 ◎帝国劇場

栗山民也

構成・文◆谷田尚子



「コペンハーゲン」01年



人間観察が鋭い演出家との印象を受ける。人が持つ通常の視線よりも、温かな視線はさらに温かく、冷静な視線はいつそう冷静に。だから、精神のぶつかり合い、心の通い合いを描く作品で、氏の演出は冴える。例えば、昨年の「コペンハーゲン」。科学という専門的な題材を用いた難解な戯曲で、しかも翻訳劇。緻密な構成と凝縮された時間の処理がチャレンジングなこの3人芝居を、まるで原子が衝突し合うかのような人間同士のパワードゲームとして描ききった。他にも「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」、「クロロソー」、「ブルーノと、シーソーのような人間関係」を堪能できる作品は枚挙にいとまがない。

その一方で、アンサンブル・ブレイには人間に対する信頼が見て取れる。――川を越え森をぬけて――では、老人問題に触れながら、家族の思いやりとは何かを優しく問いただし、こまつ座の「連鎖街のひとびと」では、戦時中の中国に生きる日本人たちを、文字通り「笑いあり、涙あり」の姿勢で描いた。――

実は、俳優として舞台上に立った経験がある。86年に上演されたミュージカル「シカゴ」だ。氏が「役者の生理が分かる演出家」として知られているのは、そのあたりに理由があるのかもしれない。

今、日本で、戯曲をきっちり読み込み、台詞を尊重し、しっかりと作品世界を構築できる演出家の代表といえば、この三人だろう。悲劇から喜劇、日本の作品から海外の作品、商業演劇からミュージカル――彼らこそ演出家の多面性を体現している人たちだ。

「赤シャツ」02年



みやたけいこ ●東京都生まれ。劇団青年座に所属。劇団の本公演のほか、外部演出も多く、新劇と外部との垣根を低くしている最大の貢献者のひとり。上記のほか、主な演出作品に、「フユヒコ」、「愛は謎の音楽」、「パーフェクト・デイズ」、「エレファント・マン」などがある。次回予定 ●「伝説の女僕」11/15～12/15 ◎アートスフィア

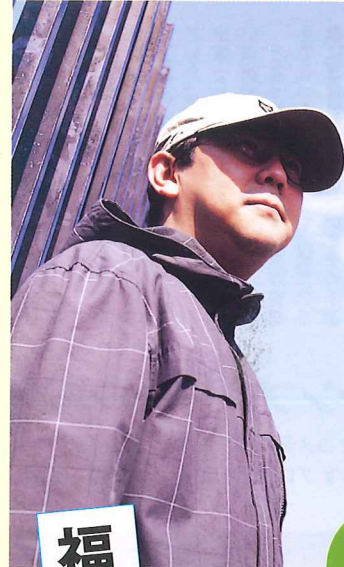
宮田慶子

現代劇の演出なら、この人。所属劇団では、気鋭の作家を積極的に起用するとの劇団の開かれた方針により、マキノノゾミの「MOTHER」君わらひたまふことなれや「赤シャツ」土田英生の「悔しい女」と、話題の新作を次々に手掛けている。舞台のすみずみまで登場人物が息づき、役者が輝いている。作品全体からは、俳優との共同作業という印象が生まれ、好感が持てる。事実、稽古場ではディスカッションを好み、俳優の意見を常に問い、共に解決策を見つけてゆく方針だ。エネルギーが溢れる。演出家としての姿勢は、「体育会系の青年座」(宮田)にあっても、格別の存在らしい。

外部では、翻訳劇が多い。「サラ」や「ジェイブス」などのじつりと人間を描ききった少人数の作品から、「ノイズ・オフ」といった、どたばたコメディまで、幅が広い。

特に、「悔しい女」、「セイムタイム・ネクストイヤー」、「グラデーション」おばあさんの画廊」などを見て思うのが、氏が描く女性像は嫌味がなく、過度の誇張もない。一方で、同性ゆえの厳しさを持たせている。そのため、女性観客が素直に共感できるし、何より、氏のからりとした性格もあってか、異様に女優に人気がある演出家でもあるのだ。

ふくしまさぶろう ●69年岡山県生まれ。95年まで東京サンシャインボーイズに所属、三谷幸喜の演出桶をつとめる。同年、自ら書き下ろした脚本を上演するユニット「泪目銀座」の活動を開始。中井貴一、宮本信子主演の「おやすみの前に」などのプロデュース公演の脚本や、「ショムニ」などのドラマの脚本を手がけるなど、多方面で活躍中。



福島三郎

それぞれの未来

ドラマやプロデュース公演の脚本を多く手がけ、多方面で活躍中の作家・福島三郎。本拠地、泪目銀座で彼が描き出す作品には、自身を投影させたリアルなメッセージが詰まっている。

高校時代の同級生たちが、仲間のひとりの結婚を機に集まった小さな同窓会。卒業後の十数年間、別々に年月を重ねてきた人々には、思い描いたものと違う未来が待っていた。登場人物たちはそれぞれどんな何かしら問題を抱えていて、苦悩している。そこが福島三郎の上手さ。日常に起こりうるようなエピソードをちりばめ、観ているこちらは「わかる、わかる」と登場人物のうちの誰かに感情移入して同調してしまうのだ。そのリアルな感覚は、今回の30代半ばの作家という設定や、前回公演「LOVERS ONLY」の舞台となったガン病棟という設定など、自らの体験から描き出されているからこそのだろう。泪目銀座という本拠地で等身大の自分を描くことが、彼にとつてより切実なメッセージを観客に伝える手段なのだ。だから「作家は自分の引き出しを増やしながら物語を形成していかなければならない」と劇中で主人公が苦悩するシーンは、彼自身の悩みにも思えてせつなくなったり、ラストで新たな未来に向かって力強く歩き出す姿が、これからの活躍を見るように頼もしく思える。それを演じる役者もまた、ナミギンワールドを形成する大きな鍵。今回は、川平慈英とよた真帆をはじめ、華やかで存在感のある面々が揃った。時間の流れは人によってさまざま、その流れの先にあるものはもしかしたら良い結果ばかりではないかもしれないけれど、その逆境に立ち向かい、生きる価値を見いだそうとする人の姿は素敵だ。イレギュラーなことがあつてこそ人生。だからこそ面白いのだろう。

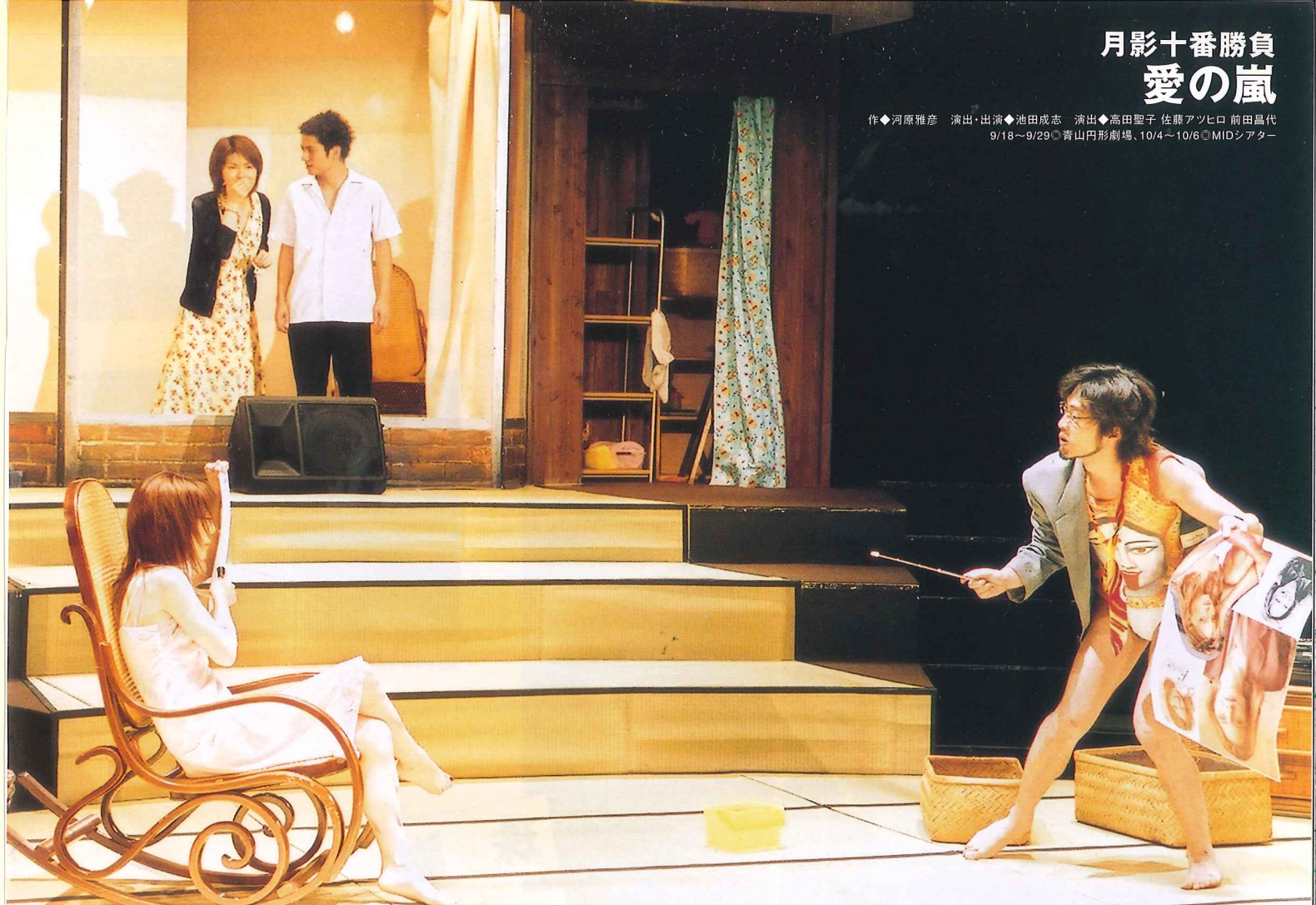


構成・文 ◆ 石本真樹 撮影 ◆ アラカワヤスコ(舞台) 宮本慶香(人物)

泪目銀座 これはあけぼの

作・演出 ◆ 福島三郎 出演 ◆ 川平慈英 とよた真帆 おかやまはじめ 菊池均也 森若香織 西田薫 野仲功 甲本雅裕
9/7～17 ◎ 紀伊國屋サンスイアター、9/27・28 ◎ シアター・ドラマシティ、9/29 ◎ 長久手町文化の家菜のホール、10/1 ◎ かめありリリオホール、10/5 ◎ 鎌倉芸術館小ホール
次回予定 ◆ 泪目銀座第11回公演03年8月下旬～9月下旬 ◎ THEATER TOPS

高校時代の同級生たちが、仲間の一人で、現在は作家のヨビコ(川平慈英)の婚約祝いのために久しぶりに集まった。再会を喜ぶ面々。だがその裏には、ひとりひとり抱える様々な問題が。ちょっと見栄も張りたいた30代半ば、実は借金を抱えているシン(菊池均也)は、そのことを言い出せない。そしてそこには実は借金取りの生田(甲本雅裕)が潜んでいて、せっかくのお祝いの席はとんでもない事態になっていく……。



月影十番勝負 愛の嵐

作 ◆ 河原雅彦 演出・出演 ◆ 池田成志 演出 ◆ 高田聖子 佐藤アツヒロ 前田昌代
9/18～9/29 ◎ 青山円形劇場、10/4～10/6 ◎ MIDシアター

座敷中らしき部屋で目を覚ました藤壺朱美(高田聖子)は、見知らぬ青年・ナオヤ(佐藤アツヒロ)に監禁されていた。彼女に愛を告白し、この監禁は彼女の為だという彼。彼女がそこで目にした光景は、ナオヤの義兄・徳男(池田成志)に調教されるチエ(前田昌代)の姿。チエこそ、実はレスビアンである朱美の長年の片思いの相手であり、それを知ったナオヤはチエをレスビアンに仕立て上げ、朱美と両思いにするという計画をたてたのだが、実はナオヤの知らないうちに徳男がチエとデキてしまっていて……。

河原雅彦



his work



心地よい裏切り

高田聖子のプロデュースユニットである「月影十番勝負」シリーズ。第七番は、おかしくて少し切ない、屈折したラブストーリー(?)。彼女の魅力を存分に引き出し、「脚本家」河原雅彦が新境地を見せた一作。

見終わったあと、まず感じたのは「これをあの河原雅彦が!?」という単純な驚きだった。ある日突然、拉致監禁された女。一見、せつない禁断の愛の形が描かれるかに見える……が、やはり河原が脚本を手掛けた前作の月影十番勝負「世にも不思議なネバー・エンディング・ストーリー」や、ハイレグジーザス公演「Baby、五臓六腑に染み渡るのさ」に見られたその良くも悪くも破天荒な部分は少し鳴りをひそめ、ある意味これまでの「月影十番勝負」のテイストに近い。でも前半の佐藤アツヒロと高田聖子の会話部分のテンポの良さ、面白さはやはり彼独特のテイスト。そして後半、主人公が監禁されていた部屋のマジックミラーの向こうでは、彼女が思いを寄せる女性が彼女の気持ちを知ったときの事を「ビククリした。そしてひいた」と一刀両断。前半の禁断の愛について陶酔させられかけた気分を一気にクールダウンさせてこの展開に観客は裏切られ、そしてある意味裏切られたことに安心する。だってこれはあの「リーダー」の作品なのだから。しかしながら最後にはちゃんと主人公と犯人の心情をフオロイすることも忘れない、なんともニクい構成。

その独特の台詞のビート感が心地よい河原雅彦作品。今回の舞台では「物語」を魅せてくれたが、次はどう出るか。この冬、活動の主体としていたハイレグジーザスは最後となるが、今後の活動にも期待したい。

かわはらまさぶろう ●69年福井県生まれ。「エロ・パカ・ショック」を合い言葉に過激なパフォーマンスを繰り上げるネオ演劇集団HIGHLEG JESUS総代。『デジャ・ヴェ01』『VAMP SHOW』などプロデュース公演への客演も多数。また、嵐主演の映画『ピカミンチ』の脚本を手掛けるなど、幅広い活動を行っている。 次回予定 ◆ HIGHLEG JESUS最終新作公演「CABARETT NIGHT FEVER」12/1・15 ◎ 歌舞伎町クラブハイヴ

構成・文 ◆ 川口有紀 撮影 ◆ 下坂敦俊(舞台)

やまだかずや●東京都生まれ。日大芸術学部在学中に三谷幸喜と共に「東京サンシャインボーイズ」を結成。演出、舞台監督など裏方の仕事で活躍し、卒業後東京演劇部に所属。以降本格的な演出活動を開始し、大劇場でのミュージカル作品から、小劇場までジャンルを問わず幅広い演出活動を行っている。代表作に「君となら」「笑の大学」「ローマの休日」など多数がある。次回予定●「エデンの南」10/30～11/16◎青山円形劇場、11/22～24◎シアタードラマシティ

再読に耐えるものこそ、真に良質なミステリー……とは言うものの、やはり結末が広く知られているミステリー作品を、面白く観せるのは至難の技。けれどそんな難問を、この『検察側の証人』は軽々とクリアしていた。仕掛人は「日本一怖い演出家」と言っても決して過言ではない演出家、山田和也だ。

と言っても、山田演出には殊更奇をてらった派手さはない。堅実に、丁寧に原作世界を紡いでいくその手法は、むしろシンプルだ。でもだからこそ、山田演出作品には、得がたい安心感と、原作が本来持っている世界観を再認識させる力がある。例えば今回の舞台で顕著だったのが、法廷での証言シーン。本来固定されるべき裁判官席、弁護士及び検事席、被告席、そして証言台が、証人が代わるごとに移動する。ドラマにとって重要な証人ほど、その位置はセンターに近づき、観客心理をクロースアップしていく。しかもそんな手法が、真実と嘘の駆け引きの果てに来る、ラストのどんでん返しを堂々と描いているのだから、恐れ入った。原作を知らない人はもちろん、知っている人こそうなづける、見事なアイディアは、出演者をも輝かせた。

ジャンルを問わず山田和也が様々な作品に求められるのも道理だろう。とうぶん多忙な日々は終わりそうにない。

シンプルの中の真実

華やかなミュージカルから、軽やかなコメディ、緊迫した心理劇まで、観客の见たいものをより高いクオリティで差し出すプロフェッショナルが彼である。



山田和也



ミステリーの女王アガサ・クリステイの同名戯曲の舞台化。一人暮らしの老婦人が殺害され、遺産相続人に指定されていた男が逮捕される。男は法廷で無実を訴えるが、唯一のアリバイ証明者であるべき彼の妻は、意外にも検察側の証人として男の犯行を証言し……。

構成・文●鶴岡英理子 撮影●アラカワヤスコ(舞台)

検察側の証人

脚本●アガサ・クリステイ 演出●山田和也 出演●麻実れい 古谷一行 河原雅彦 升毅 筒井康隆 松金よね子 9/20～10/6◎ル・テアトル銀座



AGAPEstore BIG BIZ～宮原木材危機一髪!

作・出演●後藤ひろひと 演出●G2
出演●松尾貴史 栗根まこと 松永玲子 八十田勇一
9/14～16◎西鉄ホール、9/18～22◎近鉄小劇場、
9/28～10/6◎スペース・ゼロ
次回予定●「BIGGER BIZ～絶対絶命! 結城死す?～」
03/02/15～23◎紀伊國屋ホール、3/4～9◎近鉄小劇場、他

ペーパーカンパニーが口八丁手八丁、電話一本で大会社へと変貌する様をそれはそれは鮮やかに見せてくれるこの物語。昨年の初演が好評を博し、来年には続編「BIGGER BIZ」が登場予定。その予告編として(?)一年あまりで再演となった人気作だ。

それにしても、G2の手掛けている芝居の多さ、幅広さに驚く。この松尾貴史とのユニットAGAPEstoreをはじめ、様々なタイプの作品をこなしている彼。四方囲みの舞台作品のシリーズなど、トリッキーな舞台作品も印象に強いが、昨今の彼の手掛ける作品は決して「演出が出しやばりすぎる」とはなく、あくまでも「作品ありき」であるような印象を受ける。だがそれは、作品の良さを最大限に生かす「エンターテイメント性を全面に押し出すこと」であらゆる観客に受け入れられる普遍性を作品に持たせるといふ、彼の手腕なのだろう。それは例えば、原作独特のアクの強い毒が少しなりを潜め、より普遍的性の高い作品へと昇華している後藤ひろひと戯曲の演出に顕著だ。その精神的な活動と、あまり全面に出ないというその姿勢は、これまで人前に出てこなかったという点も含め、アーティストというより「職人」と呼んでもいいかも。そして「職人」G2はこの先も、上質なエンターテイメントを私達に提供し続けてくれるに違いない。

“職人”ここにあり

がらんとした一室から、予想外の方角へ広がるビッグ・ビジネス。フランク・シナトラの名曲にのせて、軽快にそして痛快に――
事務机と電話が生む壮大なスケールの話が、妙に説得力を持って見えるのは、G2と松尾貴史という、最強エンターテインメントコンビの成せるワザ。



ペーパーカンパニー「宮原木材」で電話番号を移るアルバイト・結城(栗根まこと)の元に、突然幼なじみであり犬猿の仲の健三(松尾貴史)が訪れる。健三は結城の留守中にかかってきた電話を勝手に取り、仕事の注文を取ってしまったから大変。勘違いが勘違いを呼び、ビジネスの話がいつしか転びに転び、やがて宮原木材は大会社に……。

じーつー●59年三重県生まれ。大阪大学卒業後、84年「売名行為」に参加。91年、升毅らとMOTHERを結成。本格的な演劇活動を開始。95年「G2プロデュース」を旗揚げ、さらに活動の輪を広げる。02年のMOTHER解散後は、松尾貴史とのユニット「AGAPE store」などで活動中。 次回予定●「人間風車」03/17～26◎パルコ劇場、2/19～23◎シアター・ドラマシティ

移動

書くときは自宅が大半ですけど、割と集中できるのは、実は電車の中なんです。電車の中って適度な緊張感じゃないですか、次降りなきゃいけないとか、誰かに見られてとか。発想が浮かばなくなったときは周りの人観察したりね(笑)。結構気に入ってるんですよ。だからメモと、それまで書いた台本をプリントアウトした物は常に持ってます。自宅で書いていても、何かを発想しなきゃいけないときは、じっとしてちゃだめなんですよ。家の中を動いてます、熊みたいに(笑)。部屋から出てトイレ行って、トイレから出て思いつかないときは廊下をウロウロしたりとか(笑)。

図書館

歌舞伎のものを題材にするときは、まずは自宅の資料で調べます。その後具体的な作業になりますと、最近は国立劇場の資料室が数が多いのでよく利用します。管理がきちんとしているらしくて、そこに資料が集まってくるんですよ。1作品で大体3回行くか行かないくらいですかね、作品のジャンルにもよりますけど。でも、図書館って静かじゃないですか、静かなところでずっと読んできると飽きちゃうんですよ(笑)。だから欲しい資料を調べて、それを全部コピーして、結局はまた電車の中で読む(笑)。要するに、適度に気が散らないとダメみたいですね。

本屋

和物の時に衣装等の参考にすることが、能・狂言だとか、地方に残る伝統芸能の写真集。これは本屋に行くたびに割とチェックしますね。地方のは面白いですよ、外からの情報とか流行とか感性に染まらずに、そこでそのまま時間が止まっちゃってるんですよ。こんな面の付け方してるんだ、とか、こんな色! ? とかね。あとは古い日本家屋の本とか……例えばこの間買ったのは、京都の色町の現在を写した本。またそういう写真集とかが大体増刷されないから、見つけたときに買っておかないといけないので、だから時間があって、近くに大きい本屋がある時は必ずそこをチェックします。

劇場

何回かそこでやってるというのもあるんですけど、三軒茶屋の世田谷パブリックシアター・シアタートラムは好きですね。もちろん各劇場一長一短なんですけど、劇場が持っているカラーというか、アーティスト的なものもやるけれど、それだけではないような所とか、そのバランス感覚が。劇場自体で企画できる力を持ってる所というのはいいですよ。劇場側のみなさんが、やっぱりポリシーを持って取り組んでらっしゃいますから。そういう所に惹かれるみたいですよ。……あと、自宅から近いというのもあると思うんですけど(笑)。実は、渋谷のジャンジャン気に入ってたんですよ。何しろ場所が良かった。通りがかった人がふらりと入ってこれますし。あの柱のせいで、どう考えても3次元で空間を構成していかなきゃいけないくて、それが僕にはまた刺激的でした。

KEY POINT/KEY PLACE



加納幸和

古今東西の古典を大胆にアレンジして絢爛豪華な世界を見せてくれる花組芝居。その自由な発想は、いったいどこから生まれてくるのか? 執筆からプライベートまで、加納幸和の鍵となる場所を紹介。

リラックス

……たいがい気分転換ってお酒飲んでますね(笑)。自宅近くに事務所ができたんで、気分転換しようかなと思ったら夜事務所にやってきて、ウチの役者が遊びに来てたら一緒に飲みに行って。二子玉川周辺は大体行き尽くしました(笑)。でも花組芝居の場合、公演中でも稽古中でも、演劇の話はほとんどしないんですよ。くだらない話ばかりで(笑)。でも飲むのは好きなんですけど、ハシゴするのが嫌いなんです。何でかという、移動するのがめんどくさいから(笑)。また新しい店に行って、全員入れたとか入れないとかオーダーだとか……。座長という立場上、いろいろ気を使っちゃうせいもあるのかもしれないですけど、飲むときは腰を据えて、幸いにしてお酒好きなんですけどすぐ眠くなっちゃう方なんです……。でも終電とかにあおられない限りは3~4時間は飲んでますけどね(笑)。



稽古場全景。後ろの壁にはこれから一ヶ月以上わたる稽古のスケジュール表が。



役者の面白い口調に、横内氏も笑い顔



茅野氏、「プレスリーの曲をかけるが失敗」の図



真剣に台本を追う主役の二人

稽古場、第一日目。

「いちご畑よ永遠に」。タイトルからも想像できるように、ジョン・レノンの物語だ。ビートルズ以前、青春真っ盛り、ジョンの姿が物語の核となる。長い稽古期間を経てようやく上がる初日の幕だけれど、その稽古第一日目、扉座の稽古場に潜りこみました。

10月上旬午後2時過ぎ。扉座の稽古場の重たい扉を開くと、すでに本読みは始まっていた。役者やスタッフで30人あまり。口の字に並べられた机の中央に作られた横内謙介。その正面にはジョンを演じる佐藤景二、隣には恋人・シンシア役の山田まりや。それを囲んで、台本を前に出演者たちがズラリ居並ぶ。役者の声ときおり台本をめくる音が、高い天井に響く。そこには静かな熱気と緊張感が漂っていた。

作 演出の横内謙介の前で初めてセリフが役者の口から発せられているわけでは、いわばセリフの産声を聞いているようなものだ。とは言え、役者たちは三者三様、表情や身振りを付けて言う人もあれば、つかえつかえ、言葉をかみしめるように発する人もいる。その様子を横内はじっと見つめる。

本読みの段階では、セリフの合間に演出助手が役者の動きや心情変化が書かれたト書きを読み上げる。役者が舞台で演じるとうなるのか、どんな音楽や照明が入るのか想像は膨らむ。

ふいに茅野イサムが立ち上がり床に置かれたラジカセのスイッチを押すと、エルビス・プレスリーの曲が流れ出した。プレスリーからすべてが始まったと言ったのは、ジョンの青春にはかかせないのが彼の音楽で、今回の舞台にもなんとプレスリーが登場するのだ。セリフのバックにいい感じに流れる音楽——と思ったら、突然音が飛んでおかしな音になってしまふ。一同、大笑い。「だいなしだよ」と横内も笑い出した。

青春時代が一気にジョンの死までが語られた2時間弱、本読みが終了。



横内謙介

稽古場第1日目は「演出家」というよりも「作家」なんです。作家としての部分で、自分が何を書いたのかを確かめる。役者の声でセリフが喋られることによって初めて、何を書いたか教えられるんです。手を離れるんです。その瞬間にそれからやると作家から演出家になるんです。いつもそうなんです。

僕はビートルズ世代ではないけれど、20歳くらいの時にちょうどジョンが復活して死んでしまったというのがあった。その頃は劇団をつくるうとか恋愛したりだとか、多感な時期でしたよね。自分がジョンが死んだ

等身大のジョン・レノン

歳である40歳になって、フツとその頃のことを鮮明に呼び覚まされたんですよ。そしてジョンのことを調べはじめると、彼の青春時代も僕らの感覚とそうは変わらないなって思っただけです。ジョンとポールという天才同士が出会ったからビートルズになったけれど、最初は僕らが「芝居やるのか?」って劇団を始めたのと同じように、彼らもギターを手にしたんだよね。神聖化する必要はないんだな、と。だから今回は偉大な運動家、ロックシンガーという捉え方はせずに、等身大のジョン・レノンを描いていきたいと思っています。

かのうゆきかず ●61年兵庫県生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業。卒業論文「『櫻娘東文章』の再生と可能性」で演劇学会賞受賞。87年に花組芝居旗揚げ。歌舞伎を題材に古典の枠を超えた創作行爲「ネオかぶき」で、シェイクスピアや泉鏡花など様々な作品を上演。この冬は新派の舞台を演出するなど、幅広い舞台で活躍中。ちなみに撮影場所はこれも重要な場所の一つ、花組芝居の事務所も兼ねた稽古場にて。 次回予定 ◆「花たち女たち」(演出・出演)11/2~24 ●新橋演舞場 花組芝居「百鬼夜行抄」03/1/16~26 ●銀座博品館劇場、1/31~2/2 ●近鉄小劇場

「血縁の業」のハナシ

「マイ・ロックンロール・スター」は、まずは父の方から家族の話はどうかという提案があった。それは僕らが家族だからという訳じゃなくて、僕が描く家族や血縁にまつわる話が好きなからだと思っただけです。

僕は家族は「切っても切れないモノ」というプラス思考で考えてるんですが、今頃は15年振りに集まった家族で、もう個として成り立ってる人間たち。血が繋がってるからといってお互い相入れない、素直には愛せない難しい関係性があるんです。その血縁が業となり振りかぶってくる。そんな作品です。あとは群像

メンバーの笑顔



右・中山祐一朗、左・伊達隆。二人とも自分勝手な人間で、常に気を使わせるんです。中山さんは喋りすぎて自分の感情を露わに出す。伊達隆はすごく寡黙で、隠れて何してるんだ? って。そんな彼らが笑顔でいてくれたら僕もやりやすい(笑)。これから先一緒にやっていく仲間として、彼らの笑顔なしには僕の作品も阿佐ヶ谷スパイダースも語れないですね。と、一応言っておかないと(笑)。

こんな大人になりたい



池田成志さん。彼を見るとホント面白くて、すごく真面目に相談のつてくれると思ったら「つまらない」ってスーパーボールで遊びだしたりするんですよ(笑)。少年のように遊ぶ部分と大人の部分のメリハリがついてる。そんな大人になりたいって思います(笑)。是非一緒に遊びたい僕達さんでもあります。

歴史小説



今読んでるのが「真田太平記」。来時代劇をやるかと思ってたんです。うちの制作が詳しいんで、いいモノ(面白い)とて読んでます。NHKとかの自然系ドキュメンタリーも「かなわん」と感じてるし、そう思うことが好きなんです。僕はまた別のところで勝負してかなわないかなって思っています。

不条理世界の原監督



勝つても負けても巨人の優勝が決まる試合、負けが連続で上がって? というプレッシャーの中、原監督、微妙な顔で、最終的に阪神が勝つ巨人選手が苦戦してる中流れる「六甲おろし」がものすごくシュール(笑)。あと、画面に流れる「23時半〜「ナースのお仕事4」、26時半〜「さぶ」と! という野球で延びた番組を知らせるテロップ、これが大事なんですけど(笑)。26時半から誰が見るんだ? って。テレビ画面の全部が不条理で、すごい面白かった。

一人掛けソファ



もちろん欲しくて買ったんですけど、よくよく考えると、一人掛けソファを買ってどうなんですかね。普通二人用とか買っちゃ、先の期待ゼロな感じで、そんな自分が面白くもあるんですけど(笑)。そこで映画見たり音楽聴いたり、酒飲みなら本読んだりします。他を受けつけない自分だけの世界を作ってる感じで、座るたびに自分に置き直れる場所なんです。ホントは二人掛けが欲しいって思いつつね(笑)。

公演でもらった大量の酒



僕、酒を飲んでモノを考えるんですよ。書いて決めた前日の夜にめっちゃ飲む。グデグデになるまで飲んで、その時にいろいろ考えたことや聴いていた音楽が頭にガンガン入ってきて、それが物語の発端になる。物語を書き上げた時にも、それが朝だろ? が何だろう? がまた酒を飲む。酒が僕の創作における入口と出口になってるんです(笑)。

携帯電話



キラ。よく無視する。携帯電話って物語を創る上で相当に邪魔なモノでハードルです。昔は来ない彼女を待つとかあったのに、今はすぐ連絡が来ちゃうでしょ。タイタイのある世界って情緒がないんですよ。だからまずそれが無い世界を想定する。壊しちゃとか、貧乏だから買えないとか。僕の家の電波が弱くて、すぐ切っちゃうんです。だから家にいたんだって言えば出なくても納得してもらえます(笑)。

発想促進の隠れアイテム

今秋、長塚圭史が相まみえる俳優陣は、父である長塚京三、野際陽子を筆頭に、個性豊かな面々だ。もちろん、人間の暗部をえぐり出す長塚節は健在のようで。そんな創作の根っ子を支える何気ない日常のいろいろを、本人による撮影と解説で一挙公開!

the
Source
of
Creation



長塚
圭史

「バカ映画」と「コミ映画」

『オースティン・パワーズ』とか「少林サッカー」みたいないわゆる「バカ映画」は、意図的にそういうふうな映画を創って成功してますよね。でも「コミ映画」は、なんでこんなものを作なきゃいけないのか? っていうところとか、誰かの勢いだけで空回りしてしまっている、意図してないところまで笑われるんですよ。そういうコミ映画はどで見つけてくるのか? というと、西新宿のビデオマーケットってところが東京での俺の行きつけで、あそこに行けば最近の状況はわかるから、あとは家に帰ってネットで海外から直接買っちゃおう。

核実験から生まれた
怪獣&宇宙人たち

日本でも、古いSF映画とかはすごくチープで楽しんです。とにかく「オバケ」のへんで出しゃいって、やっというようなもの。核実験っていうのを使えば何でも当たった、いい映画でもコミ映画でもみんな核実験をモチーフにした時期があった。そのころに生まれた怪獣の数はたぶんすごいんですけど、それが廃れた頃に、核実験をやめろって言いに来る宇宙人映画が山ほど出てきて(笑)。あんなに地球に来てくれるのね! 全然見向きもしないで、すね地球人は。

単純さをキープ

なんで「コミ映画」好きなんだろう。糸のついたコウモリとか、ジッパのついた雪男とか、聞いただけでたまらないです。これは自分でもやるときはしつかりしたものをやろうと思うことからの反動ですね。でも、こういうことを劇団でやってた時代もあったんで、両極端なんですけど(笑)。今はやれないです。インスパイアされることは、直接にはないですけど、単純というのは常にキープできます。芸術作品に走らないですむ(笑)。僕が好きなのは、「うまいな」って思うものより、「んアホな」って思うのが間に入っていくようなものなんです。

後藤
ひろひと



ゴミ映画の醍醐味は過剰すぎる空回り

そんなことにお金かけて! というのがバカ映画なら、情熱の空回り、あるいはピントのはずれた製作意図がミョ〜に笑えてしまう駄作を後藤ひろひとは「ゴミ映画」と呼び、こよなく愛す。唐突な展開、つじつまのちっとも合わない物語、だけど伝説級のすごいヤツ。そんな映画の数々を、後藤が語る。

日本映画はコレ!



『シベリア超特急』シリーズ賞をもらって、水野(晴郎)さんは誰かにだまされてるでしょ? それを日本中がわかってるのに、誰も本人には言わない。あれは素晴らしいですね。『シベリア超特急3』が最近でいいですね。『4』は芝居なんだ? 悔しいな〜聞きたかったな〜!

the
Source
of
Creation

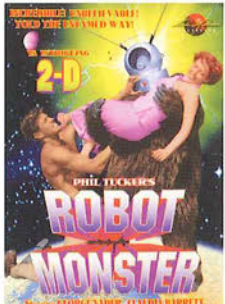
オススメ! ゴミ映画



『SANTO VS THE MARTIANS』(メキシコ) サントは60回本主演作をもってるんですけど、どれも凄いです。この人はメキシコのレスラーで、メキシコ人がサントを知らない人はいないけど、みんなが凄いてるってわけじゃないですよ。ちょっとギャグまじりの感じのもあるし、本当に好きな人もいます。これは、サント対火星人がボカボカ闘ってるっていう映画。字幕なくても全然わかりますよ。ビョヨンって音がして変な格好したヤツが子供さってそれをオープンカーで追っかけて殴り合ったら何してるかわかるでしょ(笑)。



『THE TINGLER』(1959年、米) ウィリアム・キャッスルという映画監督が、これのフィルム・タッカーという人。ロボットモンスターっていうのも、ゴリラのぬいぐるみに潜水服の服がぶっただけ(笑)。これは気い狂ってるような映画で、最初の自己紹介シーンで子供がモンスターを「おじさん」って呼んでるのに、最後には「パパ」って呼んでる。それで最後は「実は夢だった」って……。これもエド・ウッドと同じで、世界最低映画賞を受賞(笑)。でも、マニアな人たちは、エド・ウッドよりもこの「ロボットモンスター」のほうがひどいって言うし、俺もそう思います。



『ROBOT MONSTER』(1953年、米) エド・ウッドを下回る映画監督っていうのが、これのフィルム・タッカーという人。ロボットモンスターっていうのも、ゴリラのぬいぐるみに潜水服の服がぶっただけ(笑)。これは気い狂ってるような映画で、最初の自己紹介シーンで子供がモンスターを「おじさん」って呼んでるのに、最後には「パパ」って呼んでる。それで最後は「実は夢だった」って……。これもエド・ウッドと同じで、世界最低映画賞を受賞(笑)。でも、マニアな人たちは、エド・ウッドよりもこの「ロボットモンスター」のほうがひどいって言うし、俺もそう思います。

フェイバリット&リスペクト



ジム・エイブラムズとザッカー兄弟(画像は「ケンタッキー・フライドムービー」) 『ケンタッキー・フライドムービー』(1977年、米)を書いた3人組ですね。彼らは元々ケンタッキー・フライドシアターという劇団をやって、そのネタを映画にしてみたのがこれですね。ジェイムズ・エイブラムズが一人で描いた、ベッド・ミッドラーの「殺したい女」は、俺が一生のうちに、コメディの脚本の中で最高の本だと思っています。あんなものをいつか書いてみたいという思いが「BIG BIZ」を書いてたという思いがあります。ザッカー兄弟のジェリー・ザッカーっていう人が、この間描いた「ラット・レース」、あれもものすごくおもしろいですよ。ちょっと悔しい思いをしました。



cross
talk

伊
藤
千
枝

近
藤
良
平

肩ひじ張らずに

近藤 僕は(伊藤)千枝ちゃんの肩の力の抜け具合が好きなんだよね。本当はモノを作るのってそれなりに大変なのに、「私が見せたいのはコレなんだ〜」みたいな力みがないのがいい。

伊藤 (近藤)良平さんもそうでしょ。コンドルズもギャグ好きだよ。なんかダンスって眉間に皺寄せて考えちゃうようなシリアスなのが多いけど、私はそういうのばかり見てると「ああっ、クラーイ！」って暴れ出したくなる。だから、コンドルズの舞台はゲラゲラ笑える感じがいい。

近藤 そうだね、俺自身もそう思ってる。あとキノコについてももう少し言うと、普通十何年も続いている集団だったら、俺は近づきたくないって思うはずなんだよ。なんか重苦しそうだから(笑)。でもキノコだったらオッケー。隣に住んでてもいいかな、って思っちゃう。

伊藤 まあ、うちは目指せ三代舞踊団だから。肩ひじ張らず、おばあちゃんになって孫ができるまで、ゆったりと踊り続けていきたい(笑)。

狭間世代の結束パワー

近藤 なんか俺らの世代って中途半端じゃない? なんていうかケータイとかデジタルなもんも微妙な感じで入ってきたし、かと言って全共闘世代とかでもないし。

伊藤 普通にテレビに影響されて踊ってる人は、結構多いかも。私も子供の頃よくピンクレディーとかキャンディーズを踊ってたし。

近藤 俺はマイケル・ジャクソンね(笑)。でも昔のそういう振付は、やっぱり面白いよ。キャッチーだもん。

伊藤 そうだねえ〜、でもさ、話に戻るんだけど私たちの年代ってすごい狭間世代じゃない?

近藤 そうそう! 狭間の意識はすごいある。で、昔はそれが苦しかったんだけど、今は「狭間でいいや」って思うのね。なんか弱いもん同士の感

覚で(笑)、同世代の人間とのつながりも強いし。芝居の世界とかにも友達たくさんいるし。だから逆に自分より上の世代の人間とは、一緒に何かをするっていうのがあんまりできないかも。っていうか、仲良くなれないと思う(笑)。でも、上の世代って誰がいるんだろう?

伊藤 刺使河原(三郎)さんとか、(伊藤)キムさんとか、あとダムタイプとか。

近藤 なんかその世代の人のほうが立派な感じがするなあ、やっぱり。俺たち、ユルいよ〜。同世代の井出(茂太)ちゃんとかもユルいもんね。

伊藤 うん、そうだよ。で、さらに私たちより下の世代になると、もっともっと簡単になるんだろうね。「あ、やりたい」って思ったら、すぐ公演ができちゃう。

近藤 だって彼等は普通にストリート世代だから。僕らはストリートを取った世代でしょ(笑)。でもね、今の人たちは、もっと「見る見られる」ってことを意識してやるべきだと思う。なんて言うか、お金もらってやることなわけだから。街で不特定の人に見せるのはファッションでいいんだけど、そこは一線を引いたところに作品ってのはあるからね。

伊藤 そうそう。確かに私たちは好きでやってるんだけど、だからって「やりたいからやってるんだし〜」っていう感じとは違うのよ。公演って、お客さんの時間を拘束するわけだから、その責任は絶対に果さなければいけないと思う。

近藤 ああ、今いいこと言ったね〜(笑)。

海外ウケする普通の日本人

伊藤 キノコは外国の人に、ことごとく「日本っぽくない」って言われてた。

近藤 でも、それはいいことだよ。どんなに日本っぽくない作品でも、そこに俺ら日本人の身体があるわけだからさ。

伊藤 そう。だから無理して「ジャポネ〜ズ」みたいなことする必要はないと思って。

近藤 だよ。俺らもニューヨークとか行って、なんでウケたのか考えると、多分、日本に対する固定概念がある中で、いきなりすっげー普通の奴らがでてきたのが「わけわかんねえ」って逆に面白かったんだと思うもん。

伊藤 そう言えば私も「クレイジー・マッシュルーム」って言われた(笑)。あとと思うに、コンドルズも私達もスーパー・ポジティブなところが、海外でもウケたのかも。

近藤 ああ〜、今は世界でポジティブが求められてるのかもね。

まつもとゆうき ◆46年熊本県生まれ。作・演出家。大阪教育大学で美術を専攻。70年日本舞踊新派結成、87年維新派に改名。舞踏を取り入れた作風を経て、91年大阪弁を独特のリズムに乗せて歌うダンディ☆オペラのスタイルを確立。関西を中心に巨大な野外劇場を作って公演活動を行っている。近年は海外公演での評価も高い。 次回予定 ◆ライブ公演 タイトル未定 3月◎大阪

松
本
雄
吉



「さかしま」01年 撮影◆福永幸治

僕がいたころの維新派の役者およびスタッフ連中というのは、本当にいい加減で、ほとんど人間のクズというか、アウトサイダーの吹き溜まりというか……どこに行っても上手

たよの素人だったんですけど、ちよこちよこ通ったたりしてるところ、いつの間にか取り込まれてしまったという感じですね。

大阪では何らかのクリエイティブな活動をしていり、その周辺にいろと、必ず維新派に関わることになるんです。絶対もう一つの共同体というか、表社会に対するヤクザの裏社会と同じように、維新派社会というのがあるって、その大ボスが松本雄吉という人なんです。その人から直々に手紙をもらって、これは一度ごあいさつに伺わねば、大阪でそんな不義理をしたら抹殺されるかも、と(笑)。役者の経験なんかない、まったくの素人だったんですけど、ちよこちよこ通ったたりしてるところ、いつの間にか取り込まれてしまったという感じですね。

構成◆田代幸子 文◆川口有紀 撮影◆アラカワヤスコ 協力◆恵比寿ケイ、ママカフェ

アナーキー、かつ叙情的に

エッセイ集『それいぬ』、小説『ミシン』『ツインズ』など数々の作品に描かれたその独特の世界観が、少女たちから圧倒的的支持を得ている作家・嶽本野ばら。小説家としてデビューする前は様々な活動を行っていた彼だが、実はかつて維新派に在籍していたことが。“乙女のカリスマ”が語る、「松本雄吉について」。

松本雄吉という人

維新派に入るとい話をしたときに、初期から維新派を知る周りの人からすごく脅されたんですよ。舞台で一升瓶飲まなきゃいけないとか、真冬の海に白塗りで立たなきゃいけないとか(笑)。だから松本さんは「かなりぶっ壊れた人」というイメージがあったんですけど、本人はいたって気弱なんですよ。多分こういうこと言うと怒ると思うんですけど(笑)。僕等にしたら権威でも、彼は年

くいかなくて維新派にたどり着いたとか、僕のように知らないうちに松本さんに言いくるめられていたりとか(笑)。練習でも、いかにサボろうかとか(笑)。考えてなかったです。から(笑)。終わった後、お金がないのに安い居酒屋に飲みに行つて、そこで松本さんとくだらない話をするのが楽しくて稽古に行つたんですよ。

功序列とか体育会系みたいなのは一切嫌いなひとだし、演出も自分のイメージ通り一挙手一投足動かすのではなくて、かなり役者に任せていて、そういうスタイルの方って他にもいらつしやると思うんですけど、松本さんの場合はまた違うような気がするんです。演出家と役者、演出家とスタッフという関係ではなくて、すごく対等な目線で接するんですよ。だからとてもやりやすかったですね。僕は別に役者志望だったわけじゃないし、すくお気楽な立場だったのでも、練習中も練習後に飲んだるときも、思いつきタメ口でした(笑)。

維新派は、スベクタクルの部分がよく語られますけれど、でもそれは実は目くらましです。ものすごくセンシティブで、とても稲垣足穂的なんです。それは彼が泥酔してるときにほろりとうも明けてしまったんですけど、「ワシは基本的に、根っこは足穂が好きなんだよ」と(笑)。でも

talk
about

嶽本野ばら

たけもと野ばら ◆京都府生まれ。美術、音楽、演劇など様々なジャンルでの活動を経て、フリーパー「花形文化通信」の編集に携わり、エッセイを連載。98年「それいぬ——正しい乙女になるために」と題し単行本化。00年、初の書き下ろし小説集「ミシン」(小学館)で小説家デビュー。乙女のカリスマとして支持を受ける。最新作「下妻物語」(小学館)ではロリータ少女とヤンキー少女の友情を軽快に、そして感動的に描く。



超ポジティブに踊りまろう!

ダンスって言葉では括り切れないぐらい、美術も衣装も笑いも込みで、独特の今っぽさを発散するのがコンドルズと珍しいキノコ舞踊団。かたや男魂、かたやガーリーポップな世界ながら、共通して流れるイカンジの理由を同世代の演出家の対話からのぞいてみる!?

こんどうりょうへい ◆68年ベルギー生まれ。大学在学中にダンスを始め、96年コンドルズ結成。男共が学ラン姿で踊る破天荒なスタイルでダンス界に躍り込み。作品の演出・映像・振付を手掛ける。 次回予定 ◆近藤良平×坂東福菊「グワイツェック」11/20・21◎シアターX コンドルズ「2003年サーフィン」12/13〜15◎京都アートコンプレックス1928

いとちえ ◆70年東京都生まれ。4歳よりモダンダンスを始め、15歳からクラシックバレエを学び始める。89年日本大学芸術学部演劇学科西洋舞踊コースに入学。同大学在学中の90年、学生仲間と珍しいキノコ舞踊団を結成。以降全作品で演出・振付・構成を担当し、ユニークで東京ポップな世界観を魅せている。現在、メンバーは女性6名。

1年後デビュー主義! 2003年5月開講演劇科・映像科

募集
開始

年間で、10名の演出家のワークショップを体験!

演劇コース (昼)

専任講師 ▶

演劇コース (夜)

専任講師 ▶

映像俳優 Aコース (夜)

専任講師 ▶

映像俳優 Cコース (昼)

専任講師 ▶

ダンスコース (夜)

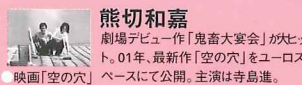
専任講師 ▶



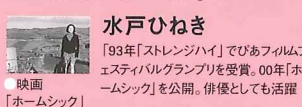
●iOJO!「乱されたい」2002
黒川麻衣 iOJO!
92年明治大学「騒動会」を母体に「iOJO!」を結成。鋭い観察眼とスタイリッシュな作品が特徴。



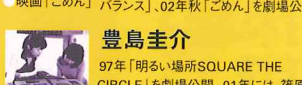
●TEAM発砲・B・ZIN「メルダイバー」2002
きだつよし TEAM発砲・B・ZIN
92年「TEAM発砲・B・ZIN」結成。「大の大人が笑って泣けるヒーローもの」で人気を博す。



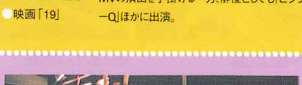
●熊切和嘉
劇場デビュー作「冤罪大宴会」がヒット。01年、最新作「空の穴」をユーロスペースにて公開。主演は寺島進。



●水戸ひねき
「93年「ストレンジハイ」でぴあフィルムフェスティバルグランプリを受賞。00年「ホームシック」を公開。俳優としても活躍。



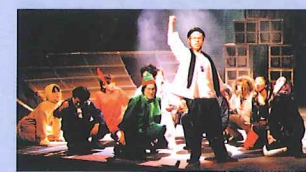
●豊島圭介
97年「明るい場所SQUARE THE CIRCLE」を劇場公開。01年には、篠原哲雄監督作「張り込み」に脚本家として参加。



●渡辺一志
01年脚本・監督・主演作「19」を劇場公開。CMやMVの演出を手掛ける一方、俳優としても「ピタリ」などに出演。



●ダンス「フリル(ミニ)」Arnold GRÖSCHL
伊藤千枝 珍しいキノコ舞踊団
91年「珍しいキノコ舞踊団」を結成。00年に発表した「フリル(ミニ)」は好評を博しフランス・アビニオンフェスティバルに参加した。



●カムカムミニキーナ「鈴木大地〜6時間リニューアルバージョン〜」2000
松村武 カムカムミニキーナ
90年「カムカムミニキーナ」を結成。作・演出・主宰を一手に担う。00年には紀伊國屋劇場進出も。



●ベターボーイズ「並PLAY」2002
西島明 ベターボーイズ
93年「ベターボーイズ」を結成。独特の間(魔)を持つ舞台をディテイルにこだわってを展開している。

映像監督 コース (昼)

専任講師 ▶

監督×俳優 コラボレートコース (夜)

専任講師 ▶



●拙者ムニエル「絶叫家族」2001
村上大樹 拙者ムニエル
94年「拙者ムニエル」を結成。以降全作品の作・演出を手がけ、役者、吉本興業の脚本担当など幅広い分野で活躍中。



●東京オレンジ「Fiesta!〜太陽の門」2001
横山仁一 東京オレンジ
92年「東京オレンジ」を結成。体系的な即興システムを導入しながら、集団創作の新しい地平を目指す。



●大谷健太郎
99年「avec mon mari アベック モンマリ」で劇場デビュー。01年には「とらばいゆ」を公開。話題に。



●篠原哲雄
96年「月とキャベツ」で長編映画デビュー。その後、「はつ恋」「命」「木曜組曲」など話題の映画を監督する。

●映画で自己表現をめざす!
映画監督コース(夜)専任講師/古厩智之

●日本屈指のディレクターたちに学ぶ!
CM&ミュージックビデオコース

●映画プロデューサーが、あなたの企画・シナリオを望んでいます!
シナリオライターデビューコース

詳細は
90ページへ

話題の映画監督が直接指導! 監督と俳優を募集!

役者の役作りは、自分の顔やヘアスタイルを役のイメージに近づけることから始まる。聞き手にヘアメイク・アーティストの山田操氏を迎え、鏡の前で変身していく役者たちのこだわりやヘアメイクのポイント、そしてメンタルな役作りの作業に迫ってみるシリーズ。第15回は、チャーミングな笑顔と抜群のスタイルでいつまでも輝き続ける、ミュージカルには欠かせない女優、木の実ナナさん。

木の実ナナ INTERVIEWER/山田 操



「伝説の女優」(11/15〜12/15◎アトスフィア)
撮影◆永谷勝



木の実ナナさんが越路吹雪さんから受け継いだというメイクボックスと今回使用するカツラ。

(お知らせ)
88ページに木の実ナナさんのサイン入りフォトが当たるお知らせがあります。

—今日は「伝説の女優」の稽古の真っ最中にもかかわらず、ナナさんに色々教わりたと思ってやって来てしまいました。

「えっ?何を言ってるの?(笑)」

—いえ、だってナナさんは、レビューのメイクはあっても、ミュージカルのメイクなんて日本にはなかった頃から、第一線で舞台上に立たれていて、僕らは客席からどんな風に描いてるんだろうって研究していたんですよ。ナナさんご自身は何かから勉強されたんですか?

「まず越路吹雪さんと一緒にした時に「舞台は一番後ろの席にいる人にも、表情がわかるようにしないとダメ」と言われたの。それは大劇場と小劇場では、まずメイクの仕方が全然違うってことにつながるでしょう?それからその越路さんと私の顔だちのタイプが正反対ってことがあってよかったかな。基本を押さえながら自分にあったメイクは?と、例えばアイラインは美空ひばりさんのようにとか、一つ一つ考えていったのね。いい先輩がたくさんいらしたから何でも教えて下さったし。そうして最後は……笑わない?」

—笑いません。

「京マチ子さんとデージー、デージーってディズニーのドナルドダックのガールフレンドなんだけど、そのポートレートを鏡の両側に置いて、こうなりたいてメイクしてたの。京さんは私自身がファンで、あんな風に綺麗になりたいと願ってたし、デージーはカールした長いまつげがチャーミングでしょう?こんな風になれるように、そうイメージしながらメイクしてた。とにかくお客様に喜んでもらいたいからね。舞台に出た時に、ワーッと息を吸って歓声がもらえるためなら何でもする!ってくらいだから(笑)とにかくビックリしてもらいたい、綺麗だと思ってもらいたい、そのためにメイクはとても重要だし、メイクしている時間も大切。その時間にだんだん役に入っていくの」

—生まれつき舞台が好きでいらっしやるんですね。

「大好き!と実感出来たのは30代になってからだけど、本当に好き。特にお客様が大好きなの。だから少しでも近づきたくて、よく舞台から落ちるんだけど(笑)。それだけに、キチンとかがしてないといけない苦しい作品はどうもあわない(笑)。もともと私は、ふた月も早く生まれて来た未熟児で、三歳まで歩けなかったくらい身体が弱かったから、母がクラシックバレエを習わせたのね。でも始めたらずいぶん好きになって、他は休んでもバレエのレッスンだけは欠かさない子だった。それから和製ミュージカル映画の「狸御殿」を見て衝撃を受けて。バカ殿様とお姫様と腰元の話……と思っていたら、腰元が頭は時代劇のまま、パツとミニスカートに変わって踊りだすじゃない。もう「ええ!」って思って、「なんて楽しいんだろう!こんな世界があるのか!」と、それが私の原点ね。その延長線上にディズニーがあり、フレッド・アステアがあって、舞台にのめり込んでいったのかな」

—細川俊之さんとおやりになっていた「ショーガール」もまさにそんな作品でしたね。

「そう、ストーリーがあって、ストーリーと全然関係ないショータイムが、真ん中にボンと入ってね。お客様も男の人はみんな細川さんに、女の人はみんなナナになっているのがわかるくらい、客席との一体感があった大切な作品。15年経って、私は歳をとったらとったなりの「ショーガール」をずっと続けたいと思っていたんだけど、ここで次の世界に羽ばたこうと決めたの。それから色々やらせて頂いて、財産も増えたけれど、でもやっぱり私の原点は「狸御殿」だから、私たち日本人にあった、



日本人のためのミュージカルには、こだわっていた。だから「阿OKUNI国」のように、着物は着ているんだけど、足を頭まであげて踊っちゃうような洋折衷ミュージカルは、ライフワークとして続けていきたいの」

—そのためには健康管理も大切ですね。

「それは本当に熱心よ。もう50代になったからじゃなく、50代になったからこそ、年齢が重なるほど美しくありたいと思ってるから、そのための努力は惜しんでないつもり。これからはもっともっといい舞台やっていきたいから」

—まさに今回の「伝説の女優」は、ナナさんはじめ共演の浅丘ルリ子さんという大女優お二人の円熟した美しさが発揮される舞台ですね。今から客席で拝見するのが楽しみです。

きのみなな ●46年東京都生まれ。61年にプロダクション主催のコンテストで1位に輝き芸能界入り。翌年、歌手デビュー。69年、ショービジネスを学ぶために渡米。帰国後、72年に日生劇場のミュージカル「アプローズ」で注目を集め、本格的ミュージカルスターに。細川俊之とのミュージカル「ショーガール」は、74年から15年間続いた伝説の舞台。そのほかの主な舞台作品は、「阿OKUNI国」「出島」「ロス・タラントス」など。テレビ・映画などへの出演も多数。次回予定◆「伝説の女優」

やまだみさお ●スタジオA0トータルプランナー。ヘア・メイクアカデミー校長。劇団四季在籍中、「CATS」の衣装・ヘアメイクを担当。84年、リンゼイ・ケン日本公演のビジュアルプロデューサーを担当。86年、(株)アドランス スタジオA0の設立に参加。舞台「オズの魔法使い」、「西遊記」、「ミス・サイゴン」、「エリザベット」などのほか、活動範囲はテレビ、映画界に及び。



演劇ぶっく社の運営するアートスクール ENBU [演劇&映像] ゼミナール

資料請求無料

http://www.enbu.co.jp/zemi/
〒160-0005 東京都新宿区愛住町13-10
tel.03-5366-7588 fax.03-5366-7589
e-mail:zemi_info@enbu.co.jp



倉森勝利

the Source of Creation

——フーコとの時間は倉森さんにとってどんな時間ですか？
息抜きにはかなりなってますね。公演中も夜中に散歩してます。ひとりでもくもくと原稿を書いたり演劇をやっていると、一般の人と接する機会ってないじゃないですか。だからこういうところで普通の大好きの人たちと「おはようございます」って言ったりするのが、すごく幸せに感じます(笑)。気さくにみなさんと会話しますよ。でも僕はそれを生かす作風ではないので、犬の散歩は単純に日常にとけこむだけの作業ですね。そこから自分の作品に生かす

とかは考えてないです。かつこつけちゃうような言い方もしませんが、フーコは確実に俺よりも先に死ぬじゃないですか。サモアリって死に対して何にもない状態だったんだけど、こいつが先に死ぬって思うと悲しかったりするじゃないですか。そういうのは作風には生きてくるのかなって。みんなは犬を飼うと死んだ時に嫌だからって言うけど、僕は死んだ時にどうい感情になるか試してみたいっていうのはありますね。

——それは倉森さんの発想はどこから来るんでしょう。
やつぱり神が降りて来るのを待つしかないですね(笑)。昔は来たらなんでも拾ってたんですけど、今はホントにいけるのかどうか自分自身で確認してます。僕の創作のアイデアの源は巨匠という人たちの作品なんです。巨匠の方は認められ理由がかならずあるでしょうから、ヒッチコックが何か発すれば疑いの余地なし、みたいな笑。

日常にとけこむ時

日常の断片を芝居にする——という作風とはまったく無縁のサモ・アリナンスの倉森勝利。一体、どこからあの「人をはぐらかしたような芝居」は生まれてくるのか？ 愛犬・フーコの散歩中というオフの一面から、彼の創造の源にせまる！

くらもりかつとし ●66年東京都生まれ。加藤健一事務所、東京乾電池を経て、92年にサモ・アリナンスを結成。作・演出を担当し、役者としても出演。ワークショップの講師や、ラジオ・テレビの放送作家としても活躍中。来年には初のプロデュース公演「倉森Victoryプロデュース」に挑戦する。次回予定 ●倉森Victoryプロデュース with サモ・アリナンス「倉森物語」03/1/29～2/2 ●本多劇場

構成・文 ◆石本真樹 撮影 ◆小坂真

構成・文 ◆川口有紀 撮影 ◆アラカワヤスコ

中島かずき&新感線の「素」公開！

喫茶店のジレンクス？

会社勤めをしているもので、子供が小さかったところとかは、仕事が終わって中途半端な時間に帰ると起こしちゃったりするんですね。だから帰りに喫茶店に寄って、脚本を書いたりして。あとは家で煮詰まったときの儀式みたいなもので「ここに行く」とアイデアが浮かぶと思ってる。喫茶店がいくつかあって(笑)。潰れちゃったところもあるんだけど、こーらんぶるはそういう風に使ってた最後の喫茶店。こーらんぶるは「花の紅天狗」(96年)の一幕のクライマックス、木野花さんと川崎悦子さんの対決を、もう何かに乗り移られたように書いてたという想い出があります(笑)。

資料探しはネットと本屋

インターネットによって、圧倒的に時間が短縮できるようになりましたね。あとアタリをつけられるようになりまして。今までは検索が大変で、よく途方に暮れてましたね。本屋に行くとこの辺かなというのを見るしかなかったのが、今はインターネットでキーワードで探して、ヒットしたところを見て、固有名詞が出てきたら今度はBKIとかamazonで固有名詞に關した本を探す。ネット上には大いに嘘もあるんだけど、それは調べれば分かることだし、ただ、また本屋の良さというのがあるって、本棚をながめてて意外な本との思わぬ出会いというのがあります(笑)。

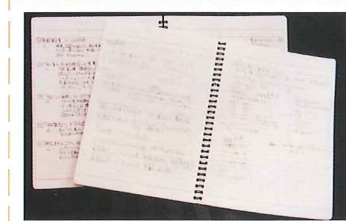
執筆作業の舞台裏

アイデアは持ち歩いているノートに書いて、外に出るとき、今日は夜時間があるから書こうかなと決めてるときは原稿用紙も持って出て、家に帰ってパソコンに打ち込む。原稿用紙は400字詰めをベースにして、プリントする時は1枚800字。大体800字1枚2分換算なんですけど、実際にはもうちょっと早いんです。10月の「ラフカット」に書き下ろした台本は800字詰め、33枚あるんだけど、本読みやって42、43分という感じ。『七芒星』は「サノオ」観て「いかん、芝居は短い方がいい」と思ったので(笑)。83、84枚「アテルイ」よりだいぶ短いんじゃないかな。今回の自分のテーマは「ネタ物のようなないのうえ歌舞伎」。ラフな感じと、あと読んだ劇団員が一番驚くような新機軸をやってます。

中島かずき

その壮大なストーリーと、作品ごとに構築される世界観がとにかく見事な劇団☆新感線の中島かずき作品。一体どうやって創ってるの!? と気になる人は多いはず。というわけで執筆現場から創作ノート、元ネタ本からフェイバリットまでこっそり公開しちゃいます！

the Source of Creation



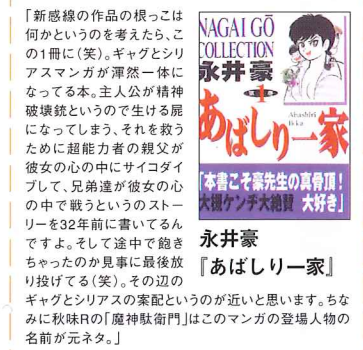
普段持ち歩いているノートを公開。もう20年近く書き続けているという読書記録と、キャストの感想や元になったアイデアなど、貴重な情報がいっぱい詰まっている。作品によってはあまりノートを使わず、パソコンにアイデアを打ち込むこともある。年間に約100冊のペースの読書記録は、さすがに今年からパソコンにしたそうです。



小松和彦 『日本妖怪異聞録』



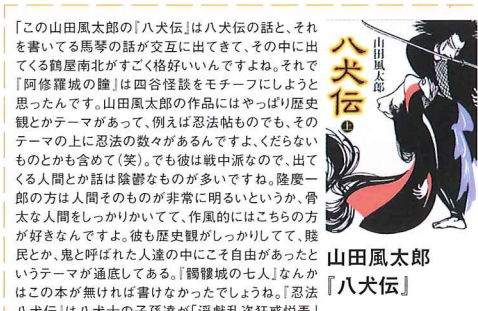
水木しげる 『続 妖怪画談』



永井豪 『あばしり一家』



都築卓司 『不確定性原理』



山田風太郎 『八犬伝』



山田風太郎 『忍法八犬伝』



隆慶一郎 『吉原御免状』

なかしまかずき ●59年福岡県生まれ。高校在学中にいのうえひでのりと出会う。85年より座付き作家として劇団☆新感線に参加。以後物語性を重視した「いのうえ歌舞伎」とよばれるシリーズを担当。近年は外部プロデュース公演へ書き下ろしも多い。ちなみに写真撮影の場所は、新宿「らんぶる」。次回予定 ●劇団☆新感線「七芒星」

冬期演劇集中講座 生徒募集

1週間の実践的な演技教室です。
アクト青山を主宰する俳優・渥美國泰が、あなたの演劇的才能・特質を的確に指摘し、旧俳優座養成所のテキストをつかって、特にセリフまわしの点検と工夫、脚本の読解力を養い、動きの自在性を指導します。「進学・進路相談」もありますので、本格的な演劇学校入学の手がかり、演劇大学志望の高校生の受験準備としてもご利用下さい。

定員:各クラス 15名
(定員になり次第切ります)

費用:入会金 5,000円
会費 35,000円

期日:12月16日(月)~21日(土)

12月16日(月)~21日(土)	
11:00~14:00	18:00~21:00
A教室	B教室

場所:アクト青山世田谷スタジオ
京王線千歳烏山駅下車13分

至急電話で教室をご予約下さい。
03-3300-5888

■桐朋・日芸・玉川・桜美林等の演劇科への進学希望の高校生のために受験の予備訓練をする「演技基礎教室」もあります。
■現役大学生を交えての「進学・進路相談」もあります。
■授業内容 発音・発声の基礎から、セリフ、動きの自在性、パントマイム、面接、作文、小論文等の表現力を養います。
■毎週 土18時~21時(3年生、日10時~12時(1・2年生)。
■費用 入所金70,000円 月謝20,000円
■申し込み方法 電話(03-3300-5888)にて面接日を予約下さい。見学も許されます。
■高校生以外の方の受講にも応じています。

ドラマティック・スクール
アクト青山
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山7-5-9
TEL 03(3300)5888 京王線千歳烏山下車

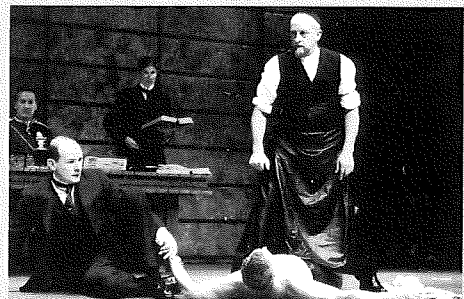


ベルリナー・アンサンブル「リチャード2世」9/10~15 ©Bunkamuraシアターコクーン



橋成・文 ◆伊達なつめ

マンは、就任中にも保守的なオーストリア体質に対して吠え続け、自由党党首のハイダーから、名指しで非難されていたという。それでも怯むことなく、果敢に批判的な現代作品を上演していた。筋金入りの反骨演出家なのだ。日本では、舞台で政治批判を行うのは遠い昔の流行だった感があるけれど、彼らにとっては、そうではない。つねにもっとも身近で切実な問題なのだ。
「僕はドイツでは、積極的に現代作家の作品を取り上げることで有名なんだよ」と語るバイマン。今回はシェイクスピア物だったけれど、次回はぜひ現代物で、物騒なほど攻撃的な舞台を見せに来てほしいものだ。



名門RSC(ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー)とともに来日した英国の新進女性演出家。『ヴェニスの商人』という有名な作品で、グローバルにその名を知られることになった彼女のサクス・ストーリーと演出ポリシーは?



橋成・文 ◆山下美樹 撮影 ◆アラカワヤスコ

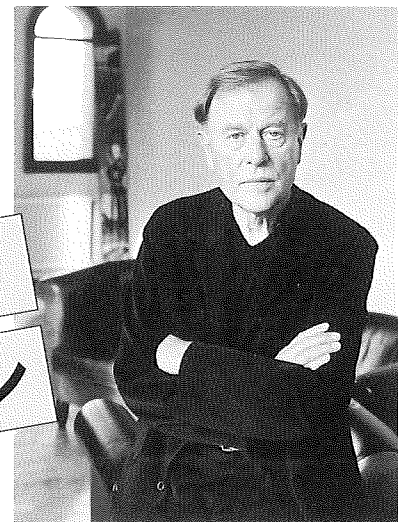
ラ ブ デ イ ・
イ ン グ ラ ム

に行くという意図で、私も芝居などめったに出来ない田舎に生まれたので、RSCの公演が行く意味は大きいと思いきや参加しました。
選んだ演目は「ヴェニスの商人」で、400年前も今も普遍的なテーマである人種と文化の違い、そして人間同士の憎悪の深さを教えてくれます。金貸しのシャイロックは人を殺そうとしたけれど、彼は動機は多く、面でも正しいとも言えますし、観終わっても問題は未解決のままです。そして9・11以来さらに現実とリアルに重なっています。でもまた時間がたてば、別の見かたが生まれてくるかもしれません。ですから私にできることは、観客の反応と疑問を呼び起こしそれぞれ答を考えたというところ、それだけであり、それがすべてなのです。

Claus Peymann●1937年ドイツ・ブレーメン生まれ。68年世代(日本でいう全共闘世代)を代表する演出家で、ベーター・シュタインと並ぶドイツの巨匠。ドイツの大小の劇場で芸術監督を歴任した後、86年にウィーンのブルク劇場の芸術監督に就任。99年から、現職のベルリナー・アンサンブルの芸術監督。現代作家の作品や古典の現代化演出で、高い評価を得ている。

Stage photo with interview

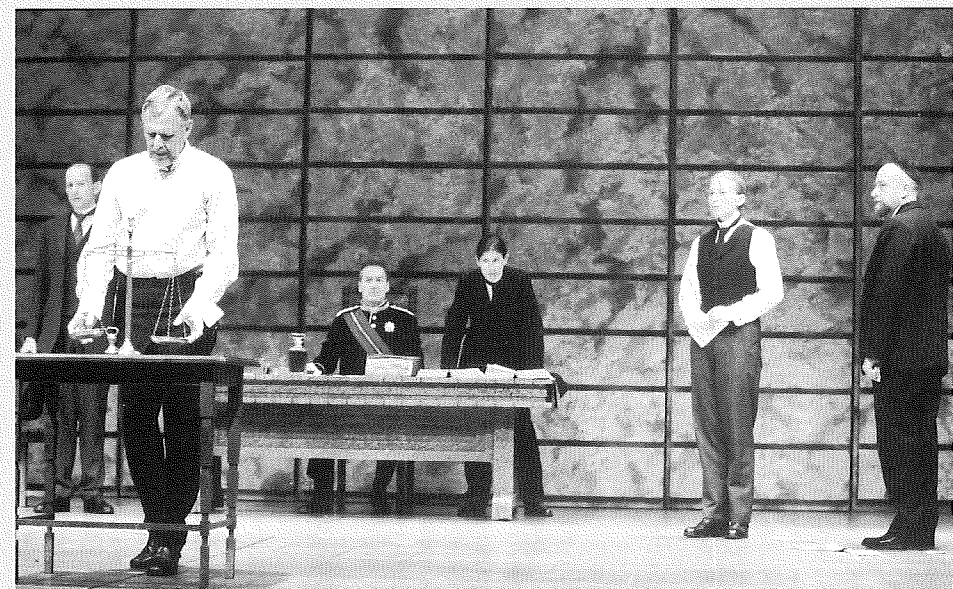
ク ラ ウ ス ・
パ イ マ ン



反骨をバックボーンに

モノトーンの舞台にマスクのようなメイク、スタティックな舞台に、尊厳をうばわれゆく王の痛切な苦悩と、権力の残酷がほとばしる。歳月を得てなお鮮やかで瑞々しい舞台を見せてくれたドイツ演劇の巨匠が語る。

「世界は屠殺場」という美術コンセプトのもと、舞台に泥と血と水をまき散らし、蠅の羽音を響かせて、残酷で醜く滑稽な権力構造の悪循環を暴いた、ベルリナー・アンサンブルの初来日公演「リチャード2世」。その圧倒的な過激さとクールさに「さすがブレヒトの直系!」と唸らずにはいられなかったが、演出のクラウス・バイマンの興味も、やはり現在の世界的政治状況にあったようだ。
「政治システムの变化ということが、今回の「リチャード2世」のテーマ。墮落した権力者は、その座を狙われ駆逐される。しかし代わって権力を握った者も、また同じことを繰り返す、ということだね。泥を多用したのは、血では当たらぬ前さるからというところもあったけど、所詮権力というものは汚いものだという、悲観的な想いも含められているんだ。ヨーロッパでは、社会主義国家が総崩れしたけど、西側の資本主義国家だって、とても健全とはいえない状態だ。イタリアのベルルスコーニ、フランスのルペン、オーストリアのハイダーと、大衆迎合型の極右勢力が台頭していて、もしかしたらこの人たちが、これからの社会を変えていく可能性だってあるんだからね」
ベルリナー・アンサンブルに迎えられの前は、ウィーンの名門ブルク劇場の芸術監督をつとめていたバイ



ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー「ヴェニスの商人」6/21~30 ©東京グローブ座

観客に答えを預ける

演劇の世界に入る前は、フィナンシャルタイムズの仕事をしていた。でも、いつか演劇の仕事にしたいと思っていた。ある日、RSCの演出家のジョン・バートンが、リサーチアシスタントを募集しているのを知り、手紙を書き、雇ってもらえることになりました。そして3年間、彼の助手としてマスタークラスやワークショップをしてまわりました。同時にフリンジという日本の小劇場のような形で、古典・コメディ、実験的な作品など何本か演出しました。次に、ナショナルシアターの演出に入り、ハワード・デイヴィスなど偉大な演出家の助手をつとめたり、大きなツアー・カンパニーで各地をまわったり、貴重な経験を積みました。
今のような大きな仕事を任されるようになったきっかけは、99年の「マンマ・ミーア」の演出助手からです。初めてのミュージカルは刺激的でしたし、大ヒット作で、私の名も業界で知られるようになりました。現在はフリーですが、商業的な満足だけではない作品にめぐり会える、本当にこの仕事についてよかったと思います。
RSCは、今回初めてオファーがあつて演出をすることになりました。英国各地、アメリカ、中国、クアラルンプールと9ヵ月かけてまわり、日本が最後の公演地です。このツアーはシェイクスピアにあまりなじみのない所

Loveday Ingram●RSCの名演出家ジョン・バートンのリサーチ助手としてキャリアを積む。00年「メサイア」「ブルー・ルーム」を演出。01年チチェスター・フェスティバル劇場で「マイ・ワン・エンド・オンリー」「三人姉妹」を演出するなど、ミュージカルから古典演劇までがけ、ウェストエンドで活躍する一方、ロイヤル・ナショナル・シアターの専任演出家でもある。

24期生
'03年4月
募集中

本格的に学びたい人のためのスクールです。基本から本格的な公演作りまで、充実した内容が誇りです。40名の講師陣、授業料は全クラス分納月払い。
劇団四季に'98年3名、'99年3名、'00年6名、'01年2名、'02年4名合格!



卒業公演より

●冬期集中講座
基礎訓練を兼ねて4日間でミュージカルナンバーを仕上げ、アトリエ発表する楽しい講座です。
☆12月26日(木)~29日(日)
入学金0
受講料金38,000円(税込)
※地方の方ホームステイ有
●ミュージカルコース基礎科(6ヵ月)
修了のち公演科に進級可
☆月20レッスン 定員20名
① 3万8千円
② 2万8千円(分納月払い制)
①平日夜間クラス ②土曜クラス
●全日制(1年)
終了のち全日制専科(1年)に進級可
☆月52レッスン 定員20名
① 15万円
② 月5万7千円(分納月払い制)
※資料請求は電話・ハガキ・インターネットで(無料)

(公 演)

22期生卒業公演 '03.3月17~20日
東京芸術劇場
23期生卒業公演 '03.8月14~17日
東京芸術劇場

池袋ミュージカル学院
〒171-0022
豊島区南池袋1-20-1 横田ビル3F・4F・5F
☎03-3980-5359
URL http://www.musical gakuin.com

遊園地で遊園地再生!!

遊園地再生事業団が2年ぶりに再始動！
 待望の公演の前に、宮沢章夫をリスペクトして止まないエレキコミックの谷井一郎が、ファン代表としてラブ♥アタック&突撃インタビュに挑戦!!

宮沢章夫



谷井一郎

谷井僕、遊園地の芝居は95年の「知覚の庭」から見ていて、宮沢さんのものは台本でもエッセイでもサイン入りで基本的に全部持っているんです。今日、持ってきたようかと思っただけですけど、引かれるなと思ってやめました(笑)。

宮沢僕はテレビでハンバーガー屋のコントを見たけど、特殊な人だなんて。願、しっかり覚えてるもん。

谷井嬉しいな。特殊な顔か、俺(笑)。

もう飽きた?

谷井宮沢さんの作品は、タイトルがいつもおもしろいですよ。新しいエッセイ集の「よくわからないねじ」とか。

宮沢僕はタイトルを先に思いつくタイプかな。

谷井僕のは最近のライヴだと「ローリングボンバーライオンタイガー」。強そうな名前にしよと思っただけで、ええいつちやって(笑)。僕、つたるときに「宮沢さんがつけそうな名前」って考えちゃうんです。だから、そこから無理に離れようとしてカッコ悪くなるんですよ。そう言えば宮沢さんがチャリンコ乗ってるって聞いたから、僕も乗ってるんですけど、宮沢さんは今、車なんですよ。すぐ飽きますよね(笑)。

宮沢もう今、京都に飽きちゃって(笑)。刺激されたことはいっぱいあるんだけどね。

谷井京都の喫茶店の話とかいいなと思っただけ。

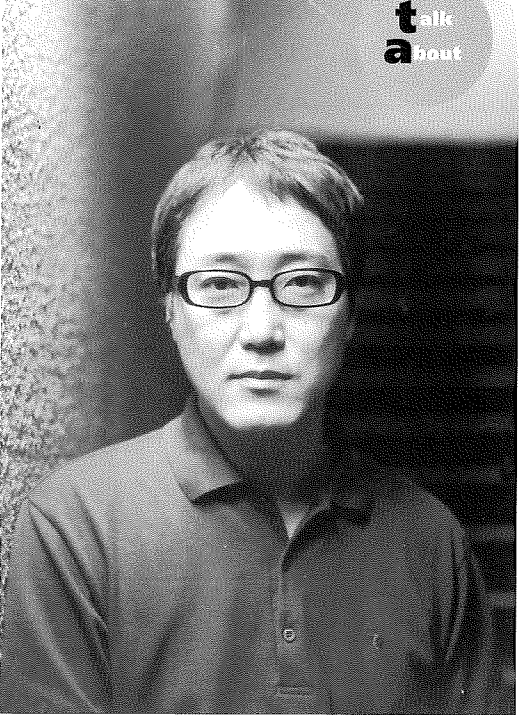
宮沢寺に飽きちゃって。俗っぽいところが見えてきたりするよね、ありがたくなるともない(笑)。

谷井大学の先生もやめちゃうんですか?

宮沢来年1年は確実にやるけど、最初に入ってきた1年生が卒業したら、次はどうしようか考えてる。教えることのおもしろさもあるんだけど、やっぱり小説や芝居を書きた

佐野史郎

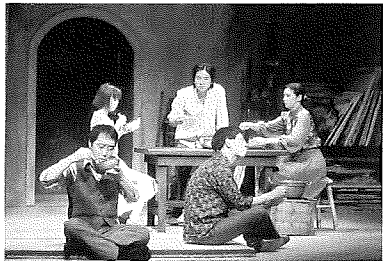
さのしろろう●55年島根県生まれ。75年劇団シェイクスピアシアターに創立メンバーとして参加。79年退団後、状況劇場を経て、数多くの映画・TV・舞台に出演。95年の『月ノ光』以降は、JIS企画としても活動。99年初監督作品「カラオケ」を手掛けたのはじめ、小説の執筆、バンド活動など、多方面で活躍中。



talk about

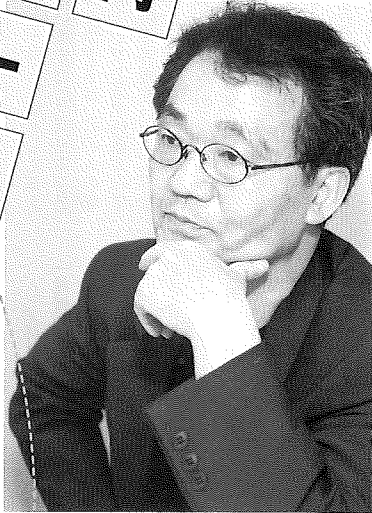
一步ひいてドライに。

劇作家であり演出家の竹内統一郎と俳優・佐野史郎によるJIS企画。95年の第一回公演『月ノ光』から数えて5回目となる今回は『今宵かぎりは…』。出会いからすでに10年を越え、佐野が竹内を語る。



1928年パリのモンパルナス。詩人・カニエ(佐野史郎)は妻のハナ(中川安奈)とともに、無名の画家・ウエキ(岡本健一)のアトリエの屋根裏部屋に居候していた。誰もが閑々とした日々を送っていた、そんなある日。日本からやって来たウエキの婚約者・ミツ(清水真実)が、ウエキとハナの秘められた愛に気づき、カニエ夫婦の関係も愛と嫉妬で揺れ動いていく。

竹内統一郎



——JIS企画らしい公演でしたね。

これって作品の意味を考えると、ほんとに暗くて救いのない話なんですけど、やってる方はそれに囚われたりすることはないですね。演劇はドキュメンタリーじゃないから、舞台上で実際の家庭の諍いややって、るわけではないでしょ。僕は意味を優先するアカデミズムでは満足がいけないんですよ。劇中の台詞じゃないけれど、やっぱりシニールレアリズムでないとダメなんです。

すべて気配を消すこと

——リアル感の薄い竹内ワールドだからこそ……。

うん。僕と竹内さんはお互いの世界観が似ているんだと思う。シニカルだと思われど嫌なんです。僕は、「どうせ、みんな死んじゃうんだから」と思うわけです。今、存在することこそ、それほど意味はないって。だからこそ、今を精一杯生きる。竹内さんのホンや演出にも、それを感じるんですよ。

——それが、この劇中にも表れている、と。

そう。例えば、「奥さんが文句言っ

カラダの技術

宮沢次回作は、とりあえずタイトルだけ「トーカー・ボディ」って決まっています。大学ですって身体のことを考えていたで、身体と芝居をやるうと。技術的なことも大切だけど、それが発せられる身体が今どうなってるか知りたいんだよね。

谷井でも最初はリーディング公演なんですよ。

宮沢僕は戯曲で、やってみたらおもしろかったんですよ。役者もあんまり「読む」経験ってないし、試してみたいことはいっぱいあります。

谷井今度からメンバーを固めてやるって聞いたんですけど。

宮沢うん、集団というものの弊害はひとまず置いておいて、作品の成果として満足できるものができるのかなと。ある持続した時間の中でこそできることがある。そのほうが、前に進める気がするんだよね。

谷井これからずっとその固定メンバーでやるんですか?

宮沢トレーニングの仕方を試してみたいというか、今、ワークシヨップをたくさんやってるのも、よくある昔からの方法とは違う新しい方法があるんじゃないかなと思っただけ。長い間、役者は上手くなるって思ってたんですけど、よく考えてみたら上手いやつは上手いってことに気がついて(笑)。それならば、その技術をちゃんと教えて上に積み上げ



ることができれば、今、求められていることができるかもしれない。

気持ちのおもむくまま

谷井宮沢さんは笑いのものはやらないんですか?

宮沢うん、体力の問題かな。あと、ある程度経験を積むと法則ができてくるから、飽きちゃって(笑)。

谷井僕、宮沢さんの影響で、大きい声で喋っちゃいけないと思っただけですよ。で、ちっちゃい声でやって、すべりまくってたんです。だから、今は全部宮沢さんが言ってたことの逆をやるうと思っっています。コントけど、すこしく動かし。

宮沢動けるうちは動いたほうがいいよ。

谷井コンビ2人しかいないから早く動いてたくさんいるように見たい。気持ち的には残像がいっぱい見えるような(笑)。僕は面白いですが、お客さんに笑ってほしいってことしか考えてないです。

宮沢それはそうだね。僕も笑いが好きだから笑いを始めたし、演劇について考えることがおもしろくなったから戯曲を書き始めた。そのときと思うようにやってきたんだけど、今まで生きてきて目標として持ったことなくて、これからもう変わろうとかっていうのはないですね。もしこの2年間で自分で意識していない変化が内的に発生しているとしたら、作品にそれが反映されるんだろうけど。

——では竹内さんは実際、どう演出をつけていらっしやるんですか。

そうね、小津安二郎の映画みたいに、「右見て、左見て、やってください。そうすれば困っているように見える」という感じ。あるいは、音楽のレコーディングの作業に似ていて、「1、2、3でここに行つて」と、テンポ感を決めるとか……。すべて決まってるけれど、崩すこともちゃんと認めてくれるんですよ。

——観客も一体感を持つというよりも、どこか作品や登場人物を客観視する面白味がありますよね。

うん。すこいたと話をすると、ディズニランドがあるでしょう。「絶対に楽しんでもらう」という意図があつて、みんなその世界に入り込んでいる。演劇も同じで、そんな舞台もあるわけだけど、竹内さんののは違う。「ミッキー、かわいいう」と思えるように、ちゃんと演出するけれど、その前後に「中に人が入っている」と客観的な情報伝わるように出来ているんですよ。だから俳優は「あつ、ミッキー」と言っけていても「どうせ人なんだ」。

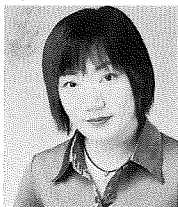
今宵かぎりは…～1928超巴里井主義宣言の夜～

JIS企画

作・演出◆竹内統一郎
 出演◆佐野史郎 岡本健一
 加納幸和 中川安奈
 清水真実 大森博 谷川昭一郎
 8/9～18◎本多劇場
 8/24～25◎近鉄小劇場、他

舞台芸術 ワークショップ・ 大阪2002 参加者募集

わかぎ るふ
ワークショップ・
演劇
ワークショップ



2003年
3月28日(金)～30日(日)
14:00～20:00

わかぎるふ作・演出による新作(タイトル未定)大阪・東京・福岡演劇公演のオーディションも兼ねています。

●会場：大阪市立芸術創造館
●参加費：テキスト代1500円

林 信夫
制作
マネジメント
ワークショップ



2003年
3月28日(金)～30日(日)
11:00～21:00

大阪・東京・福岡演劇公演の制作を講座・実践形式で学ぶことができます。(2003年度は月2回土曜日開催予定)

●会場：大阪市立芸術創造館
●参加費：テキスト代2000円
(面接の参加費は不要です)

<応募要領>

- 応募方法：返信用の定型封筒に住所・氏名をご記入のうえ、90円切手を添付して、所定の応募要領を下記に請求し、締切までにお申し込みください。
- 応募締切：演劇・制作マネジメントワークショップ 2/17(月) 必着
- 応募資格：男女とも、18歳以上(高校在学者不可)
※演劇ワークショップは40歳まで

ワークショップ見学者募集

わかぎ るふ 演劇ワークショップ
2003年3月29日(土)・30日(日)15:00～17:00
●会場：大阪市立芸術創造館 ●募集人数：各日程25人ずつ
●応募締切：2/28(金) 必着 ●参加費：無料
●応募方法：往復はがき1枚につき1名のご応募を受け付けます。ご希望の日程を明記ください。(2日間通しも可)

往復はがき・往信
〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16大阪WTビル17F
大阪市ゆとりとみどり振興局企画調査課 ワークショップ係
見学プログラム希望・希望日・住所・電話番号・氏名・年齢・性別・職業
※返信はがきの表書きにも、住所・氏名を必ずご記入ください。

主催：大阪市

総合プロデューサー：林 信夫(21世紀ディレクターズユニオン)
後援：(社)関西経済連合会/大阪商工会議所/(財)大阪21世紀協会 協力：(資)玉造小売店/(財)大阪都市協会/(株)CDI
会場：大阪市立芸術創造館 アクセス：地下鉄谷町線「千林大宮」駅下車③④番出口より南西へ徒歩12分
京阪「森小路」駅下車西出口より西へ徒歩12分
宛先・お問い合わせ先
大阪市ゆとりとみどり振興局企画調査課ワークショップ係
〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16大阪WTビル17F
TEL06-6615-0676
詳細については応募要項・チラシをご覧ください。

どくた一えくあどる●66年福島県生まれ。90年黄金劇場で初舞台。その後数々の演劇公演や舞踊公演を経て、94年ゴキブリコンビナート旗揚げ。脚本・演出・俳優・作曲・美術製作・宣伝美術など、すべてを受け持つ。労働者階級の人々の深い愛と情念が炸裂するミュージカルが、笑いと感動を誘う。

仕事も芝居もガテン系！



イベント会場の大道具の設置。
ガチ袋を下げた姿もサマになっている。



見世物小屋で、火吹きを披露。
これって仕事の範疇を超えているような。

Dr. エ
ク
ア
ド
ル

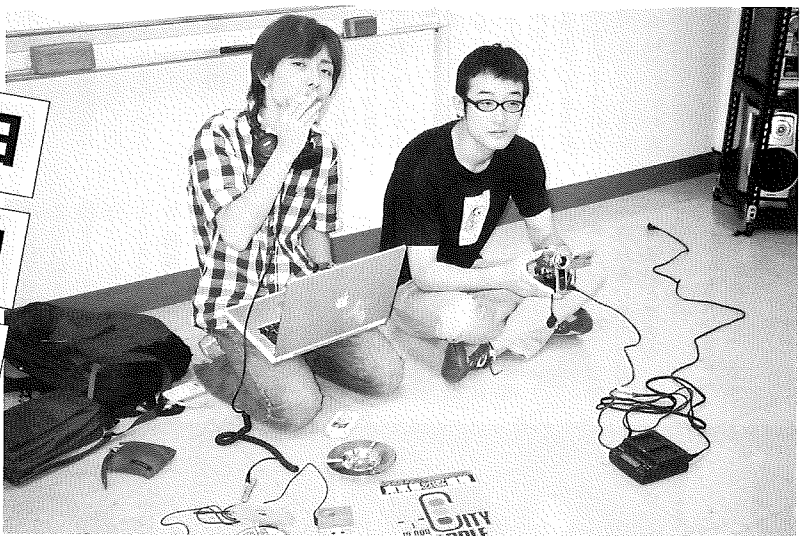
きつい、汚い、危険。自ら3K演劇と銘打って、労働者の生きざまを過激に描くゴキブリコンビナート。その主宰、Dr.エクアドルが実際に従事しているのも、見世物小屋、工事現場、大道具製作とまさに3K！仕事と芝居。その密接な関係をのぞいてみよう。



「粘膜ひくひくゲルディスコ」5/2～5◎麻布die pratzle 撮影◆小坂真
犬人間として金持ちの家で飼われている洋一郎。彼はまた会ったことのない弟を探して旅に出るが、弟がいたのは母の胎内、ゲルディスコだった。

これで安心、演出七つ道具

田
辺
茂
範



新しくピッカピカの愛車。
片道時間くらいなら、こどもで乗って駆けつけよう。



せ。夜型というが、まわって朝型(笑)。七■加瀬澤拓未くん(写真・右)たのみやすい。仕事も丁寧で台本のコピーとかも彼のはすくキレイ。4つ後輩の劇団員だけど、誰からも頼まれやすいキャラですね。イヤって言えないほうだから「あやりますよー」って。僕もそれがわかっていますから頼みます。けど、あとこれは勉強になるよとか、うまく言っている。

たなべしげのり●74年新潟県生まれ長野県育ち。95年、多摩美術大学演劇部のメンバーを中心にロリータ男爵を結成。主宰として、作・演出家として、また作詞家として活躍。次回予定◆ロリータ男爵公演「愛探偵♥天乃川学〜RETURNS〜」12/5～9◎駅前劇場 30-DELUX|MAYA-K|(脚本)03/17～21◎青山円形劇場

舞台人だって他に仕事をしている人はいっぱいいます。ゴキブリコンビナートのDr.エクアドル、この人の場合は3つもしかも選べる仕事すべてがきついつい肉体労働というのはなにかゆえなの？
「僕が生きていくためもあるけど、現場にいると、みんながこうやって生きていくんだって実感できるからですかね。その人生経験が作品に盛り込まれていくから、自分の中で労働っていうのがテーマとして大きくなっていますね」

じゃあ具体的な仕事と内容は？
「見世物小屋の興業で地方に行くのが、月に1回1週間くらい。うちは内容的に見世物小屋に近いって言われているんですが、モギリと呼び込みも役者もすべて兼任するっていうシステムも似ています。
あとの半月は工事現場の仕事。ビル建設の「落ちるところまで落ちた」あたり感で、自分にはすくなく見ます。職人さんたちの生き様を含めて参考になるし、8時～5時で残業もないから稽古の予定が立ちやすい

いのもい。
大道具の仕事は、最近はいないですけど、コンサートやイベントのセットの設置や、これの一番の収穫は技術的な面、頭の中で大道具のプランと役者の演出を並行して考えられるようになったというのが強みです。買える材木の量によって役者の動きを調整したりとか(笑)。
仕事で吸収した知識や技術が、うまくフィードバックされている。
「人生に生かされたものが、結果的に芝居にも生かされているんじゃない？」

『新宿ギリギリ学園』10/3～14◎THEATER/TOPS
撮影◆引地信彦
最後の生徒が退学してしまつたとある私立高校。教師達が学園再興のために選択したのは、生活指導の蔵田先生を生徒にするという、とんでもないプロジェクトだった……。

一■MAC POWER BOOK G4
前のパソコンが火事でおかしくなっちゃって買いました(笑)。基本的には台本書き用ですけど、デジタル撮影した製作途中の小道具に「色をもっと濃くしてみよう」とか映像を見ながら言えるので便利！
二■ビデオカメラ
稽古を撮影して役者さんに見せると、言葉で伝わらないことも「あ、こういうことか」ってすぐわかるから、とっても早い。
三■MDウォークマン

作ってもらったミュージカル曲を聴く用です。ダビングして、みんなにも覚えてきてもらって。
四■たばこ
吸える、吸えないで稽古の効率が高然違う。禁煙の稽古場だとすぐ「じゃあ、休憩しよう」って(笑)。
五■道路地図
初めての稽古場に行くときに見ます。
六■バイク Kawasaki Ninja
電車のない時間も余裕で移動できるからフットワークが軽くなりました。今日も朝5時(！)に新宿で打ち合わせ

the
Source
of
Creation

村
上
大
樹

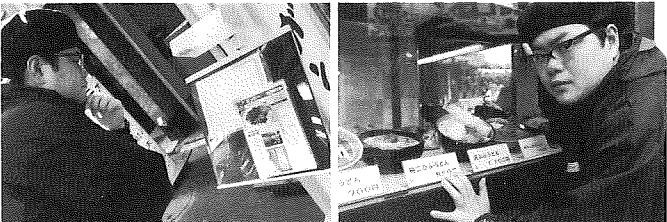
天高く馬肥ゆる本番！
THEATER/TOPSという劇場で、大人の階段をのぼった拙者ムニエル。作・演出の村上大樹の胸中には、ちよっとだけ意気込みがあったよう。



公演中の演出家はいつだってどんな動きをしているのか？拙者ムニエルの村上大樹の場合は、4時に劇場に入って30分間ダメ出しをしたあと、役者がウォーミングアップしている横で、DJ気分でお気に入りのCDをかけているという。
個性豊かでイイ意味で自由奔放な役者たちが魅力的な拙者ムニエル。いつもとはちよっと違った感じの内容で、新たな方向性を模索しているのかのように見えたが？
「今までのことを禁じ手にして、どのへんまでやれるのかを試したくて。来年30歳になるんで、これからお芝居をやっていくために、ハードルを設けてみなくて乗り越えてみたかったんです。TOPSらしいリアルなセットで、うちの劇団ならではのものをやりたいというか」
劇団内での立場はとても弱いそう。役者からよく言われるのは「ダメ出しのあとに「わからない」と、おなかがいから休みたい」という言葉。今回の稽古場では、稽古場についていた台所で、料理が流行っていたという。そんなエピソードもムニエルらしい。
「みんな最初はお弁当をレンジでチンして食べてたんですけど、だんだんエスカレートしてきて、伊藤修子とかは最終的には二郎とか材料を買ってきて、料理作っていました(笑)」

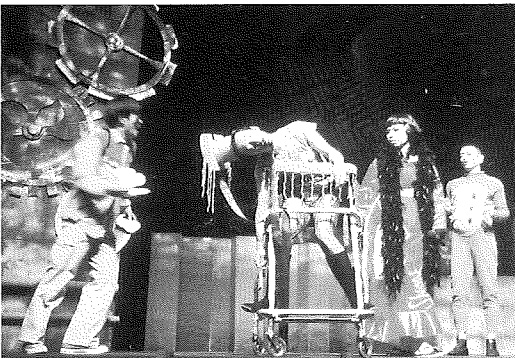


本番中の楽しみは、なんといっても差し入れ。そして芝居がはねたあとも、観に来てくれた人と「金に糸目をつけずにいいものを食べているぞ」。「本番中は祭りです(笑)」すごい楽しいので、本番がいつまでも続けばいいのって思っています」



そして、カレー屋のメニューもじっと見つめる。体力をつけるためにはまず食から。うどん屋のショーウィンドウで品定め。

むらかみひろき●73年愛知県生まれ。94年、早大在学中に「拙者ムニエル」を旗揚げ。主宰・作・演出・役者として多くの顔を持つ。最近では、イベントのプロデュースを手がけるなど、幅広く活躍中。年末の「エンブナイト」では、司会をしてくれます！ 次回予定◆「エンブナイト」12/30◎本多劇場 拙者ムニエル本公演「家と飛行機〜HOUSE&JET〜(仮)」03/6◎本多劇場 ヴィレッチャプロデュース「1989/02/26～16◎青山円形劇場(演出のみ)」



「鎖の工場」8/8～11◎三鷹市芸術文化センターのホール 撮影◆小坂真
不況にあえぐ日本で一人勝ち状態の100円ショップ、ダイソー。工場長は、単調な仕事に飽きた工員の脱走を防ぐべく娯楽を作り出そうとするが……。

演出をするうえでなくてはならない七つ道具。
電化製品だ〜いすき！電化製品は豊かさの象徴！！
と言い切るロリータ男爵の田辺茂範が、デジタルなものからアナログなものまで、いわば演出家の命ともいえる逸品たちをご紹介します！

文◎石本真樹(村上)
田代幸子(エクアドル・田辺)
撮影◎アラカワヤスコ(村上・人物)

演劇界に花咲く「オシナのチカラ」

世の女性進出は目覚ましいけど、演劇界にはまだまだ少ない「女性座長」。そんな中、活躍している2劇団の座長がここに集結。猫のホテル・千葉雅子と毛皮族・江本純子。演劇界では先輩・後輩になりつつも、本音トークが炸裂！

キーワードは「昭和」

千葉初めて江本さんを見たのは私が審査員をしていて、江本さんが劇団シンドロ（注）毛皮族を旗揚げする前に所属していた劇団（で参加していたカレシジ演劇フェスティバルで。今年の頭に毛皮族を初めて観たんですけど、びっくりしました（笑）。江本変わりましたよね（笑）。千葉ねえ！でもやりたい物の方向性が微妙に重なるところがあって、女囚モノとかね。私の場合は任侠とか男の世界の方に好きなんです（笑）。

——お二人とも、「昭和」というのをキーワードにされてる感じがします。

千葉 そう昭和なんでしょね。でも江本さんはリアルタイムじゃないのにあんな確に捉えて、あんな音楽使って、すんなり昭和を表現できてしかもねえ、乳まで出せて（笑）。

家族との距離感

千葉 親はどう説得しました？江本 納得してないですよ（笑）。今に就職しろとか言われます。

千葉 私はそれができなくて、思い切れなくて就職しちゃった。ポリーナスとか貰っちゃうと、なかなかやめられない（笑）。まあそれを劇団経営に

使ってたんですけどね。

——家族の方がお芝居を見に来たりとかとは。

江本 一回もないですね。千葉さんのご家族は知ってらっしゃるんですか？

千葉 同居だったんで、会社勤めをやるときはさすがに言いましたね。でも本番には一回も呼んだことはないんですけど、親兄弟と会話あります？

江本 ……ほとんどないですね。

千葉 すっごい似てるわ！（笑）。ウチは会話もですす調だし。ある日、何かの雑誌で読んだらしくて「バカ衰しい芝居をやってるんだって？」言われたことがあって、殴ろうかと思いました（笑）。

江本 そういう家族との距離の取り方ってありますよね。うちも「エロシリーズ」って言われてますから（笑）。

女性演出家ならではの悩み？

千葉 男性演出家の方がモテるんじゃないかって、ずっと思ってる。例えば20年劇団やってたとして、モテる度数は比べものにならないんじゃないか。そういうコンプレックスがありますね。

江本 でもよく、男性演出家が女優のことを好きになっちゃったりとかあるじゃないですか。千葉さんはそういう部分にほだされないというのか、絶対そういうところを狂わなそうだな、と勝手に思ってるんですけど（笑）。ウチは恋愛とか、そういう色がゼロなんですよね。興味がないのかも。

千葉 どうあがいたって恋愛してる姿ってみっともないですからね。それはそれで、みっともない部分から何か違うタッチで掛けたり（笑）、で



boku-makuhari | 阿佐ヶ谷に零れる | 01年 / 「ぼくは普通」 | 02年チラシ

平田オリザの演出法

——前田さん、岩崎さんが作演出を始めたのは。

前田 僕は五反田団を大学2年生の時に始めました。作風は微妙に変化していると思うんですが、ずっと観てる人には全然変わってないと言われます（笑）。

岩崎 僕は青年団には役者で入ったんですが、青年団って選抜があるんで役者だけでは安穩としてられなくて、それで興味があったし作演出もやってみよう。

オリザさんの影響を受けたところはありますか。

前田 初めて青年団を観たのはアゴラ劇場で公演をやるようになってしばらくしてからなんです。作品的にはオリザさんとは全然質が違うと思う

ますが、僕は演出の仕方がずっと手探りで何が演出なのかよくわからなかった。それがオリザさんの稽古を見せてもらうようになってこんな時にはどんな言葉を使ったらいいのとか具体的な演出のやり方があるのがすごく勉強になってます。今ではそれを盗んでるくらい。

岩崎 オリザさんの作品作りは結構システムチックだと思うんです。僕はそこまで頭が回らないしあまり俯瞰して作品を書けないので、作品の作り方は違うと思います。でも、僕も演出の仕方や言葉とかの影響はすごくあります。やはり初めて接したプロの演出家がオリザさんだったんで、まだ作品は少ないですけど、小オリザ」と言われてます。幸か不幸か、いや幸かな（笑）。

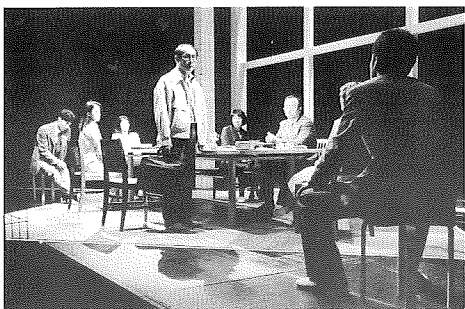
お互いをどう見る？

前田 公演は毎回観てるし、気になる存在です。岩崎君のいやな部分やいやらしい部分が出て面白いです。岩崎 最初に五反田団を観た時はすごく衝撃的で、ずっとこのままでいてほしいって言ったのを覚えてます（笑）。

岩崎 僕は演出の仕方がずつと手探りで何が演出なのかよくわからなかった。それがオリザさんの稽古を見せてもらうようになってこんな時にはどんな言葉を使ったらいいのとか具体的な演出のやり方があるのがすごく勉強になってます。今ではそれを盗んでるくらい。

岩崎裕司

平田オリザ



青年団「海よりも長い夜」99年 撮影◆青木司



五反田団「動物大集会」02年



岩崎さんは五反田団へ出演されてますが。岩崎前田君はお客さんへのサービスを意識的に考えて演出するんです。出来るだけ面白い顔とか動きをお客さんに見せる、それって大事なことだと思っただけで、ごく勉強になりましたね。平田 この年で観客のことを想像できる客観性をもっているのは、たしかにもんだと思います。人を思いやらざるをえない、つらい人生があったのか（笑）。書き手の才能は結構ブレがあるけど、演出家としての才能は精神的に落ち込んだりしても簡単にダメにならない。だから演出がしっかりしていると

も毛皮族は女子が多くていいですね。募集してるんですか？

江本 今はしてます。でも難しいですね。今この劇団に入るかという時に、とりあえず毛皮族に、という感じで受けに来たりとか。この間駅前劇場でやったんですけど、自分の中では駅前劇場って結構ステイタスで、なんかこの状態でやってくるのが申し訳なくなってます。

千葉 こればつかりはね、縁というのもあります。ウチはオーディションとかしなくて、たまたま今のメンバーが揃ったという感じなんで、新人さんとか入れてリフレッシュ、という形を取ってる劇団もありますけど、それだったら今の形で持ちこたえようかな、と。でも、旗揚げ1〜2年の頃は江本さんみたくに真摯には考えてなかったですね（笑）。ただ面白けりやいやで、江本さんは「劇団でやっていこう」という考えなんですよね？

江本 そうですね、劇団で。千葉 えらいですよ、劇団じゃなくてユニットみたいな「ちょっと距離取っていい中」という人が多い中（笑）。江本 でもやっぱり、自分の作りたいものが劇団じゃないとできないかな、と。千葉 そうなんです。ね。頑張って行きたいですね、お互い。



毛皮族「高麗人参毛貝具」02年 撮影◆杉本晋子



猫のホテル「キャノンボール★ハイ」02年 撮影◆田中亜紀

ちばまさと ◆62年東京都生まれ。ひとくせもふたくせもある個性的な俳優が揃う劇団、猫のホテルにて作・演出・主宰をつとめる。社会派なテーマをちりばめた物語は、笑いを誘いつつもどこか哀愁が漂う。女優としても「阿佐ヶ谷スパイダース」など客演多数。次回予定 ◆猫のホテル 年越し公演「起きている者はいないのか」12/26〜03/1/8 ◎ザ・スズナリ、03/1/17〜1/19 ◎藤町ミュージアムスクエア えもとじゅんこ ◆78年千葉県生まれ。立教大学の演劇サークルである劇団シンドロを母体として、2000年に毛皮族を旗揚げ。以降作・演出・主宰をつとめる。どこかレトロな色にその捨て身な作風とエネルギーが評判を呼び、注目の若手劇団。1/1〜3の猫のホテル「座長まつり」にも出演。次回予定 ◆毛皮族 豪華2本立て公演 残酷ポルノ歌劇「フィガロの猿せつヴィスコンティ」観よワイゼン」（仮）、グランドレビュー「毛皮族民主主義人民共和国」03/2/6〜2/11 ◎駅前劇場

漂う空気の関係性

平田オリザ周辺の若手作・演出家の存在が、最近気になっている。アゴラ劇場を中心に活動する五反田団・前田司郎。青年団・岩崎裕司のユニットboku-makuhari。作風は違えども、そこに漂う空気感は青年団の肌触りとよく似ていて、なんだか気になる関係性。そのところ、どうなのでしょう？

ひらたおりぞ ◆62年東京都生まれ。83年青年団結成。こまばアゴラ劇場を拠点に、海外でも精力的な活動を行い、今秋ダブリンを皮切りに一ヶ月以上におよぶ「東京ノート」ワールドツアーを敢行した。桜美林大学総合文化学科専任助教授として、新時代の演劇人育成にも力を注いでいる。次回予定 ◆青年団「東京ノート」11/17〜25 ◎東京都現代美術館 まえだしろ ◆77年東京都生まれ。97年、大学在学中に五反田団を結成。98年頃からこまばアゴラ劇場を中心に公演を続ける。極端に排除された段ボールだけの舞台セットや手書きのチラシ、脱力した不思議な劇空間が話題を呼んでいる。アゴラ劇場のスタッフとしても活動しており、「五反田団」の今後の展開が気になるところ。次回予定 ◆五反田団「ながく吐息」03/2/19〜24 ◎こまばアゴラ劇場 いわさきゆうじ ◆76年東京都生まれ。97年青年団入団。自身のユニットboku-makuhariで、ドローした人間の内面をコミカルかつ辛辣に描く。01年に「阿佐ヶ谷に零れる」、02年「僕は普通」と続けて名曲喫茶ヴィオロンで公演を行い、次作も期待大。役者としては、ほんわりとした不思議な存在感が持ち味。次回予定 ◆「東京ノート」(出演)

声は命!!

近道……? 生徒募集!!

声量・声域アップ

—魅力的な声作りと表現力を—

通る声、涼しい声……
凛々しい声、美しい声……

《専門コース、一般コース、入門コース》

芸能、マスコミのプロ、およびプロを目指す人は勿論、
OL、学生、会社員、他どなたでもOK!!
他の団体所属者も可。〈演劇企画「すてえじ」併設〉
(年齢、男女、経験は不問)

新宿、吉祥寺、三鷹、各スタジオあり

《入門～プロ》

(A) 発声コース
(B) 表現力コース
(C) 活舌コース
(D) 演技(個人)コース
(E) 受験(各種)コース

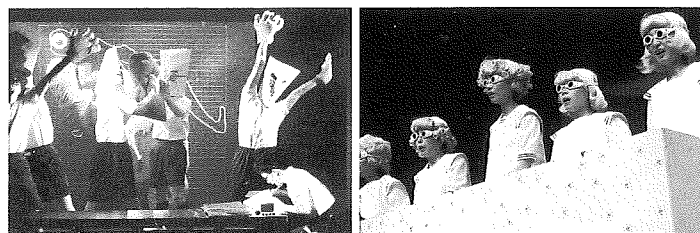
入学金2万円
授業料7千円より

《セット可(割引料金)》

〒181-0004東京都三鷹市新川6-27-27高和学院内
ボイストレーニングアカデミー事務局B係

バンフ無料送 ☎03(3226)9328
FAX0422(44)9945 TEL22時迄

**ボイストレーニング
アカデミー**
www.voice-training.jp



※9 遊○機械／全自動シアター「学習図鑑」87年

※8 劇団青い鳥「天晴れ」88年

され、ミニマム化していく世界の中に山崎は心の中に爆弾を持った人間を描いた。山崎の芝居には「吐く」場面やト書きがよくありましたね。吐くというのとは違和感の表明なんだけど、ここではものを吐くだけじゃなくて人間の理想とか観念とかイデオロギーといったものを嘔吐物として出しているんです。だから舞台となるのは非常に大きなものが壊れた後の世界、廃墟ですよ。そういうものを初めてちゃんと描いたのは山崎哲じゃないかと思えます。

蜷川幸雄 時代と衝突する演劇

蜷川さんは現代人劇場 櫻社それから商業演劇へという振幅を経て、どの時代でも確固たる自分のスタイルで活動をしていました。蜷川幸雄って言うのは、時代に合わせるよりも、時代とぶつかると言う姿勢でずっときたと思うんです。彼が脚光を浴びた70年代はつかこうへいをはじめとした笑いの演劇が盛んになりました。80年代は特に笑いが増えていく時代ですけど、蜷川幸雄は一貫して反時代的な悲劇の演劇をやりに続けてきた、めずらしい人で

川村毅のSFと流山児祥のエネルギー

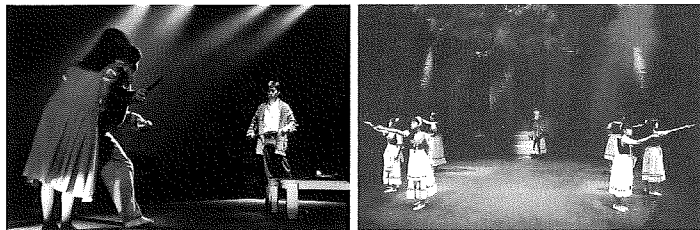
それから、川村毅、流山児祥と個性的な人の活躍があります。川村毅の第三エロチカが出てきた時は衝撃的でした。彼も人間関係の点では初めは唐十郎に近い地点にいました。彼のドラマの中には不気味なカオスがある。近未来やアンドロイドといったSF的な要素を演劇に本格的に導入したのも川村毅が最初で、これは画期的なこと。彼の劇世界には、人間も遺伝子に全部情報をはめ込まれている一種のアンドロイドで、特権的なものは何もない

岩松了の脱力感

岩松了が東京乾電池のお父さんシリーズで出てきた時も、世の中の演劇と違う感覚がありました。当時は野田・鴻上・劇団☆新感線なんかの全盛期ですからね。東京乾電池時代の岩松了が描くのは野田や鴻上とは全く違う脱力感がある世界です。それは柄本明という役

90年代、静かな演劇とウエルメイド演劇の両側面

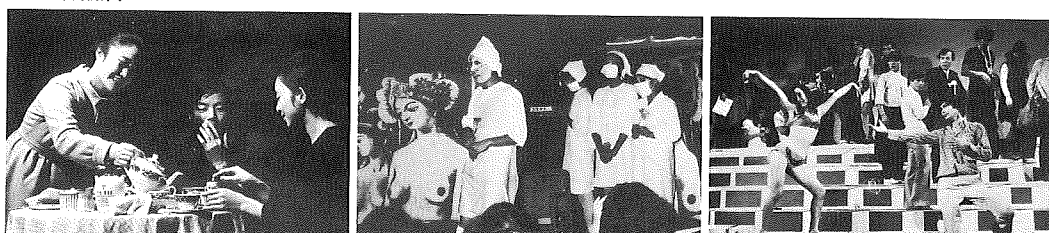
90年代のバブル崩壊後は、本場に演劇界も一変しましたね。平田オリザのようないわゆる静かな演劇と三谷幸喜や永井愛みみたいなウエルメイドな作家が両方並んで出てきたのが90年代です。双方とも幻想を排して日常をちゃんと描くっていう近代演劇の基本に立ち戻った。ある意味ここには60年代以来の前衛疲れもあるでしょう、実験が行きつくところまでいってしまいましたか



※11 転位・21「パバは誘拐犯」88年

※10 自転車キンクリート「リンゴ畑のマーティン・ビビン」その2」88年

構成・文◆高橋涼子



※3 早稲田小劇場「マッチ売りの少女」67年

※2 状況劇場「腰巻きお仙・義理人情いろはにほへと」69年

※1 現代人劇場「真情あふる経済さ」69年

「全然スタイルが違うのに惹きつけられた共通性は？」学生時代文学に関心があったので、戯曲Ⅱ文学 演劇Ⅱ戯曲という感覚があったんですね。ところが唐十郎や鈴木忠志の芝居などを見て初めて、演劇というのは強烈な肉体を前提として成り立つものなんだっていうことが分かって、すごくショックを受けました。演劇を戯曲の外に解き放つた、そんな解放感がありましたね。演劇の枠組みが変化して領域が非常に広がったんです。とにかくあの頃はすごい才能が乱立していたんで、そんな強烈な個性の人たちと付き合うだけでも面白い時代だったですね。

つかこうへいの衝撃

第一世代の後には70年代、つかこうへいや竹内統一郎などの第二世代がありますね。中でもつかこうへいの影響はすごかった。このうへいでのり、マキノノゾミ、成井豊、鈴木裕美

80年代、天才・野田秀樹と時代の寵児・鴻上尚史

そして80年代、野田秀樹と鴻上尚史の疾走型の演劇が生まれます。野田秀樹は劇作家としては、基本にロマン派の色彩を持っています。唐十郎に繋がる人だとも思えます。けれど唐十郎があくまで人間の世界に閉じこもっているのに対して、野田秀樹は個別的な人間はあまり関係ない。人間の脳細胞の中に詰まっている

女性の旺盛—渡辺えり子と劇団青い鳥

80年代は、渡辺えり子や劇団青い鳥などの女性中心の劇団も元気が時代でした。渡辺えり子も基本的には唐十郎の流れでしょうね。夢と現実が一緒になっている複雑な劇構造を持つフアンタジーの世界です。そういう意味では小劇場系の唐十郎以降の本流をいく人じゃないでしょうか。

イデオロギーの嘔吐—山崎哲の描く廃墟

80年代あたりから人間の本能とちよつとずれたような異常な犯罪がすく多くなって、それを精神分析的に上手く解明していったのが山崎哲ですね。スタイルからすると山崎哲は別役実系の人だと思うんです。人間が抑制

イデオロギーの嘔吐—山崎哲の描く廃墟

※7 劇団3〇〇「語る砂の伝説」89年

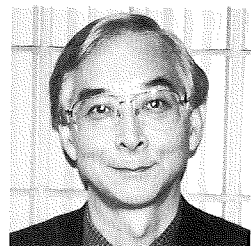
※6 第三舞台「ハッシュ・バイ」86年

※5 夢の遊眠社「野獣降臨」87年

※4 「広島に原爆を落とす日」89年

扇田昭彦 (演劇評論家)

インタビュ—榊原和子



広がった演劇の枠組み

まずは60年代まで遡ってみたいのですか。いゆる第一世代の時代ですね。蜷川幸雄、唐十郎、鈴木忠志、佐藤信、太田省吾とみな全くスタイルが違っていた。それからちよつと別格で寺山修司がいました。

第一世代は既成のものに対するアンチを提示する演劇だった。寺山修司なんかは「社会を転覆するための演劇だ」と考えていた訳ですから。ところがつかこうへいは主義主張ではなくて、差別意識も含めた人間の

鴻上さんはまた、野田さんとは違う社会的な存在でしたね。社会の好みとか流行にひくように敏感で、でもそのまんなの写し絵ではない。社会をもちよつと進んだ進行形で批評的に映し出す、そんな演劇だと思えます。とても頭のいい演劇じゃないでしょうか、それにおしゃれで笑いがふんだんにあって。同じ笑いのある演劇でも野田秀樹とは対照的です。当時の野田秀樹は基本的に現在の社会は関係なかった(笑)。やっぱり鴻上尚史はあの時代に根差したからこそ出てきた演劇じゃないかと思えますね。でも90年代になると、鴻上尚史は時代にフィットしてただけ苦労したっていうのもあるんじゃないかな。逆に野田秀樹はバブル以後うまく時代の変化に合わせて、歴史を扱ったりシリ

い鳥などの女性中心の劇団も元気が時代でした。渡辺えり子も基本的には唐十郎の流れでしょうね。夢と現実が一緒になっている複雑な劇構造を持つフアンタジーの世界です。そういう意味では小劇場系の唐十郎以降の本流をいく人じゃないでしょうか。

90年代、静かな演劇とウエルメイド演劇の両側面

80年代、90年代、演劇人の系譜

「演劇ぶっく」が創刊されたのは今から17年前の1986年のこと。当時はいわゆる小劇場ブームの真っただ中だった。新しい才能は次々に誕生し、演劇界に新風を吹き込んだ。ある時は既存のモノを壊し、またある時は自由な発想を繰り出して、演劇ぶっくが追いつけなかった。そんな80年代から90年代の演劇人の系譜を、日本の演劇界を長いスパンで見続けてきた演劇評論家・扇田昭彦氏に語ってもらった。

Special
ecture

- 1 ●劇団旗揚げ作(処女作)とその当時の思い出や裏話などをお聞かせ下さい。
- 2 ●ターニングポイントとなった作品はなんですか? またその理由は?
- 3 ●好きな作品をひとつ挙げるとしたら? またその理由は?

作・演出家のスタイルをさぐれ!

確固としたスタイルの秘密は、彼らの作品の中にある。
現在の彼らの手法や視点を探るために、自身の作品を3つの側面から語ってもらった。

One's
Style

マキノノゾミ

劇団M.O.P

1 ●『HAPPY MAN』89年

旗揚げから5年ほど、つかこうへいさんの脚本で芝居していたのですが、本がネタ切れになってきたのと、オリジナルを書きたいなという思いが出てきて、書いたのがこの作品です。書いたら案外いけたので、そこからもう気分は作家になってました。つかさんの芝居の、役者の見せ方から客出しの音楽まで、観客の生理を考えた舞台作りは、今でも僕に影響を与えています。

2 ●『ビスケン』91年

初めて素舞台ではなくリアルなセットを組んで、時間もその場で起きて収束するっていうのをやってみました。いわば劇作上の進歩ですね。小劇場のなんでもありも好きだったけど、一回、回想禁止ギャグ禁止でやってみたかったし、セットを置くことで世界が広がる部分もありました。関西でずっとやって、自分たちの汎用性みたいなものを知りたかったけど、意外といけるんだという手応えを感じた公演でもありました。

3 ●『ジンジャーブレッドレディはなぜアル中になったのか』01年

理由は、いつでも最新作が一番好きでなければいかんと思ってますから。アメリカ演劇ごっこを楽しめた感覚があったし、「バカだな、俺たち」というような愉快な遊び心でニール・サイモンを骨抜きに、ということに挑戦した作品でもあります。



●主な作品

『HAPPY MAN』89年
『ビスケン』91年
『モンローによろしく』93年
『夏のランナー』94年
『青猫物語』94年
『ちゃっかり八兵衛』95年
東京国際フォーラム開館記念事業「東京原子核クラブ」97年
『KANOKO』97年
『黒いハンカチーフ』01年
『ジンジャーブレッドレディはなぜアル中になったのか』01年

『ジンジャーブレッドレディはなぜアル中になったのか』01年 撮影◆伊東和則
つかこうへいの毒と熱を継承した描写と演技で人間の感情のぶつかり合いと可笑しみをリアルに描く。ニール・サイモンの『ジンジャーブレッドレディ』という有名な戯曲がモチーフになっている。

松田正隆

1 ●別役実氏や唐十郎氏の模倣です。

2 ●『紙谷悦子の青春』92年

他の影響をうけずに、自分なりの書き方で書けたからです。

3 ●『沈黙と光』02年

最新作だからです。



まつだまさたか ●62年長崎県生まれ。90年、京都で劇団時空劇場を結成、作、演出を担当する。95年より演劇プロデューサーの遠藤寿美子、劇作家の平田オリザと共に「月の碑プロジェクト」を京都にて発足、地域演劇の活性化に取り組む。『坂の上の家』がOMS 戯曲賞、『月の碑』が読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞する。『海と日傘』で第40回岸田國士戯曲賞受賞。 次回予定◆『雲母坂』12/26・27◎京都造形芸術大学スタジオ21

●主な作品

『落日の彼方』90年
『紙谷悦子の青春』92年
『坂の上の家』93年
『海と日傘』94年
『月の碑』97年
『夏の砂の上』98年
『花のかたち』99年
『水いらずの星』00年
『雲母坂』01年
『沈黙と光』02年

青年団プロデュース「雲母坂」01年 撮影◆青木司
平田オリザ演出による青年団プロデュース作品。離島の部落に帰ってきた兄弟。土着信仰をめぐる「血」の物語は、いつしか聖職の権威を帯び、終末へと向かう物語が息詰まるほど重厚に繰り広げられてゆく。



坂手洋二

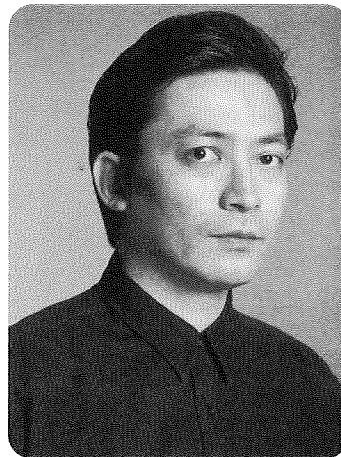
燐光群

1 ●『黄色犬 紅蓮旗篇』83年

たいへん仲間にも恵まれたと思います。

2 ●80年代は『トーキョー裁判』88年、続ける気合いを入れた。『カムアウト』89年『プレスレス ゴミ袋を呼吸する夜の物語』90年、まだ続けられと思った。90年代は『くじらの墓標』93年、『神々の国の首都』93年、演劇に対して前向きになった。最近『天皇と接吻』99年。自分にできることは何か、焦点が定まってきた。

3 ●どれかをさしてこれとはいえないです。あまりそういう考え方をしてこなかったの。



さかてようじ ●燐光群主宰、62年生まれ、岡山県出身。83年に燐光群を旗揚げ、現実に起きた事件や犯罪をモチーフに作品を発表。新社会派と呼ばれている。一方で文学者の評伝的作品も手がけている。99年の『天皇と接吻』で第7回読売演劇大賞を3部門で受賞している。来年は新国立劇場で、別役実の「マッチ売りの少女」を演出予定。その他にも「ドキュドラン」や地人会の演出がラインナップされている。 次回予定◆「阿部定と破夫」12/8〜15◎紀伊國屋サザンシアター

●主な作品

『トーキョー裁判』88年
『カムアウト』89年
『プレスレス ゴミ袋を呼吸する夜の物語』90年
『くじらの墓標』93年
『神々の国の首都』93年
『海の満点』97年
『天皇と接吻』99年
『ピカドン・ギムナシー』00年
『パウダー・ゲグ』00年
『南洋くじら部隊』00年

『天皇と接吻』99年

現代の教育の管理体制と第二次大戦占領下の検閲制度を重なる問題作。映画研究家でディレクターの平野共宇の著作「天皇と接吻」を舞台化した。



鐘下辰男

演劇企画集団THE・ガジラ

1 ●『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・京都』87年

本をまず書き上げて、劇場まわりをして、いい俳優にあうたびに、「この本やらない?」と歩きました。旗揚げの初日は、確か11人の観客だったと思います。以後、どんなに客が少なくても恐くなくなりしました。

2 ●『汚れちまった悲しみに……Nへの手紙』95年

80年代演劇に飽きていたので、本当に書きたいものを書こうと思った最初の作品。

『PW』97年

本格的なプロデュース公演の始まりの作品。

3 ●『ベクター』01年、『藪の中』02年

やりたいことがやれたから。



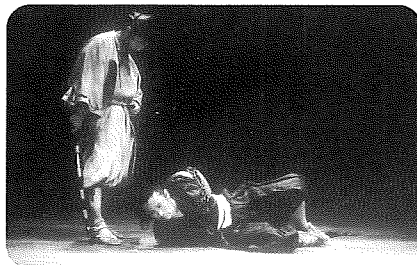
かねしたつお ●演劇企画集団THE・ガジラ代表、64年生まれ北海道出身。87年旗揚げ。『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・京都』など、初期の青春群像劇的な芝居の中にもあった人間の極限状況、戦争や犯罪というさまざまな背景の中で描き出し、その世界は暗い情念の彩られている。戦争捕虜問題を扱った『PW』は紀伊國屋演劇賞個人賞や読売演劇大賞を受けている。来年春には三島由紀夫の『サド侯爵夫人』を手がける。 次回予定◆演劇企画集団THE・ガジラ「ルート64」11/12〜12/1◎サ・ス・ナリ

●主な作品

『女殺油地獄』93年
『汚れちまった悲しみに……Nへの手紙』95年
『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・京都 六番町』96年
『PW PRISONER OF WAR』97年
『仮釈放』97年
『貪りと譲りと愚かしさ』98年
『カストリ・エレー』98年
『tatsuya〜最愛なるものの側へ』99年
『ベクター』01年
『藪の中』02年

『藪の中』02年

ひとつの死体の殺人者は誰か? 関わった三人の証言はそれぞれ自己保身と主観で食い違っている。芥川龍之介の同名の小説を舞台化し、鐘下らしい緊迫した空気を漂わせた作品。



●主な作品

『ゆるやかなトンビラロの身だしなみ』89年
『STOVE PLAY (ストーブプレイ)』90年
『home』92年
『コーラっぱいの』94年
『ドリフターズ』96年
『びん』99年
『印象 タイタス・アンドロニコス』99年
『平成・円朝・牡丹燈籠』01年
『Fairy Tale / jam2001』01年
『オディッパ@Tokyo』02年

『印象・夏の夜の夢』00年

おなじみの物語が山の手事情社の「型」によって繰り広げられる。ゲストに落語家の柳家花緑氏を迎えた。スピーディーなシェイクスピア作品。独自の解釈により構築される物語を、鍛え上げられた役者陣が肉体と衣装等の視覚的要素を駆使して演じる。



1 ●『ボンベイブラッド覚書』84年

周囲から「役者向きだよ」と言われていた私が演出をし、「オレは役者向きじゃないから」と言っていた池田成志氏が脚本を書きました。私が演出家になり、池田氏が俳優になったことを考えると、時の移り変わりを感じますね。

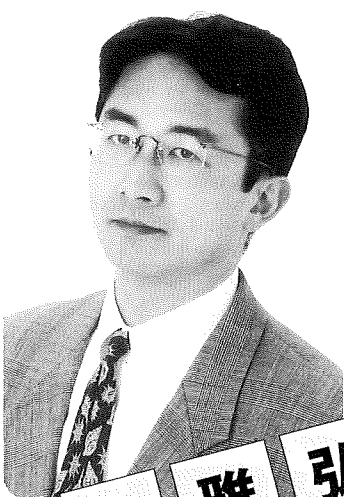
2 ●『印象 タイタス・アンドロニコス』99年

ターニングポイントだらけなのでもうがかしい。最近では、いま取り組んでいる「四畳半」という演技スタイルに初めて挑んだこの作品です。海外に芝居を見に行くようになったのと、国内フェスティバルのディレクターなどを経験し、それまであたり前だと思っていたことを疑い始めました。

3 ●『コーラっぱいの』94年

《ハイパー・コラージュ》という2つ以上の演劇的要素が同時並行で進む手法に挑戦したもの。舞台上には巨大な金色の急須と茶碗、実物大のティラノサウルスの動く模型、その中で、台本をもとにした芝居や、ダンスがごちゃに展開しました。あのメチャクチャはよくぞやったという感じ。

やすだまさひろ ●62年東京生まれ。81年早稲田大学入学と共に演劇研究会に入会。84年4月、山の手事情社を発足。主宰・演出家をつとめる。『山の手メソッド』と呼ばれるオリジナルの養成システムを持ち、(演劇の現代詩)とも形容される独自の舞台作品を発表し続けている。 次回予定◆山の手事情社「復活・狭衣夜驚劇剣闘(さよごらもおしどりのつるぎ)」03/1/11〜15◎サ・ス・ナリ

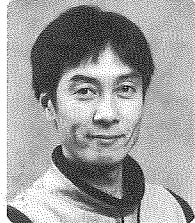


安田雅弘

山の手事情社

山崎清介

やまさきせいすけ●57年福岡県生まれ。83年劇団青年座を退団、翌84年EDメトリック・シアター旗揚げ。91年のグローブ座カンパニーに発足参加、役者として活躍するが、94年から始まった「子供のためのシェイクスピア」シリーズは全公演に出演、2回目以降は演出も担当している。次回予定◆演劇企画集団THE・ガジラ「ルート64」(出演)11/21~12/1◎ザ・スズナリ



1 ●子どものためのシェイクスピア「十二夜」96年 前年(95年)から始まったこのシリーズ、第二回目からの演出を依頼され、かるく引き受けたのが始まりでした。
2 ●本来、役者をやっていますから、演出を依頼され、やってしまったこと自体が演劇人生のターニングポイントですね。
3 ●全部です。作品ではありませんが、好きなやつらはイエローヘルメッツ(注:シェイクスピアシリーズの前座で1曲歌うのが恒例になっている、黄色いヘルメット姿の役者全員)です。

「ヴェニスの商人」02年
ヴェニスの豪商アントニオが、ユダヤ人の金貸しシャイロックの証文に判をついたことから……人種や宗教の違い、人間の持つ様々な感情を、子供にもわかりやすく見せる工夫が盛り込まれたシェイクスピア劇。



●主な作品
「十二夜」96年
「ヘンリー四世」98年
「リチャード二世」01年
「半神」02年
「ヴェニスの商人」02年

小池竹見

こいけたけみ●69年千葉県生まれ。90年の早稲田大学在学中に双数姉妹を旗揚げ、主宰をつとめ、以降すべての作品の作・演出を手がける。ポップな展開と緻密な構成が持ち味。次回予定◆「ボクを匿ろして〜走馬灯に見る出生の秘密」11/9~19◎THEATER/TOPS ゴスペラス・アカペラライブ「アカペラ港」2003/1月~3月(演出)



1 ●早稲田の劇研内の旗揚げでしたから、まず旗揚げ試演会というのをやって、劇研員のみならず承認されなければいけないわけです。公演自体よりも、やらせてもらうまでが大変でしたね。「小池に何ができる」「人間性に問題あり」と先輩や同期にも凍くたかれました。
2 ●「Some Girls」99年 フリーエチュードから作品を立ち上げて来ましたが、その中心を担っていた明星真由美が退団、今林久弥も出られないという状況の中で、二人が背負っていたものを私が作家としてどう引き受けられるのかと考え始めた公演です。
3 ●「ハクチカ」96年 小野啓明と小林至のピノキオとジムニー、今林久弥・明星真由美・五味祐司の負け組家族、佐藤拓之のヒドイ男など、いいキャラいっぱい、さらにはドライアイスと本火を組み合わせた演出も済んでいます。

「サナギネ 幼年期の終わりに」02年 撮影◎引地信彦 青山円形劇場という特殊な劇場の機構を利用し、南北のステージで別のストーリーが進行するという斬新な試みがなされた。94年の初演から8年の時を経て発想の新鮮さはそのままに、発展的再演された作品。



●主な作品
「F人たちの音楽」90年
「ハクチカ」96年
「Some Girls」99年
「双数姉妹」
〜神無きフタリの雪歌00年
「サナギネ」
〜幼年期の終わりに〜02年

ブルースカイ

ぶるーすかい●73年東京都生まれ。94年東洋大学在学中に「猫ニャー」を旗揚げ、00年に「猫ニャー」を解散。弁当屋と演劇の両立をコンセプトとした「演劇弁当猫ニャー」として活動を開始。主宰・作・演出をつとめる。次回予定◆演劇弁当猫ニャー第3回公演「応急エステティック」12/11~15◎新宿スペースゼロ、2003/1/11~13◎よしとrise・1シアター



1 ●「とりえずキミが好きだ」94年 当時主宰で役者だった小村に、劇中で使う女の子の等身大パネルを作ってもらったのですが、それが「何で?」と思うくらいカワイくてきていて混乱した記憶があります。
2 ●第2回の「偶然という名のただのグーゼン」95年 その公演の前に初めてナイロン100℃を観て、感動して、泣いて、何かいろいろ変わったから。
3 ●「弁償するとき目が光る」99年 弁償するとき目がわけわからなくなっておもしろかったからです。

「コスモプロジェクト〜地球、そして宇宙」02年 突然の弁当屋開業宣言にド肝を抜かれた、演劇弁当猫ニャーの第二弾公演。ブルースカイ独特のナンセンスが光る長編。まさかの下ネタにも挑戦している。



●主な作品
「とりえずキミが好きだ」94年
「偶然という名のただのグーゼン」95年
「MY LITTLE MOLERS」
〜もくらたき大さき〜98年
「弁償するとき目が光る」99年
「将来の不安Z」2000
「ファブル・ミニ」(二本立)00年

高井浩子

たかいひろこ●東京都生まれ。富沢章夫プロデュースユニットや青年団の女優活動の後、95年東京タンパリンを旗揚げし作・演出家活動を開始。なにげない日常に起こる出来事と人間関係を緻密な構成で描き出す。次回予定◆「TANGO」12/7~15◎明石スタジオ、ザムザ阿佐ヶ谷にて2本立て公演



1 ●「たみと暖簾」95年 とにかく大変だった。まったく初めての作・演出だったので出演してくれる人はなかなか決まらず、いろいろなことを全部一人でやったので、でも観に来てくれた人たちが、「初めて書いてににはおもしろい」と言ってくれたので、嬉しかった。多分それが快感になり、続いているのだと思う。
2 ●「線香花火」98年 この作品までは、自分が前にいた劇団の人によく出演してもらっていたのだが、身内以外の人が出るようになり、稽古でも台本以外の稽古もしたり、舞台美術の精度も上がり、劇団として本格的に機能してきた時期だと思う。
3 ●「たみと暖簾」95年 第1回作品。あまり過去のことは振り返りたくないんだけど、きっと今これを読んだら恥ずかしいと思うんだけど、多分やりたかったことを素直に書いた作品であると思う。う〜ん。でもわたしの的には、今書いているものを一番好きと言いたいのですが…。

「ぐずるぜ」02年 ホテルの部屋にカンズメになっている若手作家。そこに若い彼女の話で盛り上がる父親や音の仲間がやってくる。複雑に人間関係が絡み合い、いつしか物語はあらぬ方向へ展開していく。



●主な作品
「たみと暖簾」95年
「線香花火」98年
「春夏秋冬」99年
「サン・サン」01年
「ぐずるぜ」02年

Studio Life 倉田淳

くらたじゅん●東京都生まれ。76年演劇集団「円」演劇研究所、第一期生。芥川比呂志氏に師事。氏の亡くなる81年まで演出助手をつとめた。85年、河内喜一郎と共にスタジオライフ結成、現在に至る。次回予定◆Studio Life「THREE MEN IN A BOAT+ワン」11/16~12/1◎ウエストエンドスタジオ、12/4~15◎ウッディシアター中目黒 「トーマの心臓」03/27~3/9◎アートスフィア、3/25~26◎シアター・ドラマシティ



1 ●初めての作・演出は小学校四年の時。タイトルは忘れました。前々年に観た宝塚の影響が強く残ったロマン大悲剧。愛し合った二人が実は兄弟で、別離に終わる話。もちろん二人は貴族。カーテンやシーツの衣装で120%の夢を見ていた頃です。
2 ●「トーマの心臓」96年 テンションとエネルギーのみの力業で強引に作り上げていたオリジナル作品、その中で生じてきた違和感が限界に達しようとしていたときに出会いました。奇をてらうことなく普通に交わす会話の重要性を痛感させられました。
3 ●ひとつづつ重要なことは難しいです。結果として上手く仕上がらなかった作品も含め、すべてが大切な一つ一つです。答えになっていなくて申し訳ありません。

「LILIES」02年 1952年のカナダ郊外の刑務所を舞台に繰り広げられる、囚人達の秘められた過去の物語。劇団Studio Lifeは男性のみで構成され、容姿端麗な役者陣が演じるその独特な世界は、若い女性に圧倒的な支持を得る。



●主な作品
「トーマの心臓」00年
「死の泉」01年
「月の子」02年
「LILIES」02年
「歎きの娘 鑑定医シャルル」02年

BQMAP 奥村直義

おくむらなおよし●68年岐阜県生まれ。91年にBQMAPを旗揚げ。主宰にして作・演出・美術と多方面に才能を発揮、殺陣やダンスを交えたスピーディな展開で、歴史を題材とした時空を越えた幻想的な物語を紡ぎ出す。次回予定◆BQMAP「風雲天狗〜鬼哭喉々大江山」12/11~15◎シアター・サンモール、インターネット生放送番組「BQTV」(バーカスTV「http://www.percastv.net/」)にて毎月第2・第4水曜日23時~隔週生放送中)



1 ●「テイクオンミー」91年 愛と滅びと転生というテーマを、現在(当時は世紀末でした)と恐竜の時代とを絡めた大胆なお芝居でした。役名を考えるのが面倒で役者の実名を使い非難轟々、その上感動的なラストシーンのお茶を濁すダンス。もう二度とお目にかけることはないでしょう…。
2 ●「源内人形」96年 これは自信作なんです。平賀源内と彼が造ったからくり人形(サイボーグみたいなものです)のお話で、重んじ愛情によって悲しい事件が生まれるのですが、その頃BQMAPも悲しい現実を直面してまして、伸びない観客動員、減っていく劇団員、BQ史上最も暗い作品で、その上台風で直撃され観客4人。本気で路線変更を考えました。その後苦学する笑い克服の旅へ…。
3 ●う〜ん…選べません。

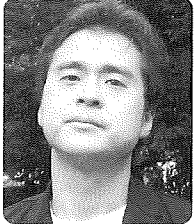
「風雲天狗〜The Black Shadow〜」01年 漫画家のもとに戦国時代からやってきた男女が現れ、漫画家のいた「風雲天狗」を発見。戻った二人は、風雲天狗として、悪の限りをつくす大天教教主との戦いを開始する。歴史世界を舞台に、魅せる舞台を創り出した。



●主な作品
「テイクオンミー」91年
「月感アンモナイト」94年
「源内人形〜春雷〜」96年
「風雲天狗」01年
「プリオシンの竜巻」02年

東京オレンジ 横山仁一

よこやまさきかず●67年埼玉県生まれ。早稲田大学在学中の92年、「東京オレンジ」を旗揚げ。構成・演出・主宰。常に変化をするもの、いつまでも変化しないものとの対決・共存をテーマに、時代を反映する様々な表現手法を取り入れながらコラージュしていくというスタイルを展開している。次回予定◆TOKYO ORANGE trial act P+02 "Camp Shimokitazawa42" Music Box! 11/26・27◎駅前劇場



1 ●「マングローブ」92年 全員俳優希望の人間達だけで、前身劇団から引継で始めたもので…今考えれば実にいい加減な芝居でしたね。すべてが「じゃあ」で進んでた…じゃあ、お前が書けよとか、じゃあ、お前がやれよとか…駆け込み入団の増原人が全身黒塗りの原住民役をやらされてました(笑)
2 ●第三回「楽しい終末」93年 あり過ぎて(笑)……強いとあがるなら処女構成演出作品であるこれ、当時、勝村政信氏を始めとする諸先輩方と共演するミュージカル現場で、さんざん「お前みたいなヤツはやめてしまえ!」とかわいがられ続け(笑)、見返してやろうと俳優を廃業、半年バイトせず奮起して作り、その後の原点となった作品なので。
3 ●「Sbyaktas」95年 ま、いろいろあった時期ではあるんですが、自身が最後に”等身大の純真さ”から作った(れた)芝居だからでしょうかね。それを体現してくれる俳優として、早大劇研同期の双数姉妹小野啓明に客演を依頼しました。

「Expo Mania」95年 新進気鋭の劇団タイガースの面々が活躍する東京オレンジの人気シリーズ。意味のないつながりのない会話やダンスをふんだんに用い、斬新な手法で新たな演劇の方向性を垣間見せる作品。



●主な作品
「楽しい終末」93年
「P」94年
「Extravaganza」96年
「Explorer」97年
「Re: ~6 scattered messages from Angelstown, Tokyo~」99年

文学座 松本祐子

まつもとゆうこ●文学座の演出家。67年生まれ、大阪府出身。文学座内の研究会で意欲的に企画・演出にあたり、99年「冬のひまわり」で、文学座内の演出デビューする。99年から00年まで、文化庁芸術家在外研修員として英国で研修。今年2月の本公演「音の世界/女人湯仰」は、岸田國士の世界を新たな感覚で蘇らせたという評価を受けた。次回予定◆ホームパディンカール」03年4月◎文学座アトリエ



1 ●ニール・サイモン作「ピロクシー・ブルース」96年 文学座のアトリエ公演や本公演とちがって、芝居を創りたいメンバーが集まって、自主的に公演する勉強会というスタイルで、文学座インディーズと銘打って、この芝居を作りました。装置や衣装も全て、私と9人の役者で手作りで作り、たいへんだったけど、めちゃめちゃ楽しかったのを覚えています。私の原点です。
2 ●「ペンテコステ」01年 自分で企画を立て、企画を通すために翻訳もし(上演には翻訳家の方をお願いしたものを使用)、舞台上で、9カ国語が飛び交うとんでもない作品でした。今思うと反省点も多くあり、自分の弱点を再認識することもできました。
3 ●鄭義信作「冬のひまわり」99年 アトリエ公演デビュー作です。自分が未熟だったこともあり(今もそうだろうけど)、鄭さんの書き下ろしだったこともあり、作品が出来上がるまでものすごく苦労しましたが、やりたいことをやり遂げたという気分がしました。ダメ人間ばっかりの登場人物が自分に投影できたからかもしれません。

「音の世界/女人湯仰」02年 文学座の創立者のひとりでもある岸田國士作品をテキストに上演。半世紀以上前の戯曲とは思えない普遍性と、現代にも通じる日常感覚、そして美しい会話を、シンプルにリアルに立ち上げた。



●主な作品
「夏のひまわり」99年
「飛べない金糸雀の唄」99年
「ペンテコステ」01年
「秋の蜩」01年
「音の世界/女人湯仰」02年

動物電気 政岡泰志

まさおかたいし●71年広島県生まれ。明治大学の演劇サークル「活劇工房」に入団後、「HIGHLEG JESUS」の結成に参加。93年「動物電気」を旗揚げ。主宰・作・演出。地方自治体の悲劇とどきりベタなギャグの融合として英国で世界を創り上げる。役者として客演も多数。次回予定◆HIGHLEG JESUS「CABALLET NIGHT FEVER」12/1・15◎歌舞伎町クラブハイツ、「LOVE JESUS〜星をはずす日〜」12/30◎ON AIR WEST 猫のホテル「新春!座長祭り」03/1/1~3◎ザ・スズナリ



1 ●「真夏のジェット〜秋のなに〜」93年 当時役者の一人が彼女にフラレ、つらかったのでしょう。飲み屋に呼び出され、グチをきかされ、あげくに「劇団を作ろう」といわれたのが結成の直接のきっかけでした。
2 ●「人、人にパンチ」98年 社会派なテーマをとり上げたのがこの作品からなのです。これ以前の作品を思い出すと冷や汗が出るくらいです。
3 ●「えらいひとはなし キック先生」02年 一番最近なのですが、やっぱり最近のが一番好き!というか、ふんい気が良かった。舞台のスタッフさんがすっげー可愛くて、みんなソワソワしてた。僕の誕生日とかぶって祝ってくれた、等が主な理由。

「えらいひとはなし キック先生」02年 毎回さまざまなテーマを掲げる動物電気がこの作品に掲げたテーマは、「教育」。熱血先生と個性豊かな生徒たちとのふれあいを描きながらも、役者個々のお約束ギャグ満載で、会場を笑いの渦に巻き込む。



●主な作品
「真夏のジェット〜秋のなに〜」93年
「怪物電気」95年
「人、人にパンチ」98年
「観劇史劇」
チョップが如く99年
「えらいひとはなし キック先生」02年

ベターボーツ 西島明

にしじまあきら●65年静岡県生まれ。早稲田大学在学中に企画したプロデュースユニットを母体に93年ベターボーツ旗揚げ。主宰・作・演出家。より良い「間pause」とより良い「恰好 pose」を追求する。次回予定◆ベターボーツ「ビール」柳が熊の毛皮を着込んで火災で心臓をふくらませていきます。03/11~15◎THEATER/TOPS



1 ●「御大切」93年 日本に来た宣教師がキリストの「愛」を訳すのに「ラブ」でもない「好き」でもなく困ったあげく思いついた言葉が「御大切」。舞台上に本物の芝生を敷きつめて気持ちよくなったけど芝生で解化したゲジゲジが数々の客席に出没したりもした。
2 ●「オトメチック ルネッサンス」98年、他 役者たちそれぞれがキャラ立ちした作品。あと永谷正紀さんのダンスも入って見やすくなったけど、それまで水を打ったように静かだった客席がはしゃぎ出すようになった。
3 ●「しみひとつない」96年 ベニサン・ピットは広い劇場だから仕込みに時間がかかるだろうと土日の二日間のステージをやるために火水木金の四日も仕込みにあてた。予算とか採算とかあまり考えなかった頃で横かしましあめで。

「並PLAY」02年 女工たちが働くパン工場に、王子様三兄弟が結婚相手を探しにやってきた。ちょっとファンタジックな世界観の中で、独特の間をいかした不思議なおかしきと毒のある会話の妙が生きる。近年積極的に取り入れているダンスも絶品。



●主な作品
「御大切」93年
「いのちのキック」94年
「しみひとつない」96年
「オトメチック ルネッサンス」
シリーズ98年、他
「並PLAY」02年

IOJO! 黒川麻衣

くろかわまい●71年東京都生まれ。作・演出家。明治大学入学と同時に演劇・映像サークル「騒動舎」に参加。92年IOJO!(イッジョ)結成。00年にはプロデュース・ユニットDoctor Shoppingも結成し、劇団以外でも独自の活動を行う。次回予定◆「聞かぬ通りにくり返す」12/11~18◎THEATER/TOPS



1 ●「年末低気圧」92年 とても自信があったのに脚本を決める多数決で負けてしまい、ワーワー泣きました。そんな私を見かねた仲間達が「そんなにやりたいならやろうよ!」と言ってくれて、その3週間後には小屋をおさえていたというのがオッホのはじまり、「年末低気圧」です。
2 ●「否否否」98年 キャストはたったの4人、思いつくものすべてが色褪せて感じられ、「私は終わった!」と思いました。それでも無理矢理絞り出したすえ完成したこの作品は、自分自身も深く共感できる繊細な作品で、これが私の演劇なんだと認識できました。
3 ●「興味がない」99年 女性劇作家として、いつかは女を主題にした作品、それも女性にしか描くことのできないリアルで汚い女の世界を書きたいと思っていました。これを見た方から「女ってコワイね」と言われた時、とても嬉しかった。「やったな!」って。

「乱されたい」02年 突然姿をくらませた有名女性小説家と、それにふりまわされる編集者たちを描いたコメディ。次々と起きる事件の中に、それぞれの立場を抱えた人間どうしの微妙な距離感を、巧みに描き出した。



●主な作品
「年末低気圧」92年
「否否否」98年
「ナーバスの虫々」99年
「興味がない」99年
「Doctor Shopping」00年

TEAM 発砲・B・ZIN きだつよし

きだつよし●69年大阪府生まれ。92年に日本大学芸術学部卒業生を中心にTEAM発砲・B・ZINを結成。主宰・作・演出・役者をつとめる。特撮もののような凝ったステージワークと、キレのいいアクション、そして笑って泣けるストーリーが魅力。この夏は今までとちとち違う公演を企画したとか。次回予定◆TEAM発砲・B・ZIN「オス!」11/10~19◎本多劇場、03/1/25・26◎近鉄小劇場



1 ●「リリーリリー」92年 当時はやっていた(?)ウェルメイドコメディの波を受けて書いた作品。結成当時の発砲はそれほど「ヒーローもの」の色が強くなかった。
2 ●「ジャスキス」95年 SFアクションとコメディを初めてうまく融合できたから。劇団コンセプトである「大の大人が笑って泣けるヒーローもの」を意識し始めたものこの頃。
3 ●「センゴクブ」01年 自分の役がカッコイイから(笑)。派手な要素が少なくお客さんの受けもそれほど高くないが、本当の意味でのきだつよしが出ている作品。「変身しないヒーローもの」ってカンジ。

「メルダイバー」02年 多発するインターネット犯罪に対抗するため、政府により極秘裏に結成された「メルダイバー」。それは、人体をデータ化しデジタル空間に転送するシステムにより、ネットの海に飛び込むハイクバトロールチームだった……。凝った衣装と舞台装置、「テレビばさ」を上手く利用して、毎回独自の「ヒーローもの」を描く。



●主な作品
「ウルトラファミリータイズ」92年
「トランスホームリフォーム」98年
「ジャスキストロジー」00年
「バレット」00年
「メルダイバー」02年

夢の舞台!!



アクト・ジム (短期俳優養成講座) 3ヶ月(月謝9千円)

生徒募集

33期(10~12月) 34期(1~3月)

A.週1コース(土)月謝9千円

B.週3コース(火・木・土)月謝1万2千円

各コース夜間部(7~10時)

C.週4コース(6ヶ月コース)

舞台に立つ!

1. A・B・Cコース共、3ヶ月で1本の作品を創り、上演し、実践で学ぶ。
2. 上演作品は各コース3本あり、自分の出たい作品に出られる。

基本を学ぶ!!

3. それと共に、基礎を徹底して教える。
A. ボイストレーニング
B. ミュージカルダンス、殺陣
C. 演技プランのつくり方
D. せりふ、動作のつくり方、メーキャップ
4. 教師はすべて現役の先生です。
西田、竹下、安川、川名、桑島、峰山先生他

料金が安い! やり易い!!

5. 入会金は8千円のみ、月謝も上記の通りで、無理なく学べる。
6. 終了後、同料金で次のクラスへ進め継続して何回でも学べるうれしさ。
7. 高校生から50代まで、楽しく学んでいます。
8. 稽古場はJR大久保駅より2分の便利な所です。(劇団稽古場)

将来の道が開ける!!

9. 希望者は松浦企画に所属し、テレビ・映画、商業舞台、全国学校公演、コマーシャルで活躍する道が開けています。



今すぐ電話で面接の申し込みを。面接のみで決定です。

03-3363-6923 (PM 0~6) 平日受付
株松浦企画劇団テアトロク海

〒169-0074 新宿区北新宿3-1-9



大野裕之

劇団とっても便利

おおのひろゆき●74年大阪府生まれ。95年劇団とっても便利旗揚げ。主な作品に「彼女」「GOOD MOTHER」「パイセクショナルタタリ」など。劇団の特徴は「『ロンドンミュージカルを日本に!』のコンセプトのもと、シニカルでブラックな作風で日本のオリジナルミュージカルを指向する」次回予定●11/7~10「美しい人」●HEP HALL、03年2・3月、京都公演を予定



大友克洋

エビス堂大交響楽団

おかもとくにひこ●74年大阪生まれ。97年エビス堂大交響楽団旗揚げ。作・演出・主宰。主な作品に「バナナアートが沈むまでc/w涙カラカラ」(97)「ラジオドッグ超☆秘☆宝」(01)「エレン博士の日常の冒険」(02)など。劇団の特徴は「空前絶後の超絶エンターテインメントを目指す一筋縄ではいかない大阪の劇団」次回予定●「師走だわっしょい、エビス堂まつり(仮)」12月〇〇心斎橋シアター倶来、「恋する宇宙に人類は」(再演)03年3月〇よしもとrise-1シアター



角ひろみ

芝居屋坂道ストア

すみひろみ●74年兵庫生まれ。95年芝居屋坂道ストア旗揚げ。主宰・作・演出・役者。主な作品に「あくびと風の威力」(01)「サイダーの清」(01)「雨ニ降カブ」(02)など。劇団の特徴は「『女だけ。関西リズム。おもしろフシギ。観見きチックな劇セリ』」次回予定●「裏山。〜アイツと犬のお散歩レジャーだ!」11/23・24◎芸術創造館



倉持裕

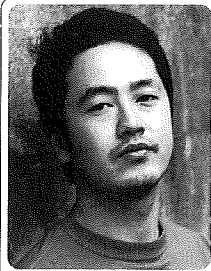
ペンギンパイルパイルズ

くらもちゆたか●72年神奈川県生まれ。00年に「ペンギンパイルパイルズ」を旗揚げ。作・演出・主宰。映画や舞台で役者としても活躍中。主な作品は「ワーク・イン・タイムマシン」(01)「不満な旅」(02)「握手した指を数える」(02)など。劇団の特徴は「『あまり笑ってほしくないが、大変大きなテーマを扱っている劇団』」次回予定●ペンギンパイルパイルズ新作03年春・夏◎THEATER/TOPSにて上演予定

この作・演出家に注目!

日夜誕生する新しい才能たち。
そんな若手の作・演出家に、3つの質問。
個性豊かな回答に、発想の源が見える!

- 1●100万円あったら舞台のどこに使いますか?
- 2●あなたのライバルは? また、その理由は?
- 3●自分を動物にたとえたとしたら? またその理由は?



赤堀雅秋

THE SHAMPOO HAT

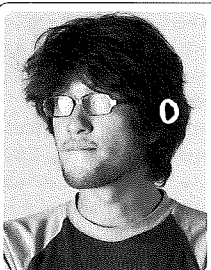
あかほりまさあき●71年千葉県生まれ。作・演出担当。96年に「SHAMPOO HAT」を旗揚げ。すべての作、99年の「みかん」以降は演出を手がける。99年に「THE SHAMPOO HAT」に改名。主な作品は、「月が笑う」(00)、「アメリカ」(01)、「雨が来る」(02)など。劇団の特徴は「『安易に笑えないコメディを志し、必要以上の間や唐突なカットアウトが特徴』」次回予定●「(タイトル未定)」03/3/18~24◎下北沢サ・ズナリ



上田誠

ヨーロッパ企画

うえだまこと●54年京都生まれ。98年ヨーロッパ企画旗揚げ。作・演出をつとめる。主な作品に「サマータイムマシン・ブルース」(01)「冬のユリゲラー2002」(02)「ロードランナーズ・ハイ」など。劇団の特徴は「同志社大学出身。風変わりな設定の群像シチュエーションコメディを得意とする」次回予定●「(タイトル未定)」03年4月~5月◎下北沢駅前劇場



ウォーリー木下

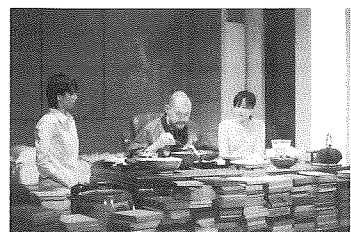
劇団☆世界一団

うーりーきのした●71年東京都生まれ。93年、劇団☆世界一団を旗揚げ。作・演出・代表をつとめる。主な作品に「645」「トリックスター」「スペースラブ」など。劇団の特徴は「『文学的ファンク。役者のアンサンブル。やぐちゃだけど繊密なトリック。POPなステージワーク。など』」次回予定●よしもとrise1演劇祭参加作品「645」11/22~24◎よしもとrise1シアター、「トリックスター」568、03年1月~2月

長谷川孝治

弘前劇場

A1●青森県深町町、30年
A2●ほとんどすべての作品の舞台が今住んでいる地域。
津軽弁を舞台言語として多用すること。津軽人はラテン気質であり、田舎の人は情深いけど「口が重い」「暗い」という社会通念をくずしたいから。
A3●空気が旨い。路上駐車が簡単にできる。女性が美しい。スーパーの陳列棚と陳列棚の間が広い。自宅を出てから渋谷のハチ公の尻尾に触れるまで2時間50分と近い。「水」がうまい。ひたすら「水」がうまい。
A4●田舎は決して悪くはない。しかし、田舎者の発想をすることは無い。たまにそんな人と出会うと、「ここは良くない所だ」と思ってしまう。
A5●人間が住んでいる所ならなればどこでも可。何故ならば、私が書いている現代劇は「人間と人間の関係性」を描くものだから。だからペンギンの多い南極大陸とか人の住んでいない、どこかの国旗しかないお月様はちょっと困る。



「柘榴」02年 撮影◆横山英樹
共通語で書かれた脚本を、俳優が自身の生活言語に翻訳するという方法論に基づいて舞台づくりを行っている弘前劇場。方言というツールを利用して舞台上で描かれる家族の風景は、より濃密さを増す。

深津篤史

桃園会

A1●大阪府大阪市、6年
A2●広く関西といった場としてよく舞台にします。想像も手の届く範囲がカンジンです。
A3●ゴミゴミしているところ(夜に限りですが)海が近いところ
A4●ゴミゴミしているところ(昼間は)
A5●どこでもありますが引っ越しは面倒です

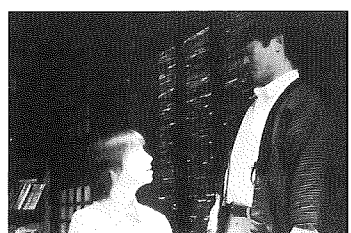


「のたりのたり」02年 撮影◆松本謙一郎
震災の後の街を舞台に、閉塞感を抱える若者たちのやるせない恋愛を描く。関西弁という言語を通して語られる物語と、漂うエロチシズムが魅力。

鈴江俊郎

劇団八時半

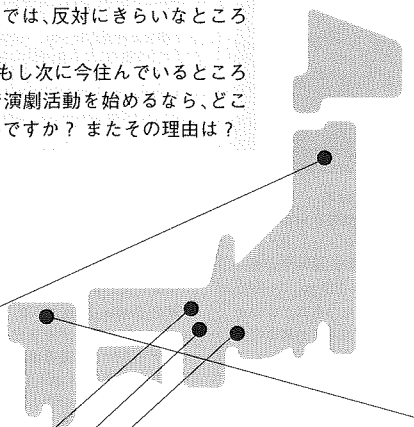
A1●京都、20年
A2●あまりないです。脚本を書く上で、特定の地域を指定することとはほとんどしていません。こだわらない表現でできないようなものを表現したいと思っています。京都の街に住む人たちのやり取りの空気感のようなものはぜひどこかに組み出しているかもしれません。
A3●鴨川が流れています。その堤を散歩する人々、トランペットを吹いている人々、サッカーしている人々、ははきり幸そうに見えます。
A4●観劇人口が多くない、と思います。お客さんを増やそう!と思う劇団は地元よりも大阪の劇場での上演を選ぶ傾向があります。
A5●ロンドン。あるいはベルリン。地域に根を張った劇場のシステムはすばらしいものだ、と旅をしたときに感じました。



「うれしい朝を木の下で」01年
都会に嫌気がさし、田舎暮らしを始めた若い男と彼を追いかけた同僚OL。様子を見に来た姉と、地元の郵便局長。静かながらも濃密な会話、それぞれの閉塞した現実を描き出す。

f from region

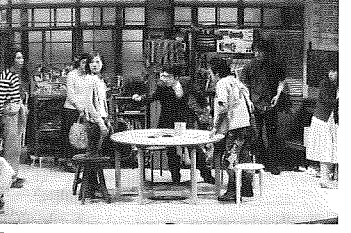
Q1●現在住んでいる場所と、そこで
の居住年数は?
Q2●今住んでいる地域を、作品の舞
台にすることは多いですか?
また、その理由をお願いします。
Q3●今住んでいるところの好きな
ところは?
Q4●では、反対にきらいなところ
は?
Q5●もし次に今住んでいるところ
以外で演劇活動をするなら、どこ
がいいですか? またその理由は?



泊篤志

飛ぶ劇場

A1●福岡県北九州市、34年(途中2年、東京)
A2●住んでいる所そのものを舞台にすることはありませんが、庶民風景になっていることはあります。
理由＝目に入ってくる風景だから。
A3●山と海が近いところ。また都会でもあり、田舎でもあるところ。
A4●演劇人口(観る方も、演じる方も)が、まだまだ少ない。
A5●あまり考えた事が無い。自分が知る限り、そんなに良い場所はなさそうなので(国内ですが)、だったら僕れた土地で良いと思う。



「ミモココロモ」02年
その町で毎年開かれる映画祭。盛り上がりは横目に、先の見えない日々を過ごす大学の映画研究会の面々。——どこか異国の地に生きる人々を描いてきた泊篤志が、夏目漱石の「こころ」に想を得て「人のココロ」という謎に踏み込む。

はせひろいち

劇団ジャブジャブサーキット

A1●岐阜県、42年
A2●地域特有の話題とか、いわゆる「ご当地ネタ」は好きでなく、あまり書きません。ただ「都会への距離感」は常に大切に書いてきたり演出したりしています。あくまで「そこに住む」当事者としての意識レベルの話です。
A3●便利さレベルでわりと結構都会。自然環境的には結構田舎。その中途半端さが気に入っています。生活するにはとても優れた環境で、それは芝居作りにも影響しています。ココに居て都市生活は想像できますが、ココに棲まないで書けない空気が存在します。
A4●ご存知の通り「保守王国」で、それが生活者の意識の中にも色濃く残っています。長く居ると否応なく痛感させられます。後、住む人が「東京」とか「中央」とか言葉に弱すぎる所。もちろんそれを利用してはいますが……。
A5●劇団を初めてもうすぐ20年です。今更地点を変えたいはありません。生まれ育った街に根づくというのは、それだけの運命的な覚悟は伴っています。この設備が「生まれ変わって」って意味なら……大都会から離れ、何しろ極端な場所ですね。



「ベンチ日和」01年
「とある片田舎のベンチ」を共通キーワードにした、地方在住作家による3本の作品。ワンシチュエーションの会話劇から、日常と非日常の境目を切り取る本公演の一方、このような新しい企画性・実験性を重んじた「サワ氏の仕事」シリーズも行っている。

津々浦々! 地域発演劇マップ
大都市ばかりが話題になりがちな演劇だけれど、地方に在住し、その土地を中心に活動することで、そこでしか生まれえない“作品”というものが確かに存在する。東京以外の場所、それぞれの演劇活動をつなげるクリエイターたち。彼らの「スタイル」と「地域」の関係性を探ってみる。

芸術・文化活動をサポートします！

平成15年度助成対象活動募集

日本芸術文化振興会では、芸術・文化の振興を図るために、芸術文化振興基金による助成対象活動と、文化庁の補助金による舞台芸術振興事業の助成対象活動を募集します。平成15年4月1日から平成16年3月31日までの期間に行われる芸術・文化に関する団体等が自ら主催して行う活動が対象となります。詳しくは募集案内をご覧ください。



藝術文化振興基金

◇応募受付期間
平成14年12月2日(月)
～平成14年12月13日(金)

◇お問い合わせ
日本芸術文化振興会基金部
〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
TEL.03-3265-6303
FAX.03-3265-7474

募集の概要、募集案内については、
日本芸術文化振興会ホームページ
(<http://www.ntj.jac.go.jp/>)に
掲載しております。

演劇ぶっく100号。ということで、今回ご登場いただいた皆様から多数のコメントをいただきました。ありがとうございます！

(敬称略、あいうえお順)

浜崎あゆみ(THE SHAMPOO HAT)
浜崎あゆみのイメージを私たちが「バックアップ」作りがてまもないと思います。ただポップ過ぎて我々が扱えません。どうかよくお願いいたします。

●**天野天南**(少年王者館)
10月号にキタ!

●**伊藤千枝**(珍しいキコノ舞踊団)
私ももたらぬのに浜崎につくさんに取材して頂いたことがあって……なんや、感謝深いです(涙)。

●**いのうえのりこ**(アスカ・新感覚組)
100期おめでとうとよいですね。またにも、劇団☆新感線は一時期間用催しのうへにお世話になりました。今でも極大満足(褒めて頂いて)して、浜崎さんには語らないでほしいと劇団☆新感線、と、これから100号、200号と頑張っていってもらいたいです。僕も頑張りますので、これからも一緒に頑張っていきましょう。

●**今村なずみ**(THE CONVOY)
皆10月号! めざせ200号! まずは101号から!
岩崎裕司(青年団、boku-makuhari)
濱崎、ずっとつづけてこそとくてもでも大勢時代劇やって仲間の内側にならに載ることかステータスだ、みたいなのをいけましたよ、2009年目指してがんばってください。

●**上田誠**(ヨーロッパ企画)
毎号見せております。大切な情報源です。すごく楽しみにしています。

●**ウォーリー木下**(劇団☆世界一団)
濱崎のイメージマップのためにがんばっています。

●**江本純子**(毛皮族)
17年まで、かなりおめでたうございます。……こんなにお世話をなすと思えないくらいに(笑)。特殊な方々や、特別な雑誌な気がするのは、来永く続けたいただきたいです。

●**大倉孝二**(NYLON100%)
表紙は書いていただいた時、ホテルのロビーで取材で、そんなところご一緒させていただいたのでしたのでんぱった記憶があります。あと、濱崎さんのナマロの振りがとっても面白いじゃないかと(笑)、大倉的にはナマロ・特撮をやって、僕らが納得するネタまで、この矢張り決着をつけているというはどうでしょうか?

●**大島早紀子**(H・アールカオス)
おめでとうございます。開誌のより一層のご発展を期待しています。

●**大野格之助**(劇団とても便利)
いつも楽しく拝読しています。高次情報での100号達成おめでとうございます! ミュージカルのことばなく取り上げてください!

●**オカモト國広**(エビス堂大演劇会)
なか書かなくてはいけません、イライラ所安んではあげません。ただ、うちの劇団のこともとどろくとさせていただきます。

●**奥村直義**(BQMAP)
あの前刊時の衝撃は今でも忘れられない。様々な舞台写真はある田舎の子の想像力を書きだす、東京行きの切符を買ったことを思い出します。

●**鎗下辰男**(演劇企画集団THE・ガッツ)
ありがとうございます。これからは成長ががんばってください。

●**加納孝典**(花組芝居)
100号のおめでたうございます。濱崎がつき最初だったのは、面識のある雑誌だったと思います。まず濱崎の専門雑誌でこれだけじゃ無理にこだわったのは基本本心には無かったし、僕達の割って受けるポジションは別物で、これもいいものですよ。加納と一緒にわかれても(笑)、変化を取り入れて、視覚のものをさらに重視していくという方向で進んでいった感じがして、非常に多岐にわたる雑誌だから、大衆の演劇雑誌でなくても構いません。濱崎さんだけでなく、作者の演劇雑誌で見ていただいていたのは非常に有難かったです。今後よろしくお世話いたします。

●**きたつよし**(TEAM発掘・B-ZIN)
濱崎につきにとりあげられることが少なくなると、今回だとあげてもよかったります。

●**倉田淳**(Studio Life)
年少少女演劇専門誌として貴重な存在だと思います。これからも応援していきます。

●**意欲信**(ペンギンパブリックバザールズ)
100号のおめでたうございます。うちの劇団をカラーページで紹介していただき、よくお願いします。

●**意欲勝利**(サモ・オリジナルズ)
濱崎につく100号記念ということで、僕も直接買ってきたので、よろしくお祝いします。頑張ってください。

●**黒川原久**(JOJO!)
100日、本当にかなりおめでたうございます。小劇場の雑誌は濱崎づくしかないもので、偏ることないかなと口こぼして下さい。

●**小池修一郎**(宝塚歌劇団)
100号です。そんなにつくおめでたうございます。メジャーになってしまったけど……

●**小池雅弘**(双数姉妹)
僕が……素直にうれいいたいと思いつけているんですが……もうっとなげます。

●**鴻上尚史**
今年こそは16年前、坂口良子という「叔父ちゃんを生かされた人」というような、ヒロインとした方が好きですけど(笑)濱崎の雑誌を作ろうと思ったことに基づいて上の「やめやめ」と言った趣向の出がかりです。「僕らは……」(笑)僕はほんとにたねえ……演劇界の『新刊』を目指して来たわけですが、これからはです。多岐分野に身を乗り出して……なんにしても、勝手にやっていたらいけないしと。(笑)本当におめでたうございます。

●**佐藤ひろひと**(Piper)
私もなんにしろは上手に親戚づきあっています? Piperの活躍すごいです。濱崎につくさんと100号! 1年に刊出されるまで1500部です。100周年と言え1902年、104年に創設されてから約半世紀以上もを収めましたよね。これから100号といえまして、数えたいです。おめでたうございます!

●**近藤真平**(コンパルス)
読んでみて上巻のとくとか聞いてください。多分これ読んだら僕らの話組みみたいにして欲しいと思う。それこそイイかな。

●**飯手洋二**(焼光群)
おめでとうございます。お互い1980年代、90年代生を益びてきましたね。これからますます隆々(か)と繁栄することを祈ります。

●**樹原英志**(TSミュージカルファンデーション)
濱崎さんも知らない人の人情を得たんじゃない、とても大切に本気で……。これからも新鮮な情報を発信し続けて下さい。

●**井関 浩**(愛媛・音自動言語)
100号のおめでたうございます。劇団の雑誌と濱崎をつ

刊いたのはほぼ毎週のように、特に共感していただけたという感想が多いです。本当にありがとうございます。

◆**鈴江俊成（劇団10月8日）**
これからはツラゲンでよい演劇の楽しみ方を世の中に広める活動が続けていきます。

◆**鈴木裕美（自転車スクエアー）**
シンジににおめでとうございませう。大変言い方でずっと苦痛がぶつかるまででした。若い子時代の演出者としてなかったと思うので、でも私はそんなタイプの演出家があるべきだ！というのと同時に、こんな年代の演劇諸君があるべきだ！と思うので、これもまた、感謝して元気を注ぎてください。

◆**角ひろみ（芝居屋坂道スア）**
むかしと足組みがよかったです。うれしーです。自分のナメガの日々が来たらはと思かれています。

◆**高井浩志（東京大学パンパ）**
昔ほど(他の団体やグループなど)ブルーになるのではありません。最近ではたまに見聞かと載せて下さい！

◆**高泉淳子（造木機械・全自動オシターを）**
おめでとうございます。私もこの選出機/全自動オシターをつめてどうにか何かに演劇ができるまでですね。こんなに早くとはいきませんが(笑)。小さな事務所でみなさんが抱入られていて、すっごくいいんだと思います。だんだんと表現が立派になって、いろいろな書信によってあるけど、今だとみなさん演劇の雑誌ばかりも演劇といふ語をほとんど見ないやうになっています。よく印刷されたことあるんですけどね、選出機の雑誌には書いていないやうなところがあるので、それ、選出機があるとは思っていない。言葉でたたくのと似ているやうであって、そういう時代を代表することになるやうなところ。本当にすごいと思います。なかなか演劇の本質をついて残っていく作業は大変ですが、応援しています。頑張ってください。

◆**竹内佐（徳重所）**
素晴らしいです。ありがとうございます。本当にありがとうございます。

◆**黒田野矢（作家）**
正直、10月号についてびっくりしました。小劇場盛況の間に演劇がついてくるとかではなくて、ブームに乗って、ビジュアル重視という雑誌だから、ブームに乗ることは雑誌はあるべきでないやうだと、おまえさんは思っているけれど、僕も直った(笑)。でも案外、後バナーペーパーの構成に注目して見て、100冊のうちのひとつ……僕が読んでみた花形文士通信は100号で休刊したんですよ。100号絶たれるといふのは、大層とそう思うのはいんではない。努力だけでなく根性とか、そなたのほうでは100巻を超えてから、特別读者(を決定)するやうにしては決然と断念しないやうにやう(笑)。だから、この先などはやりきれないと、腹を痛めます。

◆**田辺茂啓（リョウグロ局）**
銀と白の演劇をやっているとときどきは説明、でないでいいけど、いちいち聞いていて、僕が観ると喜んでくれるみたいなので有難いです。

◆**田村孝治（ONEORZ）**
演劇より切発場です。出来ればまた載せてください。

◆**千葉謙三（道のホテル）**
10月号のおめでたうございます。17年経って、さきにナンと書くといひう人間がいるわけですから、それは本心に敬意を表して、小劇場の人たちは演劇ばかりの動向に一喜一憂をする感覚じんまらず(笑)。でも今後ともよろしくお願いします。

◆**土田英（MONO）**
学生時代に結核したため、演劇ばかりで写真が描きたいという人は演劇をやって食べていくという人々が増えてきています。社会を知りたい人たちからしたら、筆や字や印象だった。これよりも「人たに」に何を求めている下さい。

◆**土屋源一（ソニー女子女学園）**
10月号読ましてくださいます。80年前を読んでるの頃は、まあ自分が100号に当たることになるには夢にも……。200号にも達しているやうに頑張ります。

◆**E.クワドランド（ゴキブリコピナート）**
16年前から読んでます。(飛び飛びで)

◆**泊原恵三（飛鳥劇場）**
2003年8月に、「北九州舞台劇場」がオープンします。年に1度以上は九州で出版致したいと思います。

◆**成皮丘（演劇界カギマルボックス）**
すごく良いやうな雑誌です。(笑)。これから東京に出て芝居屋やせりたり。元来で芝居屋みたいな地方に住んでいる人にとっての、現代演劇の情報入手する数少ないツールになります。今、東京でとてもなお忠告するやうな情報は、この雑誌を読まないやうな人にならぬやうです。なぜなら、この雑誌が素晴らしい。続けたい限りです。ただ、日本全体で、演劇業界そのもの景気が悪いやうなところ、大変だと思うやうです(笑)。カギマルボックスの共通点のひとつであるところ、そういう場所を多く人間にとけ込んで居たいと思っています。皆さん、便ちを詰めて下さって、励まし続けて欲しいのです。

◆**永井愛二（亜生社）**
10月号のおめでたうございませう！絶対に日本に大変ですね。演劇において、たくさんの演劇ファンが増えよう期待しています。

◆**中島ゆき（劇団新無線）**
演劇100号おめでとうございます。最初に読むのが下北沢だったので、ついこのころに載せたかなと思って、本来で立ち戻したいのを、いつかのころに載せたかったら、演劇で約100万部、新無線劇場100万人を目指して、お互いががんばっていきたいやうに。よろしくをお願いします。

◆**中谷幸希**
10月号のおめでたうございませう。100に入ってから苦労ですが、50号止まりがよかったかもしれません。

◆**長塚圭史（阿佐ヶ谷スタジオ）**
99号の表紙撮影では、貴方10号の服を着せられ、苦しげな表情たっていたのを覚えてます。貴方10号の衣装デザイナーさん取り上げてくれたのかしら。最近又取り上げてくれてどうやう着付の変化なのか。ちょっとドキドキしています。そここの今年度ゆくけ下させていただきます。

◆**西島明（ベタゴープ）**
演劇の発展にこそ希望。ちゃんと読んでうま手みたいに白い手の奥の手で読む。集楽部にアットホームな雰囲気です。

◆**ノゾ工藤（はるあ）**
おめでたうございませう。近々はえきわカラーページで取上げられるやうに。

◆**野村真高**
世田谷バッキングハウスも面白いとおもっています。でも、まあ、ちゃんと気配りにしていただいてイメージがあるかもしれないので、しかし、今後とも協力し合いたいと考えています。

◆**長谷川清弘（弘前劇場）**
おめでたうございませう。ちゃんと読んでます。うちの劇団も継続できています。

◆**はるひろ（ジャップザサード）**
正確な話、中央中央中央中央の雑誌だといひ先入観があるやうな感じがするやうに思っています。

●平山ゆい、この企画には賛同と敬意でいっぱいです。

●平田より久(青年団)

最初の芝居の演劇方法については向かい合われながらも言われた通りに
最初の子供と相模する方向についてにかき書いて、ヴァージナルな芝居
見せようと失敗してしまっているのですが、最近白黒ページで
落書きしてきた(笑)。またカラーで載せてくださいな。

●深津東太(楳園会)

おめでどうですか。続けて下さい。

●ブルースカイ(演劇片断当番二役)

前回は舞台が広過ぎて豪華な豪華演出コーナーをつくって
下さい。

●細川徹(男子は必要でないさ！)

みなさんの演劇の写真がのっていて、勉強になります。

●前田司郎(五反田組)

演劇のコーナーを本屋ですてくてもいいんじゃないですか？
そこに演劇が置いてあって、他のと比べてもやっぱり感度で
その何かがあるというとか、[しやんた感じに]しやがつて]って
思っています(笑)。

●マキノゾミ(劇団M.O.P.)

おめでとございます。うちの劇場の公演をどんどん取り上げると
いいですね。

●収関素志(動物電気)

たいに楽しみに読んでます。大家さんがんばってください。週刊
とかになると思います。これからそうです。

●松尾スズキ(大計画)

えっ、100号? それについてええ、100号前の人たちはもうほら
人としてうまいと思ってしまう(笑)。自分100号になっても
残るそう? ああ、がんばって下さい。

●松村洋次(カラムニキニーナ)

100号達成めでたいです。僕は楳園が12年目なんです
けど、演劇がぶつ旗揚げからずっと舞台を見てきたかとい
う感じです。今のうちめっちゃ好きです。観てもいいですよ、これ
から来たら、無心なくないように(笑)がんばってくださいましよ。

●木谷祐子(文芸座)

宮部みゆきの先生へ元原保太郎の連載とでもなれ(読んでいる
みたい)。文学座のうしろ古本の劇団かなともいふ感じがする
んだ。「面白くない」と思っているんじゃないの? と思っていただけ
なのに、がんばりたいんですよ。

●三浦大輔(ボンドール)

数少ない演劇者ですが、頑張ってください。応援してます。

●三谷幸

中野の事務所に行ったこともありますが、なかなか大学の
館蔵もない、これはよく終らないかと最近まであったん
です。……まあ、ここならいいところまでいってください。

●みのりすけ(NYLON100C)

僕の娘は演劇が好きの表現になるんですけど、それで演劇が
嫌いな男の子が多いんです。だから僕の家にはまだ結婚します。
100号です。じゃあ、100号で僕(僕)の好きな……それは芝居
をやるのを面白がるし「若手芝居屋をつたえた」じつに際限
話ながら、演劇がぶつ1000号を千冊買って農園にバラまきます。

●宅弘哉(NYLON100C)

初めて演劇がぶつに出た時は友達に友達に友達に友達の紹介があ
ります。ああ、演劇がぶつが「ぶつ」が仮名なのは何ですか?
今、今や演劇なんと呼び捨て、夜更まで演劇、出して……それで
か、今は演劇で出てくること、これもかもし顔を見る人口
が多くなるように演劇者がはいりますが、ぶつめぐればよい。

●宮沢実夫(造形師再生事業団)

演劇がぶつが果したと想像しているのは大きいと思っています。同時に、
ものとも他者の感情の対峙に対する立場があると思うので、それ
をいふだけで、演劇がぶつは演劇がぶつ一人勝ちになっています。
ぶつだら、なんだといったところを持つていくわけではなく
(笑)、でも、その言えないところが僕の苦しいところです。

●宮本眞門

演劇がぶつ(100号)をめぐる中で、98年9月、安房/長岡/虎ノ門
という関係があります。100号達成と共に、新たなスタート
を切明かしたいと思います。これからも演劇がぶつ・演劇人を増やす
ため、ちょっと演劇者と多少しても日本の文化を高めるた
めに頑張ります。

●毛利烈彦(少年社中)

演劇がぶつはじめて演劇したのは高校時代でした。地方出身の
僕にとっては道楽で第三舞台のジュエリーに興味があった
んですが、そこが若い演劇人に希望を抱えたため、日本の観
衆人口を増やすための、めざせばいい。

●木谷有希子(劇団、木谷有希子)

[演劇がぶつ]くんがくんだり、うちは劇団、木谷有希子って
劇団でいいかなと思います。大好きです。

●澤澤雄樹(クワン)

100号めめでたいです。関西の演劇シーンは一時期に流れ
かけているのが、同一の演劇雑誌、刊行期間が長い。

●八幡賢一(カカムニキニーナ)

昔からカカムニキの制作していたこと、編集部のあたった
中野小次郎(マッシュロン)に訪ねていたことがありました。
その時、お茶を淹れて出していたとき、2時間かいた話を聞
いて大変だったかなと書いて送っていたんだけど、なん
なん々で感想を書いていない人がいるのかどうかわかり
ません。今ではかなり読解力アップに移っているという
かもしれません(個人としては)でもと無駄じゃないですが、もし
近くにに行くことがあるのなら、僕も最近なりなりにがんば
ってますが、そなたの良さを僕も活かしたいと思っていま
す。100号めでたいです。

●和田雅弘(JAの手帳会社)

現代演劇のジャンル別演劇の流れを通して、写真中の設
計について、資料が出たら、簡潔でいい。通巻100冊はいつ
かで、2020年度、日本の現代演劇の歴史として、編集部の
皆様、おめでとうございます。それから、ほんの少しのことであ
れども、演劇者の活動にビビッとあつてほしい。

●吉井一郎(シグモック)

宮沢さんと会えて良かった。それだけです(笑)。

●山崎清介

おめでとでございます。これからもよろしくお願いします。

●横内直史(劇団扉座)

ごつい演劇の学校が少なくない演劇にとっても大切な場
地だと思います。メチャアツタ。後はもっとも「プロ
デュース」の後援をやっていると聞いていますが、あれは芝
居の中でもっとも重要なことで、裏に任せることが目標
……。扉座で表紙を取るときがんばる(笑)。

●横山仁一(東京オペラ)

コンピュータで入替時刻表みたいなあ……ファッション雑誌
コーナーに並ぶのが来るらしいなあ……

●吉村やひ(びげ太夫)

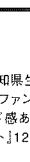
演劇を金儲けの道具としてバネンバレルにつづいたら、後は
声がかけるのを待つばかり、いつでも出勤可!

毛利直
少年社中
もうりまざひろ●
とめる。主な作品
劇団の特徴は?「
次回予定◆「エ
リエ

本谷有
劇団、本谷有
もとやゆきこ●7
主な作品に「ファ
ニア」(02)など
をやったりします
03年5月◎タイ

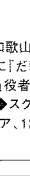
森澤国
スクエア
もりさわまさはる
者をつとめる。主
の特徴は?「メン
を作ります」 次
扇町ミュージアム

吉村や
ひげ太夫
よしむらやゆい●
開始、98年ひげ
験塚』『番牡丹』
を駆使してあらわ
()11/29~12/


宏
 年愛知県生まれ。98年少年社中旗揚げ、作・演出
 『エレファント』『ファンタスマゴリア』『YELLOW』など
 ビード感あふれるデジタル世代の冒険活劇！
 『ファント』『12/12～12/25』早稲田大学大隈講堂裏


希子
 子
 石川県生まれ。00年9月、劇団・本谷有希子を旗揚げ
 ナルファンタジー』（01年）『反感の嵐』（02）『フィク
 団の特徴は「毎回の時やってみないテイストの」
 次回予定◆「有希子のやつけ芝居（ものすごく）」
 アリス


晴
 1年和歌山県生まれ。96年スクエアを旗揚げ、作家
 作品に「だし」俺の優しい（初）』『けーさ』など、
 全員役者で構成されている中、役者の発想で芝
 予定◆スクエア第12回公演「うつる」12/12～15
 スクエア、12/21～23◎下北沢駅前劇場


よひ
 年東京都生まれ。89年より小劇場で役者として活
 旗揚げ、作・演出、主演、制作元締め、主な作品に
 『嵐』など、劇団の次回が「目もくらむ出し物芸。声と
 物表現する」 次回予定◆「雲文部」（うんじょ）
 下北沢駅前劇場

1 ●物凄いやつとしたらセッ
 セットを作ってもらい、公
 了後もそこで生活します（
 公園辺り）。

2 ●ついさっきから宮沢章
 ん。女優をメインにした芝居
 分と同じテーマ）を考えて
 らしいと聞いたもので。

3 ●「表情が乏しいのでミミ
 と言われましたが、それは
 まりなのでタヌキにしてい
 すか？

1 ●スタッフの件費UP。も
 期待以上の良い舞台を作
 頂いているので。

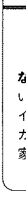
2 ●いません。尊敬する先
 はたくさんいますけど。

3 ●猫。勝手気負。

1 ●出し物師の体。全員で凄
 い整体に行きます。うちは
 や大道具・小道具はすべて
 物師（役者）の体なので。

2 ●全国の小学生。運動会
 体操やるから。身軽だし、人
 いし、えらい大掛かりなの
 り広げてたりする。負けられ

3 ●鳥。鳥と育ったので、心
 では自分を鳥だと思ってい
 リラクシする時は、目
 式に下からつむる。



中谷まゆみ

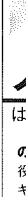
なかたにまゆみ●68年香川県生まれ。ドラマ『いひと。』などの脚本を手がける。主な舞台イ』『ペーパーマリアッジ』など。家族、友人、恋カに、かつ暖かく描き出す。次回予定家』●11/14～24●俳優座劇場、11/30・



ハズエ征爾

はえぎわ

のぞえせいじ●75年生まれ。転々としてい役者・主宰。99年『はえぎわ』の活動をキヤット。『00』『波打ち際の乳房』『01』『劇団の特徴は?』『愛』を軸に繊細な人間模で壮太でバカなエンターテインメントを。カメフラゾイ』11/19・20●新宿パンプルムス●こまばアゴラ劇場



細川徹

男子はだまってなさいよ!

ほそかわとおる●71年埼玉県生まれ。宮崎作の脚本を手がける。00年に『男子はだま作・演出・出演。主な作品は、『男子はだまボーイズミックス』脚本(02)など。ユニコたちが繰り広げるマンガみたいなバカコン細川徹 VTR/S/VTR回転』11/15・16●漆ないさいよ!』03/1/16～19●下北沢駅前劇場



三浦大輔

ボツドール

みうらだいすけ●75年徳島県生まれ、北海道。主催にして作・演出・構成を手掛ける。性的な作風が物議をかもしている。主な作品イクラブ』など。劇団の特徴は?『リアル』にす。ユニコなので、劇団員はいません!』18●下北沢駅前劇場

「ぼくとも呼ぶ。みんながそう呼ぶか
 ぼくとも呼ぶ。」

「ぼっかばか」シリーズや「い
 品は『ビューティフル・サンデ
 など、様々な人間模様をシニ
 サードステージ』今度は愛妻
 71◎近鉄小劇場

掛け。たくさんのスタッフ
 弱な精神。すぐウツに入
 コ。マイペース。

ため出身地は不明。作・演出・
 ート。主な作品には、『愛染ス
 ジャクソンの接吻』(’02)など
 を描きつつも、仕掛けを駆使し
 ？」 次回予定◆『はえぎわと
 はえぎわ本公演03/13/15～23

タな小道具。
 ックミュージシャン。と
 ぽしそうなので。

「次
 夫に見いだされ、以降、注目
 なさいよ!」の活動をスタート
 できないよ!!」(’02)『シティー
 特徴は「おもしろい顔の役者
 次回予定◆大塚こういち+
 ザ・ホール「男子はだまって

台の制作費に使用致しま
 者のノルマを減らしたり、
 位置を細かいところまで作
 たいです。
 ないにいます。ライブの
 ところで悠々と作品を作
 と常々思っております。
 と。顔と何からだしのない

育ち。96年ボツドール旗揚
 ドキュメントと銘打った東映
 騎士クラブ』『身体検査』『メ
 だわった作品をつくっていま
 回予定◆『夢の豹』11/13～

7年愛知県生まれ。98年デス電所を旗揚げ。作・演・演出・大怪我!『00』輪廻は新り付ける』『02』劇団の団員の特徴は?「全員、体を動かすことが大好き!」COLLECTIONに参加。11/13◎原町ミュージアム、転校生徒〜暗殺女子ウバタマ』03/2/14〜17◎

1◎100万円って微妙で……舞台美術がチラシが曲づくりか衣装が制作面上げか……新作の取材えたら幸せ!

2◎妹。私と反対の生活で知らない世界を楽しそうにから。

3◎分かりません。願わされる動物に倒えられた

1◎自分のギャラ。

2◎ソリティア。パソコンゲームです。台本を書こうリティアをやろうか、台本前にもまず悩むから。

3◎ベガサス。動物占いで

1◎舞台のアイデアの中作・演出家さんや、舞台それを表現する役者さん日常生活を潤す。

2◎ライバルは昨日の目標は明日の自分。止まっ退したりしなければ平気日々進歩。

3◎井の中の蛙。虎の威を狐。ルックス的には「くまない思いつきのために2時間かけてつてオオツド」(タイトル未定)』03/1/23〜2/2◎王子小劇場

彼の
 尊敬
 す。
 与の
 尊敬
 す。

 主
 永

 スク
 ン

 本ね
 明か
 丁ち
 に使

 私の
 まき

 び愛
 。

 ・演
 りた
 。”を
 人賞

 内の
 、ソ
 を書

 作・
 ー』
 は？
 ый

 を担
 七で
 らの

 目
 後
 す。

 替る
 のぼ

 00
 演
 団
 マリ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1

—

シリーズ現在、日本の劇①

ピルグリム

作・演出 鴻上尚史

さて、問題。
オアシスはどこでしょう?



市川右近



富田靖子



山本耕史



高岡蒼佑



宮崎優子



三国由奈



山下裕子



大森 博



佐藤正宏



天宮 良



新国立劇場
中劇場 PLAYHOUSE

2002/2003シーズン・特別支援企業グループ

コナミ株式会社 三共株式会社 TBS TOYOTA NICO 富士電機 マクドナルド 丸井株式会社

劇団
プロダクション
学校

進路説明会

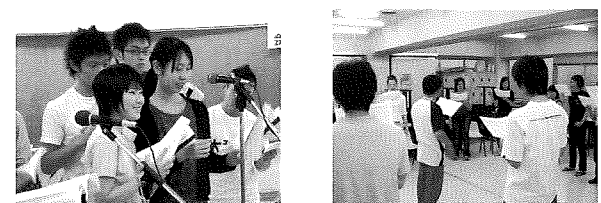
入場無料・予約不要

2003年 1月11日 12日 13日

無料体験レッスン



野沢那智先生のアフレコレッスン (無料)



体験レッスン&ワークショップ

劇団やプロダクション、学校などの体験レッスンやワークショップが無料で受けられます。1月12日(日)と13日(祝)に実施。予約不要、初心者OK。入試対策基礎講座も実施。

同時開催・第2回 入学支援Webオーディション 一般の部/中高生の部/創作・作文の部

本選オーディション 2003年1月13日(祝)
第1回受賞結果Webにて掲載中



がんばる人を応援する「入学支援Webオーディション」を同時開催！模擬オーディション形式で、審査員の前で、せりふなどの演技を披露。創作・作文の部も新設され、プロデューサーや、評論家などに現在の実力や、将来性を評価してもらえるチャンス！入試対策としても役立つ。優秀者には学費援助金他の特典あり。
ただしエントリー受付中(予備審査あり)締切12月20日(金)
詳細は<http://natushokan.co.jp>または03-3470-0750

即アクセス！Web-Guide <http://natushokan.co.jp>

2003進路情報 進路カレンダー オーディション情報 進路相談Q&A 高校演劇コーナー 一括資料請求 気まぐれ公演情報 プレゼント情報

年鑑型・進路情報誌「芸能マスコミ養成全ガイド」の最新号は2002年11月下旬発行です。小社への直接の御注文も受け付けています。

夏書館

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-12-9 金森ビル1F tel.03-3470-0750 fax.03-3470-0983
e-mail shupan@natushokan.co.jp

進路説明会



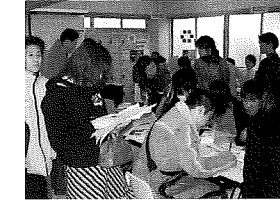
団体別相談コーナー

約50団体の劇団・プロダクション・学校の担当者から進路についての説明や、相談を受けることができます。レッスン内容、卒業後の進路、所属、仕事のことなどなんでも聞けます



総合進路相談

進路についての様々な相談が受けられます。俳優、声優、タレントの他、スタッフ、マネージャー志望者も対応。はじめての人も、経験者の人も、考え中の人ももちろんOKだよ！



入学案内資料・願書販売

各学校や養成所の案内書、入学願書が一室に揃います。無料配布多数！1月11日(土)は、参加団体のうち即応募できる場所も多数あり！公演情報などもいっぱいあるよ！

新設 オーディション写真 Photo Studio

カラー24枚 撮影済フィルム渡し ¥3000(税込)
オーディション、劇団受験用の応募写真を会場内の特設スタジオで撮影します。撮影後、その場でフィルムを渡しますので、自由に使用することができます。



2003年1月
11日(土)~13日(祝)
時間：11時~17時
会場：代々木高等学院
アネックス館
東京都渋谷区千駄ヶ谷
3-10-3
交通：JR山手線・中央線
都営地下鉄大江戸線
代々木駅 徒歩10分

MUSICAL St. 11

ミュージカル界で活躍する人々にスポットをあて、その魅力を解き明かすMUSICAL.st.
第11回のゲストは、劇団四季の看板女優にして、ミュージカル界10年に一人の逸材と称され続ける保坂知寿。

構成・文◆鶴岡英理子 撮影◆吉原朱美 取材協力「THE ROSE & CROWN 有楽町店」

Q&A 保坂知寿の場合

最も好きなミュージカル作品は? ▶「コーラスライン」
出演したいミュージカル&役どころは? ▶「キャバレー」のサリー
歌ってみたいミュージカルナンバーは? ▶「ABBA」の曲すべて
初心者におすすめのミュージカルは? ▶「マンマ・ミーア!」
あなたにとってミュージカルとは? ▶生きていく道

ミュージカル、心のビタミン



ミュージカルコラム ⑪「観客参加」

1999年4月、ABBA実質デビュー25周年のこの年に、ロンドンでオープンした「マンマ・ミーア!」の客席は、連日大興奮に包まれていたんだそう。何しろこのミュージカルのナンバーは、すべてABBAの大ヒット曲ばかり。当然客席は、その曲を歌える観客ばかりと来て、フィナーレでは総立ちの観客が舞台と一体となって「ダンシング・クイーン」を歌い踊るというのですから、ライブ会場も真っ青です。これは頻りに口ずさめる覚えやすいナンバーがあるのが、よいミュージカルとされて来たミュージカルの定説がある意味逆手に取った、アイデアの勝利とも言えるのでは?と思います。

でも、わが日本では特にミュージカルを上演するような大劇場でこういう光景に出会うことはあまりありません。ドームや、アリーナ、それにホールでの歌手のライブなら、総立ちも総踊りもむしろ当たり前ですが、劇場のお客は、さてどうでしょうか。この作品がこけろ落しとなる劇場「海」に、世界でも例のない「外国語(つまり日本語)」で歌われるABBAのナンバーが、客席をも巻き込んで、大合唱に発展するのかわ。滅多にないこの機会、あなたも観客参加ミュージカルの、出演者の1人になってみてはいかがでしょうか。



Loiselle Pitre(Center)and Company of MAMMA MIA! On Broadway
Photo:(C)Joan Marcus,2001 (C)M+H

保坂知寿

ほさかち ●高校卒業と同時に劇団四季研究所に入所し、ほどなくして、「オンディーヌ」のタイトルロールにデビュー。10年に一人の逸材との誉れ高く、以後、「ウエストサイド物語」のマリアとアニタ、「夢から醒めた夢」のピコ、「アスベクト・オブ・ラヴ」のローズなど、少女から大人の女性までと、幅広いキャラクターで次々と大役をこなし、四季の看板女優として、輝き続けている。
次回公演予定 ◆12/1〜 ◆電通四季劇場「海」/「マンマ・ミーア!」

一番最初に舞台というものを観たのが、偶然劇団四季の子供ミュージカルだったんです。「はだかの王様」という作品で、当時、2歳くらいだったはずなのに、客席に王様が降りて来て自分の近くに来た事を覚えてるんです。2歳頃の記憶ってほとんど何も覚えていないんですけど、それに、それをハッキリ覚えているということは、よほど強い何かがあったんだと思います。

そのあと小学校の時に、学校で劇団四季の子供ミュージカルに連れて行ってもらったり、高校生の時に、学校の演劇観賞会で「ヴェニスの商人」というお芝居を観に行きました。そうしたら、そのたった2時間あまりの舞台のことを、クラス中で本当に長い間話題にしていたんですね。もちろん昨日見たテレビの話とかもするんだけど、そういう話題に比べて、ずっと長くみんなの記憶に残っている。あの2時間がみんなの中ですごく特別なものだったんだってことに気づいてから、自分でも舞台上に立ってみたいと思うようになりました。歌やパレエを本格的にはじめたのもその頃からです。そういう目標を持って、改めて舞台を色々観るようになった時に、やっぱり初めて観た子供ミュージカルがやりたい、という気持ちが強くなって、高校卒業と同時に劇団四季の研究所に入所しました。

でも、実際に子供ミュージカルに出られたのは入団から7年目。2年目に初めてキャストイングされたのがストレートプレイの「オンディーヌ」だったので、それはもう大変でした。アンダースタディでオンディーヌ役を勉強しながら、水の精の一人として稽古に参加していたのですが、1日だけオンディーヌ役を演らせて頂くことになって、ただただ真似るってところから入りました。それしか方法がわからなかったんです。台本を読み解いて役を作っていく、そのやり方さえわかっていない状態でしたから、本番もどう演じたのかよく覚えていないんですよ。

でも幸いその後、次々と役を頂くことが出来て、一つ一つの舞台で実践して勉強していったんですから、恵まれていたと思います。そんな中で大きな転機になったのが「ウエストサイド物語」のマリアとアニタの両方をキャストイングされた時でした。私がアニタってびっくりしたんです。自分の中で映画のチタ・リベラさんだったり、いろいろな人のイメージが出来上がってしまっていたので。それでどう考えても私では無理だと思って、演出家にせっかくキャストイングして頂いたんだけど、私がやったら学芸会みたいになってしまうと思うってご相談に行きました。そうしたらいきなり「いくつかの役やると思ってるんだ?」って言われて。確かに15歳くらいのマリアのお兄さんの彼女なんだから、アニタだって20歳くらいじゃないのかも知れない……って思ったら、自分でも全然無理じゃないんですよ。それで何にも言えなくなっちゃって(笑)、とにかく先入観なしに、台本だけを頼りにゼロから役づくりをして取り組んでいたら、意外と違和感がなかったんです。それは今まで作られてきたアニタ像とは全然違う役づくりだったかも知れないんだけど、自分ではマリアよりむしろしっくり来たくらいです。それからですね。役作りは、第一印象や先入観で接しても、つきあっていったらまったく違う、人との出会いと同じなんだと思うようになりました。

だから、次に出演する「マンマ・ミーア!」もいつか演ってみたいお母さん世代が主役になる、貴重なミュージカルだから「ああこんな作品が出来てくると目標になっていいな(笑)」とか思っていたんですが、台本をよく読んでみたら、ドナという役は年齢的には私でちょうどいいくらいのシングル・マザーなんですよ。それで俄然意欲がわいて、オーディションに挑戦したんです。今は作品の持っている潜在的な力を強く感じています。特に欧米では、ABBAの曲自体がお客様の生活にものすごく根付いていて、それをそっくり明るく前向きなストーリーの中に組み込んでしまったパワーって圧倒的なんです。でもそれを今回私たち日本人が日本語で演じる訳ですから、そのパワーをいかにそのまま日本人のお客様に伝えられるかが大切だと思っています。劇場もこの作品でオープンしますので、そういう大プロジェクトに対する責任も感じます。でも演じていてもとても楽しい作品なので、楽しみです。

舞台を観に行く事って日常的なものではないけれど、劇場空間の中で体験した時間って、特別なもの、心のビタミンになると思うんです。そしてミュージカルは、台詞だけでなく、歌やダンスがある分、共有出来るものが多いし、楽しめる間口が広いですよ。ですから、難しく考えなくても楽しめるミュージカルをきっかけに、劇場に足を運んで下さる方が増えていったらいいですね。

歌舞伎に行こう!

第十二回

連日満員御礼!! 八月納涼歌舞伎は、三部三様のおもしろさ!

平成2年からの恒例となっている、八月納涼歌舞伎。昨年、「研辰の討たれ」を成功させた中村勘九郎が、今年も登場。真夏にふさわしい、パレエティーに富んだ「怪談もの」がそろった。歌舞伎初見の人にもおすすめしたい、八月納涼歌舞伎についてレポート。



『怪談乳房覆』(写真は滝登の大立御)

三遊亭円朝の人情斬を元にした、男女の業がうごめく怪異譚。元は武士だった絵師・菱川重信(勘九郎)には、美貌の妻お蘭(福助)と生まれて間もない息子・真与太郎がいた。お蘭にひと自惚れした浪人の渡江(橋之助)は、重信に弟子入りし、お蘭にちょっかいをかけてくる。そして、正直な下男の正助(勘九郎)を脅して重信の殺害を手伝わせ、さらには真与太郎を滝登に棄てさせる。自らの悪業を隠してお蘭と夫婦になった渡江だが、その事情を知ってゆずりに来た三次(勘九郎)や、改心した正助(勘九郎)らによって、次第に追いつめられて行く……。

平成2年の8月に約31年ぶりに復活し今年で13回目となる八月納涼歌舞伎。歌舞伎という言葉の由来でもあるかぶき者・イキのいい役者たちがキレのいい演技を見せる夏のお楽しみだ。昨年野田秀樹演出による「研辰の討たれ」が上演され、大いに盛り上がったこの興行は、歌舞伎には珍しい「三部制興行」を取り入れている。二部、三部に分かれていて、休憩も入れて約三時間ほどなので、「歌舞伎は長い」と思っている人にもおすすめ。また、イヤホンガイドなどがなくても楽しめる作品がそろっている。歌舞伎を観たことのない人は手始めにこの公演を観るといいかもしれない。

今年、第一部には、「いまい、いまい」という井戸の中から聞こえる血を数える声でおなじみの怪談「播州皿屋敷」が登場。役者たちの表情ひとつひとつや、不穏な太鼓の音などがゾッとすると怖く、夏の歌舞伎座は一気に涼しくなった。チケット争奪戦がいちばん激しかったという二部、井上ひさしが昭和49年に直木賞を受賞した作品「手鎖心中」を脚色した「浮かれ心中」は、平成9年にも中村勘九郎によって歌舞伎座で上演され評判を呼んだ。5年ぶりの今回、大店の若旦那を愛嬌たっぷりに演じる様子は、思わ

ず「可愛い」と声をかけてしまいたくなるほど。脇を固める中村福助なども印象的で、役者みんなが芝居を楽しんでいる様子がこちらにも伝わってくる。三部の「怪談乳房覆」では、気品ある画家の重信・気弱な正直者の正助、小悪党の三次という、まったく性質の異なる三役を、中村勘九郎が鮮やかな早替わりで演じ分ける。オペラグラスで覗いても見破れないトリックは見事で、最後までおどろかされた。大詰の十二社大滝の場では、本水を使った滝壺での立廻りがあり、前方に座っていた人には水しぶきが飛び、夏らしいササビが満載だ。

すべての演目を通して思ったことは、CGや映像など、ハイテクを駆使しなくても、小屋の機構をふんだんに利用しただけで、芝居はこんなにもおもしろくなるんだということ。現代の感覚を多様に取り入れる勘九郎らしい演出もあって、手放して楽しめる芝居ばかり。三部の早替わりなどは、初めておもちやを与えられた子供のようにはいやいでした。大都会・銀座に威風堂々とそびえ立つ歌舞伎座は、まさに都会のワンダーランド。来年の納涼歌舞伎もチケット争奪戦必至の予感だが、肩肘張らずに見れるこの公演を見て、歌舞伎をもっと好きになっほしい。

近松賞

第2回

正式名
近松門左衛門賞

戯曲募集



主催 尼崎市

応募資格 一切問わず。

募集作品 現代演劇の戯曲。

作品内容 近松作品が發揮した演劇の力強さ、深さ、それを生んだ人間把握の新鮮さと現代の連関を感じさせる作品。

応募内容 日本語によるオリジナルの未発表、未上演の作品(脚色不可)。400字詰め原稿用紙(縦書、A4サイズ)または、ワープロ原稿(縦書、A4サイズ20字×20行)で150枚以内。「作品の概要、あらすじ」(800字以内)を添付。引用した場合、作品名を明記。

応募方法 作品原稿1部のみに「作品名、枚数、氏名(ペンネームはカッコ書き)、住所、電話番号、年齢、職業」を明記し、そのコピー2部には、作品名のみ記入。(計3部)

賞 正賞 プロンス像 副賞 300万円
(出版権料、初演上演料、税を含む)

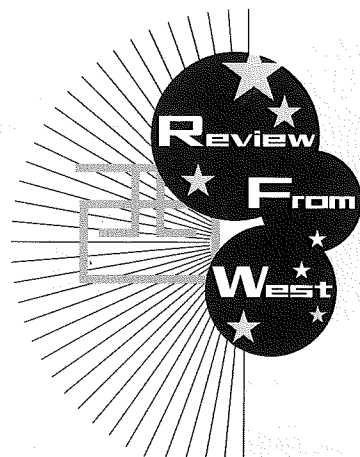
発表 平成15年11月

応募締切 平成15年6月30日
(平成15年5月1日より受付)

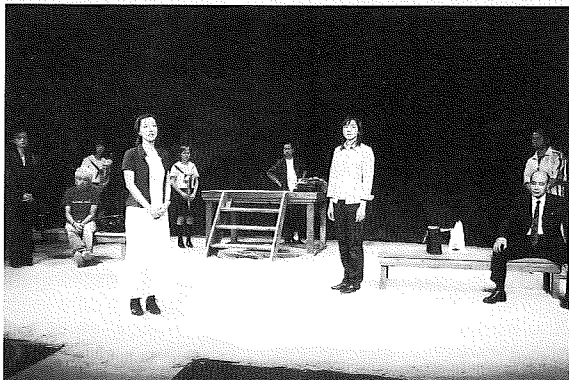
選考委員 太田省吾、栗山民也、別役 実、水落 潔、宮田慶子(50音順・敬称略)

出版と初演 受賞作品は冊子にして発行。平成19年3月までに上演予定。なお出版権、上演権、放送権は平成19年3月31日まで尼崎市に帰属。

お問い合わせ先
〒660-8501
兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号
尼崎市役所 ちかまつ・文化振興課「近松賞」係
TEL 06-6489-6385 FAX 06-6489-6393
http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/



「激闘☆灼熱の瞬間 SQUABA〜SPIRITS OF JAPANESE〜」
企画・原案◆激闘☆シネ倶楽部 脚本◆やまぐちゆうじ 演出・出演◆フランキー・仲村 出演◆はだ一朗 タイソン大屋(劇団☆新感線) 杉本恵美(劇団☆新感線) 小牧芽美 豊川麗一 田中照人(茶碗) 中村成美 石田アキラ 他 9/16〜8日◎扇町ミュージアムスクエア
次回予定◆「鎌田行進曲〜BACK TO THE FUTURE〜」2003年4月初旬予定



PM/飛ぶ教室「柳姫降る校庭を来た」
作・演出・出演◆蠟燭 演出◆福井玲子 山藤貴子 や乃えいじ 桂雀三郎 三島嘉崇 石田智世(みかんがむ) 足利智美 田中亜紗子 白井哲也 中田啓
9/20〜23日◎大阪市立芸術劇場
次回予定◆「満ちる茶屋のおじちゃん」2003/12/7〜9日◎神戸アートヴィレッジセンター、2/14〜16日◎扇町ミュージアムスクエア



劇団そとぼこまち「シークレット・ライフ第3部・そして箱舟は行くよ編」
作・演出◆小原延之 出演◆西村頼子 北川翠 曾木亜古弥 安井博美 望月森生 中西邦子 後藤英樹 福山俊郎 朝良晃三 他
8/28〜9/1日◎HEP HALL
次回予定◆「シークレット・ライフ」11/22〜24日◎THEATER/TOPS

気が付くと、2年以上も続いていたこのコーナー。その間にも嬉しいニュース、残念なニュースいろいろとあり、全体的にはちょっと元気のない状況が続いている関西演劇。こういときこそ、ぜひ観るほうが失神しそうなエキサイティングなステージを作って欲しいもの。このレビューも今回が最終回、次回からは内容を一新してお送りします。

熱い男の世界がここに

「相場」——眠ることなく動きつづけている数字の生き物。プロフェッショナルが、能力のすべてを賭けてしのぎあう戦場。

そういうカッコいいイメージをタイトルに持ってきたこの芝居、当然クライマックスには手に汗握る仕手戦が待ち構えていると思っていたのだが……。

連合赤軍、カルト宗教、公安、政治家を巻き込んで明日の日本を決する大戦争に発展したクライマックスに、どう見ても証券マンの出る幕はあまりなかった。それが少し残念。専門用語が多い株の世界を、わかりやすくドラマティックに仕上げるにはかなりの苦労があるだろう。アータ上の戦いを舞台に乗せる難しさもあると思う。男の生き様を語るには最善の舞台だけに、株取引シーンのディティールの弱さがもったいない。

人間描写のリアルさに感動

これが19回目の公演となるPM/飛ぶ教室。日常のワンシーンを切り取り、そこに潜む社会問題に光を当てる。

二期の始業式の日、早朝の校庭で飛んでいく飛行機を見送る二人の女子高生。夏休み中に行方不明になった彼女たちの友達、いまだに戻ってきていない。

舞台上に登場人物が増えていくたびにわかる新事実。推理ものではないのに、謎解きが気になってぐいぐい引き込まれる。行方不明の女の子は、友達になった違法滞在の中国人学生と日本中の花火を見て回っていた。逃避行の果てに学生は祖国へ帰り、女の子は始業式の時間が近づく学校へ戻ってくる。生き生きと描かれた3人の女子高生の「女子高生らしさ」が物語を引っ張っている。世代の差をものともせず高校生を描ける、蠟燭の目の確かさに感嘆した。

3部作、堂々の完結!

新生そとぼこまちがぶちあげた3部作が、ついに完結した。好評によりシリーズ物になる舞台はあるが、最初から3部作、しかも期間において順次公演というのはかなりの冒険だ。なにしろ前回を見ていない客が敬遠する可能性がある。

だが、はっきり言ってこの3部作、一本ずつでも充分面白い。もちろん、作中に張り巡らされた伏線を説いてすっきりしようと思えばすべてを見なければならぬが、一本ごとにしっかりと描かれる人間ドラマは、それだけで充分見ごたえがある代物だった。

江戸時代、日露戦争の時代、そして現代と三つの時代を巡って果てなく続くホームドラマは新座長・小原のひねくれた感性が惜しみなく発揮された、代表作たりうる大河ドラマとなった。

PERFORMANCE FILE

from NEWYORK

大竹 秀子

歴史に残る名演

——ミュージカル『ヘアスプレイ』

——「この娘に指一本お触れでないよ。でなきゃ、お前さんの頭は枝毛のようにふたつにぶちわかれになるからね」——『ヘアスプレイ』より

ブロードウェイでパワフルなヒット作が生まれた。ミュージカル『ヘアスプレイ』だ。この作品、製作路線から見ると、あきらかに最近のもうひとつの大ヒット作『プロデューサーズ』の延長線上に乗っかっている。メル・ブルックスのB級コメディ映画を下敷きにした『プロデューサーズ』に対し、『ヘアスプレイ』は、これまたクセ者の映画監督ジョン・ウォーターズの1988年作の同題の映画のミュージカル版だ。『プロデューサーズ』がブロードウェイ・ミュージカルの世界を舞台にしているのに対し、『ヘアスプレイ』は、60年代はじめのテレビのポップ音楽番組をめぐって展開する。

主人公のトレイシー(マリッサ・ジャレット・ウィノカー)は、ボルティモアの高校生。テレビでかなりのおデブだけれど、歌と踊りがとても上手。元気で気立ての良い女のコた。トレイシーは、ヘアスプレイの会社がスポンサーをしているTVのティーン向け音楽番組の大ファン。夢は、スプレイでかためた大仰なヘアにバービー・ドールのようなドレスを来たティーンエイジャーたちが歌って踊るこの番組のレギュラー・パーソナリティになることだ。

トレイシーのママ(ハーヴェイ・フィアスタイン。映画では、伝説の女装の巨人、ディヴァインがこの役

を演じた)は、トレイシーに輪をかけた巨体。ファッション・デザイナーになったかったけれど、夢やぶれていまは、洗濯屋をして暮している。パパ(ディック・ラテッサ)は、少年の心をいまでも持つよろずおもちや屋の店主。好人物のお人柄が、いたずらっぽく柔和な笑顔からこぼれ出るような人物だ。

明るく陽気なピンクやブルーの衣裳とステージ装置。スプレイで人工的に整え固めた一糸乱れぬヘアスタイル、甘く切ない青春を歌う無垢なサウンド。トレイシーがテレビで見て憧れる番組は一見ほころびなくきれいでかわいい夢の世界。だが、裏にまわれば濁りにまみれた操られた世界でもあった。番組には、厳しい統制があった。オンエア中にキスをしてはいけない。黒人は週1回の黒人だけの番組にしか出られない、つまりは、50年代のアメリカをおおっていた、セックスの抑圧と人種差別だ。そういった社会的背景に加えて、番組は、美人でらつ腕のプロデューサー、ヴェルマ(リンダ・ハート)の権力にしばられていた。ヴェルマは番組を利用して、お人形のようになりきれいで見た目はかわいけれど、歌も踊りもいまいち、甘やかされて身勝手な自分の娘アンバー(ローラ・ペル・バンディ)をスターにしようと目論んでいたのだ。

授業をさぼってオーディションに行ったトレイシー。ヴェルマやアンバーを含むスタッフたちからさんざん馬鹿にされる。だが、セットでたまたま出会った番組の人気者でエルビスばりの歌手でもある好青年リンク(マシュー・モリソン)にひとめぼれ、恋する乙女に。ハイスクールから懲罰処分を受けて劣等生用の特別クラスにいれられたトレイシー。ダンスが超上手な黒人シーウィード(コーレー・レイノルズ)と友達になり、黒人ダンスのかっこいいステップをどっさり教えてもらう。親友のベニー(ケリー・パトラ)はシーウィードと恋仲。シーウィードのママ(メリー・ボンド・デイヴィス)は、すごい歌手でテレビの黒人専用音楽番組の司会者でもあった。すっかり自信をつけたトレイシー、ついにチャンスを得て念願の番組に登場し、視聴者投票でスターの座に。人種の壁も撃ち破り、憧れの青年の心もキャッチする。と、まあ最高のハッピーエンドなのだ。

スタッフ
脚本 マーク・オドネル、トマス・ミーハン
音楽 マーク・シェイマン
作詞 スコット・ウィットマン、マーク・シェイマン
セット・デザイン デヴィッド・ロックウェル
衣裳デザイン ウィリアム・アイヴィー・ロング
照明デザイン ケネス・ボスナー
髪&ヘアデザイン ボール・ハントレイ
振付 ジェリー・ミッチェル
演出 ジャック・オブライエン

キャスト
トレイシー・ターンブラッド マリッサ・ジャレット・ウィノカー
アンバー・フォン・タッスル ローラ・ペル・バンディ
リンク・ラーキン マシュー・モリソン
エドナ・ターンブラッド ハーヴェイ・フィアスタイン
ベニー・ピンブルトン ケリー・パトラ
ヴェルマ・フォン・タッスル リンダ・ハート
ウィルバー・ターンブラッド ディック・ラテッサ
シーウィード・J・スタップス コーレー・レイノルズ
モーターマウス・メイベル メリー・ボンド・デイヴィス



【狂った果実】 バナナマン 設楽統◎日村勇紀



ばななん ●94年(たぶん)に、それぞれ別々に活動していた設楽統と日村勇紀が出会って結成されたコンビ。結成の年から単独ライブを行なうなど、精力的に活動している。
 したらおさ ●(左)73年埼玉県生まれ。バナナマンの構成、演出を担当。お笑い芸人を目指し大金を払って養成所に入り、バントタイムで重いボールを投げ合ったりしながら養成された経験あり。
 ひなやうき ●(右)72年神奈川県生まれ。一度見たら忘れられない。バナナマンの怪獣、「赤えんぴつ」というフォークユニットのネタでは、ギターを披露。趣味のビリヤードもかなりの腕前だとか。
 次回予定 ◆「宇田川フリーコースターズ」11/27〇シアターD (詳細はM2カンパニーホームページにて。URL=http://www.m2company.co.jp/)

絶妙な間と巧みな会話からなるコントで、玄人気質をひしひしと感じさせるバナナマン。ハズレなし!のネタが勢揃いする単独ライブのチケットは、いつも即日完売! そのどこか冷めたトーンの作風が魅力的な彼らだが、生み出す笑いは、最高に熱いのだ!!

【きっかけ】

日村 高校の時に同級生と陸上部というコンビを組んで、ラ・ママに出たんですけど、相方が結婚するとか言ってやめちゃったんですよ。それから先輩の芸人さんにお笑いやらうって言われて。僕もなんかやらなきゃって思ってたんでやることにしたら、そこに設楽さんがいたんですよ。最初は4人だったんですけど、本番は一度も出たことないんですよ。一回くらい練習やって、違ってたって(笑)。向こうも年上だったし、その時頃は19歳とか20歳で、他のメンバーは26歳とか27歳とかだったから。

設楽 今一緒にやってたらその人35歳とかだもんね。それもおもしろかったかもね。僕はお笑いをやりたいと思ってたけど、できないなって思ってたんです。でもなんでもよかったんですけどね(笑)。

【単独ライブ】

設楽 基本は年に一回なんです。めんどくさいから(笑)。でも年に二回はできますね。もっとできるかもしれない。ただね、あんまりやりすぎると良くないかなと。

日村 前回のライブはきつかったですね。本当にその日の朝までやってたんですよ。できてなくて、台本のあがりがギリギリになったのもありましたし。

設楽 基本的には脚本は僕が書きますが、たまに日村さんも書くんですよ。単独では10何本のネタをやるんですけど、その倍くらいの本数をつくって、その中からいいのをやるんです。昔、日村さんが書いてきた「バカヤロー上司」っていう名作のネタがあるんですけど、台本にね、4人の……

(ここで日村さんの携帯が鳴る。着メロはZONE「secret base 〜君がくれたもの〜」)

日村 もしもし。

設楽 出ちゃう!? (笑) 4人くらい出る設定なんですけど、台本にバカしか書いてないんですよ。「バカヤロー」。「バカ」。「バカ」って(笑)。あ、この人ってやっぱバカだなんて。そのバカは全部自分に対するバカなのかなって思いました。あとは、「バカヤクザコーラス隊」っていうネタ。台本に「初めに適当な歌を歌う。あと、よろしく」って書いてあって。よろしくされたんで書きましたけど(笑)。

【趣味】

設楽 日村さんの趣味はね。

日村 何で答えるの? 一応言ってみて(笑)。

設楽 意外とつるむのが好きですね。寂しがりやなんです。彼女といるよりもなんなら男友達というのが楽しいんです。で、そうすると自然にビリヤード。

日村 正解ばかり言うなよ(笑)。ビリヤードは最近さぼってるんですけどね。設楽さんはね、趣味がないんですよ。バナナマンのことを教えてくださってという紙に趣味って欄があったら、そこはいつも空いてるんですよ。でも家にいるって言うておきながら、結構友達とかと遊んでるよね。

設楽 遊んでないよ。飯食ってるんだよ。

日村 飯でしょ。趣味。

設楽 趣味、飯ってさ、おかしいでしょう? (笑) 確かに美食家ではありますね。東急フードショーとか良く行きますからね。ホントに趣味がないんですよ。特技の欄に、困って「白目」とか書いてしまいましたもん。

【野望】

設楽 僕はふつふつとありますよ。最近、経済を学びたいですね。あと、二人が出すだけの長いコントをやる言ってるんですけどね。構想は結構前から話して、それは小屋を押さえてあわてて書くよりも、ある程度ネタができてから「じゃあ」っていう感じでやりたいので、いつやるかはわからないんですけど。

日村 僕はね、あれやりたいんですよ。「設楽レミファドン」。設楽さんが、ハナウタでイントロを歌うんですよ。それをみんなで当てる。絶対何歌ってるかわかんないよね(笑)。

情報 番長

演劇ぶっく社URL
http://www.enbu.co.jp
えんぶもぜみもビクトもいろいろ充実してます。

構成◆石本真樹 川口有紀 田代幸子

◆クドカン主演『福耳』



生前好きだった女性(司陽子)への思いを遂げるため、29歳の男(宮藤官九郎)の体を変え老人(田中邦衛)が乗った! クドカンの体の中が田中邦衛という奇想天外なこの作品、老人の恋を描いた秀作ファンタジー・コメディです。

○「福耳」来春公開予定

◆ラーメンズカレンダー!

ラーメンズの2003年カレンダーが講談社より発売。小林賢太郎さんは「ヤングマガジンアッパーズ」で連載中の自作のマンガ「鼻鬼」をモチーフに、片桐仁さんは365日すべてを手描き(!)にしたカレンダーだを作成中。完全予約制なので早めのお申し込みを。こだわり派の二人ならではの素敵なカレンダーです! 詳細は下記で今すぐチェック!

○ヤングマガジンアッパーズホームページ: http://www.uppers.kodansha.co.jp/

◆演劇ぶっくチャンネル

携帯電話のコンテンツに、演劇ぶっくチャンネルが登場。公演情報や編集取材裏話、俳優さんたちの待ち受け画像と着信ブイイスを配信中。現在、ブイイスには西牟田恵さんが登場! 魅力的な低音で呼び出してくれます。今後色々な方が続々と登場予定。いつでもどこでも演劇情報をチェック!

○i-mode:芸能/雑誌→芸能全36サイト、J-sky、ezweb:エンタメ・芸能→タレント・アーティストから「アーティストオフィシャル」→「演劇ぶっくチャンネル」へGO! 月額300円

◆あの名作のオーディション!

81年に神原郁恵がピーター・パン役を演じて以来、毎年日本の子供達に夢を与え続けている舞台「ピーター・パン」。その2003年公演のピーター・パン役のオーディションが開催される! 応募資格は10〜18才の健康な女子で、グランプリ受賞後ホリプロに所属可能であること。夢をかなえるチャンス! 詳細は下記まで。

○ホリプロテレフォンサービス 03-3491-1917
ホームページ: www.horipro.co.jp/peterpan/

◆永久保存版!

毎月、話題の舞台が満載のシアターテレビ。11月の特集は「さようなら、遊○機械/全自動シアター」。「ラ・ヴィータ〜愛と死をみつめて」! 「食卓の木の下で」など、彼らの代表作を4作品お届け。これは永久保存版! ほかに、落語×小劇場のコラボレーションで話題となった「花緑藻」など、今月も要チェック!

○放送は、スカパーフェクTVI262ch
ホームページ: http://www.theatertv.co.jp/

◆恵比寿の隠れ家

P44の獄本野ばら氏の取材+撮影に使われたのは、恵比寿にある「ケイ、ママカフェ」。このお店、入り口はどこから見ても花屋さん! その奥にある木の扉を開けると、和風情緒あふれたカフェが現れるという隠れ家的小店。駅からすぐそばなのに本当に静かで、オススメのお店です!

○「ケイ、ママカフェ」渋谷区恵比寿4-4-1 詩仙堂インナーナショナルビル1F tel:03-3441-3073
営業時間:11:00〜17:00(フラワーショップは19:30まで)

◆ぴあフィルムフェスティバル

自主制作映画の登竜門・ぴあフィルムフェスティバルの季節がやってきた! 第25回を迎える「PFF」が今年も作品を大募集中。ありとあらゆる映画に門戸を開いているフェスだから、どんな映画でも応募が可能! 次の時代を担うのはもしかしたらあなたかもしれない! グランプリは副賞として賞金100万円(締め切りは11/29まで。急げ!)

○お問い合わせ:03-3265-1425(ぴあフィルムフェスティバル事務局) HP:www.pia.co.jp/pff(ホームページから応募用紙入手可)

◆『毒婦マチルダ』DVD発売!



松梨智子が監督・主演したバカ映画『毒婦マチルダ』がついにDVD化! 実は女だった、某国に拉致された等、とてもここではあらすじを書ききれない本編70分の他に、特典映像も満載! 猫のホテルのメンバーも多数出演しています。

○2800円。取扱店:ビデオマーケット3F(新宿)、タコシェ(中野)、他。
通信販売: http://www.artown.net/mptown/j_syo/

◆チェコアニメ新世代



世界に名だたる巨匠・名匠・奇才を輩出したアニメ大国チェコから大型新人が続々デビュー! 「チェコアニメ新世代」は、20〜30代のチェコの若い才能の作品をAプロ、Bプロとしてまとめて上映する画期的な試みだ。個性豊かな若手の作品をこの機会にぜひ、チェックしよう!

○「チェコアニメ新世代」11/9より新宿武蔵野館にてロードショー! 順次全国で上映予定。

◆彼女たちの時間



「大好きだけど大嫌い」女同士の複雑な友情を描いたフランス映画が登場。小さな海辺の町で育ったナタリーとルイズは、些細なことから絶交してしまう…。女なら誰しも共感できるようなエピソードが盛りだくさん。男性にもぜひ見て欲しい一作。

○「彼女たちの時間」11/9よりシャンテシネにて「輝きの」ロードショー!

◆君はえんぶCMを見たか?



演劇ぶっく100号記念のCMを、シアターテレビジョンにて絶賛放映中。11月は、

これまで月変わりて放映されたすべてを一挙放映の予定。出演は平田オリザ、河原雅彦、後藤ひろひと、宮沢章夫。「演劇」に対する、彼らのリアルな言葉が聞けちゃいます。この映像を演劇ぶっくHPでも公開中。○スカパーフェクTVI ch262 シアターテレビジョンにて放送中

◆クドカンづくし!



「MRハイファッション」の、12月号はすごいぞ! なんと、表紙+45ページの宮藤官九郎大特集!! グループ魂のレコーディングルボや、クドカン脚本・演出によるフォーストリーなどなど、クドカンだらけの豪華ラインナップです。これは絶対に買わない! 完全保存版の一冊です。

○「MRハイファッション」文化出版局から絶賛発売中!!

◆「大阪のど真ん中に小劇場を取り戻す会」

劇場閉鎖のニュースが相次いだ関西演劇界。そんな中、岩崎正裕(劇団●太陽族)、鈴江俊郎(劇団八時半)、土田英生(MONO)、内藤裕敬(南河内万歳一座)、深津篤史(桃園会)、松田正隆ら6人が呼びかけ、「大阪のど真ん中に小劇場を取り戻す会」が結成された。「大阪の」と名づけているが、大阪だけの問題ではなく、そこを使う関西や全国の表現者、観客、刺激を受けるはずの次代の表現者にとっての問題。(中略) 私たちの作る運動は小さいかもしれませんが。けれどその使命は大きいと考えています。」と鈴江氏。現在、既存の施設の有効利用、遊休施設を借りるなど、様々な形が検討されているそう。会費は入会金のみ500円、月一回発行するチラシの印刷、発送、会の運営に使用し、チラシには全会員の名前が掲載。活動期間はとらえず2003年の3月末までのこと。興味を持たれた方は、ぜひ下記まで。

○連絡先 大阪のど真ん中に小劇場を取り戻す会事務局 大阪現代舞台芸術協会(DIVE)内 TEL/FAX:06-6362-5266 〒530-0047 大阪市北区西天満3-7-17フロアサテライトビル502号

◆パルコ劇場史上、最年少演出家の注目作!



製作発表〜
「マイ・ロックンロール・スター」の、11年ぶりの舞台出演など、話題満載の新作「マイ・ロックンロール・スター」。「長塚京三さんの方から『圭史とやりたい』と。パルコ劇場30年の中で最も若い演出家であり、最初は『ちょっと若すぎるのでは…』と思っていたが、阿佐ヶ谷スパイダースの芝居を見て目が覚めました。こんな濃いキャラの人が揃って、面白

くならないわけじゃないでしょう」とパルコプロデューサー・佐藤氏。圭史氏曰く「こんなのにリコでやってもいいのかな、というくらい口ロコな話を書いてしまいました(笑)」というこの作品、出ていった家族が15年ぶりに戻ってきた男の、家族との葛藤と悲哀を描く。暗いながらも長塚圭史作品独特の疾走感あふれる会話劇になる模様だとか。

共演者もまた個性派揃い。京野ことみ「何でもやりま、と言ったら本当に何でもアリになった」、中山祐一朗「最初台本読んだとき、圭史に『これができたらすごいね』って言われて、『え、そんなギャンブルみたいな芝居やるの?』と思いました」、猫背椿「このお芝居の中では、多分一番ひどい目にあってる役です」、山内圭哉「音楽もやってるので音楽ものではよく呼ばれるけど、今回は演奏がメインでなくて呼ばれたので光栄です」、池田鉄洋「台本読んで『うわ、嫌な役だな』と思い、うれしかったです。そういう役大好きなんです」、コメントからもそれぞれの気合い(?)が感じられるこの作品、小劇場ファンならずとも必見の舞台になりそう。

○「マイ・ロックンロール・スター」
11/9〜24日パルコ劇場、11/26〇シアタードラマシティ、他

2002年、日活は
創立90周年を迎えました

入学願書受付中!!

キャンパスガイド
《体験入学》

in 日活
撮影所

10/24
11/8
12/21
PM12:00
PM15:30

希望の方は、事務局B係宛ハガキ、電話、FAX、Eメールなどでお申し込み下さい。

入学資料請求(無料)、キャンパスガイド参加
ご希望の方は、事務局B係宛ハガキ、電話、FAX、Eメールなどでお申し込み下さい。

日活芸術学院

演技科 俳優科 映像科 映像技術科 映像美術科
プロを育てて27年!!

■企画シナリオ専科(夜間6ヶ月)

182-0023 東京都調布市染地2-8-12 日活撮影所内

日活芸術学院 事務局B係

資料請求 ☎0120-832-443

TEL:0424-85-2443 FAX:0424-87-1210

http://www.nikkatsu.com/school.htm

日活創立90周年記念映画

戦国合戦

製作総指揮: 中村 雅哉

製作: 中国影視交流協会/創智電影製作行公司

染野企業電影工作室/「国姓爺合戦」製作委員会

監督: 呉 子牛

脚本: 帳 翼平

配給・宣伝: 日活株式会社

11月、全国拡大ロードショー!!

ウニタモミチの

なつめが 劇中歌。

Vol.

2

「ザ・ラスト・フェスティバル」

〜むっちりみえっぱり
『地肌すぐ』より

一体その奇天烈な発想はどこからどのようにして産み出されるのだろうか?
女性6人からなるこの劇団、もはや「女性ならではの感性」という理由だけでは
説明不可能なほど、特異な演劇を次々と作ってきた。
その中から、あの忘れ得ぬ超名曲をクローズアップする!



作・演出 ◆むっちりみえっぱり
出演 ◆江川瑞衣、佐藤沙恵、樋口穂子 古谷亮子、
山本由佳、吉田麻生 99/9/17〜19 アトリエMODE



この1曲のみが収録されたカセットテープを
200円で販売中。詳細はHPで。
http://hello.to/muccchiri_mieppari/



その「地肌すぐ」(1999)という芝居は「縄跳びアイドルグループ」の栄枯盛衰を描いた年代記風ドラマだった。その翌年「インディアンナポリス」で描かれたのは「山のテマリパーク」山ランドを経営する姉妹たち(の栄枯盛衰物語)であり、今春発表されたその男、浮くは「演出家・蜷川幸雄」の栄枯盛衰物語(の栄枯盛衰物語)だった。これらの例がわかるように、女性6人からなる「むっちりみえっぱり」という劇団は、ある個人・団体・血族をめぐる壮大な歴史ドラマを創り出すことを得意としている。

が、その枠組みのスケールの大きさに比べて、そこに描かれる中身はとてつもない。常に謎深いというか……まあハッキリ言っちゃえば、シボクでイイ加減なのである。例えは蜷川の半生を描いて話題になった先日の作品だって、概ね史実に忠実とはいえず、史実の中のホントに

ウニタモミチ
うにたもみち●自編演劇エッセイスト。ガーディアンガーデン演劇フェスティバルの審査員をつとめるなど、演劇界の目利きとして活躍。

演劇のいい方 正作

..... 安田雅弘

47

最終回

変へん化げの果て

あとながきに

る感覚をつかむのが目的だ。

《ショートストーリー》は、寸劇をくりかえし作って、自分の周囲にあるドラマをあらためて見つめなおす訓練。

《ルバム》は造語。要は「シブ」のこと。現代の日本人に合った振りのことをダンスや「舞踊」と呼ぶようになったのだ。

さいごの《四畳半稽古》は、現在ボクらが取り組んでいる《四畳半》という演技スタイルをレベルアップするための稽古だ。

「演劇がく」では、《ルバム》《四畳半稽古》と《ショートストーリー》には触れなかった。

これから演劇をやろうと思っている人、いまやっている人、

演劇に興味がある人、

そうした人たちに役立つ内容、と考えるとき、《ルバム》《四畳半稽古》は少々特殊だ。

《ショートストーリー》は、ぜひとも紹介したかったが、いたん作った寸劇にアドバイスをしていくというやり方なので、

「今日時間もあるし、芝居でも見るか」と考える人はわざわざ、舞台を通じ

て、限られた文字数の中でお伝えするのはむずかしかった。

この連載が始まったのは、94年。「正しい演劇の作り方」という題名で、演劇について考えていることを書いてくたさい」

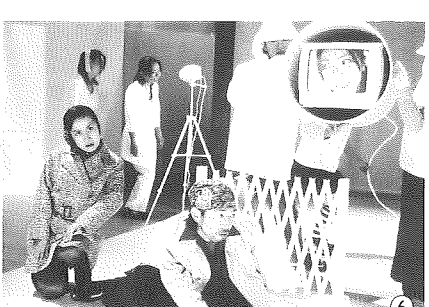
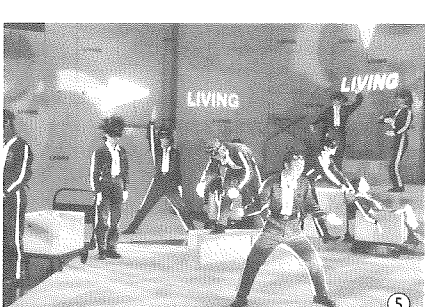
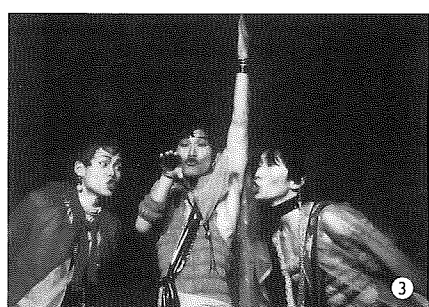
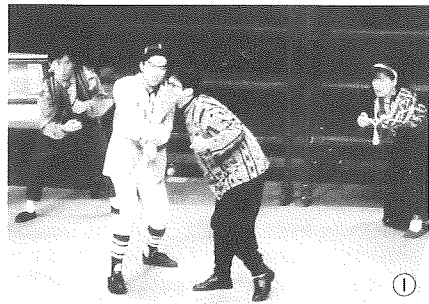
と当時の編集長、坂口さんの依頼を受けて、足かけ9年もたらだと続けたことになる。

さて、世界の国々から日本を見たとき、演劇に理解のある国。

と認められるのは、ちとムリだろう。これが、ブルマや「電氣屋」であれば、文句なしに日本人はそれらのすぐれた理解者であるという評価を得ることが出来る。

ところが違うのか、考えたときに、公演の数ではない、俳優の数もない。演劇にまつる教養に一般の人たちが触れる機会が圧倒的に少ないことだと思ふ。

「今日は時間もあるし、芝居でも見るか」と考える人はわざわざ、舞台を通じ



変えたて変えたのではない、どうにも立ち行かなくなつて、次の形をもとめ、新たなスタイルに挑戦する。今でもその連続である。

スタイルを変えるたびに、新しい作劇の方法を作り出すことが求められる。残しておいて、それが求められる。

「ゆるやかなトビリロの身だしなみ」(89年※写真1)から、(集団創作)「提案稽古」がはじまる。あらかじめ台本を用意せず、参加メンバーの提案と、即興的におこなう稽古をくり返して、本番を作るやり方だ。現在「フリーストーリー」になっている。

「OJABE」(91年※写真2)で、(ものまね)「夏野ちゃん」(95年※写真3)で《ルバム》の成果が舞台にあらはれ始める。

リアリズム演劇への興味から《ショートストーリー》の猛烈な稽古が始まり、

「ドリフターズ」(96年※写真4)を作るきっかけになった。

97年ころから、能狂言や歌舞伎の延長線上に演劇を置いてみようという考えから、抑制されたカラダに興味が出てくる。不自然な動きの探求だ。リビング」(97年※写真5)はその実験の始まりだった。現在、ボクらはその動きを《四畳半》と呼び、実験を続けている。平成・円朝・牡丹燈籠」(01年※写真6)などである。

早稲田大学演劇博物館で山の手事情社展を開催している。1月には、《山の手メソッド》も紹介するつもりだ。展示名は「変化の果て」。また含めて。

「ドリフターズ」(96年※写真4)を作るきっかけになった。

97年ころから、能狂言や歌舞伎の延長線上に演劇を置いてみようという考えから、抑制されたカラダに興味が出てくる。不自然な動きの探求だ。リビング」(97年※写真5)はその実験の始まりだった。現在、ボクらはその動きを《四畳半》と呼び、実験を続けている。平成・円朝・牡丹燈籠」(01年※写真6)などである。

早稲田大学演劇博物館で山の手事情社展を開催している。1月には、《山の手メソッド》も紹介するつもりだ。展示名は「変化の果て」。また含めて。

「ドリフターズ」(96年※写真4)を作るきっかけになった。

97年ころから、能狂言や歌舞伎の延長線上に演劇を置いてみようという考えから、抑制されたカラダに興味が出てくる。不自然な動きの探求だ。リビング」(97年※写真5)はその実験の始まりだった。現在、ボクらはその動きを《四畳半》と呼び、実験を続けている。平成・円朝・牡丹燈籠」(01年※写真6)などである。

早稲田大学演劇博物館で山の手事情社展を開催している。1月には、《山の手メソッド》も紹介するつもりだ。展示名は「変化の果て」。また含めて。

「ドリフターズ」(96年※写真4)を作るきっかけになった。

97年ころから、能狂言や歌舞伎の延長線上に演劇を置いてみようという考えから、抑制されたカラダに興味が出てくる。不自然な動きの探求だ。リビング」(97年※写真5)はその実験の始まりだった。現在、ボクらはその動きを《四畳半》と呼び、実験を続けている。平成・円朝・牡丹燈籠」(01年※写真6)などである。

早稲田大学演劇博物館で山の手事情社展を開催している。1月には、《山の手メソッド》も紹介するつもりだ。展示名は「変化の果て」。また含めて。

2003年春期募集！

個性ある人間の創造が教育方針です。

◇ 研究生 2 学年 ● 試験日 (A) 2 月 16 日 (日) (B) 3 月 16 日 (日)

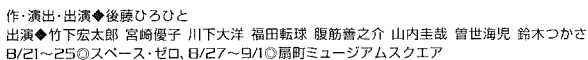
演劇界で活躍したい人の情報ページ

(キャスト・スタッフ)
「かわいくて毒のあるポップな芝居」を
一緒に作ってませんか? 稽古は板橋区立
区・北区。経験、年齢不問。「おもしろ
いものをつくる」という目的意識の高い
方を探しています。
〒115-0045 東京都北区赤羽3-26
9-101 森田方 E-mail
kontyuurocket@hotmail.com
☎070-5361-0811

富良野塾 第20期生
シナリオライターの倉本聰さんが主宰する脚本家・俳優の養成期間「富良野塾」が、第20期生を募集。入塾費・授業料は一切無料。募集人は脚本家・俳優を含む約20名。18歳以上の男女で健康な人なら誰でも応募できる。詳細は下記まで。12/1締切。
〒076-0173 北海道富良野市西布礼別 ☎0167-29-2121

[illegible]

オーディションニュース
【Web版】はコチラ↓
<http://www.enbu.co.jp/enbu/>



後藤ひろひと演出を観る度に感心するのは「ヘタな役者でもヘタに見えない」というところだ。例えば歌手だったり、プロレスラーだったり、役者の経歴がほとんどないタレントだったり。役者・俳優者にかかわらず、彼の作品の中では出演者自身の持つキャラクターがいつも生き生きとしている。だからそれは今回の公演でいえば、もともとダンサーでありながら、大の釣り好きで自身が釣り具ショップまで経営しているという「選材」竹下宏太郎が次郎を演じるというキャスティング、もうこれだけで「勝ち」なのだろう。舞台経験はまだ2回目の竹下だが、それを感じさせない演技……というか、もう漁師そのもの（そりゃそうだ）。それがこの芝居に妙なリアルティを生み、そして飯島を演じた福田航士の狂気と悲哀が物語全体を締めている。

王立劇場という、新たな遊び場を手に入れた後藤ひろひと。今までは大隈限定の企画公演が多く、本格的な演劇公演は今回が初めてとなったが、この先どういかに発展していくのか。今後の動向にも要注目だ。（川口有紀）

参加団体募集

HomePage <http://www.geigeki.jp>



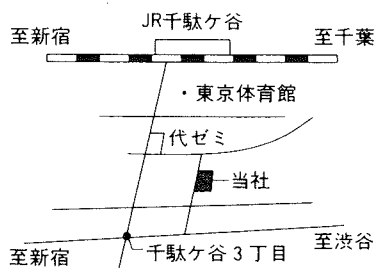
コンサート 芝居・イベント 照明器材 レンタル

プロも使う器材

小劇場や学校の体育館など照明器材の常設されていない場所での公演をバックアップ。
また器材が足りない場合などもスポットライト1台からお貸しします。

照明のことなら

照明器具レンタルだけでなく、プロのあかり屋さんが舞台照明全般の疑問・質問にお答えします。お気軽にご相談ください。



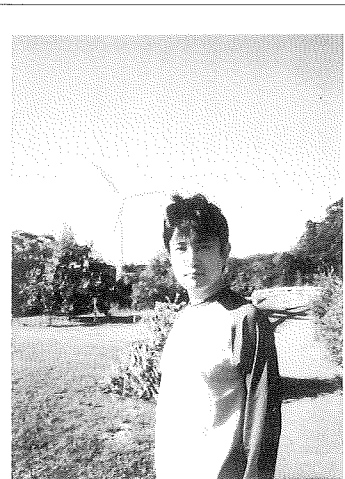
電話 03-3475-9341
FAX 03-3475-9340
〒151 渋谷区千駄ヶ谷3-21-6

株式会社 東京舞台照明レンタル部

西川浩幸の 素晴らしき人生 2002 ギョク

第21回 停電

にしかわひろゆき ● 64年埼玉生まれ。85年演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板俳優として活躍中。休む間もなく、クリスマスツリーの福古に突入！次回公演 ● 演劇集団キャラメルボックス2002クリスマスツリー「裏切り部外」11/6～18 ◎ 新神戸オリエンタル劇場、11/23～12/25 ◎ サンシャイン劇場



風が強い。

「今夜はどうなるべ？」「埼玉ですが、実際に外に出て風に吹かれてごうごうと鳴っている木々や山を見ているうちに好奇心はどこかに消えて少しく怖くなってしまいました。」
「今夜はどうなるべ？」「埼玉ですが、実際に外に出て風に吹かれてごうごうと鳴っている木々や山を見ているうちに好奇心はどこかに消えて少しく怖くなってしまいました。」

☆☆☆がんばろう、浦和レッズ☆☆☆

皆さん、お元気ですか？ おいらはとても元気です。毎日美味しくてご飯を食べています。たぶん食べ過ぎて、食べたい物を食べた時に食べられるなんて、あんなに幸せな幸福でしよう（馬鹿丸出しだよね）。特にお米が美味しいですね。お友達にお土産でもらった白米に混ぜて炊くとお赤飯になる『紫米』を使って満喫しています。おいらはお赤飯が大好きなので、まるでめでたいうようにめでたくなって食べてしまいます（一人で食べてるって）。あれって東京でも売っているんですかね？

さて、先日は休暇を利用して小旅行に行ってきた。九州を縦断しながら温泉三昧も楽しんだなあ、などと考えていたのですが、結局近場の千葉県勝浦へ行ったのです。ところが、タイミングの悪いことに台風21号がやってきたのです。そう、関東地方に上陸する台風としては戦後最大級と言われている台風です。屋敷から強い風と激しい雨が降っていたのですが、夜になると暴風雨になりました。なにしろ建物がかたまり大きな音が聞こえるくらい風です。始めは、「こういう時に外を歩いてみるのも面白いかも。ウー」などと高をくくっていたのですが、実際に外に出て風に吹かれてごうごうと鳴っている木々や山を見ているうちに好奇心はどこかに消えて少しく怖くなってしまいました。

詠りかよっ！(食事を終えて部屋に戻りました。テレビでやっていてアジア大会サッカー、日本対バレーを見ている。おう？ 4・2で日本が勝っているぞ。なにに、4・0から2点入れられたのが、道理で日本選手が慌てているんだな。よし、いけ田中達也(浦和レッズ)!! などと盛り上がりだしていたら、急に部屋が停電になったのです。わー！と思う間もなく非常灯がつかまりました。幸いになり明るい非常灯だったので、落ち着いていられた。でも、もちろんテレビは消えてしまいました。窓から外を見ると辺りは真っ暗です。しばらくしてフロントから電話がありました。「千葉県の広い範囲で停電がありました。現在についている非常灯は30分ほどで消えてしまいます。懐中電灯が置いてありますが、もしもつと必要な場合はご連絡ください。……非常の時に灯っているから非常灯じゃないのか。あやうが消えたら本当に真っ暗になるんじゃないか。実は、おいらはかなりの怖がりです。しかも、ちよつと閉所恐怖症気味です。これは寝るしかありません。寝てしまえば、暗がるうがどうだろうが関係ありません。

んもんね(なにが、もんねだっ!!)。最初は、非常灯の灯りで本を読んでいたのですが、どうにも落ち着きません。いつ真つ暗になるんやないかと気が気ではないのです。元々静かな場所だったので、その時はまるで人里離れた山奥にでも来ているような気がしました。今、こゝろ風に吹かれた右が窓ガラスを割ったよう……いや、建物そのものが倒壊したのだらう……。サッカードはどうなったのだらう……。子供の頃に台風で停電したことを思い出しました。熊鷹の火をちやぶ台に置いて家族でおにぎりを食べました。海苔を巻いたおにぎりはとてもおいしかったです。電気がないだけで別の世界のようになるんですね。2時間ほどで電氣は復旧しました。台風も徐々に通り過ぎていくのが分かりました。そして、知らない間に眠りに就いていました。次の朝は快晴のお天気で、背の低いオリブの木がたかさん倒れていました。新聞にはクニヤリと曲がった鉄塔の写真が載っていました。では、また再来月。

文◆井上二郎

STAGE BOMB

葛藤する主人公

オペラ『夕鶴』
於国立フカレスト歌劇場オペラハウス
9月26日、28日

ルーマニアの首都ブカレストにオペラ『夕鶴』を見た。これは、まず民話の『夕鶴』をもとに木下順二が同名の戯曲を発表し、ほぼそのままの台詞に團伊玖磨が音楽をつけてオペラ化した。初演は52年。純粋な百姓の与ひようと、自分の羽布を織って恩返しをするつづ(鶴の妖精)の物語だ。今回は日本・ルーマニア国交樹立100周年記念事業の一環で、ソリスト、児童合唱、スタッフはほぼ日本から参加。オペラは国立フカレスト歌劇場管弦楽団、指揮は同国ヤシ市の国立歌劇場で常任指揮者を努める井上宏一。これが、かなり良い舞台だった。まずオケの音がよく揃っていて透明感があり、じつに綺麗なのだ。ソリストも安定したキャストで、とくにつつの佐橋美起とひよの持木弘は、民話劇の典型的な人物に見事に造形

しながらよく歌っていた。それにしてもなんと表現力に満ちた、劇的なオペラなのだろう。(誤解を恐れずに言えば)まるで『トスカ』のうた。私はこれまで日本のプロダクションの『夕鶴』をふたつほどTVで観て、ずいぶん随所に難しげな退屈な箇所ありの印象を拭ききれないでいた。しかし今回のステージはそれとはかけ離れた、全編が魂を揺さぶる音楽であった。この違いはどこから来るのだろうか？ ルーマニアはラテン系の音楽国でイタリアオペラの豊かな伝統を育んでいるし、観客も耳が肥えている。結局そういうところなのか。後日「解釈がヨーロッパ的」という評を聞いてなるほどと思ったが、いずれにせよ私は大満足の舞台だった。

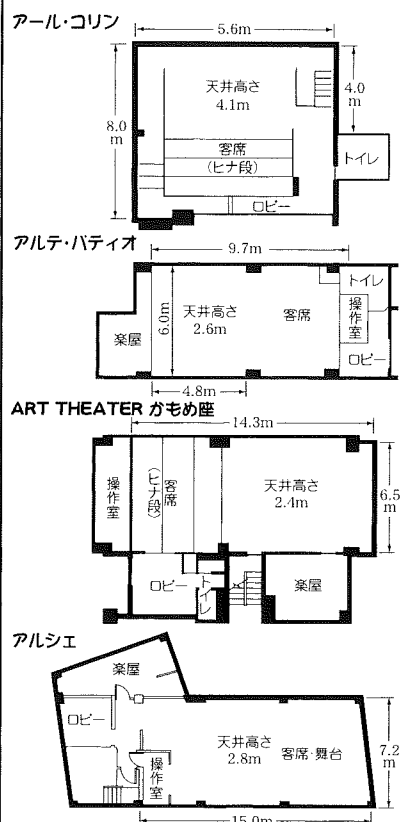
さて木下順二はその晩年まで正と悪、個人と歴史などの対立する二つの想念のあいだで葛藤する人間を見つめ、その心情を、瑞々しく生々しい長台詞に描き続けた作家である。ときには叩きつけるような激しさをもち情動的な長台詞、それらは葛藤を抱え込んでいるゆえに人間の深みであり、また感動的な長台詞の書き手であったと思う。『夕鶴』では中盤にの長台詞がある。つづは、与ひよとの素朴で清純な暮らしへの「願ひ」と、与ひよの中に芽生えた金銭欲への「嫌悪」とに引き裂かれていく。金に目が眩んで「布を織れ」と迫る和ひよを恨み、与ひよが憧れる「都の社会」を呪い。しかし次の瞬間には「どうか与ひよと私を引き離さないで」と、泣き伏す……。人間社会の拝金主義を受け入れて布を織るのか？ 織らずに理想を通して与ひよを失うリスクを冒すのか？ そういう優

れて論理的な葛藤を繰る長台詞がこのオペラでは(今回の上演ではそのまま美しく雄弁な歌になり観客の胸にしみ入ってくる。作品の凄さを見せつけられる思いだった。これはひよとすると、戦後の多くの劇作家に書き継がれた長台詞は、木下順二から始まったのかもしれない。それはともかく、昨今の小劇場で長台詞が非常に少ないのは何故だろうか？ 人がだんだん葛藤を体験しない方向に行っているのだろうか？



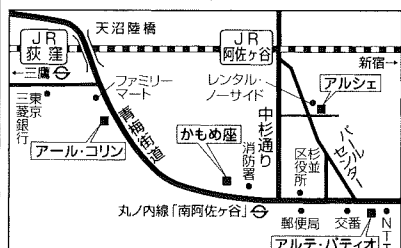
貸スタジオ 小劇場

- アール・コリン ■アルテ・パティオ
- アルシェ
- ART THEATER かもめ座
- ART GROUND エウロス



演劇公演使用料	3日間	4日間	1週間
アール・コリン	200,000	240,000	300,000
アルテ・パティオ	170,000	220,000	280,000
かもめ座	220,000	260,000	350,000
アルシェ	230,000	270,000	360,000
エウロス	130,000	150,000	200,000

※照明・音響・冷暖房費込



■ART GROUND エウロス
中野区東中野 3-8-5
遠田ビルB1
JR総武線・大江戸線「東中野駅」
JR山手線「中野駅」
JR有楽町線「茗荷谷駅」
JR有楽町線「茗荷谷駅」
JR有楽町線「茗荷谷駅」

演劇公演予約受付中
アール・コリン事務所
☎ 03-5305-5041
東京都杉並区梅里2-40-19
ワールドビル101

巻末のアン
ハガキに希
品物を。
応募者多数
は抽選にな
す。
締切は11月
消印有効。

ENBU [演劇&映像]ゼミナール

2003年度生徒募集!

授業内容

- **専任講座** (48コマ＝144時間)
クラス分け後に行われる専任講師による表現の基礎や、劇場で発表する作品づくりのためのワークショップです。
- **ワークショップ講座** (26コマ＝78時間)
専任講座の6名を含む、第一線で活躍中の演出家10名による短期ワークショップを通して、さまざまな表現方法に触れる実習です。
- **教養講座** (8コマ＝16時間)
演出家、俳優、制作プロデューサー、評論家など、演劇表現に造詣の深い方々による講義形式の授業です。
- **基礎実習** (20コマ＝60時間)
ヴォイストレーニング、演技基礎などで、論理的かつ実践的に基本的な体力と知識を身につけます。
- **クラス公演** (年1回)
専任講師担当クラスごとに、公演作品を劇場にて発表します。自分のクラス以外のクラス公演を鑑賞します(無料)。

授業時間

- **年間授業時間**
2003年5月より約1年間。年間授業時間数は298時間。1コマは3時間。教養講座のみ1コマ2時間となります。
[昼間部] 平日10:30～13:30/14:30～17:30(教養講座の一部が土・日・祝に設定される場合があります)
[夜間部] 平日19:00～22:00、および土・日・祝に設定される場合があります。
- **授業頻度**
年間授業時間298時間(102コマ)を、1年間で配分設定していきますので、週平均に換算すると約2～3コマ授業が入るような頻度になります。ただし、クラス公演前は授業が集中する場合もあります。

年間スケジュール

5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専任講座 (144時間) ワークショップ講座 (78時間) 教養講座 (16時間) 基礎実習 (60時間) クラス公演 (年1回)	前期授業のクラス分け 入学時に5月～7月に行う授業のクラス分けを実施。 授業時間帯(昼・夜)の選択をします。	ワークショップ講師 (専任講師6名を含む) 10名のワークショップ	夏休み 後期授業のクラス分けを実施。 専任講師のクラスを1つ選択。	クラスに分かれての授業&ワークショップ	教養講師による講義	ヴォイストレーニング&ストレッチ	冬休み(年末年始)	クラス公演にむけての練習	クラス公演 クラスごとに劇場で作品を発表。

● **クラス分け**
[5月～7月(前期)]応募時に昼・夜いずれかの希望クラスを提出。5月～7月に行われる授業は、そのクラスで受講します。昼・夜ともに授業内容は同じですので、あくまで希望時間帯でのクラス分けです。

[9月～3月(中期・後期)]7月末に専任講師の希望クラスを提出(希望者の多いクラスは講師による選考となります)。9月以降は各クラスに分かれての授業となります。

募集要項

[応募資格] 演劇の表現者を目指す16～35才くらいの方(経験不問)
[募集人員] 120名(20名×6クラス)
[募集期間] 2002年11月9日(土)より受付開始。
[募集締切] 2002年11月10日必着で締め切り、審査を行います。
合否は翌月10日までに郵送にてお知らせします。
定員に達し次第締め切ります。
[選考方法] 書類審査
[年間授業料] 入学金30,000円+年間授業料390,000円+公演費50,000円＝470,000円(税別)
[応募方法] 「学校案内・募集要項」に同封された指定の応募用紙でご応募ください。

授業料について

授業料のお支払方法は2種類をご用意しています。
1.一括納入(選考結果到着後10日以内に年間授業料の合計をご入金下さい。ご入金を確認した時点で入校が決定となります)
2.学費ローン(6、12、24回払いの3種類からお選びいただけます。(株)ジャックスとのご契約が必要となりますので、手続きが終了した時点で入校が決定となります)

ENBU [演劇&映像]ゼミナール 「クラス対抗演劇合戦 in 本多劇場」開催!

12月30日に行われる演劇がっく100号記念イベントにあいのりして、ENBU[演劇&映像]ゼミナール2002年度演劇コースクラス対抗演劇合戦を開催します。優勝クラスは、その場でインタビューを行い3/9発売の演劇がっくに掲載。楽しみながらゼミの雰囲気を感じられちゃうお得なイベントです。ご来場お待ちしております!

日時●12月30日(月) 12:00開場 12:30開演
料金●入場無料(夜から開催される「演劇がっく100号記念イベント」は、別途入場料が必要です。詳しくはコミミの7ページをご参照下さい)
観覧方法●当日直接、下北沢本多劇場へご来場下さい。ご予約は必要ありません。

審査員●坂口真人(演劇がっく社代表)、黒川麻衣(iOJO!)、松村武(カムカムミニキーナ)、村上大樹(拙者ムニエル)、西島明(ベターボーイズ)、ブルースカイ(演劇弁当猫ニャー)、横山仁一(東京オレンジ) 予定
司会進行●池谷のぶえ(演劇弁当猫ニャー)

学校説明会開催!

11/24(日)、12/15(日)
1/12(日)、1/26(日)
演劇科 13:00～14:00
映像科 15:00～16:00
事前にご予約下さい。

資料請求

2003年度の「学校案内・募集要項」を無料でお送りします。メール、お電話などにて、お気軽にご請求下さい。

2003年5月開講コース

演劇科

- 演劇コース[昼間部・夜間部]
- ダンスコース[夜間部]

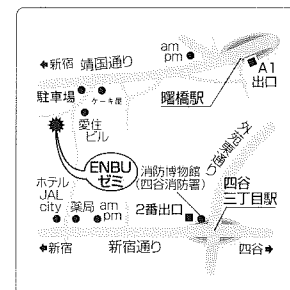
映像科

- 映像俳優コース[昼間部・夜間部]
- 監督×俳優コラボレートコース[夜間部]
- 映像クリエイターコース[夜間部]
- 映画監督コース[昼間部・夜間部]
- CM&MVコース[夜間部]
- シナリオライターデビューコース[夜間部]

資料のご請求・ご応募・お問い合わせは

ENBU [演劇&映像]ゼミナール

〒160-0005 東京都新宿区愛住町13-10
TEL 03-5366-7588 (平日10:00～22:00)
FAX 03-5366-7589 (24時間受付)
e-mail zemi_info@enbu.co.jp



- 都営新宿線曙橋駅
A1出口徒歩5分
- 丸の内線四谷三丁目駅
2番出口徒歩7分

ENBU [演劇&映像]ゼミナールHP●http://www.enbu.co.jp/zemi/

授業レポート、学費ローンの詳細など詳しい情報満載!ぜひ参考にして下さい。

演劇科演劇コース[昼間部・夜間部]

専任講師6名と教養講師4名のワークショップを受講。年間を通してヴォイストレーニングなどの基礎力を養い、1年後には作品を劇場で発表します。

専任講師 [昼間部]



黒川麻衣 (iOJO!)
http://www.ojo.gr.jp/
92年明治大学「騒動舎」を母体に「iOJO!」を結成。鋭い観察眼とスタイリッシュな作品が特徴。00年プロデュース・ユニット「Doctor Shopping」始動。近年、ワークショップも積極的に展開。雑誌「SWITCH」にてコラムを連載中。
公演予定●iOJO!「聞いた通りにくり返す」12月11日(水)～18日(水) 新宿 THEATER/TOPS



松村武 (カムカムミニキーナ)
http://homepage2.nifty.com/comecomeminiki-na/
90年「カムカムミニキーナ」を結成。作・演出・主宰を一手に担う。昨年度は紀伊國屋劇場進出を果たし、女優だけの公演、花園神社での野外公演など、さまざまな形で公演を行っている。近年ドラマなどで活躍中の八嶋智人、山崎茂樹が在籍。
公演予定●カムカムミニキーナ「エメラルド」12月5日(木)～8日(日)シアターアプル / 12月21日(土)～22日(日) 大阪・近鉄小劇場



村上大樹 (拙者ムニエル)
http://www.sessya.com/
94年「拙者ムニエル」を結成。以降全作品の作、演出を手がけ、役者としても活躍。キレツなキャラクターと破天荒なストーリーが織りなすポップでハッピーな独特の作風で人気。近年、プロデュース公演の企画、吉本興業の脚本担当など幅広い分野で活躍中。
公演予定●village produce vol.2「1989」(原作●KERA 脚本●ブルースカイ 演出●村上大樹)2月6日(木)～16日(日) 青山円形劇場

[夜間部]



きだつよし (TEAM発砲・B・ZIN)
http://www.happou.net/
92年「TEAM発砲・B・ZIN」結成。シチュエーションコメディとSFアクションにこだわり、「大の大人が笑って泣けるヒーローもの」を展開。遊び心満載のアニメやヒーローもののフォーマットに、大人のドラマをミックスさせる独特の世界観とスピーディーな演出には定評がある。
公演予定●TEAM発砲・B・ZIN「オス」1月10日(金)～19日(日)下北沢本多劇場 / 1月25日(土)～26日(日)大阪近鉄小劇場



西島明 (ベターボーイズ)
http://www.betapo.com/
93年「ベターボーイズ」を結成。ベターボーイズとは、よりよい「間(pause)」と、よりよい「格好(pose)」。ちょっとしたはずみで非日常にスライドしてしまうような独特の「気分」を表現するため、セリフ・演技・舞台美術に至るまでディテールを意識した舞台づくりを行っている。
公演予定●ベターボーイズ「ビール樽が熊の毛皮を盗込んで火薬で心臓をふくらませています」1月15日(水)～23日(木)新宿 THEATER/TOPS



横山仁一 (東京オレンジ)
http://www1.newweb.ne.jp/wa/oranje/
92年早大劇研を母体に「東京オレンジ」を結成。自分達の現在の興味を、様々な表現手法を積極的に取り入れた断片として起こし、コラージュしていくという集団創作のスタイルを展開。近年では海外ワークショップに参加するなど、従来の方法論に体系的な即興システムを導入しながら、集団創作の新しい地平を目指す。
公演予定●東京オレンジ「10th Anniversary Weekday Livetrial act P+02= "Camp Shimokitazawa" #2「Music Box」」1月26日(火)～27日(水) 下北沢駅前劇場

ワークショップ講座

専任講師6名を含む10名の演出家によるワークショップ形式の授業を行います。
宮沢章夫 (道園地再生事業団)
演出家・劇作家、著書に、観客の心をつかむ確かな演技の秘密を書き下した「成井豊のワークショップ」がある。

河原雅彦
演出家・俳優。90年代、HIGHLEG JESUS総裁として、演劇のみ出しそうな勢いのネオ演芸で話題をさらう。近年、俳優としても活躍。

近藤良平 (コンドルス)
96年男性だけのダンスカンパニー「コンドルス」を結成。衣装や楽曲の選択など、ダンス界で異彩を放つ。今、最も注目を集めているダンサー、振付家の一人

教養講座

各講師年間1回の講義形式の授業を行います。

成井豊 (演劇集団キャラメルボックス)
演出家・劇作家、著書に、観客の心をつかむ確かな演技の秘密を書き下した「成井豊のワークショップ」がある。

ケラリーノ・サンドロヴィッチ (NYLON100C)
劇作家・演出家、NYLON100C主宰。外部公演への参加も多数。99年「フロズンビーチ」で岸田國士戯曲賞受賞。

松尾貴史
タレント、演劇ではアカベーストア主宰。TV、ラジオ、映画、舞台、エッセイなど、幅広い分野で活躍中。

わかぎあふ
女優・演出家。86年より中島もと、劇団リリパット・アーミーを主宰。エッセイとしても活躍中。

細川展裕
(有)ヴィレッジ(劇団立新橋線)代表。85年より第三舞台に制作として参加。以来、プロデューサーとして様々な舞台に携わる。

今井美知 (シアター・テレビジョン)
劇団夢の遊眠社制作部、複合文化施設スパイラルを経て、97年よりシアター・テレビジョン編成局プロデューサー。

ほかの方々を予定しています。

基礎実習

●ヴォイストレーニング&ストレッチ

●演技基礎

安田雅弘

演出家。構成演劇より独自の表現世界を確立。その優れた俳優養成方法は高く評価され、全国各地で数多くのワークショップを行う。

ENBU [演劇&映像]ゼミナール 2003年度受講生募集

映画監督コース[夜間部]

映画監督、映画作家を目指す方へ。
このコースでは、映画づくりの基本と「表現」に対してのアプローチの仕方、専任講師・古厩智之監督との作品づくりのなかで探っていきます。

専任講師

古厩智之



映画『まぶだち』

furumaya tomoyuki
68年生まれ。日本大学芸術学部在籍時の92年に、短篇『灼熱のドッチボール』がびあフィルムフェスティバルでグランプリを受賞。94年には、びあのプロデュースで初の長編『この窓は君のもの』を監督。バンクーバー映画祭で、アジアの若い才能に対して与えられる「ドラゴン&タイガー・ヤングシネマ賞」を受賞するなど、世界各地の映画祭で好評を博した。その後、プロの現場を学ぶため、利重剛監督『BeRLin』(95)、青山真治監督『Helpless』(96)等の作品に助監督として参加。7年ぶりの新作『まぶだち』は、2001年のロッテルダム映画祭でグランプリにあたる「タイガーワード」と「国際批評家連盟賞」をW受賞という快挙を成し遂げた。

MESSAGE

えー、あなたのやりたいことは何ですか？
何、「映画をやりたい」・・・
では映画で何を描きたいですか？
どんな人間を描くのか、どんな人間を描くのか・・・

とにかく、「自分の映画」を一本作ってしまおうという授業です。
僕が教えることは何もありません。考え、決断し、作るのはあなた自身です。

[募集人数] 30名

その他のコース

映画監督コース[昼間部]

シナリオを大切に！
『とらばいゆ』などの作品でその演出力の高さに定評がある映画監督・大谷健太郎氏の指導のもと、作品づくりを行います。また、その完成作品を、劇場で公開します。

講師 大谷健太郎(映画監督)

otani kentaro
65年生まれ。99年に『avec mon mari アベック モンマリ』で長編映画デビュー。「本物の恋愛映画を撮れる才能」として国内外の映画祭で高い評価を受けた。2002年には、瀬戸朝香・市川実日子・村上淳らをキャストに迎えた『とらばいゆ』を公開、話題を呼んだ。

教養講座教師

●SABU(映画監督『DRIVE』『MONDAY』) ●堤幸彦(映像作家『TRICK』『池袋ウエストゲートパーク』) ●仙頭武則(映画プロデューサー『EUREKA』『リング/らせん』ドラマ『私立探偵 濱マイク』)
●古井戸香奈子(映画バイヤー『ブレイク・ウィッチ・プロジェクト』『アタック・ナンバーハーフ』) ●安田裕子(ハリコ・シネマント)『TAMARA2010』『パッパアロー66』…ほか

監督×俳優コラボレートコース [夜間部]

『命』の篠原哲雄監督が監督と俳優を募集！
俳優を目指す方と、映画づくりを目指す方(映画監督志望者など)へ。
このコースは、撮る人と撮られる人と同時に募集し、両者のコラボレーションから作品を生みだしていくというコースです。

専任講師

篠原哲雄



映画『命』 ©<命>製作委員会

shinohara tetsuo
62年生まれ。森田芳光・中原俊監督らの助監督としてつく傍ら、自主製作映画も手掛け、初の16mm作品『草の上の仕事』が日本とニューヨークで劇場公開。96年には、山崎まさよし主演『月とキャベツ』で長編映画デビュー。その後、田中麗奈主演『はつ恋』など話題作を発表。2002年は、江角マキコ・豊川悦司主演『命』(原作・柳美里)が全国東映系にて、浅丘ルリ子、鈴木京香、西田尚美ら6人の女優の競演作品『木曜組曲』が銀座シネ・ラ・セットにて公開中。
オフィシャルHP●
<http://www.shinotetsu.com>

MESSAGE

演出も演技も、ひとつのもののづくり。役割は違えど、目指すものはひとつである。
それはつまり、「表現」である。
このコースに来たいという人は、おそらく出会いを求めているはずだ。ならば、撮りたい人も、演じたい人も、一緒になって刺激し合おうではないか。
そして、自分で「表現」することをつかんで欲しい。やる気次第であなたのポジションはどんどん変わっていくだろう。不定期的活動になると思うが、このクラスが終わったあとも、何かが続くような場を作ることには最善を尽くしたい。

[募集人数] 40名

[ガリンペイロ]シナリオライターデビューコース [夜間部]

映画プロデューサーがあなたの企画・シナリオを望んでいます！

日本映画の新レーベル『ガリンペイロ』(<http://www.garinpeiro.com/>)。その参加映画製作会社が、新しいシナリオライターの発掘・育成を目指して運営する【プロデビューに近い】コースです。
2002年度は、2人のプロデビューがすでに決定！

講師 東京テアトル 番組構成企画政策プロデューサー 榎本憲男
『ギャガ・プロダクション・カンパニー』プロデューサー 鈴木裕光
『ハル企画』代表取締役社長プロデューサー 鈴木ワタル
『オメガ・ピクチャーズ』プロデューサー 陶山明美
『ケイエスエス』プロデューサー 林由恵

映像科

「俳優」「監督」として、映画や映像の世界での活躍を目指す方へ。初心者でも大丈夫。基礎から学べ、感性を磨けます。しかも、実習として製作した作品は劇場で上映。1年後デビューするためのコースです。

映像俳優Cコース[昼間部]

3人の新進監督の映画に連続出演!!

新進気鋭の映画監督3人に演技指導を受けながら、彼らが演出する映画に出演。最終的には、3本のオムニバス映画として劇場で上映します。

講師



映画『19』

渡辺一志

watanabe kazushi
若干23歳にして初の劇場公開作品『19』で脚本・監督・主演(2001年テアトル新宿にて公開)。その後はCHEMISTRYのCMや、TRICERATOPS、キタキヌなどのMVなどを幅広く演出。俳優としても活躍し、三池崇史監督『ビジターQ』や、02年11月公開の中田秀夫監督『ラストシーン』などに出演。

講師



映画『明るい場所 SQUARE THE CIRCLE』

豊島圭介

toyoshima keisuke
94年に処女作がびあフィルムフェスティバルに入選。ロサンゼルス映画学校(AFI)の監督コース留学などを経て、97年に『明るい場所 SQUARE THE CIRCLE』をテアトル新宿にて劇場公開。01年、篠原哲雄監督作『張り込み』に脚本家として参加。新進気鋭の映画監督・脚本家。

講師



映画『ごめん』

富樫森

togashi shin
60年生まれ。フリーの助監督として相米慎二、平山秀幸などの監督作品に参加。98年、オムニバス映画『かわいいひと』の第2話(主演:椎名桔平)で監督デビュー。01年には初の長編『非・バランス』(主演:派谷恵美、小日向文世)を公開。最新作は01年10月にテアトル新宿で公開された『ごめん』(出演:久野雅弘、櫻谷由貴花)。

[募集人数] 40名

映像俳優Aコース[夜間部]

3人の若手監督の映画に連続出演!!

次代の映画作家として注目を集める3人のオリジナル映画に立て続けに出演。数多くの演技を経験することに主眼を置いたコースです。最終的には、3本のオムニバス映画として劇場で上映します。

講師



映画『空の穴』

熊切和嘉

kumakiri kazuyoshi
74年生まれ。大阪芸術大学で卒業制作としてつくった『鬼畜大宴会』で、97年のびあフィルムフェスティバルの準グランプリを受賞。その後、ベルリン国際映画祭パノラマ部門に正式招待され、劇場でのロードショー公開も大ヒット。2001年『空の穴』(主演:寺島進)がユーロスペースにて公開され話題に。

講師



映画『ホームシック』

水戸ひねき

mito hineki
69年生まれ。『ストレンジハイ』でびあフィルムフェスティバル93年グランプリを受賞。さらに、『脳の休日』を劇場公開。その後、篠原哲雄監督の助監督などを経験しながら2000年に『ホームシック』を公開。新進の映画監督として注目を集めつつ、俳優としての活動も行っている。

講師



映画『近未来型工船・レプリカント・ジョー』
出演・加藤啓(拙著ムニエル)ほか

松梨智子

matsunashi tomoko
71年生まれ。早稲田大学卒。『惜しみなく愛は奪ふ』でゆうばり映画祭審査員特別賞を受賞し、『毒婦マサルダ』が劇場公開。日本映画監督協会新人賞候補に選ばれる。他に『サノバビッチ★サブ』など。また、『たけしの誰でもピカソ』の映像バトルでグランプリも。

[募集人数] 40名

募集要項

【応募資格】16〜35才くらいの方(経験不問)
【募集期間】2002年11月9日(土)より受付開始。
【募集締切】2002年11月から、各月末日必着で締め切り、審査を行います。
合否は翌月10日までに郵送にてお知らせします。
定員に達し次第締め切りします。

【選考方法】書類審査
【年間授業料】
入学金30,000円+年間授業料390,000円+実習費50,000円=470,000円(税別)
【応募方法】「学校案内・募集要項」に同封された指定の応募用紙で応募ください。

●授業料について
授業料のお支払方法は2種類ご用意しています。
1.一括納入(選考結果到着後10日以内に年間授業料の合計をご入金下さい。ご入金を確認した時点で入校が決定となります)
2.学費ローン(6、12、24回払いの3種類からお選びいただけます。(株)ジャックスとのご契約が必要となりますので、手続きが終了した時点で入校が決定となります)

「読むゼミ」は、アートスクール「ENBUゼミ」で行われた授業やイベントのようをお伝えしていくページです。今回は、演劇科演劇コースのゼミ生が集まって、前期までにおこなわれた授業の感想を聞かせてくれました。また、映像俳優コースの授業の様子や、ゼミを巣立って行ったOBの活動情報も楽しくお届けします！

edit by iwamoto solar



戸田陽一・山口未央・宮本理絵（黒川クラス）

読むゼミ

ENBU 〔演劇&映像〕ゼミナールニュース 初秋号

〔演劇科演劇コース〕

自分が見えてきた。

春の授業開始から、駆け足で12名の講師たちによるワークショップを受けたゼミ生たち。あんな授業やこんな授業、お気に入りの先生は見つかったのでしょうか？ 5名のゼミ生に、「ENBUゼミ体験談」を大いに語っていただきました。

text by sasaki mutsumi

山口 印象に残ったのは、平田オリザ先生（※1）。松本 演劇の歴史をわかりやすく説明して、平田先生が「静かな演劇」をやるワケも教えてくれました。山口 台本を使った授業の中では、一番良かったかな。間のとり方次第で空間が変わるのが、演じていても見ても感じとれた。宮本 松村武先生（※2）や横山仁一先生（※3）は遊ぶ要素が強かったな。山口 テンションのあげ方とかを教わった。あと、松村先生に感謝してるのが「名前オニ」。最初の授業だったこともあって、名前を覚える機会を作ってくれました。板橋 横山先生の授業ではダンスをしたり、体力的に大変。次の授業で同じダンスが着れないぐらい。山口 逆に、ブルースカイ先生（※4）と西島明先生（※5）は、スコクめるーい（笑）。松本 西島先生はフシギ系

です。板橋 基本姿勢を良くする目的で、後ろ向きに歩いた。松本 10分ぐらい巻戻し映像のようだった。戸田 ブルースカイ先生の授業では、清掃作業しながらボイ捨てしていくのが印象に残ってる。松本 街中でゴミを拾って、一般の方が「良いことしてる人だ」と思ったとたん、タバコやガムを捨ててた。板橋 私には子供に見られてしまいい、「こんな大人になるなよ」と言っているから帰ってきました。山口 黒川麻衣先生（※6）は、モノマネが大変だった。板橋 一人の人の観察して、次の授業時に発表。松本 僕はフェイントかけ

てましたよ。誰を観察しているのかバレたくなかった。板橋 そう、最初私のモノマネかと思っていたら違うの。戸田 「自分も他人も客観的に見る」ことが目的なんですけど。宮本 黒川先生はそういう所を大事にしている。宮本 高井浩子先生（※7）は、テキストと同じで場面設定がいろいろある。山口 「スカイタイピング」の設定なのに「トイレどっち」ってセリフが出てきて「トイレは無い！ みたいな。宮本 結構自由に演らせてもらって楽しかった。板橋 河原雅彦先生（※8）もテキストは使って、「人づつ発表するカチカチ」「下ネタを演れるとすぐ笑っちゃう」って言ってました。山口 下ネタでちゃんと笑いがとれるならいいけど。宮本 好きな人と嫌いな

人、分かれるかもね。戸田 宮沢章夫先生（※9）は、「よりリアル」というイメージがあった。自然体。例えば「重い物を持つ」と書いてあれば、実際に持てばいいじゃないかと。松本 セリフで声を張る必要はないし、観客に背中を向けても構わない。板橋 感情で動けと教えられた。戸田 故林広志先生（※10）はコントの方で、宮沢先生とは逆。観客が予測できるような投げ方をしているから、さらにその上を見つけて。観客との掛け合いに意識があった。宮本 村上大樹先生（※11）との飲み会にはコント好きな人達が多かった。戸田 授業では、おでこにフタを貼って、周りの人達から得られる情報だけを頼りに自分のフタに書いてあることを当てるゲームをやった。宮本 合コン帰りの設定だったから、「生ゴミ」と「カ

ラス」に、他の人が「おまえデキてるだろう」みたいな。それで自分の役回りはこれかな。って。山口 小池竹見先生（※12）の授業での「恋愛エチュード」は、自主公演の練習にも使ってます。混雑した喫茶店の中央にカプセルがいて、片方だけ周りの声が聞こえる。「早く告白しろ」とか。その言葉を受けてカプセルの会話を続けるから、どんなセリフが変わってくる。影響される人と、されない人がいて面白い。松本 難しいけど楽しかった。板橋 いろいろな先生に教えてもらって、違いがよく分かりました。宮本 私は、コントは無理だと思っていたのに、演じてみたあと意外に面白くて。山口 先生のやり方もそれだけ、生徒の中でも人それぞれ芝居の感覚が違うのが見えてきた。松本 どの先生のも楽しんで演ろうって思いました。



松本佳則・板橋かり（松村クラス）

講師プロフィール

- ※1・平田オリザ 「青年団」作・演出。「現代口語演劇」を提唱。静かな演劇ブームの火付け役となる。
- ※2・松村武 「カムカムミニキーナ」作・演出・主宰。言葉遊びを駆使したセリフで壮大なストーリーを作り出す。
- ※3・横山仁一 「東京オレンジ」構成・演出。自分達の興味を、様々な表現方法で断片として起こし、コラージュするスタイルを構築中。
- ※4・ブルースカイ 「演劇弁当猫ニャー」作・演出。観客を置いてけぼりにする肩すかしコメディで異彩を放つ。
- ※5・西島明 「ベターボーイズ」作・演出。非日常にスライドしてしまうような独特の「気分」を醸し出す。
- ※6・黒川麻衣 「IOJOI」作・演出。鋭い観察眼とスタイリッシュな作品が特徴。
- ※7・高井浩子 「東京タンバリン」作・演出。身近な集団内での出来事、人々の機微を描くことに定評がある。
- ※8・河原雅彦 ネオ演芸集団「HIGHLEG JEJUS」総代。外部出演の他、映画脚本家としても頭角を現わす。
- ※9・宮沢章夫 遊園地再生事業団主宰として90年～99年活動。92年「ヒネミ」で岸田國士戯曲賞受賞。03年活動再開。
- ※10・故林広志 毎回ユニット形式でコントを発表。「故林pro.」や「親族代表」など次々と精力的に活動中。
- ※11・村上大樹 「拙者ムニエル」作・演出・出演。個性的なキャラクターでポップな世界を展開。
- ※12・小池竹見 「双数姉妹」脚本・演出・主宰。演劇だけでなくとどまらず、コンサートの脚本・演出なども手掛ける。

演劇ぶっく社が運営するアートスクール
ENBU 〔演劇&映像〕ゼミナール

2003年度受講生募集

演劇科 ダンスコース

ダンスってなんだろう？これもダンス？こんなに楽しいなんて！初めてでも大丈夫。ストレッチから始めて、ゆっくり体を動かしていきます。大事なのは、経験よりもやりたい気持ち。先入観を捨てて、飛び込んでみよう。

専任講師



伊藤千枝

(珍しいキノコ舞踊団)
http://www.strangekinoko.com/

chie ito
91年、日本大学芸術学部在学中に「珍しいキノコ舞踊団」を結成。以来、全ての作品の構成・演出を手掛ける。既成の概念にとらわれず、振付、会場、衣装などさまざまな分野でオリジナリティーを模索している。

授業内容

●専任講座（180時間）

専任講師によるワークショップと劇場で発表する作品づくり

年間スケジュール〔夜間部〕

5月	ガイダンス・専任講座
6月	専任講座
7月	夏休み
8月～12月	専任講座
1月	専任講座・劇場で作品を発表



ダンス「フリル（ミニ）」Arnold GRÖSCHEL

募集要項

【応募資格】16～35才くらいの方（経験不問）
【募集人員】30名
【募集期間】2002年11月9日（土）より受付開始。
【募集締切】2002年11月から、各月末日必着で締め切り、審査を行います。
合否は翌月10日までに郵送にてお知らせします。 定員に達し次第締め切ります。

【選考方法】書類審査
【年間授業料】入学金10,000円＋年間授業料190,000円＋公演費30,000円＝230,000円（税別）
【応募方法】「学校案内・募集要項」に同封された指定の応募用紙でご応募ください。

●授業料について

授業料のお支払方法は2種類をご用意しています。
1.一括納入（選考結果到着後10日以内に年間授業料の合計をご入金下さい。ご入金を確認した時点で入校が決定となります）
2.学費ローン（6、12、24回払いの3種類からお選びいただけます。（株）ジャックスとのお契約が必要となりますので、手続きが終了した時点で入校が決定となります）

主催●ENBU祭運営委員会

ENBUフェスタ2002

IN阿佐ヶ谷

ENBUゼミ生による自主演劇フェスティバル

バジリコ・F・バジオ
「勇者イデオット」
11月12日（火）19:00／16日（土）14:00

NVは蟬たきでできた街なんだ。
ジャイアンツの撤退が決まった時も、皆蟬たきでケツを
しばきあったもんさ（ウッディ・アレンに似たコリー犬）
そんな雑貨ボツでナンセンス。
オムニが全くバズしないコントコントな暴動活劇（の予定）

農民コントロール
「楽園◎四畳半」
11月13日（水）19:00／16日（土）19:00

孤独な脱落人間の
脱楽園ストーリー

劇団unripe eggs
「Dear☆～僕が君にできること～」
11月14日（木）19:00／17日（日）14:00

全てをさげ出せる
友達がいいますか？
全てを受け止めたいと思う
友達がいいますか？

米「水晶」
11月15日（金）19:00／17日（日）18:00

駅のすぐそばの裏の裏の裏の道
あなたと2人で このまま消えてしまおう。
あなたの体に溶けて ひどくに重なる。
いま あなたの ぬくもりを 肌で感じる夜明け

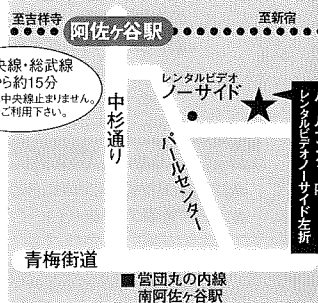
●料金：1000円 ●土日通し券：1500円

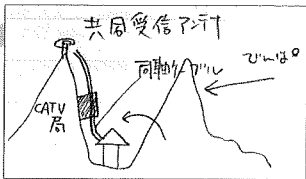
会場：阿佐ヶ谷アルシェ

お問い合わせ 090-5347-9187（久水）
kouta-7gouki@docomo.ne.jp

(03-3317-2295)

http://2style.jp/enbufesta/





大学時代のノート。CATVについて一生懸命学んでいた形跡があるも、何の役にたたないため、めんどくさい仲間やぎっこのエッセイ。今後、高校時代に書いた脚本、同じようなオチばかりの漫画などは、はずかしい過去も食べてもらう予定。



ふくろう撮影により「太陽」確認。最近突然建てはじめられたマイホーム群のおかげで今後日光が遮られなくなり心配。すでにゴミ集積場が見えなくなり、ゴミ出しのタイミングを逃す日々。幸せそうな家族が過ぎてきたらゆるさい予定。

池谷のぶえ出演の演劇身当番ニヤ「応急エステティック」12月11日(水)〜15日(日)金労済スペースゼロ・1月11日(土)〜13日(月)大阪riseシアター／日本テレビ毎週月曜22:00放送「ナイト・ホスピタル」レギュラー出演中

その② 太陽よ、マイホーム群を越えてこい！

池谷のぶえ

自分がある日突然この世を去った場合、はずかしい文章や、はずかしいイラストがこの世に残つたりするわけですね。ふと真夜中にそんなことを思い「いやああつ！」と両手で頭を抱えこめばヒロインなわけですね？

ヒロインなんて限られた奴がなければいいのさ！と旅人が言い残していったので身辺整理を始めたところ、大学時代のノートを発見。社会学部マスコミ学専攻…それがアタのハタチの称号。アバコ。とくくアバコしたつもりでしたが、偶然にもシアター・テレビジョンを見るための第1段階「スカイパーフェクTV」に入る際アタを脅かすこと恐れられていた、CATVについての記述が！

どうやら山やビルなどの高いものに囲まれたんば難視聴地域のための自主放送手段らしいですが、山とかないのに大家が勝手に設置、アパートの周りに何が見えたのか、大家に確かめる勇気をくたさい神様。しかし大人になると、神様に願いが届くまでの間にできちまつく山ほどあることに気づきます。いえ、気づいてくださいな様。

「スカイパーフェクTV」に入るためには、まずアンテナの取り付け場所をチェック。13〜14時頃に太陽が見える場所があれば設置可能です。その時間帯に自宅から太陽が見えることは経験上分かっていますが、昼ドラに夢中のため「証拠を出せ！」と言われてもそれは困ります。万事休す！普段は夜行性なもんこんで森の仲間くろくろくんアタの替わりにUVを浴びて！そしてシミをこしらえて！

いけたのぶえ●清原邦彦当番ニヤ所属自宅である千原片岡で、なんとこの家動りながら演劇を観ることもできるという人間が、この環境に適するに、最近近頃画している、自分の周囲に集まる人から「スカイパーフェクTV」加入を勧められたのは、



シアター・テレビジョンを見るには

シアター・テレビジョンは、スカイパーフェクTV!で日本全国からご覧になれます。受信には専用のアンテナとチューナーが必要です。

STEP 1

アンテナの取り付け場所をチェック！

晴天時の午後1時から2時に太陽が見通せる場所が目安です。

➡

STEP 2

アンテナとチューナーを買う

➡

STEP 3

スカイパーフェクTV!に加入する

SKY PerfecTV! スカイパーフェクTV! カスタマーセンター TEL.0570-039-888(営業時間10:00-20:00) <http://www.skyperfectv.co.jp/>

【シアター・テレビジョンの視聴料金について】

- シアター・テレビジョン視聴料金……………¥500/月
 - スカイパーフェクTV! 基本料金……………¥390/月
- ※初回のみ、スカイパーフェクTV!の加入料2,800円が別途必要です。

シアター・テレビジョンが見られるお得なバック・セットもあります。

インターネットでも購入できます！
シアター・テレビジョンのホームページから、お得なアンテナ&チューナーセットが申し込みます。今すぐアクセス！
<http://theatertv.co.jp/>



オリジナル出版 ユメラメラ

本は誰にでも作れる！『ユメラメラ』とは？

実は描き貯めていたイラストや、友達にこっそり見せて好評だった小説、写真いっぱい撮ってるんだけどetc... といったタンスの肥やし的なお宝を世に出す方法『ユメラメラ』がスタート!!

本は誰にでも作れる!をコンセプトに、出版物制作、宣伝、販売などのトータルプランニングを提供いたします。今までのように出版社が本の価値を決めるのではなく、作りたい人が作り、それを本当に必要としている人が買う。これこそが新しい時代の価値観であり流通のありかただと考えます。『ユメラメラ』ではクリエイターの「夢」を丸ごとパッケージングしてプレゼンテーションできる場を提供します。

【扱い品目】
詩、小説、写真、絵本、戯曲などアートなものの全般。
但し、自伝・闘病記などは除く。

多彩な宣伝、販売展開ができる!

- インターネットサイト(artown)、全国書店(取次店経由)で販売。
- 雑誌「演劇ぶっく」「ピクトアップ」、artown、劇場配布チラシ、イベント会場などで宣伝。
- 下北沢・アートギャラリーショップ「風呂式」での販売。

HP <http://www.furo-shiki.com/>

詳しくはHP要チェック!

<http://www.artown.net/yumeramera/>

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-6 野村ビルディング曙橋4F

TEL 03-5367-0755 / FAX 03-5367-0756

オリジナル出版
ユメラメラ
運営(有)演劇ぶっく社

例えばこんな本が作れます!

ユメラメラ LINE UP!

戯曲

『オレがアイツでアイツがオレで』
著者／大島伶也
全 120 ページ
価格／¥1500(税別)

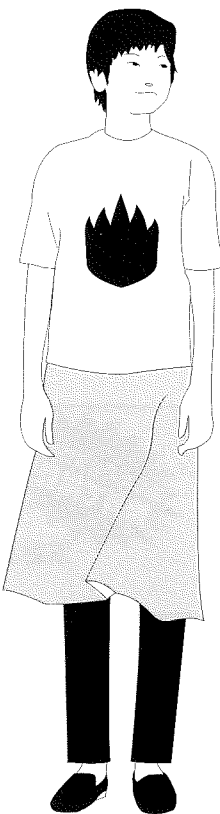
小説

『穏やかな絶望の空』
著者／大島伶也
全 68 ページ
価格／¥1500(税別)

写真集

『SCROLL』
撮影／保坂優海
全 64 ページ
価格／¥1500(税別)

こちらの作品は、それぞれ書店で買えます。また、下北沢・アートギャラリーショップ「風呂式」でも販売しています。



映像科映像俳優Bコース専任講師・行定勲監督作品にエキストラ出演してきました!

行定監督の冬休み公開予定短編映画「JUSTICE」。学校を舞台にしたこの作品に、ブルマ姿で登場してくれるエキストラ募集の緊急告知がありました。撮影に参加した堀内裕恵さん(映像俳優Bコース)がその時の感想をよせてくれました。

行定勲プロフィール●『閉じる日』『贅沢な骨』などを発表。2001年、窪塚洋介主演・宮藤官九郎脚本の『GO』の監督に抜擢され、大きな注目を浴びた。『JUSTICE ～敗戦国日本ノ正義～』は、7人の監督が競作する短編映画企画「ジャムフィルムズ」の1作品。監督/行定勲 出演/妻夫木聡ほか。2002年冬公開予定。



堀内裕恵さん(映像俳優Bコース)。撮影は炎天下の校庭で、とても大変だったとか。

「『多くの人が1つの作品のためにたんとと作業をしている』これが現場の印象です。猫背ぎみに座り、モニターを食い入る様に見ていた行定さん。彼の作品に例えブルマ姿であっても参加できたことを、幸せに思っています。」

ENBU フェスタ 2002 in 阿佐ヶ谷～エキセントリック男と女～



(写真上段左から) 上野雅史 佐々木充郭 久水太夫(下段左から) はじり孝奈 本城典子

——ゼミ生による自主公演。公演も間近に迫った4人の作・演出と運営委員長から意気込みを! 佐々木「ポップでナンセンスな暴動活動。ただ楽しいだけでは終わらせませんよ(笑)」 上野「お客さんが驚くようなこと、おもしろいことをしています。個性的な

□バジリコ・F・バジコ「勇者イデオット」作・演出●佐々木充郭 □農民コントロール「楽園○四畳半」作・演出●上野雅史 □劇団unripe eggs「Dear☆～僕が君にできること～」作・演出●はじり孝奈 □米「水晶」作・演出●本城典子 日程●2002/11/12(火)～11/17(日) 4団体日替わり上演 会場●阿佐ヶ谷アルシェ 料金●1000円 1日通し券(土日のみ)1500円 問合せ先●ENBU祭運営委員会 090-5347-9187

役者陣にも注目してほしいです! はじり「テーマやメッセージを感じて、自分自身と向き合ってくださいね」 本城「愛の物語です。ストレートに熱くやります」 久水「楽しみです、ぜひ、全部観に来てください!」

YOMU-SEMI ENBU [engeki&eizo] seminar news

スタジオにはTVモニターとビデオカメラが置かれ、生徒たちは脚本片手になにやら練習している様子。松梨さんの話によると、授業毎にくつかのグループに分かれ短いエピソードを撮影し、これを基にして作品のキャスティングをするとか。だから生徒は少しでも自分をより良く見せ、いい役をもらおうと試行錯誤しているのだった。

ついに時間となりグループごとに発表していく。女性がいらないグループでは、女性の役を男性が熱演し笑

いを誘っていた。最後に、みんなまで今日撮影したものを見る。松梨さんはグループごとにどこが悪かったかを講評し、生徒たちはみな真摯に受けとめていた。次に繋げようとする食欲な姿勢がうかがえる。もう入学当初の頃のようにただ映画に出たいという生徒の姿勢から、如何に自分を売り込むか考えながら試行錯誤する役者の姿勢へと変わっていったように感じられた。そして、松梨さんもそん

な生徒の気持ちにしっかりと応えようとする態度で生徒に向き合っていた。生徒たちは、こういった試行錯誤の作業をくり返ししながら、役者としてステップアップしていくのだらう。

映像科映像俳優Aコース 松梨組リポート 生徒から役者へ～役者としてのステップアップとは?～

映像俳優Aコースとは、3人の若手映画監督が講師となり、それぞれのオリジナル作品に出演するというコース。9月～11月の講師は、「近未来蟹工船 レプリカント・ジョー」などで注目を集めている女性映画監督・松梨智子さん。さて、早速授業を覗いてみると……。

松梨智子プロフィール●71年生まれ。早稲田大学卒。『惜しみなく愛は奪ふ』でゆうばり映画祭審査員特別賞を受賞し、『毒婦マチルダ』が劇場公開。日本映画監督協会新人賞候補に選ばれる。他に「サノバピッチ★サブ」など。「たけしの誰でもピカソ」の映像バトルでグランプリも。

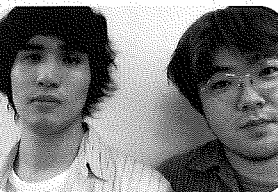
text by komai ryouhei



真剣に生徒たちに講評する松梨さん(一番左)

ゼミ生OB公演

PLUSTIC PLASTICS



大島伶也 中尾貴宏

——ポップでナンセンスな笑いを追求する彼ら。ENBUゼミスカラシップに選ばれた第2回公演の内容は? 大島「もう取り戻せない失われてしまったモノに興味があるんですよ。そこで今回はパラレルワールドという設定を使い、『もしあの時の選択で違う人生を歩んだ自分と入れ替わる

『となりの俺は笑っている』 作・演出・出演●大島伶也 出演●中尾貴宏 土肥サチコ 井澤崇行 佐々木キミテル 他 日程●2002/12/20(金)～12/23(月・祝) 会場●新宿シアター・ブラッツ 料金●前売2000円 当日2300円 問合せ先●TWIN-BEAT 090-3521-9477

info

12月30日昼間、演劇コースが本多劇場ジャック! クラス対抗演劇合戦を行います! www.enbu.co.jp/zemi/

WANTED

《E.G.WORLD》G.W.公演 出演者募集

《E.G.WORLD》は、映画『どついたるねん』等の企画・製作を担当した、金堂修一が主宰するグループです。ドラマの内容は、プレッシャー・コンプレックス・ディスコミュニケーションをテーマに、あくまでもストーリー性にこだわって、「これぞドラマ!」といえる、スベククルなロマンを追求中。もっとヘヴィに! もっとハードに! もっとストロングに! 存在感のある役者として、ゼロから実力をつけようと思っている方のみ、お願いします。

《応募資格》18〜29才の美男美女(経験不問)。
《応募方法》履歴書と写真(顔アップ&全身)を郵送。《宛先》〒169-0073 新宿区百人町1-11-10 金堂方『E.G.WORLD』ENBU係。
《締切》2002年12月31日(火)《選考方法》書類審査後電話審査。2月より約2ヶ月間のワークショップ(平日夜間)。キャストイング後4月より台本稽古(毎日夜間)。
《備考》チケットノルマ40枚。

あなたも公演の情報が劇団員募集の広告を出しませんか?
このスペースなら5万円(税別)お気軽にお願い合わせを!
演劇ぶっく広告部 TEL.03-5367-0729

11/20(水) 19:00土14:00/19:00
13:00/18:00 前席/1500当/1800 全席 090-5012-6688

12/23(月)
DancetheatreUNICORN
『家うち』
劇団楽楽楽見知英英劇団楽楽楽見知英英
奈々/小松寛亮/他919:00 前席/1800当/2000 全席 0424-71-9028

12/26(木)〜12/29(日)
She-friends
『アン・イン・ザ・ムーン・マリゴールドにおけるガンマ線の効果』
劇団ハル・イン・ザ・ムーン・マリゴールド
高島由里子/香川照子/他919:00 全席13:30/19:00 13:30 前席/2800当/3000 全席 048-831-2259
★船の科学博物館にようちと姉は…。
ピュリッパ賞受賞作品。
◎2組4名

セッションハウス
新宿区末町158B1F03-3266-0461
東西線神楽坂駅南口方面出口1分

11/9(土)・11/10(日)
橋浦勇作品集
『花詩集』あ、レシエルフィード!』
劇団楽楽楽楽楽楽楽楽楽/レシエル・メン
ハー 919:00 14:00/17:00 前席3000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/16(土)・11/17(日)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『シアター21・フェスvol.35』
1公演7組のダンサーが演出・出演919:00 16:00 前席2000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/22(金)〜11/24(日)
EdgeinTokyo
『EdgeinTokyo〜詩人/分身〜』
0222/吉増剛造23日/安井謙次24日/
野村喜和夫/他919:00土16:00日16:00 前席/2700当/3000 全席 アトリ
エ・エルスル03-5376-8260

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

12/1(日)
妻木律子ダンスライ
『形の精神〜果〜』
劇団妻木律子(ダンス)/森多令子(ピアノ)
917:00 前席/2500当/3000 全席 028-624-1084

12/6(金)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『リンゴ企画VOL.7』
劇団上村なおみ/奥田純子/林真之/康本雅
子/他919:00土16:00日13:00/19:00 全席 03-5484-6751

11/21(木)〜11/24(日)
神蔵秀芳+スーパーフロー
ディングスタジオ
『Happytogether〜one-piece』
劇団神蔵秀芳+スーパーフローディング
スタジオ919:30土15:00 全席 03-3417-1039

11/29(金)〜12/1(日)
銀色金魚
『百人のサンタからメリークリスマス』
劇団銀色金魚919:00土14:00/19:00 全席 03-3200-9047

12/3(火)・12/4(水)
DORAMATICCOMPANY'SOLO
『Siesta』
劇団DORAMATICCOMPANY'SOLO
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

1/10(金)〜1/13(月)
HAYDANSカンパニー
『Color'sいろいろ』
劇団HAYDANSカンパニー919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/22(日)・12/23(月)・12/27(金)・12/28(土)
ABC・FACTORY
『アトリエ公演1ST』
劇団ABC・FACTORY919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/29(日)
喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
『空飛ぶアメーバの泣き』
劇団喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

12/6(金)〜12/8(日)
六花
『ギョウソール☆』
劇団六花919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/10(火)・12/11(水)
演劇レールBo-tans
『老いたる時間〜limitededition』
劇団演劇レールBo-tans919:00土14:00/19:00 全席 090-8083-4861

11/13(水)〜11/17(日)
越中島朝吉商店
『秋の枯葉(コノハ)の舞い散るよう!』
劇団越中島朝吉商店919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/13(金)〜12/15(日)
劇団DMA
『Seekers』
劇団DMA919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜12/22(日)
JunktionBox
『SingingintheBrain』
劇団JunktionBox919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜1/5(日)
ShoesOn!4
劇団ShoesOn!4919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/16(木)〜1/26(日)
花組芝居
『百鬼夜行抄』
劇団花組芝居919:00土14:00/19:00 全席 03-3709-9439

11/22(金)〜11/24(日)
虹企画/Groupシュラ
『女優』
劇団虹企画/Groupシュラ919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

11/16(土)・11/17(日)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『シアター21・フェスvol.35』
1公演7組のダンサーが演出・出演919:00 16:00 前席2000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/22(金)〜11/24(日)
EdgeinTokyo
『EdgeinTokyo〜詩人/分身〜』
0222/吉増剛造23日/安井謙次24日/
野村喜和夫/他919:00土16:00日16:00 前席/2700当/3000 全席 アトリ
エ・エルスル03-5376-8260

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

12/1(日)
妻木律子ダンスライ
『形の精神〜果〜』
劇団妻木律子(ダンス)/森多令子(ピアノ)
917:00 前席/2500当/3000 全席 028-624-1084

12/6(金)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『リンゴ企画VOL.7』
劇団上村なおみ/奥田純子/林真之/康本雅
子/他919:00土16:00日13:00/19:00 全席 03-5484-6751

11/21(木)〜11/24(日)
神蔵秀芳+スーパーフロー
ディングスタジオ
『Happytogether〜one-piece』
劇団神蔵秀芳+スーパーフローディング
スタジオ919:30土15:00 全席 03-3417-1039

11/29(金)〜12/1(日)
銀色金魚
『百人のサンタからメリークリスマス』
劇団銀色金魚919:00土14:00/19:00 全席 03-3200-9047

12/3(火)・12/4(水)
DORAMATICCOMPANY'SOLO
『Siesta』
劇団DORAMATICCOMPANY'SOLO
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

1/10(金)〜1/13(月)
HAYDANSカンパニー
『Color'sいろいろ』
劇団HAYDANSカンパニー919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/22(日)・12/23(月)・12/27(金)・12/28(土)
ABC・FACTORY
『アトリエ公演1ST』
劇団ABC・FACTORY919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/29(日)
喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
『空飛ぶアメーバの泣き』
劇団喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

12/6(金)〜12/8(日)
六花
『ギョウソール☆』
劇団六花919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/10(火)・12/11(水)
演劇レールBo-tans
『老いたる時間〜limitededition』
劇団演劇レールBo-tans919:00土14:00/19:00 全席 090-8083-4861

11/13(水)〜11/17(日)
越中島朝吉商店
『秋の枯葉(コノハ)の舞い散るよう!』
劇団越中島朝吉商店919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/13(金)〜12/15(日)
劇団DMA
『Seekers』
劇団DMA919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜12/22(日)
JunktionBox
『SingingintheBrain』
劇団JunktionBox919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜1/5(日)
ShoesOn!4
劇団ShoesOn!4919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/16(木)〜1/26(日)
花組芝居
『百鬼夜行抄』
劇団花組芝居919:00土14:00/19:00 全席 03-3709-9439

11/22(金)〜11/24(日)
虹企画/Groupシュラ
『女優』
劇団虹企画/Groupシュラ919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

11/16(土)・11/17(日)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『シアター21・フェスvol.35』
1公演7組のダンサーが演出・出演919:00 16:00 前席2000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/22(金)〜11/24(日)
EdgeinTokyo
『EdgeinTokyo〜詩人/分身〜』
0222/吉増剛造23日/安井謙次24日/
野村喜和夫/他919:00土16:00日16:00 前席/2700当/3000 全席 アトリ
エ・エルスル03-5376-8260

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

12/1(日)
妻木律子ダンスライ
『形の精神〜果〜』
劇団妻木律子(ダンス)/森多令子(ピアノ)
917:00 前席/2500当/3000 全席 028-624-1084

12/6(金)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『リンゴ企画VOL.7』
劇団上村なおみ/奥田純子/林真之/康本雅
子/他919:00土16:00日13:00/19:00 全席 03-5484-6751

11/21(木)〜11/24(日)
神蔵秀芳+スーパーフロー
ディングスタジオ
『Happytogether〜one-piece』
劇団神蔵秀芳+スーパーフローディング
スタジオ919:30土15:00 全席 03-3417-1039

11/29(金)〜12/1(日)
銀色金魚
『百人のサンタからメリークリスマス』
劇団銀色金魚919:00土14:00/19:00 全席 03-3200-9047

12/3(火)・12/4(水)
DORAMATICCOMPANY'SOLO
『Siesta』
劇団DORAMATICCOMPANY'SOLO
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

1/10(金)〜1/13(月)
HAYDANSカンパニー
『Color'sいろいろ』
劇団HAYDANSカンパニー919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/22(日)・12/23(月)・12/27(金)・12/28(土)
ABC・FACTORY
『アトリエ公演1ST』
劇団ABC・FACTORY919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/29(日)
喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
『空飛ぶアメーバの泣き』
劇団喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

12/6(金)〜12/8(日)
六花
『ギョウソール☆』
劇団六花919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/10(火)・12/11(水)
演劇レールBo-tans
『老いたる時間〜limitededition』
劇団演劇レールBo-tans919:00土14:00/19:00 全席 090-8083-4861

11/13(水)〜11/17(日)
越中島朝吉商店
『秋の枯葉(コノハ)の舞い散るよう!』
劇団越中島朝吉商店919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/13(金)〜12/15(日)
劇団DMA
『Seekers』
劇団DMA919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜12/22(日)
JunktionBox
『SingingintheBrain』
劇団JunktionBox919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

11/16(木)〜1/26(日)
花組芝居
『百鬼夜行抄』
劇団花組芝居919:00土14:00/19:00 全席 03-3709-9439

11/22(金)〜11/24(日)
虹企画/Groupシュラ
『女優』
劇団虹企画/Groupシュラ919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

11/16(土)・11/17(日)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『シアター21・フェスvol.35』
1公演7組のダンサーが演出・出演919:00 16:00 前席2000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/22(金)〜11/24(日)
EdgeinTokyo
『EdgeinTokyo〜詩人/分身〜』
0222/吉増剛造23日/安井謙次24日/
野村喜和夫/他919:00土16:00日16:00 前席/2700当/3000 全席 アトリ
エ・エルスル03-5376-8260

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

12/1(日)
妻木律子ダンスライ
『形の精神〜果〜』
劇団妻木律子(ダンス)/森多令子(ピアノ)
917:00 前席/2500当/3000 全席 028-624-1084

12/6(金)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『リンゴ企画VOL.7』
劇団上村なおみ/奥田純子/林真之/康本雅
子/他919:00土16:00日13:00/19:00 全席 03-5484-6751

11/21(木)〜11/24(日)
神蔵秀芳+スーパーフロー
ディングスタジオ
『Happytogether〜one-piece』
劇団神蔵秀芳+スーパーフローディング
スタジオ919:30土15:00 全席 03-3417-1039

11/29(金)〜12/1(日)
銀色金魚
『百人のサンタからメリークリスマス』
劇団銀色金魚919:00土14:00/19:00 全席 03-3200-9047

12/3(火)・12/4(水)
DORAMATICCOMPANY'SOLO
『Siesta』
劇団DORAMATICCOMPANY'SOLO
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

1/10(金)〜1/13(月)
HAYDANSカンパニー
『Color'sいろいろ』
劇団HAYDANSカンパニー919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/22(日)・12/23(月)・12/27(金)・12/28(土)
ABC・FACTORY
『アトリエ公演1ST』
劇団ABC・FACTORY919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/29(日)
喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
『空飛ぶアメーバの泣き』
劇団喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

12/6(金)〜12/8(日)
六花
『ギョウソール☆』
劇団六花919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/10(火)・12/11(水)
演劇レールBo-tans
『老いたる時間〜limitededition』
劇団演劇レールBo-tans919:00土14:00/19:00 全席 090-8083-4861

11/13(水)〜11/17(日)
越中島朝吉商店
『秋の枯葉(コノハ)の舞い散るよう!』
劇団越中島朝吉商店919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/13(金)〜12/15(日)
劇団DMA
『Seekers』
劇団DMA919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜12/22(日)
JunktionBox
『SingingintheBrain』
劇団JunktionBox919:00土14:00/19:00 全席 070-5020-0951

12/20(金)〜1/5(日)
ShoesOn!4
劇団ShoesOn!4919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/16(木)〜1/26(日)
花組芝居
『百鬼夜行抄』
劇団花組芝居919:00土14:00/19:00 全席 03-3709-9439

11/22(金)〜11/24(日)
虹企画/Groupシュラ
『女優』
劇団虹企画/Groupシュラ919:00土14:00/19:00 全席 03-3660-3939

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

11/16(土)・11/17(日)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『シアター21・フェスvol.35』
1公演7組のダンサーが演出・出演919:00 16:00 前席2000 全席 090-3000 全席 090-3000 全席

11/22(金)〜11/24(日)
EdgeinTokyo
『EdgeinTokyo〜詩人/分身〜』
0222/吉増剛造23日/安井謙次24日/
野村喜和夫/他919:00土16:00日16:00 前席/2700当/3000 全席 アトリ
エ・エルスル03-5376-8260

11/29(金)・11/30(土)
小沢恵美子Solo-performance
『分身double』
劇団小沢恵美子919:00土15:00/18:00 前席/1700当/1900 全席 03-3991-5160

12/1(日)
妻木律子ダンスライ
『形の精神〜果〜』
劇団妻木律子(ダンス)/森多令子(ピアノ)
917:00 前席/2500当/3000 全席 028-624-1084

12/6(金)
セッションハウス・ダンス・プログラム
『リンゴ企画VOL.7』
劇団上村なおみ/奥田純子/林真之/康本雅
子/他919:00土16:00日13:00/19:00 全席 03-5484-6751

11/21(木)〜11/24(日)
神蔵秀芳+スーパーフロー
ディングスタジオ
『Happytogether〜one-piece』
劇団神蔵秀芳+スーパーフローディング
スタジオ919:30土15:00 全席 03-3417-1039

11/29(金)〜12/1(日)
銀色金魚
『百人のサンタからメリークリスマス』
劇団銀色金魚919:00土14:00/19:00 全席 03-3200-9047

12/3(火)・12/4(水)
DORAMATICCOMPANY'SOLO
『Siesta』
劇団DORAMATICCOMPANY'SOLO
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747

1/10(金)〜1/13(月)
HAYDANSカンパニー
『Color'sいろいろ』
劇団HAYDANSカンパニー919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/22(日)・12/23(月)・12/27(金)・12/28(土)
ABC・FACTORY
『アトリエ公演1ST』
劇団ABC・FACTORY919:00土14:00/19:00 全席 03-3721-8768

12/29(日)
喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
『空飛ぶアメーバの泣き』
劇団喜多尾浩代&ESQUI:VOUVER
919:00 前席/2500当/3000 全席 042-767-2747



秋の夢は、演じることと歌うこと。

今村 祈履

研究生募集

平成13年4月入所 今村 祈履(いまむら いのり)

週1回だから、学校に通いながら、働きながらレッスンが受けられる。

タレント・俳優なら

東京芸能芸術研究所 ●タレント科 ●ジュニアタレント科 ●俳優科

ヴォーカリスト・ダンサーなら

ミューラスエンタテインメント ●ダンスミュージックコース ●ジュニアダンスミュージックコース ●ダンスコース ●ヴォーカルコース

声優・ナレーターなら

アーツビジョン付属

〈東京校・大阪校・名古屋校〉

日本ナレーション演技研究所 ●週1回クラス(演技) ●週3回クラス(演技・ダンス・歌) ●ジュニア声優クラス ●ナレーターセミナー ●声優スターティングセミナー

(主な出身者) 林原めぐみ/三石琴乃/天野由梨/椎名へきる/白鳥由里/吉田小南美/根谷美智子/宮村優子/渡辺久美子/瀧本富士子/小西寛子/菊池志穂/田村ゆかり/南 央美/檜山修之/岩永哲哉/佐々木 望
保志総一朗/手塚ちはる/鈴村健一/堀江由衣/浅川 悠/山本麻里安/菅原祥子/横山智佐/島海浩輔/半場友恵/世本優子/吉住 梢/鈴木千尋/野上ゆかな/まるたまり/高木礼子/倉田雅世/桑谷夏子 他
(グループプロダクション・劇団) アーツビジョン/アイムエンタープライズ/クレイジーボックス/零クリエーション/劇団棋河泉21

※入所申込み随時受付中。入所試験無料。見学・無料体験レッスン実施中。 ※各校共ジュニアクラスは、小4から中3の方が対象になります。

お申込み・お問い合わせ 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-14-3 松田ビル1階 (株)日本ナレーション演技研究所 TEL:03-3372-5671 <Home Page>http://nichinare.com

入所案内書無料

ハガキに下記のように記入してポストへ。

郵便番号	〒151-0053
住所	東京都渋谷区代々木1-14-3 松田ビル1F
お名前(フリガナ)	お名前(フリガナ)
生年月日	生年月日
職業または学年	職業または学年
郵便番号	〒151-0053
住所	東京都渋谷区代々木1-14-3 松田ビル1F
お名前(フリガナ)	お名前(フリガナ)
生年月日	生年月日
職業または学年	職業または学年

